SoftBank 840SC

User Guide 取扱説明書

SoftBank

はじめに

このたびは、「SoftBank 840SC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 840SC をご利用の前に、「クイックスタート」、「お願いとご注意」および「取扱説明書（本書）」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。
- SoftBank 840SC は、3G 方式に対応しております。

ご注意

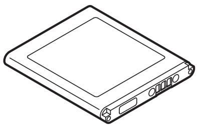
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（➔P.15-32）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本書の最新版は、ソフトバンクモバイルのホームページよりダウンロードできます。
http://www.softbank.jp/mb/r/support/840sc/

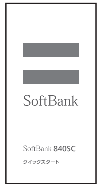
お買い上げ品の確認

SoftBank 840SC本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。付属品は、オプション品としても取り扱いしております。
付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先(➔P.15-32)までご連絡ください。

電池パック［SCBAM1］



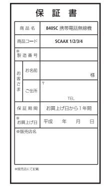
クイックスタート



お願いとご注意



保証書



- 840SCの充電には、ソフトバンクが指定した充電器(オプション品)を使用してください。
- 840SCではmicroSD™／microSDHC™メモリカードに対応しています。ご利用にあたっては、市販のmicroSD™／microSDHC™メモリカードを購入してください。
- 本書では、microSD™／microSDHC™メモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- Samsung New PC Studioは、SAMSUNGホームページ(http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/840download.html)からダウンロードしてご利用いただけます。

メモ

本書の構成

説明	章	番号
840SC をお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通機能／共通操作	2
840SC の代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
	インターネット	5
	テレビ	6
	カメラ／静止画編集	7
	メディアプレイヤー	8
840SC で利用できるその他の便利なツール（道具）やサービスについて説明しています。	エンタテイメント	9
	ツール	10
840SC のセキュリティを強化する機能を説明しています。	セキュリティ	11
840SC でのデータの管理方法について説明しています。	データフォルダ／メモリ	12
データ通信やパソコン接続、データのバックアップについて説明しています。	通信／バックアップ	13
840SC を使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。	カスタマイズ	14
840SC についての資料や各種情報、索引をまとめています。	資料／付録	15



最初に
「クイックスタート」
をお読みください。

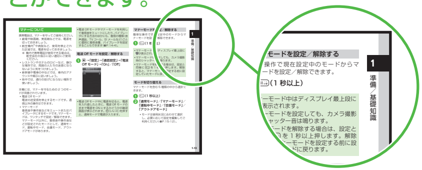
機能の探しかた

パラパラとめくって探す

本機の新しい魅力を発見しましょう。

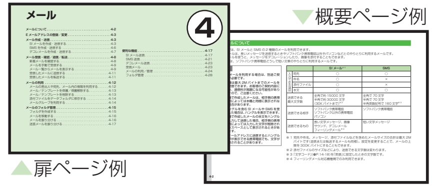
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端にはサイドインデックスが付いています。目的の章をすばやく確認することができます。



- 各ページでは上の例のように、縦組み文字で章の番号とタイトルが書かれています。本書を閉じていても、章の区切りがわかりやすくなっています。

章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。



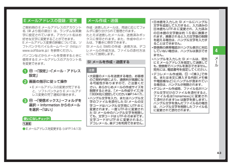
▼概要ページ例

▲扉ページ例

- 章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください(一部ない章もあります)。

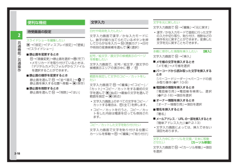
説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

●基本操作パターン



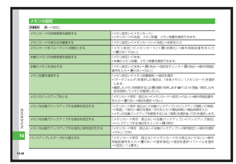
機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章や項目の前半にあります。

●応用操作パターン



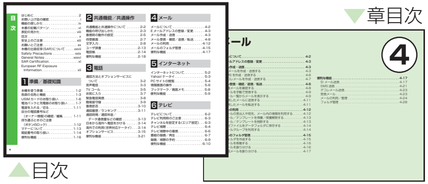
機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

●設定操作パターン



本機の設定変更を説明しているページです。カスタマイズの章にあります。

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。

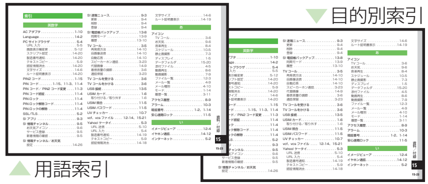


▼章目次

▲目次

●「目次」には、この取扱説明書の章構成と各章内の見出しが記載されています。また、各章の扉ページに入っている「章目次」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的機能で引ける3つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。



▼目的別索引

▲用語索引

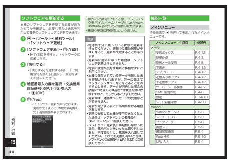
●本機内の用語があいうえお順に並んでいる「用語索引」と、「登録する」「消去する」などの目的別にまとめた「目的別索引」、応用操作のある機能をまとめた「便利な機能索引」を「資料／付録」の章に掲載しています。ご活用ください。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

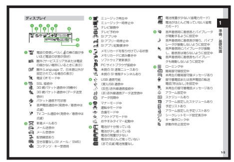
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「機能一覧」がおすすめです。



●「資料／付録」の章の「機能一覧」は、本機のメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここからすぐにジャンプできます。

画面に表示されるアイコンの意味を知りたいときは、「ディスプレイ」をご覧ください。



●「準備／基礎知識」の章にある「ディスプレイ」では、ディスプレイに表示されるアイコンの意味を掲載しています。知らないアイコンが表示されたときは、すぐに確認しましょう。

表示やアイコンの意味を探す

気になる項目やアイコンを調べましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

本書の記載パターン

基本操作パターン

各機能の基本操作をわかりやすく説明しています。



SMS を作成・送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手に SMS を送信します。

1 ✉→「SMS 新規作成」

SMS作成画面

2 宛先欄を選択

3 「電話帳検索」→電話帳を検索し選択（➔P.2-16 電話帳を検索する

4 電話番号を選択

5 本文入力欄を選択→本文を入力

6 ✉（送信）

•SMS の宛先には電話番号を入力しま 入力できる宛先の件数は最大 20 件で

•SMSの本文で送信可能な文字数（➔P.4 を超えた場合、S! メールに変更する 認メッセージが表示されます。「はい 選択すると S! メールに切り替わりま 本文にハングルが含まれている場合 ハングル文字用に文字コードが UT に変更されます。

•送信した SMS は送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」（➔P.14-16）を「On（保護を除いて）」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-21

● 宛先を追加したい

● 宛先を削除したい

● SMS に情報を挿入したい

● SMS の本文を作成中にユーザ辞書登録したい

● SMS の本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい

● 作成中の SMS を下書きに保存したい

● 作成中の SMS を S! メールに変更したい

● 入力した本文をすべて削除したい

設定

● 配信レポートの送信を設定する（☞P.14-13）

● 送信中の進行状況表示を設定する（☞P.14-14）

● メールサーバへの保存期間を設定する（☞P.14-18）

● SMS センター番号を設定する（☞P.14-18）

● 文字コードを変更する（☞P.14-18）

4-6

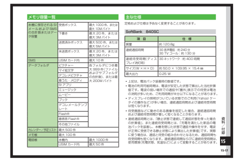
操作にあたってのご注意

•本書は、特にことわりのない限り、待受画面（➔P.2-7）からの操作を中心に説明しています。

設定 この機能をカスタマイズして使いたいとき

詳しい仕様を知りたいとき

「資料／付録」の章の「メモリ容量一覧」と「主な仕様」をご覧ください。件数や時間など、詳細な仕様を確認することができます。



使いこなしチェックを活用しましょう

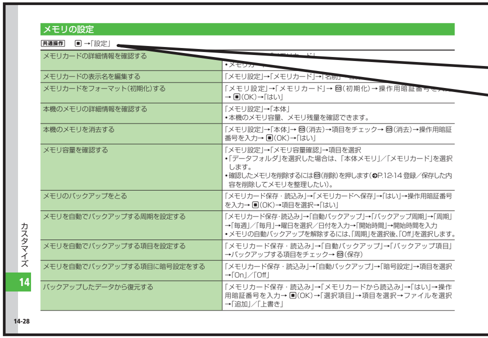
このページで説明している機能に関する代表的な応用操作や設定項目を紹介しています。この機能をもっと使いこなしたい方におすすめです。

便利 この機能のいろいろな応用操作をしたいとき

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作パターン

各機能のカスタマイズ方法を表形式で説明しています。



メモリの設定

共通操作 ■→「設定」

メモリカードの詳細情報を確認する	[illegible]「メモリカード」 •メモリカ[illegible]
メモリカードの表示名を編集する	「メモリ設定」→「メモリカード」→「名前」[illegible]
メモリカードをフォーマット(初期化)する	「メモリ設定」→「メモリカード」→ ✉(初期化)→操作用暗証番号を[illegible]→■(OK)→「はい」
本機のメモリの詳細情報を確認する	「メモリ設定」→「本体」 •本機のメモリ容量、メモリ残量を確認できます。
本機のメモリを消去する	「メモリ設定」→「本体」→ ✉(消去)→項目をチェック→ ✉(消去)→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」
メモリ容量を確認する	「メモリ設定」→「メモリ容量確認」→項目を選択 •「データフォルダ」を選択した場合は、「本体メモリ」/「メモリカード」を選択します。 •確認したメモリを削除するには✉(削除)を押します(➲P.12-14 登録/保存した内容を削除してメモリを整理したい)。
メモリのバックアップをとる	「メモリカード保存・読込み」→「メモリカードへ保存」→「はい」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→項目を選択→「はい」
メモリを自動でバックアップする周期を設定する	「メモリカード保存・読込み」→「自動バックアップ」→「バックアップ周期」→「周期」→「毎週」/「毎月」→曜日を選択/日付を入力→「開始時間」→開始時間を入力 •メモリの自動バックアップを解除するには、「周期」を選択後、「Off」を選択します。
メモリを自動でバックアップする項目を設定する	「メモリカード保存・読込み」→「自動バックアップ」→「バックアップ項目」→バックアップする項目をチェック→ ✉(保存)
メモリを自動でバックアップする項目に暗号設定をする	「メモリカード保存・読込み」→「自動バックアップ」→「暗号設定」→項目を選択→「On」/「Off」
バックアップしたデータから復元する	「メモリカード保存・読込み」→「メモリカードから読込み」→「はい」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「選択項目」→項目を選択→ファイルを選択→「追加」/「上書き」

カスタマイズ 14

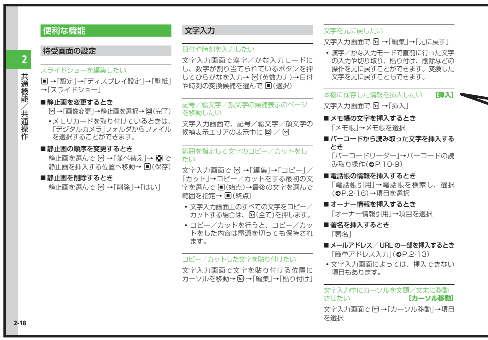
14-28

共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

応用操作パターン

各機能の応用操作を統一フォーマットで簡単に説明しています。
使いこなしチェックで記載されている機能のほかにも、さまざまな応用操作が記載されています。



2 共通機能/共通操作

便利な機能

待受画面の設定

スライドショーを編集したい

■→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→「スライドショー」

■静止画を変更するとき
Y!→「画像変更」→静止画を選択→✉(完了)
•メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択することができます。

■静止画の順序を変更するとき
静止画を選んで Y!→「並べ替え」→ ✥ で静止画を挿入する位置へ移動→ ■(保存)

■静止画を削除するとき
静止画を選んで Y!→「削除」→「はい」

文字入力

日付や時刻を入力したい

文字入力画面で漢字/かな入力モードにし、数字が割り当てられているボタンを押してひらがなを入力→ Y!(英数カナ)→日付や時刻の変換候補を選んで ■(選択)

記号/絵文字/顔文字の候補表示のページを移動したい

文字入力画面で、記号/絵文字/顔文字の候補表示エリアの表示中に ✉ / Y!

範囲を指定して文字のコピー/カットをしたい

文字入力画面で Y!→「編集」→「コピー」/「カット」→コピー/カットをする最初の文字を選んで ■(始点)→最後の文字を選んで範囲を指定→ ■(終点)

• 文字入力画面上のすべての文字をコピー/カットする場合は、Y!(全て)を押します。
• コピー/カットを行うと、コピー/カットをした内容は電源を切っても保持されます。

コピー/カットした文字を貼り付けたい

文字入力画面で文字を貼り付ける位置にカーソルを移動→ Y!→「編集」→「貼り付け」

文字を元に戻したい

文字入力画面で Y!→「編集」→「元に戻す」

• 漢字/かな入力モードで直前に行った文字の入力や切り取り、貼り付け、削除などの操作を元に戻すことができます。変換した文字を元に戻すこともできます。

本機に保存した情報を挿入したい **[挿入]**

文字入力画面で Y!→「挿入」

■メモ帳の文字を挿入するとき
「メモ帳」→メモ帳を選択

■バーコードから読み取った文字を挿入するとき
「バーコードリーダー」→バーコードの読み取り操作(➲P.10-9)

■電話帳の情報を挿入するとき
「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)→項目を選択

■オーナー情報を挿入するとき
「オーナー情報引用」→項目を選択

■署名を挿入するとき
「署名」

■メールアドレス/ URL の一部を挿入するとき
「簡単アドレス入力」(➲P.2-13)
• 文字入力画面によっては、挿入できない項目もあります。

文字入力中にカーソルを文頭/文末に移動させたい **[カーソル移動]**

文字入力画面で Y!→「カーソル移動」→項目を選択

2-18

操作中の画面で Y!(メニュー)を押して選択できる操作などはここで説明しています。

表記の見かた

本書では、「SoftBank 840SC」を「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。
また、主にお買い上げ時の状態を基準に説明しているため、設定を変更された場合、本機の表示や動作が本書の記載と異なることがあります。

ディスプレイの表記と本機のイラストについて

記載している画面は、表示されている内容や番号などが実際の画面と異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。
本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。
本書では、画面を見やすくするために、待受画面の壁紙の設定を「なし」にした状態で掲載している場合があります。

確認／警告メッセージについて

操作中、本書に記載していないメッセージが表示されることがあります。確認や警告のメッセージが表示されたときは、そのメッセージをよく読んで内容をご確認ください。

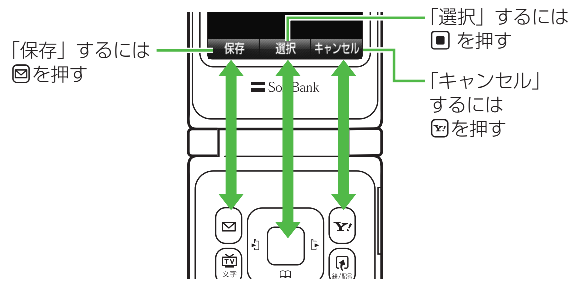
ボタンの使いかたと表記について

本書では、本機のボタンをすべて記号で表記しています。「各部の名称と機能」(➔P.1-3)を参照してください。

ソフトキーとマルチファンクションボタンの操作については、次のように表記しています。

ソフトキー

ディスプレイの最下段（ソフトキーエリア）には「選択」「保存」のような、操作や設定の選択肢が表示されます。これらの内容を実行するには、その表示位置に対応するソフトキーを押します。



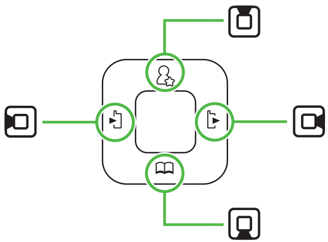
ソフトキー操作の表記

(保存)
ソフトキーエリアの表示
押すボタン

マルチファンクションボタン

マルチファンクションボタンは、上下左右の４箇所を押せるボタンです。目的の項目を選択するときや文字入力画面でカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどに使います。

マルチファンクションボタン操作の表記



↑ または ↓ を押すとき：↕
← または → を押すとき：↔
↑、↓、←、→ を押すとき：✥

メニュー操作の表記について

メインメニュー操作やメニュー操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

メインメニュー操作

1 ■ →「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

メインメニュー項目を選んで ■（選択）を押す操作を繰り返すことを示す

メニュー操作

1 Y! →「送信」→「赤外線通信」

Y!（メニュー）を押してメニューを呼び出すことを示す

メニュー項目を選んで ■（選択）を押す操作を繰り返すことを示す

「選択」について

項目や文字列の選択画面などで目的の位置にカーソルを移動させて■（選択）を押すことを、この取扱説明書では「選択」と表記します。

「選んで」について

項目や文字列の選択画面などで目的の位置にカーソルを移動させることを、この取扱説明書では「選んで」と表記します。
主に、項目にカーソルを移動させた後、✉ または Y! で操作を行うときに使用しています。

目次

1 準備／基礎知識

2 共通機能／共通操作

3 電話

4 メール

5 インターネット

6 テレビ

7 カメラ／静止画編集

8 メディアプレイヤー

9 エンタテイメント

10 ツール

11 セキュリティ

12 データフォルダ／メモリ

13 通信／バックアップ

14 カスタマイズ

15 資料／付録

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。

※1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIM カード、充電器（オプション品）、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠危険

本機に使用する電池パック･充電器（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指示

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

分解禁止

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

本機内部・電池パック・充電器を濡らさないでください。

水濡れ禁止

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。

禁止

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また､ケースの一部が熱くなり､やけどなどの原因となることがあります。

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。

禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

指示

本機の熱でガスに引火する恐れがあります。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

指示

1 コンセントから充電器を持ってプラグを抜いてください。
2 本機の電源を切ってください。
3 やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

禁止

ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

禁止

落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

指示

けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

⚠危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。

禁止

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。

禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

指示

失明などの原因となります。

⚠警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。

指示

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

指示

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色･変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。

指示

異常な状態のまま使用すると､電池パックを漏液･発熱･破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの｢ソフトバンクショップ｣へお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

本機の取り扱いについて

⚠警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

禁止

交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

指示

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

指示

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

指示

心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

指示

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

禁止

⚠注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

禁止

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

本機で使用している材料については、「使用材料、表面処理」(➔P.15-18)を参照してください。

指示

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード·クレジットカード·テレホンカード·フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。

本人や周りの方に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

指示

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

禁止

デジタルテレビを視聴するときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

指示

充電器（オプション品）の取り扱いについて

⚠警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

- AC アダプタ（オプション品）
  AC100V ～ 240V（家庭用 AC コンセント専用）

禁止

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜いてください。

感電・発煙・火災の原因となります。

電源プラグを抜く

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。

火災の原因となります。

指示

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショート・火災などの原因となります。

指示

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

感電や故障などの原因となります。

濡れ手禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

感電などの原因となります。

禁止

⚠注意

お手入れの際は、コンセントから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

充電器をコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

指示

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。

禁止

医用電気機器近くでの取り扱いについて

- ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成 13 年３月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

指示

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

指示

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本機またはメモリカードに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。**

  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  - **傍受とは**

    無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、本機を絶対にご使用にならないでください。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 本機を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

  機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、本機では次の機能が利用できなくなります。
  - カメラ
  - メディアプレイヤー
  - S! アプリ
  - テレビ
- 本機を長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は 5 ～ 35℃の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 本機を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- ステレオヘッドフォンの中には開放型のものがあり、音が外に漏れることがあります。周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 本機をズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - かばんなどに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 本機の充電端子／外部接続端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機を傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などの恐れがあります。

ボタン操作面がふくらむ現象について

- 電池カバーを取り付けた場合や、急激な気圧の変化（高山地帯や飛行機の搭乗中など）によりボタン操作面がふくらむことがありますが、異常ではありません。しばらくすると元に戻ります。
- 空気が本機内部に入ったときは、端子キャップを開けることでも空気が抜けます。
- 電池カバーを閉じるときは、外部から空気が入らないようにゆっくりと閉じてください。
- ボタン操作面のふくらんだ部分を強く押したり、先のとがったもので傷つけないようにしてください。しばらくすると元に戻ります。

防水について

本機の防水性能

本機は、端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを取り付けてロックした状態で、IPX5（旧 JIS 保護等級 5）※1、IPX7（旧 JIS 保護等級 7）※2 相当の防水性能があります。

※ 1 IPX5 相当：内径 6.3mm の注水ノズルを使用し、約 3m の距離から約 12.5 リットル／分の水を最低 3 分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を保つことを意味します。

※ 2 IPX7 相当：常温で水道水、かつ静水の水深 1m の水槽に本機を静かに沈め、約 30 分間水底に放置しても、電話機内部に浸水せず、電話機としての機能を保つことを意味します。

- **実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。**

ご使用にあたっての注意事項

- 電池カバーは確実にロックし、端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に細かいゴミ（髪の毛 1 本、砂粒 1 粒、微細な繊維など）がわずかでも挟まると、浸水の原因となります。
- 端子キャップや電池カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外してください。
- 本機が濡れているときは、ボタン操作面やヒンジ部などの隙間から水分が入り込んでくる場合がありますので、水抜きをし、乾いたきれいな布でふき取ってください。濡れたまま放置しないでください。
- 雨がかかっている最中、電話機に水滴がついているとき、または、手や本機が濡れているときは、内部に浸水することを防ぐため、電池カバーや端子キャップの開閉は絶対にしないでください。完全に乾かした後にゆっくりと電池カバーや端子キャップの開閉をしてください。万一水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態で「ソフトバンクショップ」までご連絡ください。
- 端子キャップや電池カバーの周辺が濡れているときは、内部に浸水することを防ぐため、完全に乾かした後にゆっくりとカバーを開閉してください。
- 常温（5℃～ 35℃）の真水・水道水以外の液体につけないでください。

防水（水周りでのご使用）に関するご注意

- 本機に真水や水道水以外の液体（石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水／海水／プールの水／温泉／熱湯／薬品／汗など）をかけたり、つけたりしないでください。また、砂や泥が付着しないようにしてください。
- 万一本機に真水や水道水以外の液体が付着してしまった場合は、直ちに水で洗い流してください。やや弱めの水流（6 リットル／分以下、常温（5℃～ 35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約 10cm 離れた位置で洗えます。電池カバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用（本機の開閉やキー操作を含む）しないでください。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6 リットル／分を超える）を当てたり、水面に落下させたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。

- 本機は温度：5℃～ 35℃、湿度：35%～ 90%の範囲でご使用ください（風呂場などでの一時的な使用に限り、温度 36℃～ 40℃の範囲で可能）。
- 本機は耐熱設計ではありません。サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの温風はあてないでください。
- コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- マイク、レシーバー、スピーカー部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。乾燥後は、通常の音量に戻ります。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。レシーバー、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。

防水性能を維持するためのご注意

- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、マイク、レシーバー、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。
- 端子キャップや電池カバーのゴムパッキンは防水性能を維持するうえで重要な役割を負っています。はがしたり、傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- 端子キャップのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となることがあります。
- イヤホンマイクや充電器などを、端子キャップが反対方向に長時間開くように挿入しないでください。端子キャップが変形してしまうなどして、防水性能が維持できません。
- 端子キャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したときは、ゴムパッキンを交換してください。
- 防水性能を維持するため、ゴムパッキンは異常の有無にかかわらず、2 年ごとに交換することをおすすめします。 ゴムパッキンの交換については、「ソフトバンクショップ」までご連絡ください。
- 電池カバーや端子キャップに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。その場合は、「ソフトバンクショップ」までご連絡ください。

充電時のご注意

- 充電器・オプション品は、防水対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。
- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 外部接続端子の端子キャップを開いて充電したときには、充電後しっかりと端子キャップを閉じてください。
- 濡れた手で充電器に触れないでください。感電の原因となります。
- 充電器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

本機が濡れたときの対処は、「水抜きのしかた」(➔P.15-6)を参照してください。

端子キャップが外れたときの対処は、「端子キャップの取り付けかた」(➔P.15-7)を参照してください。

UV チェッカーに関する注意事項

- UV チェッカーを使うときは、正しく測定するため、紫外線センサーを 2 ～ 3 回太陽に向けてください。
- UV チェッカーは天気や周りの建物に影響されるため、正しく測定できないことがあります。
- UV チェッカーは正しく測定できないことがありますので、参考としてご利用ください。
- 紫外線センサーが汚れている（指紋や異物が付いているなど）場合、正しく測定できないことがあります。
- 急激な温度変化によって、紫外線センサーが破損することがありますのでご注意ください。
- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えた場合、紫外線センサーが動作しないことがあります。
- 紫外線センサーが露出された（本機を開いた）状態で、強い日差しや紫外線の中に、放置しないでください。破損することがありますのでご注意ください。
- 本機を閉じた状態では UV チェッカーが動作しません。本機を開いた状態で使用してください。
- 連続で UV チェッカーを使用すると、UV チェッカーが正常に動作しないことがあります。
- 長時間の使用によって、紫外線センサーの周辺が変色することがあります。故障ではありません。
- 紫外線センサーは水の中では動作できません。
- UV チェッカーと実際の紫外線量が異なることがあります。肌を紫外線から守るため、日焼け止めクリームを使用するなどしてください。
- UV チェッカーで「弱め（安心して外で過ごせます。）」として表示されたときでも、安全であるという意味ではありません。
- 周囲の環境および状況によって、UV チェッカーの計測時間が変わることがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。

  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338

- TV コール、S! メール、PC サイトブラウザ、S! 速報ニュース、S! アプリ、S! 電話帳バックアップ、デコレメール、楽デコ、フィーリングメール、S! 情報チャンネル、お天気アイコン、S-1 バトル、コンテンツ得パック、選べるかんたん、ともだちメール、タダデコ、タダコミ、タダゲーム、タダ歌ばんはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- This product contains ACCESS Co., Ltd.'s NetFront Internet browser software.NetFront is a trademark or registered trademark of ACCESS Co., Ltd. in Japan and in other countries.
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.
- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.

- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
- Powered by JBlend™ Technology.JBlendおよびJBlendロゴマークは、株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテイメントの登録商標です。
- microSD™、microSDHC™はSDアソシエーションの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- Windows、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 「BookSurfing」は株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本機の比吸収率（SAR）について

本機の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR：Specific Absorption Rate)について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明(技術基準適合証明)を受ける必要があります。
この携帯電話機「840SC」も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは0.183 W/kgです。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。
個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

＊ ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディSARに関する技術基準として、欧州における情報を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機「840SC」は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR 許容値は２W/kg で、身体に装着した場合の SAR の最高値は 0.183 W/kg※です。

SAR 測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関のホームページ

http://www.who.int/emf（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験は、FCC が定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

Read safety precautions before using handset.

- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damages resulting from use of this product.

These labels indicate the degree of risk from improper use.
Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

Danger	Great risk of death or serious injury[*1] from improper use
Warning	Risk of death or serious injury[*1] from improper use
Caution	Risk of injury[*2] or damage to property[*3] from improper use

***1** "Serious injury" includes blindness, wounds, low/high heat burns, electric shock, bone fractures, poisoning or other physical harm with aftereffects, or requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

***2** "Injury" includes wounds, burns, electric shock or other physical harm not requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

***3** "Damage to property" includes damage to home, furniture, livestock, pets, etc.

These symbols indicate prohibited or compulsory actions.
Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

Prohibited	Prohibited actions
Do Not Disassemble	Disassembly prohibited
Avoid Liquids Or Moisture	Exposure to liquids prohibited
Do Not Use Wet Hands	Use with wet hands prohibited
Compulsory	Compulsory actions
Disconnect Power Source	Unplug Charger from outlet

Handset, Battery, USIM Card, Charger (Sold Separately) & Memory Card (Sold Separately)

⚠Danger

Use specified battery and Charger (sold separately) only.

Compulsory

Non-specified equipment use may cause battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.

Do Not Disassemble

May cause fire, injury, electric shock or malfunction.
Battery may leak, overheat, burst or ignite.
Modifying handsets is prohibited by the Radio Law and subject to a penalty.

Do not expose inside of the handset or related hardware to liquids.

Avoid Liquids Or Moisture

Do not leave handset or related hardware wet after exposure to water, pet urine, etc., and do not charge wet battery. May cause overheating, electric shock, fire, injury or malfunction. Use them in an appropriate place properly.

Do not charge battery in or expose handset or related hardware to extreme heat (e.g., near fire or sources of heat, in direct sunlight, inside vehicles, etc.).

Prohibited

May cause warping/malfunction; battery may leak, overheat, ignite or burst. Handset or related hardware may become hot to the touch, leading to burn injuries, etc.

Do not force battery/Charger into handset. Check the direction and retry.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

⚠Warning

Do not place handset, battery or Charger in/on ovens, microwave ovens, pressure cookers, induction stoves or other cooking appliances.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst or ignite. Handset/Charger may overheat, emit smoke, ignite, malfunction, etc.

Keep handset off and Charger disconnected near gas stations or places with fire/explosion risk.

Compulsory

Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion.
To prevent fire or explosion, do not use handset near gas or fine particles (Coal, dust, metal, etc.).

Do not apply strong shocks or impacts.

Prohibited

Do not drop/throw handset or related hardware. Battery may leak, overheat, burst or ignite, resulting in fire, electric shock, malfunction, etc.

If there is unusual sound/odor, smoke or any other abnormality:

Compulsory

Continued use may cause fire, electric shock, etc.; grasp plug to disconnect Charger from connector.

Keep liquids (water, pet urine, etc.) or conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.) away from Charging terminals, External Device.

Prohibited

May cause short circuit, resulting in fire, malfunction, etc.

⚠Caution

Do not place handset or related hardware on unstable surfaces.

Prohibited

Handset or related hardware may fall, resulting in injury, malfunction, etc.; be especially careful when Vibration is set or during Charge.

Keep handset and related hardware out of infants' reach.

Compulsory

Infants may choke from swallowing handset or related hardware or be injured, etc.

If your child is using handset and related hardware, explain all instructions and supervise usage.

Compulsory

Misuse may cause injury, etc.

Battery

⚠Danger

Read battery label to confirm battery type; use/dispose of battery accordingly.

Display	Battery type
Li-ion00	Lithium-ion

Do not dispose of battery in fire.

Prohibited

Battery may leak, burst, ignite, etc.

Do not damage battery (with a nail, hammer, foot, etc.) or subject it to strong impacts or shocks.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Keep wire or other metal objects away from battery terminals. Do not carry/store battery with conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

If battery fluid gets in eyes, do not rub; rinse with water and consult a doctor immediately.

Compulsory

Eyes may be severely damaged.

⚠Warning

If battery fluid contacts skin or clothes, discontinue handset use and rinse with clean water immediately.

Compulsory

May cause skin damage.

If battery does not charge properly, stop trying.

Compulsory

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery, being careful not to burn or injure yourself. Avoid fire sources.

Compulsory

Continued use may cause battery to leak, overheat, burst, ignite, etc.

⚠Caution

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse.

Prohibited

Tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Handset

⚠Warning

Do not use handset while driving or cycling.

Prohibited

Accidents may result.
Phone use while driving or cycling is prohibited by law and subject to a penalty; park in a legal parking space beforehand.

Turn handset power off near electronic devices that employ high precision control systems or weak signals.

Compulsory

May cause electronic malfunctions, etc. Be especially careful near the following devices:
Hearing aids, implanted pacemakers/defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.

Because handset radio waves may impair aircraft operations, please power off handset while aboard.

Compulsory

When handset use aboard aircraft is allowed, please follow instructions of airline personnel.

Users with a heart condition should adjust ringtone Vibration and Volume as needed.

Compulsory

May cause heart damage.

If thunder is heard while outdoors, turn power off; find cover.

Compulsory

There is a risk of lightning strike or electric shock.

Do not look into Infrared Port during infrared transmissions.

Prohibited

Eyesight may be affected.

⚠Caution

Do not use handset when it may affect a vehicle's electronic equipment.

Prohibited

Handset use inside vehicles may cause electronic equipment to malfunction, resulting in accidents.

If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.

Compulsory

Metal and other materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Parts	Materials & Finishing
Housing (upper)	PC/SPRAY
Housing (lower)	PC+GF20%(STS INSERT)/SPRAY
Housing (front)	PC+GF20%/SPRAY
Housing (rear)	PC+GF20%/SPRAY
Upper DECO	PC/SPRAY
Keypad	PC/SPRAY
Side Key	PC+POLYURETHANE/SPRAY
Battery Cover	PC+GF20%/SPRAY

Keep handset away from magnetic cards, etc.

Prohibited

Data on bank cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be lost.

Do not swing handset by strap.

Prohibited

May harm self or others; strap may break, resulting in injury or handset malfunction/breakage.

Handset may become hot while in use, especially at high temperature.

Compulsory

Prolonged contact with skin may cause burn injuries.

Always maintain some distance from Speaker while ringtones, music or other handset sounds play.

Prohibited

Excessive volume may damage ears or hearing.

When view Digital TV, be sure to view in place with enough light and view from distance, otherwise it may cause decrease in vision.

Compulsory

Moderate handset volume when using Earphone Microphone.

Compulsory

Excessive volume may damage ears or hearing.

Charger (Sold Separately)

⚠Warning

Do not cover/wrap Charger while charging.

Prohibited

Charger may overheat, resulting in fire, malfunction, etc.

Use only the specified voltage.

Prohibited

Non-specified voltages may cause fire, malfunction, etc.

- AC Adapter (sold separately): AC 100V-240V (only for household wall sockets).

Leave Charger unplugged during periods of disuse; grasp plug to disconnect it.

Disconnect Power Source

May cause electric shock, fire or malfunction.

If liquids (water, pet urine, etc.) seep inside Charger, grasp plug from outlet and disconnect Charger immediately.

Disconnect Power Source

May cause electric shock, smoke/fire.

If plug is dusty, grasp it and disconnect Charger, then clean with a dry cloth.

Compulsory

Fire may result.

Plug Charger firmly into the outlet, keeping the plug and Charger charging terminals away from conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

Compulsory

May cause electric shock, short circuit, fire, etc.

Do not touch Charger plug with wet hands.

Do Not Use Wet Hands

May cause electric shock or malfunction, etc.

Do not touch Charger if thunder is heard.

Prohibited

May cause electric shock, etc.

⚠Caution

Grasp plug and disconnect Charger from outlet before cleaning.

Disconnect Power Source

May cause electric shock, etc.

Always grasp plug (not cord) to disconnect Charger from outlet.

Compulsory

Pulling the plug by cord may damage cord, causing electric shock, fire, etc.

Do not subject Charger (sold separately) to strong shocks or impacts while it is plugged into the outlet.

Prohibited

May cause malfunction or injury.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

⚠Warning

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.

Compulsory

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators.

If you intend to use electronic medical equipment other than implanted pacemaker/defibrillator outside medical facilities, consult the vendor on radio wave effects.

Compulsory

Radio waves may interfere with electronic medical equipment.

Observe these rules inside medical facilities to avoid effects of radio waves on electronic medical equipment:

Compulsory

- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.
- Even in lobbies or other places where handset use is permitted, keep handset off near electronic medical equipment.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.

Turn handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.

Compulsory

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damage resulting from accidental loss/alteration of any data on handset/Memory Card. Please keep separate records of Phonebook entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels, or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  - **Eavesdropping**
    Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- Because handset radio waves may impair aircraftoperations, please power off handset while aboard.
  When handset use aboard aircraft is allowed, please follow instructions of airline personnel.

Function Usage Limits

- The following functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation:
  - Camera
  - Media Player
  - S! Appli
  - TV
- After a long period of disuse, these functions may be unusable; establish a Network connection to restore usability.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank Mobile is not liable for any resulting damage.
- Use handset between 5°C - 35°C. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing the lens to direct sunlight may damage the color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with a dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching Display.
- When using headphones, moderate the volume to avoid sound bleed.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. This may cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.

- Insert only specified devices into Headphone Port. Malfunction or damage may result.
- Always turn power off before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Phenomena of the Keypad Surface Swelling up

- The keypad surface might swell up due to drastic atmospheric changes (alpine regions, aboard in-flight aircraft, etc.) when the Battery Cover is in place. This is not an anomaly. It will return to normal after a while.
- If air has entered into the handset, open Port Cover to release the air.
- Slowly close the Battery Cover when closing it so that outside air does not enter in.
- Make sure to not damage the protruding points when firmly pressing on the swollen up parts on the keypad surface. They will return to normal after a while.

Water Resistance

840SC Water Resistance

840SC complies with IPX5 (former JIS protection level 5)[*1] and IPX7 (JIS protection level 7)[*2] water protection standards, with Port Covers closed and Battery Cover locked firmly.

*1 IPX5 compliant means that this handset continues to function as a phone after being subjected to a water jet (approximately 12.5 liters/min.) discharged from a nozzle (inner diameter: 6.3 mm), from all directions (approximately 3 m from handset) for at least 3 minutes.

*2 IPX7 compliant means that this handset continues to function as a phone and no water seeps inside after being gently lowered into a tank filled with still tap water (at room temperature) to the depth of 1 m, and immersed at the bottom for approximately 30 minutes.

- **Malfunction resulting from misuse is not covered by the warranty.**

Notes on Usage

- Lock Battery Cover and close Port Covers firmly. If even a mere tiny foreign particle (one strand of hair, one grain of sand, minute fibers, etc.) gets into the contact surfaces, this will produce the effect of water exposure.
- If Battery/Port Covers are left open liquid exposure may cause handset malfunction/electric shock. Power handset off, then remove battery.
- Since moisture might seep into the crevices between the keypad and hinges when the handset gets wet, remove any water and wipe off the handset with a clean dry cloth. Do not allow it to remain wet.
- In order to prevent water from getting inside when the handset is exposed to water droplets in the rain, or when one's hands or the handset get wet, absolutely do not open the Battery Cover or Port Cover. Slowly open the Battery Cover or Port Cover after the handset has completely dried out. In the event that liquid does get inside, do not use the phone, switch it off, remove the battery pack, then take it to a SoftBank Shop.
- In order to prevent water from getting inside when the areas around the Port Cover and the Battery Cover are wet, slowly open and close the Battery Cover after the handset has completely dried out.
- Handset is resistant to fresh/tap water at normal temperature (5°C - 35°C) only.

Precautions

- Do not expose the handset to or apply to it any liquids (soaps, detergents, soapy water, seawater, swimming pool water, hot spring water, boiling water, chemicals, and perspiration, etc.) other than fresh water or tap water. In addition, do not allow the handset to come into contact with sand or mud.
- If it was exposed to any liquids other than fresh water or tap water, immediately rinse off the handset with water. Position the handset approximately 10 cm. away from a tap or shower head where it can be washed off with a slightly weak low pressure water flow (less than 6 liters per minute, ambient temperature tap water (5°C - 35°C)). Wash the handset off by hand, do not use brushes or sponges, and do so with the Battery Cover in place and locked, while keeping Port Cover pressed in.

- Do not expose the handset to bathtubs or swimming pools. In addition, do not use (includes opening and closing the handset and keypad operations) it while in the water.
- Handset was not designed to be water pressure resistant. Do not expose it to strongly flowing (exceeding 6 liters per minute) tap water or shower water, and do not drop it onto water surfaces, or submerge it in water.
- Do not expose handset to extreme humidity for long periods; avoid prolonged use in bath/shower rooms.
- Use handset within 5°C - 35°C (up to 40°C for temporary use in bath/shower rooms, etc.) and 35% - 90% humidity.
- Handset is not heat-resistant. Do not use in saunas. Avoid hot air from dryers, etc.
- Avoid extreme temperatures (e.g., near stoves, inside refrigerators, etc.).
- Volume may be low when Microphone/Earpiece/Speaker is wet; dry handset before use. After drying out, the volume will return to normal.
- Avoid placing handset directly on sand. Sand may penetrate Earpiece, Speaker, etc., resulting in low volume.
- Do not move handset directly from a cold place to a warm humid place; condensation may occur. Should this happen, dry handset naturally at room temperature.
- 840SC does not float on water.
- Keep handset out of heavy rain.
- Do not let liquid-exposed handset remain wet; exposure to cold may freeze liquid causing malfunction.

Maintaining Waterproof Performance

- Do not subject handset to strong shocks or impacts; do not poke Microphone, Earpiece, Speaker, etc. with a cotton swab or sharp object;
- Port Cover and gasket play the important role of maintaining waterproofness. Do not remove or damage them. In addition, do not allow foreign particles to adhere to them.
- Do not insert sharp objects through Port Cover gaps; may damage gasket and affect water resistance.
- Do not leave Port Cover bent back for prolonged periods of time to plug in earphonemicrophone or Charger. It might deform the Port Cover and waterproofness might not be maintained.
- If Port Cover gasket is damaged or deformed, replace it with a new one.
- To maintain water resistance, replace gaskets every two years regardless of their condition. For gasket replacements, contact a SoftBank Shop.
- Damaged Battery/ Port Cover affects water resistance; contact a SoftBank Shop.

Charging Precautions

- Battery and optional accessories are not waterproofed. Avoid exposure to liquids or high humidity (e.g., precipitation, bath/shower room, restroom, etc.); may cause fire, electric shock or damage.
- Never charge battery while handset is wet; may cause fire or damage due to electric shock or short-circuit.
- Close Port Cover firmly after charging via External Device Port.
- Do not touch Charger with wet hands. Electric shock may occur.
- Do not use Charger in rooms in which water is regularly in use (kitchen, bath/shower room, etc.); may cause fire or electric shock.

If handset get soaked, see " 水抜きのしかた "(➔P.15-6).

If Port Cover get detached, see "端子キャップの取り付けかた"(➔P.15-7).

Precautions Regarding the UV Checker

- In order to be able to take correct measurements when using the UV Checker, aim the UV Sensor two or three times at the sun.
- The UV Checker may not be able to take correct measurements since it might be influenced by the weather and surrounding buildings.
- Use the UV Checker as a reference since it might not be able to take correct measurements.
- Correct measurements might not be taken if the UV Sensor is soiled (fingerprints, foreign particles, etc.).
- Be aware that the UV Sensor might be damaged by drastic temperature fluctuations.
- The UV Sensor may not function if the handset is dropped, or suffers a strong impact.
- Do not allow the UV Sensor to remain exposed (opened handset) to strong sunlight and ultraviolet rays. Be aware that this might damage the sensor.
- The UV Checker does not function when the handset is closed. Use it with the handset opened.
- If the UV Checker is successively used, it may not function normally.
- The area surrounding the UV Sensor might become discolored due to prolonged usage. This is not a malfunction.
- The UV Sensor cannot function in water.
- The actual intensity of the ultraviolet light might vary with the measurements of the UV Checker. Always use sunblock lotion etc. to protect one's skin from ultraviolet rays.
- Even though the UV Checker shows, "Not strong (you can safely spend time outside)," this does not mean that one is safe.
- The UV Checker's measurement times may vary depending upon the surrounding environment and conditions.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials for copyright holders. Duplicated material is limited to private use only.

Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

The software contained in 840SC is copyrighted material; copyright, moral right, and other related rights are protected by copyright laws. Do not copy, modify, alter, disassemble, decompile, or reverse-engineer the software, and do not separate it from hardware in whole or part.

SAR Certification

840SC meets the technical standards of Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) regarding radio wave absorption by a human body.

These technical standards are established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to human head from affecting human health. These standards assure that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2W/kg*. This value includes a substantial safety margin designated to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for 840SC is 0.183 W/kg. This value is obtained in accordance with the MIC testing procedure with the mobile phone transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in the SAR levels depending on phones, they all meet the MIC's permissible value. Because mobile phones are designed to employ the minimum power level required for the communication with the base station, the SAR of the phone during a call is usually below the maximum value.

For further information about SAR, please see the following websites:

MIC: http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

ARIB: http://www.arib-emf.org/

* The guideline is defined by relevant laws and regulations associated with the Radio Law (No. 2 of Article 14 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

SoftBank's Body SAR Policy

* Body SAR: The SAR value at the maximum transmission power when continuously talking with handset placed on the body and using earphone-microphone.

** Specific Absorption Rate (SAR): The value measured when having talked continuously for 6 minutes.

*** Placement on the body: Measurements are taken with the rear of handset facing the body at a distance of 1.5 cm as the ordinary handset position. In order to comply with radio frequency exposure requirements, use an accessory (e.g. belt clip, holster) that does not contain metallic parts to maintain a 1.5 cm separation between the body and handset.

For further information, see the following SoftBank website:

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.737 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.183 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

メモ

準備／基礎知識

1

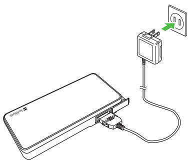
本機を使う準備

この章では、各部の名称や基本的な操作方法など、本機をお使いにあたり、はじめに知ってほしいことについて説明します。

各部の名称と機能

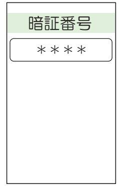
本機には、様々なボタンやカメラなどの機能があります。
また、ディスプレイには、様々なアイコンを使用しています。
それらのものについて説明します。

本機の充電



ACアダプタやパソコンのUSBポートなどを利用して本機を充電できます(➲P.1-10)。

本機で使用する暗証番号



本機では、次の暗証番号によってお客様確認を行っています。

- 操作用暗証番号
- 交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)
- PINコード
- USIM照合用パスワード

暗証番号は、本機から変えることもできます(➲P.1-14)。

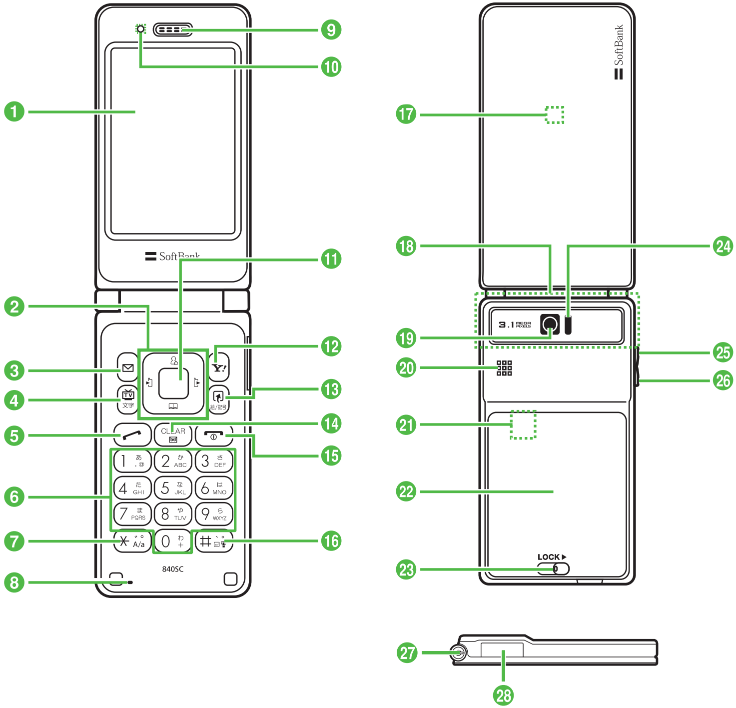
携帯電話ご使用時のマナー



公共の場では、マナーを守って携帯電話をお使いください。
本機では、マナーを守るために2つのモードがありますので、その場に応じてご使用ください(➲P.1-13)。
また、携帯電話の電源を切らなければならない場合は、電源をお切りください(➲P.1-11)。

各部の名称と機能

本体



❶ ディスプレイ

❷ マルチファンクションボタン
項目やカーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。

❸ メールボタン／左ソフトキー
メールメニューを呼び出すときに使います。
画面左下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときにも使います。

❹ TV ／文字ボタン
TV のメニュー画面を表示します。文字入力画面で文字の入力モードを切り替えるときにも使います。

❺ 開始ボタン
音声電話をかけたり、受けたりするときに使います。待受画面で押すと、発着信履歴を表示します。

❻ ダイヤルボタン 0 ～ 9
電話番号や文字を入力するときに使います。
メニューの選択にも使います。

❼ ＊ボタン
マナーモード設定画面の呼び出しに使います（1 秒以上押す）。

❽ マイク（送話口）

❾ レシーバー（受話口）

❿ 紫外線センサー
UV チェッカーで、紫外線の強さを測るときに使います。

⑪ メインメニューボタン／中央ソフトキー ◼
メインメニューを呼び出すときに使います。画面中央下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときにも使います。

⑫ Yahoo!ケータイボタン／右ソフトキー Y!
Yahoo! ケータイのメインメニューを呼び出すときに使います。画面右下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときにも使います。

⑬ ショートカットボタン
ショートカットバー(➔P.2-3)を表示します。

⑭ クリア／バックボタン CLEAR
文字を消去するときや、操作を 1 つ前の状態に戻すときに使います。

⑮ 電源／終了ボタン
電源を入れたり切ったりするときや、操作を終了するときに使います。

⑯ #／マナーボタン #
記号を入力するときなどに使います。
マナーモードの設定や解除にも使います（1 秒以上押す）。

⑰ 着信ライト
着信時や不在着信、メール着信などがあるときに点滅してお知らせします。また、充電中に赤色で点灯します。

⑱ 内蔵アンテナ

⑲ カメラ
撮影するときに使います。

⑳ スピーカー

㉑ メモリカード端子

㉒ 電池カバー
電池パックや USIM カードの取り付けや取り外しをするときは、ここを開けます。

㉓ 電池カバーレバー

㉔ 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使います。

㉕ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中などに音量を上げます。
UV チェッカーの起動に使います（1 秒以上押す）。

㉖ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中などに音量を下げます。
見せかけ着信の起動に使います（1 秒以上押す）。

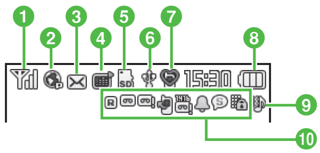
㉗ ストラップ取り付け穴

㉘ 充電端子／外部接続端子
AC アダプタやパソコンなどを接続する端子です。

注意

- 本機は内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。ご使用中の体の向きや通話している場所によっては通話品質が変わることがあります。
- 内蔵アンテナ部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。
- 周囲の明るさによっては、画面が明るくなったり暗くなる場合や、ちらつき現象が起こることがあります。

ディスプレイ



1 電波の受信レベル（棒の数が多いほど電波の状態が良好）

圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）

圏外（Language で、日本語以外が設定されている場合の表示）

電波 Off モード中

2 SSL 接続中

3G 網パケット通信中（待機中）

3G 網パケット通信中（データ送受信中）

パケット通信不可状態

音声電話通話中（発信中／着信中は点滅）

TV コール通話中（発信中／着信中は点滅）

3 新着メールあり

メール送信中

メール受信中

配信確認あり

空き容量なし（S! メール／ SMS）

コンテンツ・キー受信時

4 ミュージック再生中

ミュージック一時停止中

テレビ録画中

テレビ予約中

S! アプリ中

S! アプリ一時停止中

S! アプリ起動要求中

5 メモリカードを取り付けている状態

メモリカードに読み書き中

ソフトウェア更新表示

PC サイトブラウザ接続中

未読の S! 速報ニュースあり

未読の S! 情報チャンネルあり

6 USB 通信可能

（黄）USB 通信中

（灰色）赤外線通信接続中

（赤）赤外線通信データ送受信中

データ同期中

7 マナーモード中

運転中モード中

会議モード中

アウトドアモード中

おやすみタイマー起動中

8 電池が十分残っている

電池が少し減っている

電池の残量が少ない

電池がほとんど残っていない

（赤で点滅）電池残量なし

電池残量が少ない（省電力モード）

電池がほとんど残っていない（省電力モード）

9 音声着信時に着信音とバイブレータが鳴動するように設定中

音声着信時に着信音が鳴り、バイブレータが振動しないように設定中

音声着信時にバイブレータが振動し、着信音は鳴らないように設定中

音声着信時に着信音もバイブレータも鳴動しないように設定中

10 ローミング中

簡易留守録設定中

未再生の簡易留守録メッセージあり

留守番電話または音声電話の転送電話「呼出なし」を設定中

未再生の留守番電話メッセージあり

アラーム設定中

スケジュールあり

アラーム設定したスケジュールあり

予定リストあり

アラーム設定した予定リストあり

シークレットモード設定表示中

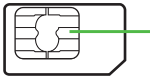
キー操作ロック中

誤動作防止設定中

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。本機は、USIMカードが取り付けられていないと利用できません。



USIM（ユーシム）カード

- USIMカードには電話帳とSMSを保存できます。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し、故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。

注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- 国内外を問わず、USIMカードならびにソフトバンク携帯電話(USIMカード挿入済み)の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先(➲P.15-32)までご連絡ください。
- 本機の修理やUSIMカードの交換、機種変更を行った場合、本体やメモリカードに保存した着うた®や着うたフル®、動画などのファイルがご利用になれなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、データが消失または変化した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

USIMカードを取り付ける／取り外す

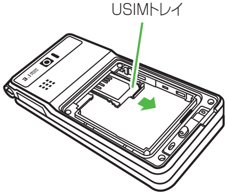
注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、USIMカードや本機が破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは、紛失しないようにご注意ください。
- USIMカードの取り付けや取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。
- USIMカードの取り付けや取り外しをするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままUSIMカードを取り外すと、本機が再起動することがあります。
- USIMトレイの左右部分に無理な力を加えると、USIMトレイが破損することがありますのでご注意ください。

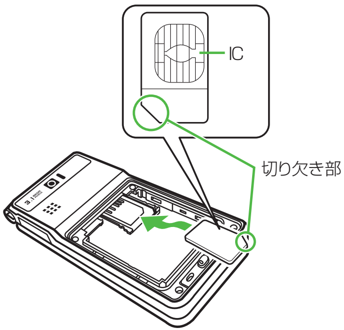
取り付ける

1 電池カバー／電池パックを取り外す
(➲P.1-9 取り外す 1 ～ 3)

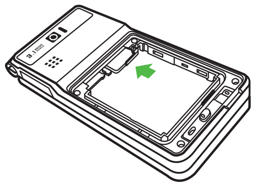
❷ USIM トレイを引き出す



❸ USIM カードの金色の IC 部分を下側にし、切り欠き部の向きに注意して USIM トレイに差し込む



❹ USIM トレイを奥まで押し込む

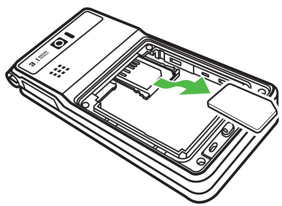


取り外す

❶ 電池カバー／電池パックを取り外す
(➲P.1-9 取り外す ❶ ～ ❸)

❷ USIM トレイを引き出す

❸ USIM カードを少し持ち上げながらスライドして取り外す



電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

注意

- 本機に使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。
- 電池パック単体で充電することはできません。必ず本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。
- 充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。

充電について

- 電池残量のない状態で保管、放置はしないでください。電池パックを長期間保管または放置される場合でも、半年に 1 回程度、電池パックの充電を行ってください。長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなったり、使用できなくなる場合があります。
- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電ができます。

- 次のような場所では充電しないでください。
  - 周囲の温度が5℃以下、または40℃以上になる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先（➲P.15-32）までご相談ください。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

電池パックの持ちについて

次のような使い方や操作をすると、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 使用環境
  - 極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5～40℃の温度範囲でご使用ください）
  - 電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - 本機や電池パック、充電器の充電端子の汚れ（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 操作
  - カメラでの撮影を何度も行ったとき
  - 動画や音楽を再生したとき
  - メール作成などで連続した操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
  - テレビを視聴しているとき
- 設定
  - スライドショーを設定しているとき
  - ディスプレイ設定の「バックライト」で明るさのレベルを上げているときや、長時間の点灯を設定しているとき
  - メディアプレイヤーのバックライトが「常時On」に設定されている状態で、ムービーを再生したとき

不要になった電池パックは

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その規則に基づいて廃棄してください。
リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

電池が切れると

電池がほとんど残っていない状態になると、警告音とメッセージでお知らせします。電池パックを充電してください。そのまま充電をしないでいると、自動的に本機の電源が切れます。

電池パックを取り付ける／取り外す

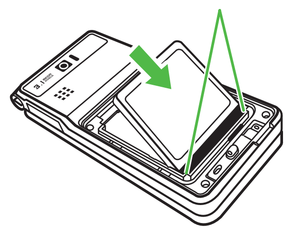
注意

- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。本機の充電端子が壊れる場合があります。
- 電池カバーが外れた状態で使用すると、電池パックが抜ける恐れがあります。使用するときには、電池カバーを正しく取り付けてください。
- 強い衝撃などを与えると、電池カバーが曲がって取り付けにくくなることがあります。

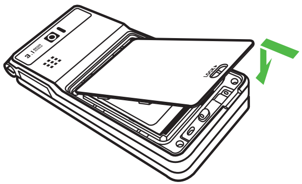
取り付ける

1 電池カバー／電池パックを取り外す（➲P.1-9 取り外す 1 ～ 2）

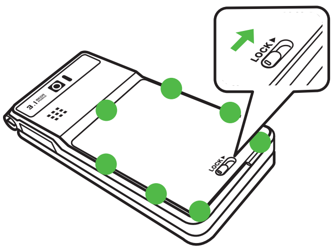
2 本機の突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける



3 電池カバーを取り付ける



4 電池カバーレバーをロックする



注意

防水性能について

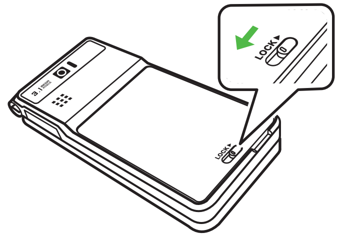
電池カバーと端子キャップを取り外すときは、本体に水滴等が付いている場合は、よく拭き取ってから開けてください。装着するときは、ゴムパッキンと本体ケース面に異物が付着していないことをご確認して、浮きが無いように全体をしっかりと閉めてください。

電池カバーは完全に閉じるよう周囲(●)を押さえ、ロックレバーを「LOCK」位置にスライドしてご使用ください。

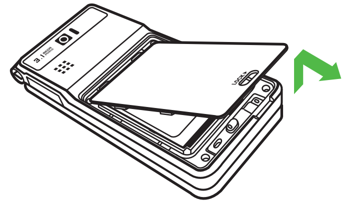
取り外す

電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、AC アダプタを接続していない状態で行ってください。

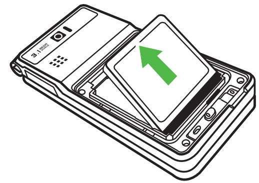
1 電池カバーレバーのロックを解除する



2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す



3 電池パックを持ち上げて、取り外す

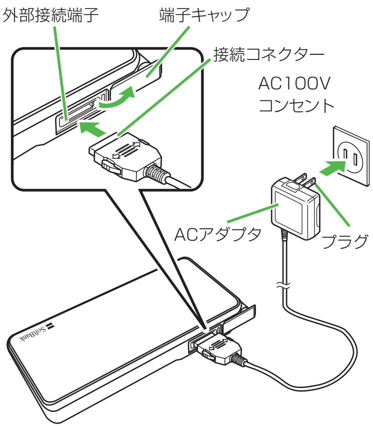


電池パックを充電する

- ソフトバンク指定のACアダプタ「ZTDAA1」（オプション品）を使用して充電します。本書では、この指定品を「ACアダプタ」と表記しています。
- 電源が入っているときは、ディスプレイの電池アイコンで電池の充電状態が確認できます。充電中は→→のように残量表示が変わり、充電が完了するとが点滅します。電源を切っているときは、充電が開始されるとディスプレイに「充電中…」と表示され、完了すると、「充電が完了しました」と表示されます。また、充電中は着信ライトが赤色で点灯します。
- 充電にかかる時間は、約150分です。時間は本機の電源をOFFにした状態で充電した場合の目安です。周囲の温度によっても変わります。

ACアダプタを利用して充電する

1. **端子キャップを開き、外部接続端子にACアダプタの接続コネクターを差し込む**



2. **ACアダプタのプラグを起こし、コンセントに差し込む**
3. **充電が終わったら、本機からACアダプタの接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、電源コードのプラグをAC100Vコンセントから抜く**

パソコンのUSBポートを利用して充電する

USBケーブルでパソコンと接続することにより、本機を充電できます。

1. **端子キャップを開き、外部接続端子にUSBケーブルの接続コネクターを差し込む**
2. **USBケーブルのUSBコネクターをパソコンのUSBポートに差し込む**
3. **充電が終わったら、本機から接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、USBケーブルのUSBコネクターをUSBポートから抜く**
   - ACアダプタを利用するときよりも、充電完了まで時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。電池がほとんど残っていない場合、充電できないことがあります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を画面が表示されるまで押し続ける

- 「しばらくお待ちください」と防水についての注意事項が表示されます。





待受画面

- お客様の電話番号を確認するには、■ → 0 を押します。オーナー情報の一部としてお客様の電話番号が表示されます。オーナー情報の編集やメニュー操作ができます（➲P.1-11）。
- 操作をしない状態が続くと電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。バックライトの点灯時間は変更できます（➲P.14-7）。

- お買い上げ後、初めて 、 などを押してネットワーク接続が必要となる機能を起動すると、ネットワーク自動調整をうながす確認メッセージが表示されます。「はい」を選択し、画面の指示に従ってネットワーク自動調整を行ってください。
  - USIMカードを交換したときや、「オールリセット」を行ったときにも確認メッセージが表示されます。
  - ネットワーク自動調整を行うと、日付／時刻が設定されます。また、メールやYahoo!ケータイなどネットワークを利用するサービスがお使いいただけます。
  - ネットワーク自動調整は、手動で行うこともできます（➲P.14-30）。
  - 本書では、ことわりがない限り、日付／時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

電源を切る

1 を画面が消えるまで押し続ける

- 終了画面が表示されたあと、電源が切れます。

注意

- 電源を切るときは、必ず を画面が消えるまで押し続けて正常に終了してください。

自分の電話番号など（オーナー情報）の確認／編集

オーナー情報として、名前、メールアドレス、血液型などを登録することができます。

自分の電話番号などを確認する

本機のUSIMに登録されているオーナー情報を確認することができます。

1 ■ → 0



- お買い上げ時の設定では、電話番号のみが登録されています。
- 待受画面から ■ →「電話機能」→「オーナー情報」でも確認することができます。

オーナー情報を編集する

ここでは例として、本機に姓名、電話番号、Eメールアドレスを登録します。

- 他の項目については、「電話帳に情報を登録したい」(➔P.2-19)を参照してください。



1 ■ → 0 → ✉(編集)

2 **名前：姓欄を選択→名字を入力**

3 **名前：名欄を選択→名前を入力**

4 **ヨミガナ：姓欄を選択→必要に応じて名字のヨミガナを編集**

5 **ヨミガナ：名欄を選択→必要に応じて名前のヨミガナを編集**

6 **電話番号欄を選択→電話番号を入力→「個人携帯」／「会社携帯」／「自宅」／「会社」／「FAX」／「TV コール」／「その他」**

7 **Eメールアドレス欄を選択→Eメールアドレスを入力→「個人携帯」／「自宅」／「会社」／「その他」**

8 ✉(保存)

- 文字の入力方法については「文字入力」(➔P.2-8)を参照してください。
- お買い上げ時の設定では、ご契約の電話番号のみが登録されています。この電話番号は、変更できません。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.1-16

- オーナー情報の項目をコピーしたい
- オーナー情報を送信したい
- オーナー情報をデータフォルダに保存したい
- オーナー情報をリセットしたい

持ち運ぶときのご注意（ボタンのロック）

本機を持ち運ぶときは、次の点にご注意ください。

- 鞄やポケットなどに入れて持ち運ぶときは、誤動作しないようにボタンをロックすることをおすすめします。
- AC アダプタを持ち運ぶときは、プラグを倒してください。また、コードを強く引っぱったり無理にねじったりすると、断線の原因となります。

本機を持ち運ぶときなどに誤動作しないよう、ボタンをロックすることができます。

1 ■(**1 秒以上**)

- 誤動作防止が設定されます。

- 誤動作防止を設定するとディスプレイ上部に🔒が表示されます。ボタン操作すると、誤動作防止を解除するためのガイダンスが表示されます。
- 誤動作防止を解除するには、ガイダンスが表示されている間に ■ を 1 秒以上押します。

マナーについて

携帯電話は、マナーを守ってご使用ください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、電源を切っておきましょう。
- 航空機内※や病院など、使用を禁止された区域では、電源を切っておきましょう。
  ※ 機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の人たちの迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

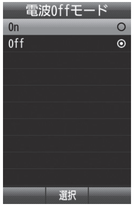
本機には、マナーを守るための 2 つのモードが用意されています。

- 電波 Off モード
  電波の送受信を停止するモードです。通信以外の操作はできます。
- マナーモード
  着信音や操作音などをミュートまたはバイブレータにするモードです。マナーモードは、ワンタッチで設定／解除できます。マナーモード以外に、着信音や操作音などが設定されたモードとして、通常モード、運転中モード、会議モード、アウトドアモードがあります。

- 電波 Off モードやマナーモードを利用して着信音をミュートにしたり、バイブレータにする方法のほかにも、着信の種類(音声通話、TV コール、S! メールなど)ごとに個別に着信音量、バイブレータを設定することもできます(➲P.14-4)。

電波 Off モードを設定／解除する

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「電波 Off モード」→「On」／「Off」



- 電波 Off モード中に電源を切ると、電源を入れ直したときに、電波 Off モードのままで電源を ON にするかどうかの確認画面が表示されます。[Y!](いいえ)を押すと、通常モードで電源が入ります。

マナーモードを設定／解除する

簡単な操作で現在設定中のモードからマナーモードを設定／解除できます。

1 [#](1 秒以上)

- マナーモード中はディスプレイ最上段に[マナー]が表示されます。
- マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
- マナーモードを解除する場合は、設定と同様に [#] を 1 秒以上押します。解除すると、マナーモードを設定する前に設定していたモードに戻ります。

モードを切り替える

マナーモードを含む 5 種類の中から選択できます。

1 [*](1 秒以上)

2 「通常モード」／「マナーモード」／「運転中モード」／「会議モード」／「アウトドアモード」

- モードは使用状況に合わせて選択し、必要に応じて設定を編集してご利用ください(➲P.15-12)。

モード	内容
通常モード※	本機から出る音を気にせずに使える状況に適したモード
マナーモード	本機から音を出さないモード
運転中モード	車の運転中にも使えるモード
会議モード	着信音や効果音が、あらかじめミュートに設定されているモード
アウトドアモード	着信音や効果音が、あらかじめ最大音量に設定されているモード

※ 通常モードのアイコンは、ディスプレイには表示されません。

使いこなしチェック!

設定

- キーライトを設定する（☞P.14-3）
- ボタン確認音を設定する（☞P.14-4）
- 効果音を設定する（☞P.14-5）
- 受信中に点滅する照明の色を設定する（☞P.14-5）
- 不在時に着信などがあったことをお知らせする照明の色を設定する（☞P.14-5）
- 閉じたときに点滅する照明の色を設定する（☞P.14-5）
- 電波Offモードを設定する（☞P.14-12）
- マナーモードを切り替える（☞P.14-7）

暗証番号の取り扱い

本機のご使用にあたっては、「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号（発信規制用番号）」が必要になります。

注意

- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先(➲P.15-32)までご連絡ください。
- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 入力を３回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(➲P.15-32)までご連絡ください。
- 以前、交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更された番号を入力してください。

操作用暗証番号

お買い上げ時は「9999」に設定されています。本機の各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いのメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 操作用暗証番号は、本機の操作で変更できます(➔P.11-3)。

交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)

ご契約時の4桁の番号です。契約内容の変更やオプションサービスを一般電話から操作するときや発着信規制サービスの設定を行うときに使います。

交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)の変更については、お問い合わせ先(➔P.15-32)までご連絡ください。

PIN コード

USIM カードには、「PIN コード」と「PIN2 コード」の 2 つの暗証番号があります。

PIN コード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための 4 ～ 8 桁の暗証番号です。

- PIN コードは本機の操作で変更できます(➔P.11-3)。
- 「PIN 認証」を「On」に設定すると、USIM カードを本機に取り付けて電源を入れたとき、PIN コードを入力しないと本機を使用できなくなります(➔P.11-4)。

PIN2 コード

累積通話料金のリセットや、通話料金の上限設定を行うときに使用する 4 ～ 8 桁の暗証番号です。

- PIN2 コードは本機の操作で変更できます(➔P.11-3)。

PIN ロック解除コード (PUK ／ PUK2 コード)

PIN ロック解除コード(PUK コード)とは、PIN ロック状態を解除するために使用する暗証番号です。PIN コードまたは PIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN ロック状態になります。

PIN ロック解除コードについては、お問い合わせ先(➔P.15-32)までご連絡ください。

注意

- PIN ロック解除コードを 10 回続けて間違えると、USIM カードがロックされ、本機を使用できなくなります。PIN ロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIM カードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➔P.15-32)までご連絡ください。

USIM 照合用パスワード

USIM パスワードとは、USIM カードの認証に使用する専用のパスワードです。

USIM パスワードが一致すれば、他の USIM カードでも本機を使用できます。

USIM パスワードは、「USIM 照合」を「On」に設定するたびに変更できます。

便利な機能

オーナー情報

オーナー情報の内容を編集したい

■→「電話機能」→「オーナー情報」→✉（編集）→（➔P.2-15 新規に電話帳を登録する ❷）

オーナー情報の項目をコピーしたい 【項目コピー】

■→「電話機能」→「オーナー情報」→項目を選んで Y! →「項目コピー」

- コピーした内容は、文字入力画面に貼り付けることができます。

オーナー情報を送信したい 【送信】

■→「電話機能」→「オーナー情報」→ Y! →「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→（➔P.4-4 S! メールを送信する ❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」（➔P.13-3）

オーナー情報をデータフォルダに保存したい 【データフォルダに保存】

■→「電話機能」→「オーナー情報」→ Y! →「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

オーナー情報をリセットしたい 【リセット】

■→「電話機能」→「オーナー情報」→ Y! →「リセット」→「はい」

- USIM カードに登録されている電話番号を除くすべてのオーナー情報がリセットされます。

共通機能／共通操作

2

共通機能と共通操作について

本機には、電話、メールなど様々な機能があります。
この章では、これらのたくさんの機能をお使いいただくために、機能の呼び出しかたや文字の入力方法など、本機をお使いいただくうえで共通して使う機能について説明しています。

様々な方法で機能を呼び出す



ショートカットなどを使うと、本機の機能を簡単に呼び出すことができます（➲P.2-3）。

文字の入力方法



日本語、英語、ハングルを入力できます（➲P.2-8）。

着信時の動作設定



着信音の設定やバイブレータの設定など、着信時の動作を設定できます（➲P.2-5）。

電話帳



ご家族やお友達など、よく電話やメールをする相手の電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録できます（➲P.2-14）。

機能の呼び出しかた

本機には、機能の呼び出しかたとして次の方法を用意しています。
1 つの機能でもいろいろな呼び出しかたができるので、簡単に機能をご利用いただけます。

- ショートカット
- メインメニュー（通常メニュー）
- メインメニュー（簡単メニュー）
- ショートカットボタン

ショートカットで機能を呼び出す

「発信」「メール」「Yahoo! ケータイ」「メディアプレイヤー」を呼び出すことができます。
ショートカットを使うと、通話中にインターネットを利用するなど、複数の機能を切り替えながら利用できます。

1 待受中または操作中に

2 で項目を選んで (選択)

- 起動中の機能を 1 つ終了するときは、終了する機能の画面を表示中に を押します。
- 起動中の機能をすべて終了するときは、ショートカットのを選んで (はい)を押します。

- 起動中の機能をすべて終了するときに、機能によっては終了するかどうかの確認メッセージが表示されることがあります。確認メッセージが表示されたときは、「はい」を選択して終了します。
- 文字入力画面、カメラ起動中はショートカットを表示させることはできません。

メインメニューから機能を呼び出す

本機のメインメニューは、通常メニューと簡単メニューがあります。
通常メニューでは、すべての機能が使用できます。
簡単メニューは、よく使用する機能を大きいフォントで表示しています。
通常メニューと簡単メニューの機能一覧は、「機能一覧」(➔P.15-8)を参照してください。

通常メニューから機能を呼び出す

1 待受中に



メインメニュー画面

2 項目を選択

3 操作 2 を繰り返して機能を呼び出し

- 操作を 1 つ前の状態に戻すには、CLEAR を押します。
- メニュー操作を終了するには、 を押します。 を押すと待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っている場合は、起動中のほかの機能に切り替わります。
- メニュー操作を途中でやめるには、 を押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- メニュー項目画面や一覧画面に「1」「2」などの項目番号が表示されている場合は、この数字のダイヤルボタンを押すことにより、項目を選択できます。
- メニュー名がすべて表示されていないメニューを選ぶと、メニュー名がスクロールします。また、メニュー名がスクロールする速度を変更することができます（➔P.14-6）。

〈例〉「壁紙」を変更する場合
「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」



「設定」を選んで■（選択）



「ディスプレイ設定」を選んで■（選択）



「壁紙」を選んで■（選択）



壁紙の設定画面が表示される

- 簡単メニューからも同様に操作できます。ただし、一部の機能については操作できません。



通常メニューと簡単メニューを切り替える

1. ■→「設定」→「メニュー切替」
2. 「通常メニュー」／「簡単メニュー」→■（選択）

待受中にショートカットボタンで機能を呼び出す

待受画面でショートカットボタンを押して、機能を呼び出すことができます。

ボタン		呼び出される機能
	1 回押し	メールメニュー
	長押し	S! メールの作成
	1 回押し	Yahoo! ケータイのメインメニュー
	長押し	Yahoo! ケータイのメニュー
	1 回押し	テレビメニュー
	長押し	テレビの起動
	1 回押し	ショートカット
	1 回押し	お気に入り
	1 回押し	着信履歴
	1 回押し	発信履歴
	1 回押し	電話帳の検索
	長押し	電話帳の登録
	1 回押し	メインメニュー
	長押し	誤動作防止の設定／解除
	1 回押し	全履歴
CLEAR	1 回押し	録音メッセージ再生
	長押し	簡易留守録の設定／解除
*	長押し	マナーモードの選択
#	長押し	マナーモードの設定／解除

ボタン		呼び出される機能
	1 回押し	受話音量の調節
	長押し	UV チェッカー
	1 回押し	受話音量の調節
	長押し	見せかけ着信の起動(「サイドキー起動」を「On」に設定した場合)

着信時の動作の設定

音声通話、TV コール、メール着信など、着信の内容ごとに着信音、着信音量、バイブレータの振動パターンを設定できます。
着信の内容ごとに設定を変えれば、着信音を聞くだけで（バイブレータの振動パターンだけで）、どの着信かを区別できます。

着信音量を設定する

着信音の音量を 0(Off)～5 の 6 段階で調整できます。

1 →「設定」→「音・バイブ・ライト」→「音量」



2 着信の種類を選択

3 で調節→ (選択)

- ／ でも音量を調節できます。

- 音量レベルを選んで (再生)を押すと、音量を確認できます。

着信音を設定する

お買い上げ時にすでに本機に登録されている着信音のほかにも、インターネットからダウンロードした着信音や着うた、ムービーや着信音 Flash® などを設定できます。

1 **■→「設定」→「音・バイブ・ライト」→「着信音」**



2 **変更する着信の種類を選択**

3 **着信音の種類を選択**

4 **着信音データを選択**

• 着信音データを選んで ✉(再生)を押すと、データが再生されます。

バイブレータを使う／解除する

着信時のバイブの振動パターンを Off、パターン 1 ～パターン 5 の 6 種類から設定できます。

1 **■→「設定」→「音・バイブ・ライト」→「バイブ」**



2 **着信の種類を選択**

3 **バイブの選択操作**

■ バイブを使わないとき
「Off」

■ バイブのパターンから選択するとき
「パターン 1」～「パターン 5」

• バイブのパターンを選んで ✉(再生)を押すと、バイブの振動パターンを確認できます。

使いこなしチェック!

設定

● 音量を設定する（☞P.14-4）
● 音声通話／ TV コールの着信音を設定する（☞P.14-4）
● 電話以外の着信音を設定する（☞P.14-4）
● 電話以外の着信鳴動時間を設定する（☞P.14-4）
● 待ちうた ™ を探す（☞P.14-4）
● 待ちうた ™ を設定する（☞P.14-4）
● 待ちうた ™ の開始／解約を設定する（☞P.14-4）
● 待ちうた™の説明を確認する（☞P.14-4）
● バイブレータを設定する（☞P.14-4）

待受画面

自分で撮影したお気に入りの静止画や複数の静止画で作ったスライドショーなどで、待受画面をお好みに設定できます。

ディスプレイの壁紙を設定する

データフォルダに保存されている静止画やアニメーション、スライドショーを壁紙に設定できます。また、静止画を表示しないように設定することもできます。

1 ▣ →「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」



2 壁紙の設定操作

■ 固定データを設定するとき
「固定データ」→ファイルを選択→ ▣(設定)

■ ピクチャーを設定するとき
「ピクチャー」→ファイルを選択→ ▣(設定)

■ デジタルカメラを設定するとき
「デジタルカメラ」→ファイルを選択→ ▣(設定)

■ Flash® を設定するとき
「Flash®」→ファイルを選択→ ▣(設定)

■ スライドショーを設定するとき
「スライドショー」→(➲P.2-7 スライドショーを設定する 2)

■ 表示しないように設定するとき
「なし」

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

スライドショーを設定する

最大 9 枚の静止画を次々にスライド表示させる「スライドショー」を作成して、壁紙に設定できます。

1 ▣ →「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→「スライドショー」



2 ▣(追加)→画像をチェック→ ✉(完了)

- メモリカードがある場合は、✉ で本体とメモリカードを切り替えられます。
- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

3 スライドショーの編集操作

■ プレビューを見るとき
✉(プレビュー)→「はい」/「いいえ」

■ 効果を設定するとき
効果を選んで ◐ で項目を選択

■ 静止画 1 枚あたりの再生時間を変更するとき
切替時間を選んで◐で切替時間を選択

4 ▣(設定)→「はい」/「いいえ」

- **スライドショーのサイズ調整**
ディスプレイに合わせて表示するには、操作 4 で「はい」を選択します。元の縦横比率のまま全体を表示するには、「いいえ」を選択します。

カラーテーマを変更する

メニューの背景やタイトルやフォーカスをお好みの色に設定できます。

1. ■→「設定」→「ディスプレイ設定」→「カラーテーマ」→「カスタマイズ」を選んで ✉(編集)
2. 背景の色を選んで ■(次へ)
3. タイトルの色を選んで ■(次へ)
4. フォーカスの色を選んで ■(保存)
   - カスタマイズに変更が反映されます。

使いこなしチェック!

設定

- ディスプレイの表示言語を切り替える(☞P.14-2)
- タイムゾーンの更新の設定をする(☞P.14-2)
- タイムゾーンを変更する(☞P.14-2)
- サマータイムを設定する(☞P.14-2)
- 時刻を設定する(☞P.14-2)
- 日付を設定する(☞P.14-2)
- 時刻の表示形式を変更する(☞P.14-2)
- 日付の表示形式を変更する(☞P.14-2)
- 時刻補正を設定する(☞P.14-2)
- イヤホン挿入時の設定をする(☞P.14-2)
- ディスプレイの壁紙の設定を変更する(☞P.14-5)
- スマート壁紙を設定/解除する(☞P.14-5)
- スマート壁紙の壁紙を変更する(☞P.14-6)
- メインメニューの設定を変更する(☞P.14-6)
- メニューのカラーテーマを設定する(☞P.14-6)
- 時計/カレンダー表示の設定を変更する(☞P.14-6)
- ミニ時計を設定する(☞P.14-6)
- 文字について設定する(☞P.14-6)
- メニューリストの文字サイズを変更する(☞P.14-6)
- メニューリストの文字スクロール速度を変更する(☞P.14-6)
- ディスプレイの明るさを調整する(☞P.14-7)
- バックライト点灯時間を設定する(☞P.14-7)
- バックライトの省電力点灯時間を設定する(☞P.14-7)
- 省電力モードを設定する(☞P.14-7)
- ダイヤル表示の文字タイプを変更する(☞P.14-7)
- ダイヤル表示の文字サイズを変更する(☞P.14-7)
- ダイヤル表示の文字カラーを変更する(☞P.14-7)
- ダイヤル表示の背景色を変更する(☞P.14-7)
- 事業者名の表示設定をする(☞P.14-7)

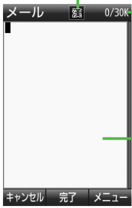
文字入力

漢字、ひらがな、カタカナ(全角/半角)、英数字(全角/半角)、記号(全角/半角)、絵文字、顔文字、ハングルを入力できます。

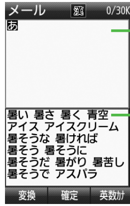
表示	入力モード	表示	入力モード
漢	漢字/かな(➲P.2-10)	#@	半角記号(➲P.2-11)
カ	全角カタカナ(➲P.2-10)	絵共	他社共通絵文字(➲P.2-11)
ｶﾅ	半角カタカナ(➲P.2-10)	絵全	全絵文字(➲P.2-11)
A	全角英字(➲P.2-10)	顔	顔文字(➲P.2-11)
Ab	半角英字(➲P.2-10)	가나	ハングル(➲P.2-12)
1	全角数字(➲P.2-10)	a	全角英字(小文字)(➲P.2-10)
12	半角数字(➲P.2-10)	ab	半角英字(小文字)(➲P.2-10)
※	全角記号(➲P.2-11)		

入力モードの切り替えについては、「入力モードを切り替える」(➲P.2-9)を参照してください。

文字入力画面の見かた



候補表示エリアの見かた



※ 候補表示エリアは、全角および半角のカタカナ、全角の英字、数字の各入力モードでは表示されません。予測入力の機能を解除すると、漢字／かな入力モードでは [✉]（変換）や [Y!]（英数カナ）で文字を変換したときに表示されます。

- 季節や時間によって、候補表示エリアに表示される候補の種類や順番が変化します。
- 日時設定やアラームの時刻設定など数字しか入力できない場合は、文字入力画面には切り替わりません。登録、設定画面の入力欄に数字を直接入力します。
- 文字の入力中や編集中に音声電話や TV コールがかかってきたときは、そのまま応答してください。通話が終了すると、元の文字入力画面に戻ります。アラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させると元の画面に戻ります。

入力モードを切り替える

入力モード（漢字ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字、顔文字、ハングル）を切り替えます。

1 **文字入力画面で [TV]**



2 **切り替えたい入力モードを選択**

- 文字入力画面で [絵] を押すと、他社共通絵文字に切り替わります。[TV] ／ [絵] を押すと、他社共通絵文字、全絵文字、記号（全角）、顔文字が切り替わります。

ひらがな／漢字を入力する

候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。予測候補を使わずに、入力したひらがなを目的の文字に変換することもできます。候補表示エリアにカタカナや絵文字などが表示されたときは、これらの文字も入力できます。
ここでは例として、「鈴木」と入力します。

1 文字入力画面で [TV]

2 「漢かな」

3 [3](3 回)

- 「す」と入力されます。

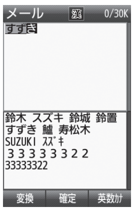
4 [→]

- 続けて同じキーの文字を入力する場合、[→] でカーソルを移動します。

5 [3](3 回)→ [＊]

- 「ず」と入力されます。

6 [2](2 回)



- 「き」と入力されます。

7 予測候補から「鈴木」を選んで [●](選択)

- キー入力中、「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるひらがなを入力したあと、[＊] を押します。
- キー入力中、「っ」などの小文字を入力する場合は、小文字にするひらがなを入力したあと、[＊] を押します。
- 文字を間違えた場合は、[CLEAR] を押して文字を消し、もう一度入力します。
- キー入力中、キーを押しすぎた場合は [↩] を押すと、同じボタンの 1 つ前の割り当て文字に戻ります。
- ひらがなで決定する場合は、[●](確定)を押します。
- 目的の予測候補が表示されていない場合は、[✉](変換)→必要に応じて [→] で変換する範囲を変更→変換候補を選んで [●](選択)→同じ操作を繰り返してすべての文字を決定する操作をします。
- 目的の漢字に変換されないときは、漢字の読みかたを変えて入力してください。一度に変換できない 2 文字以上の漢字は、変換する範囲を 1 文字に変更して変換してください。
- 候補表示エリアに予測候補が表示されているときに [✉](変換)を押すと変換候補が、変換候補が表示されているときに [✉](予測)を押すと予測候補が表示されます。

カタカナ／英字／数字を入力する

半角英字のときは、候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。

1 文字入力画面で [TV] →「カナ」／「ｶﾅ」／「Ａｂ」／「Ab」／「１２」／「12」

2 カタカナ／英字／数字を入力

- キー入力中、「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるカタカナを入力したあと、[＊] を押します。
- キー入力中、「ッ」などの小文字を入力する場合は、小文字にするカタカナを入力したあと、[＊] を押します。
- 英字入力モード([A]、[Ab]、[a]、[ab])で文字を入力した後に [＊] を押すと、押すたびに大文字と小文字が切り替わります。
- 文字を間違えた場合は、[CLEAR] を押して文字を消し、もう一度入力します。
- キー入力中、キーを押しすぎた場合は [↩] を押して、同じキーの 1 つ前の割り当て文字に戻ります。
- キー入力中、続けて同じキーの文字を入力する場合は、[→] でカーソルを右に移動します。
- 漢かな入力モードで、文字を入力して [Y!](英数カナ)を押すとカタカナ／英字／数字に変換できます。例として、「くも」と入力して [Y!](英数カナ)を押すと、カタカナの「クモ」や英字の「C」、数字の「22277777」が変換候補として表示されます。また入力した文字の条件によっては、時刻や日付も変換候補として表示されます。

記号を入力する

￥や!などの記号を入力できます(➲P.15-15)。

1 文字入力画面で [TV] →「！＠＃」／「!@#」



- [↻] → [TV] ／ [↻] でも入力モードを切り替えられます。
- 入力したい記号が表示されるまで [✉](前ページ)／ [Y!](次ページ)を押します。

2 記号を選択

- 続けて記号を入力できます。記号入力をやめるときは、[CLEAR] を押します。

- 記号を一度入力すると履歴が残り、全履歴のタブに表示されます。
- 漢かな入力モードで、文字を入力して [✉](変換)を押すと記号に変換できます。例として、「てん」と入力して [✉](変換)を押すと、記号の「・」や「･･･」が変換候補として表示されます。

絵文字／顔文字を入力する

絵文字の入力だけでなく、記号を組み合わせることで顔文字の入力も行うことができます(➲P.15-15)。

1 文字入力画面で [TV] →「絵文字」／「顔文字」



- [↻] → [TV] ／ [↻] でも入力モードを切り替えられます。
- 入力したい絵文字(顔文字)が表示されるまで [✉](前ページ)／ [Y!](次ページ)を押します。

2 絵文字／顔文字を選択

- 続けて絵文字／顔文字を入力できます。絵文字／顔文字入力をやめるときは、[CLEAR] を押します。

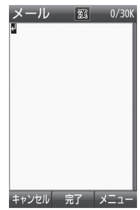
- 絵文字には、全絵文字モード([絵全])と他社共通絵文字モード([絵共])があります。他社共通絵文字モードは、メール本文／件名の入力画面でのみ選択でき、他社携帯で共通して使える絵文字を使う場合に使用します。

- 絵文字を一度入力すると履歴が残り、全履歴のタブに表示されます。
- 漢かな入力モードで、「はーと」や「でんわ」と入力して絵文字に変換できます。同様に、「わーい」や「えーん」などを顔文字に変換することもできます。

改行する

改行の操作は、「漢字かな」「カナ」「ｶﾅ」「Ａｂ」「Ab」「記」「記半」の入力モードで行うことができます。「ハングル」の入力モードでは、文末のみ改行の操作ができます。

1 [#](5 回)→ [■](完了)



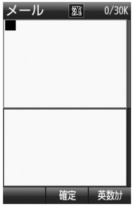
- 「記」「記半」の入力モードでは、改行記号を選んで [■](選択)を押して改行します。
- 文末で [▢] ／ [▯] を押しても改行できます。

- メールの件名入力画面など、画面によっては、改行の操作ができない場合があります。

スペースを入力する

入力モードによって、スペースの入力方法は異なります。

「漢かな」「カナ」「ｶﾅ」の場合



1 0わ（5回）

•「漢かな」では、その後 ■（確定）を押すとスペースを入力できます。

「Ａｂ」「Ab」の場合



1 0わ（2 回）

「記」「記半」の場合



1 ◎ で　を選んで ■（選択）

「ハングル」の場合



1 0わ（3 回）

•入力モードが「１２」「12」「絵文字」「顔文字」の場合は、上記の入力モードに切り替えて入力します。
•文末にカーソルがある場合は、▣ でもスペースを入れられます。
•メールの宛先入力画面など、画面によっては、スペースの入力ができない場合があります。

ハングルを入力する

1 文字入力画面で ▣ →「ハングル」



• 確認メッセージが表示されたときは、「OK」を選択します。

2 文字を入力

• 画面に表示された文字に対応する数字を押して、子音と母音を組み合わせて文字を入力します。

子音の入力例	
ㄱ	4た（1 回押す）
ㅋ	4た（2 回押す）
ㄲ	4た（3 回押す）
母音の入力例	
아	0わ 1あ 2か
야	0わ 1あ 2か 2か
어	0わ 2か 1あ
여	0わ 2か 2か 1あ
오	0わ 2か 3さ
요	0わ 2か 2か 3さ
왜	0わ 2か 3さ 1あ 2か 1あ

メールアドレス／URL の一部を簡単に入力する

メールなどの一部の文字入力画面で、メールアドレスや URL の一部を簡単に入力することができます。

1 **文字入力画面で、Y! →「挿入」→「簡単アドレス入力」**



2 **メールアドレス／ URL の一部を選択**

文字を消去／編集する

1 **文字にカーソルを合わせ CLEAR**

- カーソル上に文字がない場合は、カーソルの左側の 1 文字が消去されます。
- カーソル以降の文字をすべて消去するには、CLEAR を 1 秒以上押します。カーソル以降に文字がない場合は、すべての文字が消去されます。
- ⓞ を押すと、文字入力を終了するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-18

- 本機に保存した情報を挿入したい
- 文字入力中にカーソルを文頭／文末に移動させたい
- 予測入力機能や学習機能などの設定をしたい

設定

- 文字入力の文字サイズを変更する(☞P.14-6)

ユーザ辞書

よく使う単語や文（最大 40 文字）をユーザ辞書に登録しておくと、「読み」を入力しただけで目的の単語や文が候補表示エリアに表示され、入力が簡単になります。

ユーザ辞書を編集する

1 **■ →「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「日本語辞書」／「英語辞書」→「新規登録」**

2 **語句欄を選択→単語や文を入力**

3 **読み欄を選択→文字を入力**



4 **✉（保存）**

入力した文字をユーザ辞書に登録する

1 **文字入力画面で Y! →「ユーザ辞書登録」**

2 **登録する文字の先頭を選んで ■（始点）**

3 登録する文字の末尾を選んで ■(終点)



4 「日本語辞書」/「英語辞書」

5 読み欄を選択→文字を入力→■(完了)

6 ✉(保存)

・改行を含む範囲を指定すると、改行前までの文字列が語句に登録されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-19

● ユーザ辞書の登録内容を削除したい

設定

● ユーザ辞書を登録する(☞P.14-3)

● ユーザ辞書の登録内容を編集する(☞P.14-3)

● ユーザ辞書の登録内容を削除する(☞P.14-3)

電話帳

本機には最大1000件の電話帳を登録できます。USIMカードに登録できる件数は、カードの種類によって異なります。USIMカードの電話帳は、カードを差し替えることにより、ほかのソフトバンク携帯電話でも利用できます。

1件の電話帳に登録できる内容は、「電話帳」(➔P.15-18)を参照してください。

注意

・大切なデータを失わないために

電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・電話帳が登録されている別のUSIMカードに差し替えた場合、差し替えて初めて電話帳を利用するときに、USIMカードの電話帳の内容を本機にコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとコピーが開始されます。

電話帳の見かた

本機の電話帳に登録した各項目(➔P.2-14)は3つのタブに分かれています。

それぞれのタブを選択することで表示する項目を切り替えます。



電話帳の各タブに表示される内容は次のとおりです。

タブ	項目	
	電話番号	
	Eメールアドレス	
	フォト	ホームページ
	グループ	会社
	誕生日	役職
	血液型	メモ
	住所	
	シークレットモード	バイブ:音声通話
	着信音:音声通話	バイブ:TVコール
	着信音:TVコール	バイブ:メール
	着信音:メール	

2 共通機能/共通操作

電話帳に登録する

電話帳は、本体と USIM カードに保存できます。お買い上げ時の電話帳の保存先は「本体」です。USIM カードに保存するには、保存先設定を変更します(➡P.14-13)。

ここでは、電話帳を新規に登録する方法と通話履歴から登録する方法について説明します。

新規に電話帳を登録する

本機に姓名、ヨミガナ、電話番号、E メールアドレスを登録します。

- 他の項目については、「電話帳に情報を登録したい」(➡P.2-19)を参照してください。

1 → (新規登録)

- 保存先設定(➡P.14-13)が「毎回確認」に設定されている場合、保存先を確認するメッセージが表示されます。「本体」/「USIM」を選択します。



電話帳の登録画面

2 名前：姓欄を選択→名字を入力

3 名前：名欄を選択→名前を入力

4 ヨミガナ：姓欄を選択→必要に応じて名字のヨミガナを編集

5 ヨミガナ：名欄を選択→必要に応じて名前のヨミガナを編集

6 電話番号欄を選択→電話番号を入力→電話番号のタイプを選択

7 E メールアドレス欄を選択→ E メールアドレスを入力→メールアドレスのタイプを選択

8 (保存)

- 電話番号欄に入力できる電話番号には、0 ～ 9 の数字のほか、#、*、P(ポーズ)、-、+(国際コード)を登録できます。*、P、- は を押すごとに切り替わります。+を入力するには、 を 1 秒以上押します。
- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

- Samsung New PC Studio で電話帳を同期すると、「シークレットモード -On」に設定されている電話帳は、同期されません(パソコン側にバックアップされません)。「シークレットモード -Off」から「シークレットモード -On」に変更した電話帳は、「シークレットモード -On」に設定して同期した時点から同期されなくなります。パソコン側でも削除されます。Samsung New PC Studio については、SAMSUNG ホームページ(http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/840download.html)からダウンロードしてご利用いただけます。

通話履歴から電話帳を登録する

通話履歴に記録されている電話番号を新規登録したり、既存の電話帳へ追加登録ができます。

1 ／／

2 通話履歴を選んで Y!



3 「電話帳登録」

4 電話帳の登録操作

■ 新しい電話帳に登録するとき
「新規」→（➲P.2-15 新規に電話帳を登録する ❷）

■ 既存の電話帳に追加登録するとき
「追加」→電話番号を登録する電話帳を検索して選択（➲P.2-16）→電話帳の登録操作（➲P.2-15）

- 保存先設定（➲P.14-13）が「毎回確認」に設定されている場合、保存先を確認するメッセージが表示されます。「本体」／「USIM」を選択します。

電話帳を検索する

本機では、「あかさたな」、「グループ」、「ヨミガナ」の検索方法で電話帳を検索できます。

1



電話帳の一覧画面

2 Y! →「設定」→「検索方法」

3 「あかさたな」／「グループ」／「ヨミガナ」

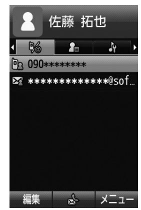
- 変更した検索方法の設定は保存されます。

4 電話帳を検索

■ 「あかさたな」を選択したとき
電話帳が五十音、英字、ハングル、数字、その他のタブに分かれて表示されます。
で目的の行に切り替え→ で電話帳を選択

■ 「グループ」を選択したとき
電話帳に登録されているグループが一覧で表示されます。
グループを選択→一覧から電話帳を選択

■ 「ヨミガナ」を選択したとき
電話帳がヨミガナのあいうえお順に一覧で表示されます。
一覧から電話帳を選択



電話帳の詳細画面

- 先頭の 1 文字を入力することで検索できます。
- セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」のとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面で [Y!] →「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力で、一時的にシークレットモードを解除してから操作します。

電話帳から電話をかける

1 電話帳を検索(➲P.2-16)→ [■](選択)



2 電話番号を選んで [■]([送信アイコン])

3 電話の発信操作

■ 音声電話をかけるとき
「音声通話」

■ TV コールをかけるとき
「TV コール」

■ 発信前に電話番号を編集してかけるとき
「ダイヤルにコピー」→電話番号を編集→ [■]([発信])／ [Y!] →「TV コール」／ [Y!] →「国際発信」(➲P.3-14 日本から海外へ電話をかける)

■ 国際電話をかけるとき
「国際電話」(➲P.3-14 日本から海外へ電話をかける)

電話帳を削除する

電話帳を 1 件削除する

1 [電話帳] →電話帳を選んで [Y!] →「削除」→「1 件」→「はい」

- 電話帳の詳細画面で [Y!] →「削除」→「はい」を選択しても電話帳を削除できます。

電話帳を複数件削除する

1 [電話帳] → [Y!] →「削除」

2 電話帳の削除操作

■ 複数削除するとき
「複数」→電話帳をチェック→ [✉](削除)→「はい」

■ 全件削除するとき
「全件」→操作用暗証番号を入力→ [■](OK)→「はい」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-19

- 電話帳に情報を登録したい
- 電話帳を送信したい
- 本機と USIM カードとの間で電話帳をコピーしたい
- 電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい
- USIM カードに保存されているサービス番号を表示したい
- 電話帳を編集したい
- 電話帳から項目をコピーしたい
- 電話帳に顔リンクデータを登録したい
- 電話帳からお気に入りに追加したい
- 「その他ファイル」フォルダに保存したい
- 電話番号を入力してから登録したい

設定

- スピード検索の設定をする（☞P.14-3）
- 電話帳の文字サイズを変更する（☞P.14-6）
- 優先的に登録される電話帳を変更する（☞P.14-13）
- 表示される電話帳（本機／ USIM カード）を変更する（☞P.14-13）
- 電話帳の検索方法を切り替える（☞P.14-13）
- 文字サイズを設定する（☞P.14-13）
- 電話帳の内容を全件コピーして本機／USIM カードに登録する（☞P.14-13）

便利な機能

待受画面の設定

スライドショーを編集したい

▣→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→「スライドショー」

■静止画を変更するとき

Y!→「画像変更」→静止画を選択

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択することができます。

■静止画の順序を変更するとき

静止画を選んで Y!→「並べ替え」→ ✥ で静止画を挿入する位置へ移動→ ▣（保存）

■静止画を削除するとき

静止画を選んで Y!→「削除」→「はい」

文字入力

日付や時刻を入力したい

文字入力画面で漢字／かな入力モードにし、数字が割り当てられているボタンを押してひらがなを入力→ Y!（英数カナ）→日付や時刻の変換候補を選んで ▣（選択）

記号／絵文字／顔文字の候補表示のページを移動したい

文字入力画面で、記号／絵文字／顔文字の候補表示エリアの表示中に ✉ ／ Y!

範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい

文字入力画面で Y!→「編集」→「コピー」／「カット」→コピー／カットをする最初の文字を選んで ▣（始点）→最後の文字を選んで範囲を指定→ ▣（終点）

- 文字入力画面上のすべての文字をコピー／カットする場合は、Y!（全て）を押します。
- コピー／カットを行うと、コピー／カットをした内容は電源を切っても保持されます。

コピー／カットした文字を貼り付けたい

文字入力画面で文字を貼り付ける位置にカーソルを移動→ Y!→「編集」→「貼り付け」

文字を元に戻したい

文字入力画面で Y!→「編集」→「元に戻す」

- 漢字／かな入力モードで直前に行った文字の入力や切り取り、貼り付け、削除などの操作を元に戻すことができます。変換した文字を元に戻すこともできます。

本機に保存した情報を挿入したい　［挿入］

文字入力画面で Y!→「挿入」

■メモ帳の文字を挿入するとき

「メモ帳」→メモ帳を選択

■バーコードから読み取った文字を挿入するとき

「バーコードリーダー」→バーコードの読み取り操作（➔P.10-9）

■電話帳の情報を挿入するとき

「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-16）→項目を選択

■オーナー情報を挿入するとき

「オーナー情報引用」→項目を選択

■署名を挿入するとき

「署名」

■メールアドレス／URLの一部を挿入するとき

「簡単アドレス入力」（➔P.2-13）

- 文字入力画面によっては、挿入できない項目もあります。

文字入力中にカーソルを文頭／文末に移動させたい　［カーソル移動］

文字入力画面で Y!→「カーソル移動」→項目を選択

予測入力機能や学習機能などの設定をしたい **［入力／変換設定］**

文字入力画面で [Y!] →「入力／変換設定」

■ **予測入力機能を設定／解除するとき**
「予測入力」→「On」／「Off」

■ **学習機能を設定／解除するとき**
「学習」→「On」／「Off」

■ **英語入力時に文頭文字を大文字にするとき**
「英文自動大文字化」→「On」／「Off」

■ **予測変換候補に濁音、半濁音の候補を含めるとき**
「フレキシブル検索」→「On」／「Off」

■ **学習機能をリセットするとき**
「学習リセット」→操作用暗証番号を入力→ [■]（OK）→「はい」

■ **絵文字／記号の履歴をリセットするとき**
「絵／記号履歴リセット」→「はい」

■ **文字サイズを変更するとき**
「文字サイズ」→「大」／「標準」／「小」

■ **カーソルの移動速度を変更するとき**
「自動カーソル」→「Off」／「遅い」／「普通」／「速い」／「高速」

ユーザ辞書

ユーザ辞書の登録内容を削除したい **［削除］**

[■] →「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「日本語辞書」／「英語辞書」

■ **1 件削除するとき**
項目を選んで [Y!] →「削除」→「1 件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
[Y!] →「削除」→「複数」→項目をチェック→ [✉]（削除）→「はい」

■ **全件削除するとき**
[Y!] →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ [■]（OK）→「はい」

電話帳

電話帳に情報を登録したい

[電話帳] → [✉]（新規登録）
または、
[電話帳] →電話帳を検索（➔P.2-16）→ [✉]（編集）

■ **グループを登録するとき**
[アイコン] →グループ欄を選択→項目を選択→ [✉]（保存）

■ **誕生日を登録するとき**
[アイコン] →誕生日欄を選択→生年月日を入力→ [■]（OK）→ [✉]（保存）

■ **血液型を登録するとき**
[アイコン] →血液型欄を選択→項目を選択→ [✉]（保存）

■ **住所を登録するとき**
[アイコン] →住所欄を選択→タイプ欄を選択→「個人」／「会社」／「その他」→郵便番号欄を選択→郵便番号を入力→国欄を選択→国名を入力→都道府県欄を選択→都道府県名を入力→市町村欄を選択→市町村名を入力→番地欄を選択→番地を入力→追加情報欄を選択→追加情報を入力→ [✉]（完了）→ [✉]（保存）

■ **ホームページの URL を登録するとき**
[アイコン] →ホームページ欄を選択→URL を入力→タイプを選択→ [✉]（保存）

■ **会社を登録するとき**
[アイコン] →会社欄を選択→会社名を入力→ [✉]（保存）

■役職を登録するとき

→役職欄を選択→役職名を入力→（保存）

■メモを登録するとき

→メモ欄を選択→内容を入力→（保存）

■シークレットモードを設定するとき

→シークレットモード欄を選択→「On」／「Off」→（保存）

- グループ以外はUSIMカードの電話帳には登録できません。

電話帳に着信画像を設定したい

→（新規登録）→→フォト欄を選択

または、

→電話帳を検索（➡P.2-16）→（編集）→→フォト欄を選択

■保存された画像を設定するとき

「ピクチャー」→ファイルを選択→（保存）

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■キャラクターを設定するとき

「キャラクター」→アイコンを選択→（保存）

■静止画を撮影して設定するとき

「カメラ起動」→静止画を撮影→（保存）

■設定した着信画像を解除するとき

「Off」→（保存）

- メモリカードに保存されているファイルを着信画像に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳に着信音を設定したい

→（新規登録）→→着信音欄を選択

または、

→電話帳を検索（➡P.2-16）→（編集）→→着信音欄を選択

■音声着信／TVコール着信を設定するとき

「着信音：音声通話」／「着信音：TVコール」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→（保存）

■メール着信を設定するとき

「着信音：メール」→「着信音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→「再生時間」→時間を入力→（OK）→（完了）

- ファイル選択後に（リセット）を押すと設定が解除されます。

- ファイル選択時に（再生）を押すとファイルが再生されます。
- メモリカードに保存されているファイルを着信音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳にバイブレータを設定したい

→（新規登録）→→バイブ欄を選択

または、

→電話帳を検索（➡P.2-16）→（編集）→→バイブ欄を選択→振動パターンを選択→（保存）

- バイブパターン選択時に（再生）を押すと本機が振動します。

電話帳からメールを作成したい

→電話帳を検索し、選択（➡P.2-16）

■電話番号からメールを作成するとき

電話番号を選んで（）→「S!メール」／「SMS」→（➡P.4-4 S!メールを送信する❺、P.4-6 SMSを作成・送信する❺）

■メールアドレスからメールを作成するとき

メールアドレスを選んで（）→（➡P.4-4 S!メールを送信する❺）

電話帳からホームページに接続したい

→電話帳を検索し、選択（➲P.2-16）→ →ホームページアドレスを選んで（接続）→「はい」

電話帳を送信したい **［送信］**

→ →「送信」

- 電話帳の詳細画面で →「送信」をしても送信できます。

■ メールで送信するとき

「メール添付」→電話帳をチェック→（送信）→（➲P.4-4 S! メールを送信する ❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→電話帳をチェック→（送信）（➲P.13-3）

本機と USIM カードとの間で電話帳をコピーしたい **［USIM にコピー］／［本体にコピー］**

■ 1 件コピーするとき

→電話帳を選んで →「USIM にコピー」／「本体にコピー」→「1 件」→「はい」

- 電話帳の詳細画面で →「USIM にコピー」／「本体にコピー」→「はい」を選択してもコピーできます。

■ 複数コピーするとき

→ →「USIM にコピー」／「本体にコピー」→「複数」→電話帳をチェック→（コピー）→「はい」

■ 本機／ USIM カードに保存されている電話帳をまとめてコピーするとき

→ →「USIM にコピー」／「本体にコピー」→「全件」→「はい」

電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい **［シークレット一時解除］**

→ →「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→（OK）

- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」にしているときに、「シークレットモード -On」に設定した電話帳を一時的に表示することができます。

USIM カードに保存されているサービス番号を表示したい **［サービス番号］**

→ →「サービス番号」

- USIM カードの種類によっては、「サービス番号」の項目は表示されません。

電話帳を登録するときの保存先を設定したい

→ →「設定」→「保存先設定」→「本体」／「USIM」／「毎回確認」

表示を USIM カード／本機の電話帳に切り替えたい

→ →「設定」→「表示切替」→「本体」／「USIM」／「本体と USIM」

- 電話帳表示を変更すると、次に設定を変更するまで設定は保持されます。

電話帳を編集したい

→電話帳を検索し、選択（➲P.2-16）→（編集）→（➲P.2-15 新規に電話帳を登録する ❷）

- 「シークレットモード -On」に設定している電話帳を編集するときは、あらかじめセキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」にします。
  または、
  →「シークレット一時解除」
  →操作用暗証番号を入力→（OK）を押します。

電話帳から項目をコピーしたい **［項目コピー］**

→電話帳を検索し、選択（➲P.2-16）→項目を選んで →「項目コピー」

電話帳に顔リンクデータを登録したい **［顔リンク］**

→電話帳を検索し、選択（➲P.2-16）→ →「顔リンク」

■ 保存された画像を設定するとき

「顔登録」→「画像 1」〜「画像 5」のいずれかを選択→「ピクチャー」→ファイルを選択→（登録）

■ 静止画を撮影して設定するとき

「顔登録」→「画像 1」〜「画像 5」のいずれかを選択→「写真撮影」→静止画を撮影

■ 顔リンクデータを解除するとき

「この人の写真」

- 1 件解除するとき
  顔リンクを選んで [Y!] →「解除」→「1 件」→「はい」
- 複数解除するとき
  [Y!] →「解除」→「複数」→顔リンクをチェック→ [✉](削除)→「はい」
- 全件解除するとき
  [Y!] →「解除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ [■](OK)→「はい」

電話帳からお気に入りに追加したい
[お気に入り登録]

[📖] →電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)→ [Y!] →「お気に入り登録」→番号を選択／「設定しない」→アドレスを選択／「設定しない」→ [✉](保存)

- [📖] → [■](追加)→電話帳を選択しても同じ操作ができます。
- お気に入りに登録しておくと、待受画面からキーでの短縮操作もできます。

「その他ファイル」フォルダに保存したい
[データフォルダに保存]

[📖] →電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)→ [Y!] →「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

電話番号を入力してから登録したい
[電話帳登録]

電話番号を入力→ [Y!] →「電話帳登録」

■ 新規で登録するとき

「新規」→(➲P.2-15 新規に電話帳を登録する ❷)

■ 追加で登録するとき

「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)→電話帳の登録操作(➲P.2-15)

- 姓名、ヨミガナ、E メールアドレス、グループ以外の項目は USIM カードの電話帳では登録できません。

グループを追加したい

[■] →「電話機能」→「グループ設定」→ [✉](追加)

■ グループ名を設定するとき

グループ名欄を選択→グループ名を入力→ [✉](保存)

■ グループアイコンを設定するとき

グループアイコン欄を選択→アイコンを選択→ [✉](保存)

■ 着信画像を設定するとき

グループフォト欄を選択→「ピクチャー」／「キャラクター」／「カメラ起動」／「Off」→着信画像を設定→ [✉](保存)

- 「ピクチャー」を選択した場合は、ファイルを選択します。
- 「キャラクター」を選択した場合は、アイコンを選択します。
- 「カメラ起動」を選択した場合は、静止画を撮影します。
- 「Off」を選択した場合は、着信画像は設定しません。

■ 着信音を設定するとき

- 音声着信／ TV コール着信を設定するとき
  「着信音：音声通話」／「着信音：TV コール」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→ [✉](保存)
- メール着信を設定するとき
  「着信音：メール」→「着信音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→「再生時間」→時間を入力→ [■](OK)→ [✉](完了)→ [✉](保存)

■ バイブレータを設定するとき

バイブ欄を選択→振動パターンを選択→ [✉](保存)

- USIM カードのグループにはグループ名とグループアイコンのみ設定できます。
- 着信画像や着信音などを電話帳ごとの個別に設定している場合は、グループごとの設定よりもそちらが優先されます。

グループの設定を変更したい

[■] →「電話機能」→「グループ設定」→グループを選んで [■](編集)→追加の場合と同じように、各項目を編集(➲P.2-22)

電話

3

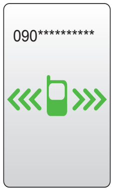
通話方法とオプションサービスについて

本機では、音声通話をするだけでなく、TV コールをかけたり、お気に入りに登録することで簡単に電話をかけることもできます。
また、留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用することもできます。
この章では、電話をかける方法とオプションサービスについて説明します。

通話の種類

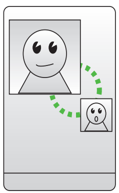
本機では、次の方法で通話することができます。

- 音声通話



音声のみを使って通話します(➲P.3-3)。

- TV コール



お互いの顔を見ながら通話できます。相手の機種も TV コールに対応している必要があります(➲P.3-5)。

電話に出られないときには

本機に着信中、電話に出られないときには簡易留守録などの機能を使用できます(➲P.3-9)。
また、電源を切っていたり、電波の届かないところで着信した場合に留守録を残したり、電話を転送するオプションサービスもあります(➲P.3-15)。

グローバルな通話

本機は、世界対応ケータイに対応しています。
別途お申し込みいただくと、日本だけでなく海外でも本機をご使用できます(➲P.3-14)。
また、国際電話も発信できますので、世界の様々な国で通話を楽しめます。

様々なオプションサービスの利用

留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用できます(➲P.3-15)。

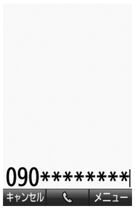
音声電話

ここでは、音声通話をかける方法、受ける方法、および通話中の操作について説明します。

音声電話をかける

ここでは、電話番号を直接入力して音声電話をかける方法について説明します。
電話帳から音声電話をかける場合は「電話帳から電話をかける」(➔P.2-17)を参照してください。

1 電話番号全桁(市外局番を含む)を入力



電話番号入力画面

2 電話番号を確認
→ ／ ( )

3 通話終了→

- 電話番号を間違えたときは を押します。 を 1 秒以上押すと、すべての数字が消えます。
- 電話番号として「P(ポーズ)」を入力するには、 を 2 回押します。「+(国際コード)」を入力するには、 を 1 秒以上押します。
- 相手がお話し中のときは、 を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。「オートリダイヤル」(➔P.14-12)を「On」に設定している場合は、自動的に電話を切ってリダイヤルする動作が繰り返されます。リダイヤルを停止するには、 (キャンセル)または を押します。
- イヤホンマイク(オプション品)を接続している場合は、「イヤホン通話」を「On」に設定すると、待受画面でイヤホンマイクのスイッチを 1 秒以上押すだけで指定した電話番号に電話をかけることができます。電話を切るときもスイッチを 1 秒以上押します。
- 自動音声サービスなどでガイダンスに従って数字を入力するときは、ダイヤルボタンを押します。

音声電話を受ける

ここでは、かかってきた電話を受ける方法について説明します。

1 着信中に



2 通話終了→

- 着信中に応答せずに保留にするには、 を押します。保留を終了して通話をするには、保留中に を押します。
- 着信音量を調節するには、着信中に ／ を押します。
- イヤホンマイク(オプション品)を接続しているときは、着信中にイヤホンマイクのスイッチを 1 秒以上押しても音声電話を受けられます。電話を切るときもスイッチを 1 秒以上押します。
- 電話に出なかったときは、不在着信としてお知らせします。通知を選択すると、着信履歴(➔P.3-11)を確認できます。

- 相手の電話番号が電話帳に登録され、個別またはグループごとの着信音が設定されているときは、設定されている着信音が鳴ります（➲P.2-20、P.2-22）。
  それ以外のときは、モードごとに設定されている着信音が鳴ります（➲P.15-12）。
  セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の設定で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、モードごとに設定されている着信音が鳴ります。
- 相手が電話番号を通知してかけてきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知設定」と表示されます。電話帳やグループに着信画像が設定されているときは、画像も表示されます（➲P.2-22）。セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の設定で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、名前や画像は表示されません。
- 電話に出られないときは、転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になれます。着信中に ✉（転送）を押すと、すぐに転送先または留守番電話サービスセンターに転送できます（➲P.3-16、P.3-17）。また、着信中に ■（留守録）を押すと、すぐに簡易留守録を利用することができます（➲P.3-9）。

通話中の操作

ここでは、通話中に使う操作方法について説明します。

通話音量を調節する

通話中に相手の声の音量を調節できます。

1 通話中に ▲ ／ ▼

- 受話口やイヤホンマイク（オプション品）のイヤホンから聞こえる相手の声の大きさを調節できます。変更した音量は、電源を切っても保持されています。

着信を保留する

相手との通話を保留にして、あとから保留を終了して通話を再開することができます。

1 通話中に ■（保留）

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。
- 通話に戻るときは ■（再開）を押します。
- 通話中の一時保留をご利用になるには、割込通話サービス（➲P.3-18）もしくはグループ通話サービス（➲P.3-19）へのお申し込みが必要です。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

通話を録音する

通話中に相手の声を録音できます。

1 通話中に Y! →「音声録音」→ ■（録音）



2 録音終了→ ✉（停止）

- 通話中にボイスレコーダーを利用して、相手の声を録音できます。最長２分間録音できます。
- 録音中に一時停止する場合は ■（一時停止）を押します。録音を再開するときは ■（録音）、一時停止したところまで保存する場合は ✉（保存）を押します。
- 録音された音声ファイルは、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。
- 割込通話サービスをご利用の場合、録音中に他の相手から電話がかかってくると、録音を終了して着信画面を表示します。
- 録音中に電話が切れると録音が自動的に終了し、音声が保存されます。

通話中にメモを作成する

通話中にメモを作成できます。

1. **通話中に Y! →「メモ」**
2. **✉(新規作成)→メモを入力→カテゴリ欄を選択→カテゴリを選択→ ✉(保存)**

- 既存のメモを編集する場合は、操作 1 のあと、既存のメモを選択→文字入力欄を選択→メモを入力→カテゴリを選択→ ✉(保存)を押します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-21
- 入力した電話番号を電話帳に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 音声の送信を設定したい
- 小さい声で通話したい

設定
- サイドボタン操作で応答拒否する/着信音を消す(☞P.14-3)
- エニーキーアンサーを設定する(☞P.14-3)
- オープン通話を設定する(☞P.14-3)
- 電話番号を指定して着信の許可/拒否を設定する(☞P.14-11)
- 着信拒否する電話番号を登録する(☞P.14-11)
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可/拒否を設定する(☞P.14-11)
- 非通知着信の許可/拒否を設定する(☞P.14-11)
- 公衆電話からの着信の許可/拒否を設定する(☞P.14-11)
- 電話番号が通知不可能な着信の許可/拒否を設定する(☞P.14-11)
- 発信者番号の通知/非通知を設定する(☞P.14-12)
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする(☞P.14-12)
- 着信音調節機能を設定する(☞P.14-12)
- イヤホン通話を使う(☞P.14-12)
- 通話中の音量を調節する(☞P.14-12)

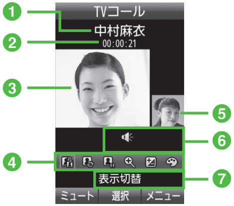
TV コール

TV コールに対応している携帯電話との間で、お互いの映像を見ながら通話できます。
ここでは、TV コールのかけ方、受け方の操作について説明します。

- スピーカーホン通話(➔P.3-23)中は、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。この場合は音量を下げるか、イヤホンマイク(オプション品)をお使いになることをおすすめします。
- 周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。この場合はイヤホンマイク(オプション品)をお使いになることをおすすめします。
- スピーカーホン通話のときは、相手の音声がスピーカーから流れます。周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。

注意

- ソフトバンクの TV コールと異なる方式の携帯電話と接続した場合に、通話が切れることがあります。このときも、切れるまでの通話料金が課金されます。



1. 相手の名前（電話帳に登録されていないときは、相手の電話番号）
2. 通話時間
3. 大画面（通常は相手の映像）
   表示切替アイコンを選択すると、小画面と表示を切り替えることができます。
4. 操作用アイコン
   - ：表示切替
   - ：自画像切替
   - ／：自画像の停止と再生を切替
   - ：ズーム
   - ：明るさ
   - ：エフェクト
5. 小画面（通常は自分の映像）
   表示切替アイコンを選択すると、大画面と表示を切り替えることができます。
6. 状態アイコン
   - ：私の音声ミュート On
   - ／：スピーカー Off ／スピーカー On
7. メニュー名
   選択しているメニュー名が表示されます。

TV コールをかける

ここでは、電話番号を直接入力して TV コールをかける方法について説明します。
電話帳から TV コールをかける場合は「電話帳から電話をかける」（➔P.2-17）を参照してください。

1 電話番号全桁（市外局番を含む）を入力

2 [Y!] →「TV コール」

3 通話終了→ [終話]

- **TV コールがつながらなかったときの操作**
  メニュー操作をうながす確認メッセージが表示されたときは「リトライ」を選択し、「音声電話」を選択して音声電話でかけ直したり、「メール作成」を選択して相手にメールの送信が可能です。「電話帳登録」を選択すると、相手の電話番号を本体または USIM カードの電話帳に登録できます。もう一度かけるときは「TV コール」を選択してください。

TV コールを受ける

1 TV コール着信中に [開始]

- 自画像を送信するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

2 通話終了→ [終話]

- TV コール着信中に応答せずに保留にするには、[■]（応答保留）または [終話] を押します。保留を終了して TV コール通話を開始するには、保留中に [■]（応答）または [開始] を押します。
- 着信音量を調節するには、TV コール着信中に [▲] ／ [▼] を押します。
- イヤホンマイク（オプション品）を接続している場合は、TV コール着信中にイヤホンマイクのスイッチを 1 秒以上押しても受けられます。TV コールを切るときもスイッチを 1 秒以上押します。
- TV コールに応答せずに切るには、[✉]（転送）または [Y!]（着信拒否）を押します。
- 操作 1 で [開始] を押した直後には自分の映像が大画面に表示されますが、この映像は相手に送信されていません。確認メッセージが表示された場合、自画像を送信するときは「はい」、代替画像を送信するときは「いいえ」を選択してください。選択操作後、TV コール通話が開始されると、小画面に自画像または代替画像が表示されます。
- 受話音量を調節するには、TV コール中に [▲] ／ [▼] を押します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-22

- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定してTVコールをかけたい

設定

- 自画像の代わりに送信する画像をお買い上げ時の画像に設定する（☞P.14-9）
- 自画像の代わりに送信する画像を設定する（☞P.14-9）
- TVコール中の相手画像の画質を調整する（☞P.14-9）
- TVコール中の自画像の画質を調整する（☞P.14-9）
- TVコール中の保留画像をお買い上げ時の画像に設定する（☞P.14-9）
- TVコール中の保留画像について設定する（☞P.14-9）
- TVコールに応答保留する際の画像をお買い上げ時の画像に設定する（☞P.14-10）
- TVコールに応答保留する際の画像について設定する（☞P.14-10）
- TVコール中の音声の送信について設定する（☞P.14-10）
- TVコール中にスピーカーを利用するかどうか設定する（☞P.14-10）
- TVコール中のバックライトの明るさを設定する（☞P.14-10）
- TVコールがつながらなかったときの動作を設定する（☞P.14-10）
- 指定した相手からのTVコール着信を自動で受ける（☞P.14-10）
- TVコール着信を自動で受ける相手を指定する（☞P.14-10）
- TVコール発信時の自画像の送信について設定する（☞P.14-10）
- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.14-11）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.14-12）
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする（☞P.14-12）
- 着信音調節機能を設定する（☞P.14-12）
- イヤホン通話を使う（☞P.14-12）
- 通話中の音量を調節する（☞P.14-12）

お気に入り

よく使う電話帳をお気に入りに登録すると、簡単な操作で電話／メールをすることができます。

お気に入りに登録する

お気に入りは20件の電話帳を登録できます。

1. ■ →「電話機能」→「お気に入り」
2. ■(追加)
   - すでにお気に入りが1件以上登録されている場合は、☒ →「追加」を選択します。
3. 電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)
4. 番号を選択／「設定しない」→アドレスを選択／「設定しない」→ ✉(保存)

- 登録した電話番号／メールアドレスを解除するときは、■ →「電話機能」→「お気に入り」→相手を選んで ☒ →「解除」→「1件」を選択します。
- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳は、お気に入りに登録できません。
- すでにお気に入りに登録されている電話帳を、「シークレットモード-On」に設定した場合はお気に入りから自動的に削除されます。

3
電話

お気に入りから電話をかける

1. ■→「電話機能」→「お気に入り」
2. 電話をかける相手を選んで■( )

・待受画面で ◘ を押してもお気に入りを表示できます。

お気に入りからメールを送信する

1. ■→「電話機能」→「お気に入り」
2. メールを送信する相手を選んで✉(✉)

・待受画面で ◘ を押してもお気に入りを表示できます。

緊急電話発信

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110(警察)」「119(消防)」「118(海上保安部)」のことです。
本機で発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のとおりです。

本機の状態	緊急電話発信
電波 Off モード中(➲P.1-13)	不可
通話料金上限(➲P.14-9)を超過したとき	可
電源On時ロック中(➲P.11-3)	不可
パスワードロック中(➲P.11-4)	可
PIN認証(➲P.11-4)で、未認証のとき	不可
USIM照合(➲P.11-5)で、未認証のとき	不可
発信規制中(➲P.3-20)	可

注意

・海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、本機の機能の設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関(警察など)に対して通知するシステムです。
本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

・発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
・基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります(遠方の基地局電波を受信したときなど)。
・緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあと、ご利用いただけるようになります。
・「184」を付けて、「110」「119」「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得することがあります。
・申し込み料金、通信料は一切必要ありません。

簡易留守録

電話に出られないとき、相手の用件を本機自体に録音できます。用件は 1 件につき最長 15 秒間録音でき、3 件まで保存できます。

簡易留守録を設定／解除する

1. ■ →「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」
2. 「On ／ Off 設定」→「On」／「Off」

- 簡易留守録を設定すると、ディスプレイに 📼 が表示されます。
- 待受画面で CLEAR を 1 秒以上押しても、設定／解除が行えます。
- 留守録された電話は、着信履歴として記録されます。

注意

- 電波の届かない場所にいるときや本機の電源を切っているとき、電波 Off モード中は、簡易留守録を利用できません。着信ができない状況の場合は、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。
- 本機のメモリ残量が 600K バイトより少ない場合は、簡易留守録を利用できません。

録音した用件を確認する

1. ■ →「電話機能」→「簡易留守録再生」
2. 用件を選択

- 簡易留守録に伝言メッセージが録音されると、ディスプレイに 📼 が表示されます。
- 待受画面で ⌒ →簡易留守録を選んで ✉（［📼］）→ ■（再生）を押しても、用件を確認できます。
- 待受画面で ■ →「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」→ ■（再生）を押しても、用件を確認できます。

録音した用件を削除する

1. ■ →「電話機能」→「簡易留守録再生」
2. 用件を選んで ✉（削除）→「はい」

- 「簡易留守録」から用件は削除されますが、「着信履歴」には「音声通話の不在着信」として記録が残ります。

使いこなしチェック!

設定

- 簡易留守録を設定する（☞P.14-9）
- 簡易留守録の応答時間を設定する（☞P.14-9）
- 簡易留守録に録音された用件を確認する（☞P.14-9）
- 応答メッセージの言語を設定する（☞P.14-9）

3

電話

着信拒否

着信中の電話を拒否する以外にも、特定の相手からの電話を拒否したり、知らない番号からの電話を拒否できます（➲P.14-11）。

着信中の電話を拒否する

1 着信中に 📧（拒否）

- 拒否した電話は、着信拒否履歴として記録されます。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になっていない場合は、着信中に ✉（転送）を押すと、着信を拒否します。このとき相手のディスプレイには、話し中または通信中であるという旨のメッセージが表示されます。ただし、相手がこの機能に対応していない場合は、メッセージは表示されません。

電話番号を指定して着信を拒否する

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「電話番号指定」→「On ／ Off 設定」→「On」

- 着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信通知」と表示してお知らせします。通知を選択すると着信履歴を確認できます。
- 指定している電話番号の着信を許可する場合は、「On ／ Off 設定」→「Off」を選択してください。

3 「拒否リスト」

4 📧 →「追加」→項目を選択→電話番号の登録操作（➲P.14-11）

- 登録した電話番号を削除するには、操作 3 のあと、電話番号を選んで 📧 →「削除」→「1 件」→「はい」を選択します。

電話帳以外の電話番号からの着信を拒否する

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「電話帳以外」→「On」

- 電話帳に登録していない電話番号の着信を許可する場合は、「電話帳以外」→「Off」を選択してください。

非通知の相手からの着信を拒否する

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「非通知」→「On」

- 非通知着信を許可する場合は、「非通知」→「Off」を選択してください。

公衆電話からの着信を拒否する

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「公衆電話」→「On」

- 公衆電話からの着信を許可する場合は、「公衆電話」→「Off」を選択してください。

電話番号が通知不可能な相手からの着信を拒否する

1 →「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「通知不可」→「On」

- 電話番号が通知不可能な着信を許可する場合は、「通知不可」→「Off」を選択してください。

通話履歴／ランキング

通話履歴には、着信履歴（かかってきた電話の履歴）と発信履歴（かけた電話の履歴）があります。ランキングには、発信履歴回数のランキングを表示します。それぞれの履歴／ランキングから相手の電話番号や通話時間などを確認したり、履歴／ランキングを利用して電話をかけたりすることができます。全履歴には 1000 件、着信履歴、発信履歴はそれぞれ 500 件まで記録されます。ランキングは 10 件まで記録されます。

通話履歴を確認する

1 → ／ ／

- 待受画面で を押しても全履歴が表示されます。
- 待受画面で を押しても着信履歴が表示されます。
- 待受画面で を押しても発信履歴が表示されます。



一覧画面
（着信履歴の場合）

2 履歴を選択

- 履歴一覧のアイコン
  履歴一覧には、音声電話、TV コールを識別するアイコンが表示されます。
  ：音声通話発信
  ：TV コール発信
  ：音声通話着信
  ：TV コール着信
  ：音声通話の不在着信
  ：TV コールの不在着信
  ：音声電話の着信拒否
  ：TV コールの着信拒否
  ：留守番電話のお知らせ
  ：着信のお知らせ
  ：簡易留守録
- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定しているとき、「シークレットモード -On」に設定されている電話帳は、履歴には電話帳に登録された名前などの情報は表示されません。
- 待受画面から →「電話機能」→「通話履歴」→ ／ ／ でも確認することができます。

ランキングを確認する

1 →



一覧画面

2 ランキングを選択

- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定しているとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、履歴には電話帳に登録された名前などの情報は表示されません。
- 待受画面から →「電話機能」→「通話履歴」→ でも確認することができます。

通話履歴／ランキングから電話をかける

1 → ／／／ →**履歴／ランキングを選択**

2 電話の発信操作

■ 音声電話をかけるとき
( )

- 通話履歴を選んで →「音声通話」を選択しても同じ操作が行えます。

■ TV コールをかけるとき
→「TV コール」

- 通話履歴を選んで →「TV コール」を選択しても同じ操作が行えます。

■ 国際電話をかけるとき
→「国際電話」→発信先の国を選んで ( )
または、
→「国際電話」→「ユーザ入力」→国番号を入力して ( )

- 通話履歴を選んで →「国際電話」→発信先の国を選んで ( )
または、
通話履歴を選んで →「国際電話」→「ユーザ入力」→国番号を入力して ( )を押しても同じ操作が行えます。

■ 番号を編集してかけるとき
→「ダイヤルにコピー」→電話番号を編集→ ( )／ →「TV コール」／ →「国際発信」(➔P.3-14 日本から海外へ電話をかける)

- 通話履歴を選んで →「ダイヤルにコピー」→電話番号を編集→ ( )／ →「TV コール」／ →「国際発信」(➔P.3-15)を選択しても同じ操作が行えます。

通話履歴を削除する

1 → ／／

2 履歴の削除操作

■ 1 件削除するとき
履歴を選んで →「削除」→「1 件」→「はい」

■ 複数の履歴を削除するとき
→「削除」→「複数」→履歴をチェック→ (削除)→「はい」

■ すべての履歴を削除するとき
→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ (OK)→「はい」

- 通話ごとの履歴を確認し、削除するときは、操作 1 のあと、履歴を選択→履歴を確認後 →「削除」→「はい」を選択します。

ランキングをリセットする

1. [発信キー] → [ランキング]
2. **ランキングのリセット操作**
   - ■ 1件リセットするとき
     ランキングを選んで [Y!] →「ランキングリセット」→「1 件」→「はい」
   - ■ 複数のランキングをリセットするとき
     [Y!] →「ランキングリセット」→「複数」→ランキングをチェック → [メール](リセット)→「はい」
   - ■ すべてのランキングをリセットするとき
     [Y!] →「ランキングリセット」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ [■](OK)→「はい」

使いこなしチェック!

[便利] ☞P.3-24

- 通話履歴/ランキングの電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい
- 通話履歴/ランキングの電話番号を電話帳に登録したい
- 通話履歴/ランキングの電話番号を着信拒否リストに追加したい
- ランキングの表示/非表示を切り替えたい

通話時間/通話料金/データ通信量などの確認

「通話後料金表示」は、ご契約の内容によりご利用になれないことがあります。また、「通話後料金表示」がご利用になれない場合、「通話料金上限設定」もご利用になれません。

通話データ管理の各項目から、次の操作ができます。

設　定	設定内容
累積	累積通話時間、累積通話料金の目安を確認、リセットできます。
直前の通話	前回の通話時間、通話料金の目安を確認、リセットできます。
累積データ通信量	累積送信データ量、累積受信データ量の目安を確認、リセットできます。
通話後料金表示	通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定します。
通貨設定	通貨単位の変更ができます。
通話料金上限設定	通話料金の上限の設定ができます。

1. **[■] →「設定」→「通話設定」→「通話時間・料金」**
2. **項目を選択**

- 確認した項目をリセットするには、[メール](リセット)を押します。

使いこなしチェック!

[設定]

- すべての通話の合計通話時間/合計通話料金を確認する(☞P.14-8)
- 前回の通話時間/通話料金を確認する(☞P.14-8)
- 累積データ通信量を確認する(☞P.14-8)
- 通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する(☞P.14-8)
- 通話料金の通貨単位を変更する(☞P.14-8)
- 通話料金の限度額を設定する(☞P.14-9)
- 通話料金の限度額の設定を解除する(☞P.14-9)

日本から海外へ電話をかける

日本から国際電話をかけることができます。

1 電話番号全桁(市外局番を含む)を入力

2 Y! →「国際発信」→発信先の国を選んで ■(📞)
または、
Y! →「国際発信」→「ユーザ入力」→国番号を入力して ■(📞)

- 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。

海外での利用(世界対応ケータイ)

本機は 3G ローミングエリアで利用できます。GSM ／ GPRS サービスエリアでは利用できません。
海外でのご利用の詳細については、『世界対応ケータイサービスガイド』またはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）を参照してください。
海外にお出かけになるときは、『世界対応ケータイサービスガイド』を携帯してください。

ネットワークを設定する

本機は、SoftBank 3G としてご提供している第三世代の 3G がご利用できます。3G ローミングエリアでは、接続するネットワーク(事業者)を切り替えることで海外でもご利用できます。

接続するネットワークを選択する

ご利用になる地域によって、ネットワーク(事業者)を切り替える必要があります。「手動」で切り替えることもできます。

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「国際設定」→「事業者設定」→「自動・手動設定」

2 設定の選択操作

■ 自動的にネットワークを選択させるとき
「自動」

■ 特定のネットワークを選択するとき
「手動」→ネットワークを選択

優先されるネットワークを設定する

ネットワーク選択を「自動」に設定したときに、優先的に選択されるネットワークの一覧を編集できます。

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」

2 優先度リストの編集操作

■ ネットワークリストから選択して追加するとき
Y! →「挿入」→「ネットワークリスト」→ネットワークを選択

■ ネットワークを新規追加するとき
Y! →「挿入」→「新規ネットワーク」→国番号欄で国番号を入力→ネットワークコード欄でネットワークコードを入力→ネットワーク名を選択→ネットワーク名を入力→ ✉(保存)

- 新規追加すると、一覧の最初にネットワークが追加されます。
- 操作 1 のあと、ネットワークを選んで Y! →「削除」→「はい」を選択するとネットワークを削除できます。
- **「新規ネットワーク」で設定できる項目は次のとおりです。**
  「国番号」：最大 3 桁
  「ネットワークコード」：最大 3 桁
  「ネットワーク名」：最大 20 文字

海外で電話をかける

海外での緊急通報は、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態、USIM の状態によって動作が異なるため、すべての国やエリアでの接続を保証できるものではありません（➔P.3-8）。

1 電話番号を全桁（市外局番を含む）入力→ [発信]

2 電話の発信操作

■ 日本へ電話をかけるとき
「日本の番号へ発信」

■ 滞在国へ電話をかけるとき
「滞在国の番号へ発信」

■ 日本以外の国へかけるとき
「その他の国の番号へ発信」→国を選択

■ 入力した番号にそのまま電話をかけるとき
「このまま発信」

- 「今後は表示しない」をチェックした場合、または「海外発信アシスト」を「Off」にした場合は、操作不要です。

- 国番号などを直接入力して電話をかけるには、[0] を 1 秒以上押して「+」を入力します。続けて国番号、先頭の「0」を除いた電話番号の順に入力して [発信] を押すと発信できます。イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。
- 電話番号の最初に「＋国番号」が付く場合は、操作 2 が不要です。

使いこなしチェック!

設定

- 国際コードを登録する（☞P.14-11）
- 国番号を追加／編集／削除する（☞P.14-11）
- 接続するネットワークを選択する（☞P.14-11）
- 優先されるネットワークをリストから設定する（☞P.14-11）
- 優先されるネットワークを新規追加する（☞P.14-12）
- 海外発信アシストを設定する（☞P.14-12）
- ネットワーク自動調整を手動で行う（☞P.14-30）
- 優先されたネットワークを探す（☞P.14-30）

オプションサービス

オプションサービスの種類は次のとおりです。

サービス	内　容
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。 •「着信お知らせ機能」を設定すると、電源を切っているときや圏外のときにかかってきた電話を通知画面でお知らせします（➔P.3-17）。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
割込通話サービス	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えながら通話することもできます。
グループ通話サービス	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大 6 人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。

サービス	内　容
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

注意

- 割込通話サービス、およびグループ通話サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。
- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)を参照してください。

留守番電話サービス

下記の転送条件に従って、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに転送します。
留守番電話サービスの種類は次のとおりです。

転送条件	内　容
呼出なし	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。
呼出あり	設定した呼出時間内に電話に出なかったときや、通話中または圏外などのために電話がつながらないときに転送します。

注意

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを設定しているときに留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは解除されます。

留守番電話サービスを設定する

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」

2 項目の選択操作

- ■ すぐに転送電話につなぎたいとき
  「呼出なし(0 秒)」
- ■ 呼び出し時間を設定したいとき
  「呼出あり(5-30 秒)」

- 「呼出あり」で留守番電話サービスを設定したときは、着信中(呼出時間の設定秒数内)に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に ✉(転送)を押すと、すぐに留守番電話サービスセンターに転送できます。

留守番電話サービスを解除する

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」

注意

- 転送電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されると、その旨の通知画面が表示され、ディスプレイに 📼 が表示されます。



アイコンとメッセージでお知らせする

■ 通知画面が表示されているとき
通知を選択→履歴の📼

- 伝言メッセージの詳細情報を確認するときは、通知画面で通知を選択→履歴を選択します。
- 伝言メッセージを聞かずに通知画面を消すときは、(閉じる)を押します。

■ 通知画面が表示されていないとき

- ■ →「電話機能」→「留守番電話再生」→ ■(📞)
  または
  「1416」を入力→ ⌒ ／ ■(📞)

- ガイダンスに従って数字を入力するときは、数字ボタンを押します。
- 本機から伝言メッセージを聞き、ガイダンスに従ってメッセージを消去すると、ディスプレイの 📼 が消えます。

着信お知らせ機能を設定する

留守番電話サービス設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、通知画面でお知らせします。また、通話中に留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 「1414」を入力→ ⌒ ／ ■(📞)

2 ガイダンスに従って操作

- 「通話サービス」の「着信お知らせ機能」からも設定できます。
- 通知された内容は、着信履歴として管理されます。
- 着信お知らせ機能は、通話料無料で設定できます。

使いこなしチェック!

設定

- 呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する（☞P.14-7）
- 呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する（☞P.14-7）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.14-8）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.14-8）
- 留守番電話の伝言メッセージを聞く（☞P.14-8）
- 着信お知らせ機能を設定する（☞P.14-8）

転送電話サービス

あらかじめ設定した転送条件（➲P.3-17）に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。転送は、着信種別（音声電話、TV コール）ごとに設定できます。

注意

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを設定しているときに転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスは解除されます。

転送電話サービスを開始する／終了する

サービスを設定するときは転送先を指定します。「音声／TV コール」「音声通話」「TV コール」から、それぞれ転送先を指定することができます。

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」／「留守番・転送全停止」

- 解除の場合は、確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。手順は終了です。

注意

- 留守番電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

2 「音声／TV コール」／「音声通話」／「TV コール」

3 「呼出なし（0 秒）」／「呼出あり（5-30 秒）」

4 転送先の設定操作

■ 前回の転送先を設定するとき
「前回転送先番号」→電話番号を選択

■ 電話帳から転送先を設定するとき
「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-16）→電話番号を選択

■ 電話番号を入力して設定するとき
「番号入力」→電話番号を入力

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に ✉（転送）を押すと、すぐに転送できます。

使いこなしチェック!

設定

- 転送電話サービスを設定する（☞P.14-8）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.14-8）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.14-8）

割込通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。このサービスは、音声電話でのみご利用いただけます。

割込通話サービスを設定／解除する

1 ■ →「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「割込通話」

2 「On」／「Off」

- 操作 1 のあと、「設定確認」を選択すると現在の設定を確認できます。

割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

1 割り込み音が聞こえたら ■（通話）→「通話保留して応答」／「通話終了して応答」

- ⌒ を押して、電話を受けることも可能です。
- 現在の通話を保留にして、あとからかかってきた電話に出るときは「通話保留して応答」を選択します。
- 現在の通話を切って、あとからかかってきた電話に出るときは「通話終了して応答」を選択します。

2 相手を切り替えるときは、⌒ → ■（グループ通話）

3 通話相手の切替操作

■ グループ通話に切り替えるとき
「全ての相手と通話」

■ 通話相手を切り替えるとき
「相手切替」

■ 相手を選択して通話を切るとき
「この相手と通話終了」

■ すべての通話を切るとき
「全ての相手と終話」

- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、■（再開）を押すと、保留にしていた相手との通話になります。
- 転送電話サービスや留守番電話サービスを設定している場合に割り込みに応答しなかったときは、転送先または留守番電話サービスセンターに転送されます。
- 転送条件を「呼出なし」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

使いこなしチェック!

設定

- 割込通話サービスを開始／解除する（☞P.14-8）
- 割込通話サービスの設定を確認する（☞P.14-8）

グループ通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。最大6人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1 通話中に電話番号を入力

- 電話帳から選択するには、Y! →「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-16）→電話番号を選択します。
- 通話履歴から選択するには、Y! →「通話履歴」→履歴を選択→ ■（ ）を押します。

2 ／ ■（ ）→つながったら通話

- 3人目以降に電話をかける場合は、グループ通話中でのみ可能です（保留中の相手がいるときはできません）。

通話相手を切り替える

1 複数の相手と通話中に ■（グループ通話）→「相手切替」

- 通話中の相手が電話を切っても、保留中の相手は保留状態のままです。保留中の相手と通話するには、■（再開）を押して保留を解除します。

すべての相手と通話する

1 複数の相手と通話中に ■（グループ通話）→「全ての相手と通話」

- 個別通話に切り替えるには、通話中に相手を選んで ■（グループ通話）→「この相手と通話」を選択します。

- すべての通話を切るには、通話中に ■（グループ通話）→「全ての相手と終話」を選択します。
- グループ通話中に相手が電話を切ったときは、残された相手との通話になります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-24

- グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい

発着信規制サービス

音声電話や TV コールの発着信、SMS の送受信を、次の規制内容で制限できます。

設定項目	内容
発信規制	
全発信規制	緊急通話以外、電話をかけられない、または SMS を送信できないようにします。
滞在国以外規制	滞在国以外へ電話をかけられない、または SMS を送信できないようにします。
日本／滞在国以外規制	滞在国と日本以外の国へ、国際電話をかけられない、または SMS を送信できないようにします。
着信規制	
全着信規制	すべての電話を受けられない、または SMS を受信できないようにします。
国際着信規制	滞在国以外からの電話を受けられない、または SMS を受信できないようにします。

- 設定時には、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）（ご契約時の 4 桁の暗証番号）の入力が必要です。
- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

注意

- 交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の入力を 3 回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.15-32）までご連絡ください。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「全発信規制」および「全着信規制」はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。

発信規制／着信規制を設定／解除する

発信規制および着信規制は、通話や通信の種別ごとに設定できます。

1 **■ →「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発信規制」**

2 **規制内容の選択操作**

■ 発信規制を選択するとき

「発信規制」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」

■ 着信規制を選択するとき

「着信規制」→「全着信規制」／「国際着信規制」

3 **「On」／「Off」**

4 **規制暗証番号を入力→ ■（OK）**

発着信規制の制限をすべて解除する

発信規制および着信規制の制限をすべて解除します。

1 **■ →「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」**

2 **「全ての発着信規制解除」**

3 **規制暗証番号を入力→ ■（OK）→「はい」**

発着信規制の設定状況を確認する

1 **■ →「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」**

2 **「設定確認」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」／「全着信規制」／「国際着信規制」**

使いこなしチェック!

設定

- 発信規制を設定する（☞P.14-8）
- 着信規制を設定する（☞P.14-8）
- 発着信規制の制限をすべて解除する（☞P.14-8）
- 発着信規制の設定を確認する（☞P.14-8）

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知するかどうか設定するサービスです。

発信者番号の通知／非通知を設定する

1. ■ →「設定」→「通話設定」→「発信者番号通知」
2. 「通知する」／「通知しない」

- 操作 1 のあと、「設定確認」を選択すると現在の設定を確認できます。
- 本サービスの設定にかかわらず、発信するごとに電話番号を通知／非通知にできます（➲P.3-21）。

使いこなしチェック!

設定

● 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.14-12）

便利な機能

電話

入力した電話番号を電話帳に登録したい **［電話帳登録］**

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→ Y! →「電話帳登録」→（➲P.2-22電話番号を入力してから登録したい）

入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい **［メール作成］**

電話番号全桁を入力→ Y! →「メール作成」→「S! メール」／「SMS」→（➲P.4-4 S! メールを送信する 5、P.4-6 SMS を作成･送信する 5）

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい **［番号非通知］／［番号通知］**

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→ Y!

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→ ⌒ ／ ■（📞）

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→ ⌒ ／ ■（📞）

- 指定しない場合は、発信者番号通知サービスの設定に従います。
- 「186」（通知）、「184」（非通知）を入力→電話番号を入力→ ⌒ ／ ■（📞）でも通知／非通知を設定できます。

音声の送信を設定したい **［ミュート］**

通話中に Y! →「ミュート」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中に Y! →「ミュートオフ」を選択します。

通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい

通話中に ✉（🔊）→「はい」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中に ✉（🔇）を押します。

小さい声で通話したい **［ささやき On］／［ささやき Off］**

通話中に Y! →「ささやき On」

- 「ささやき On」に設定すると、小さい声でも相手に大きな音声で伝えられます。
- 通常の通話に切り替えるときは通話中に Y! →「ささやき Off」を選択します。

通話中に各種機能を操作したい

通話中に Y!

■ プッシュトーン送信をするとき
「プッシュトーン送信」→番号を入力→ ■(送信)

■通話を録音するとき
「音声録音」→(➲P.10-13)

■ 通話中に電話帳を検索するとき
「電話帳」→(➲P.2-16 電話帳を検索する❸)

■ 通話履歴/ランキングを確認するとき
「通話履歴」→(➲P.3-11)

■ オーナー情報を確認するとき
「オーナー情報」→(➲P.1-11)

■ メールメニューを表示するとき
「メール」→(➲P.4-1)

■ カレンダーを確認するとき
「カレンダー」→(➲P.10-4)

■ メモ帳を確認するとき
「メモ」→(➲P.10-9)

TV コール

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して TV コールをかけたい

[番号非通知]/[番号通知]

電話番号全桁(市外局番を含む)を入力→ Y!

■ 番号を非通知にするとき
「番号非通知」→ Y! →「TV コール」

■ 番号を通知するとき
「番号通知」→ Y! →「TV コール」

- 「186」(通知)、「184」(非通知)を入力→電話番号を入力→ (発信) でも通知/非通知を設定できます。

送信画像/相手画像を設定したい

■ 自画像の送信を一時停止/再開するとき
TV コール中に(一時停止)/(再開)

■ 自画像を拡大/縮小するとき
TV コール中に(ズーム)→ズームを調整→ ■(OK)

■ 送信する映像の明るさを調節するとき
TV コール中に(明るさ)→明るさを調節→ ■(OK)

■ 送信する映像の色調を調節するとき
TV コール中に(色調)→項目を選択

■ 送信する画像を切り替えるとき
TV コール中に(画像切替)→「カメラ」/「代替画像」/「画像送信」

- 「画像送信」を選択した場合は、「ピクチャー」/「デジタルカメラ」→画像を選択→ ■(OK)

■ 自画像と相手画像の表示位置を切り替えるとき
TV コール中に(表示切替)

■ 相手画像を一時停止/再生するとき
TV コール中に Y! →「相手画像一時停止」/「相手画像再生」

■ 自画像の代わりに送信する画像を設定するとき
TV コール中に Y! →「設定」→「代替画像」→「固定データ」/「ピクチャー」/「デジタルカメラ」

- お買い上げ時の画像に戻すには、「固定データ」→ ■(設定)
- データフォルダから画像を選択するには、「ピクチャー」/「デジタルカメラ」→画像を選択→ ■(設定)

■ 相手画像/自画像の画質を調整するとき
TV コール中に Y! →「設定」→「受信画質」/「送信画質」→項目を選択

■ 通話/応答保留中に送信する画像を設定するとき
TV コール中に Y! →「設定」→「保留設定」→「通話中保留」/「応答保留」→「固定データ」/「ピクチャー」/「デジタルカメラ」

- お買い上げ時の画像に戻すには、「固定データ」→ ■(設定)
- データフォルダから画像を選択するには、「ピクチャー」/「デジタルカメラ」→画像を選択→ ■(設定)

■次回の TV コール時に自画像を送信するかどうか設定するとき

TV コール中に Y! →「設定」→「自画像送信」→「On」／「Off」

- 現在通話中の TV コールには設定が反映されません。

TV コール中に音声の送信を設定したい

TVコール中に ✉（ミュート）／（ミュートオフ）
または、
Y! →「設定」→「私の音声ミュート」→「On」／「Off」

TV コール中にスピーカーホン通話に切り替えたい

TV コール中に Y! →「スピーカー On」→「はい」／「スピーカー Off」

TV コール通話を保留／再開したい

TV コール中に Y! →「保留」／ ■（再開）

- 保留中は「通話中保留」で設定した画像が送信され、双方の音声が聞こえなくなります。

TV コール中のバックライトの明るさを設定したい

TVコール中に Y! →「設定」→「バックライト」→「On」／「Off」

再発信方法を設定したい

TV コール中に Y! →「設定」→「再発信方法」→項目を選択

TV コールの自動応答を設定したい

TV コール中に Y! →「設定」→「自動応答」

■設定／解除するとき

「On ／ Off 設定」→「On」／「Off」

- 「On」を選択すると、指定した相手から TV コールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。

■自動で受ける相手を指定するとき

「自動応答リスト」→ ■（追加）→「電話帳」／「通話履歴」／「直接入力」→操作用暗所番号を入力→ ■（OK）

- 「電話帳」を選択した場合は、電話帳を検索し、選択（➔P.2-16）→自動で受ける相手を指定
- 「通話履歴」を選択した場合は、／／／→自動で受ける相手を指定
- 「直接入力」を選択した場合は、電話番号を入力して自動で受ける相手を指定

■自動応答に指定した相手を削除するとき

「自動応答リスト」

- 1 件削除するとき

  電話番号を選んで Y!（削除）→「1 件」→「はい」

- 複数削除するとき

  Y!（削除）→「複数」→名前／電話番号をチェック→ ✉（削除）→「はい」

- すべての相手を削除するとき

  Y!（削除）→「全件」→「はい」

通話中に各種機能を操作したい

TV コール中に Y!

■プッシュトーンを送信するとき

「プッシュトーン送信」→番号を入力→ ■（送信）

- 電話帳の番号を送信する場合は、「プッシュトーン送信」→ Y!（電話帳検索）→電話帳を検索し、選択（➔P.2-16）→電話番号を選択→ ■（送信）

■電話帳を検索するとき

「電話帳」→（➔P.2-16 電話帳を検索する 3）

■通話中にメールを作成するとき

「メール作成」→「S! メール」／「SMS」→（➔[illegible] 4、P.4-6 SMS を作成・送信する 2）

■メモを作成し、保存するとき

「メモ帳」→ ✉（新規作成）→メモを入力→カテゴリ欄を選択→カテゴリを選択→ ✉（保存）

- 既存のメモを編集する場合は、「メモ帳」→メモを選択→文字入力欄を選択→メモを入力→カテゴリ欄を選択→カテゴリを選択→ ✉（保存）を押します。

通話履歴／ランキング

通話履歴／ランキングからS!メールを作成したい

→ ／ ／ ／ →履歴／ランキングを選んで(　)→(➲P.4-4 S!メールを送信する 5)

- 履歴／ランキングの詳細画面で(　)→(➲P.4-4 S!メールを送信する5)でもメールを作成できます。
- 履歴／ランキングの電話帳に電話番号やEメールアドレスが複数登録されてる場合、(　)→項目を選択→(➲P.4-4 S!メールを送信する 5)でもメールを作成できます。

通話履歴／ランキングからSMSを作成したい

→ ／ ／ ／ →履歴／ランキングを選んで →「SMS」→(➲P.4-6 SMSを作成・送信する 5)

- 履歴／ランキングの詳細画面で →「SMS」でも電話帳の詳細画面を確認できます。

通話履歴／ランキングの電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい 【電話帳表示】

→ ／ ／ ／ →履歴／ランキングを選んで →「電話帳表示」

- 履歴／ランキングの詳細画面で →「電話帳表示」でも電話帳の詳細画面を確認できます。

通話履歴／ランキングの電話番号を電話帳に登録したい 【電話帳登録】

→ ／ ／ ／ →履歴／ランキングを選んで →「電話帳登録」→(➲P.2-16 通話履歴から電話帳を登録する 4)

- 履歴／ランキングの詳細画面で →「電話帳登録」→(➲P.2-16 通話履歴から電話帳を登録する 4)でも電話帳に登録できます。

通話履歴／ランキングの電話番号を着信拒否リストに追加したい 【拒否リスト追加】

→ ／ ／ ／ →履歴／ランキングを選んで →「拒否リスト追加」→「はい」

- 履歴／ランキングの詳細画面で →「拒否リスト追加」でも電話帳に登録できます。

ランキングの表示／非表示を切り替えたい 【表示設定】

→ ／ ／ ／ → →「表示設定」→「ランキングを表示」／「ランキングを非表示」

グループ通話サービス

グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい 【この相手と通話終了】

グループ通話中に相手を選んで(グループ通話)→「この相手と通話終了」

グループ通話中にすべての通話を保留にしたい 【全ての相手と保留】

グループ通話中に(グループ通話)→「全ての相手と保留」

- 保留を解除するには、(グループ通話)→「全ての相手と通話」を選択します。

メール

4

メールについて

本機では、S! メールと SMS の 2 種類のメールを利用できます。
S! メールは、長いメッセージを送信するときやソフトバンク携帯電話以外やパソコンなどとのやりとりに利用するメールです。
S! メールを使うと、メッセージをデコレーションしたり、画像を添付することもできます。
SMS は、ソフトバンク携帯電話どうしで短い文章のやりとりに利用するメールです。

注意

- S! メールを利用する場合は、別途ご契約が必要です。
- 本機は最大 2M バイトまでのメールを送受信できます。お客様のご契約内容により、通信料が高額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- 本機で作成したメールは、相手側の携帯電話によっては本機と同様に表示されない場合があります。
- ハングルを含む S! メールや SMS を受信した場合は、ハングルを表示できます。
- 本機で作成したメールの本文をハングルで入力して送信した場合、相手側の携帯電話によっては入力した文字が削除されたりスペースとして表示されるときがあります。
- E メールアドレスに送信するとハングル文字が表示できる携帯電話でも、文字が削除されることがあります。

		S! メール※1	SMS
入力できる項目	宛先	○	○
	件名	○	×
	添付ファイル	○	×
	本文	○	○
送信できる最大文字数		全角で約 15000 文字 半角で約 30000 文字 (30K バイトまで)※2	全角で 70 文字 半角で 70 文字 半角英数記号で 160 文字※3
送信できる相手		ソフトバンク携帯電話 ソフトバンク以外の携帯電話 パソコン	ソフトバンク携帯電話
送信できるもの		長い文字メッセージ、画像 サウンド、デコレメール フィーリングメール※4	短い文字メッセージ

※ 1 宛先や件名、メッセージ、添付ファイルなどを含めたメールサイズの合計は最大 2M バイトです(返信または転送するメールも同様)。設定を変更することで、メールの上限を 300K バイトにすることもできます。
※ 2 添付ファイルのサイズなどにより、送信できる文字数は変わります。
※ 3 「文字コード」(➔P.14-18)を「英語」に設定したときの文字数です。
※ 4 フィーリングメール対応機種間でのみ利用できます。

Eメールアドレスの登録／変更

ご契約時のEメールアドレスのアカウント名（@より前の部分）は、ランダムな英数字に設定されています。アカウント名はお好きな文字に変更することができます。
Eメールアドレス変更の詳細については、ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）を参照ください。

パソコンなどからメールを受信するときに使用するEメールアドレスのアカウント名を変更できます。

1 **✉→「設定」→「メール・アドレス設定」**

2 **画面の指示に従って操作**

- Eメールアドレスの変更が完了すると、ソフトバンクよりEメールアドレス変更の完了通知が届きます。

3 **✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→Informationからのメールを選択→「はい」**

使いこなしチェック!

設定

● Eメールアドレスを変更する（☞P.14-13）

メール作成・送信

作成・送信したメールは、用途に応じてフォルダに振り分けられて管理されます。
たとえば送信したメールは、送信済みボックスに保存されます。また、作成中のメールは、下書きに保存できます。
S!メールとSMSの作成・送信方法、デコレメールの作成方法、ファイルの添付方法について説明します。

S!メールを作成・送信する

注意

- 大容量のメールを送信する場合、お客様のご契約内容により、通信料が高額になる可能性がありますので、ご注意ください。あらかじめメールの作成サイズを制限するときは、「メール作成サイズ」を「300KB」に設定してください（➔P.14-17）。
- ハングル文字を入力、またはハングル文字のファイルを添付したS!メールの文字コードはハングル文字用にUTF-8に変更されます。一度UTF-8に変更されたS!メール中のハングル文字を削除しても、文字コードはUTF-8のままです。文字コードがUTF-8に変更されると、デコレメール、楽デコを利用できません。
- 日本語を入力したS!メールにハングル文字を追加して入力すると、入力済みの日本語もUTF-8に変更され、入力済みの日本語の文字数は約1.5倍に換算されます。換算されると入力文字数の制限を超える場合は、ハングル文字を入力することはできません。
- 受信側の携帯電話がハングル表示に対応していない場合は、ハングルは表示できません。
- ハングルを入力したS!メールは、宛先にEメールアドレスを指定して送信しても、受信側でハングルを表示できません。宛先には、電話番号を指定してください。
- デコレメール作成時、✉→「挿入」で件名、または本文に挿入する内容（メモ帳や電話帳など）にハングルが含まれている場合は、ハングルが削除されます。
- デコレメール作成時、ファイル名がハングル文字だけのファイルを添付すると、ファイル名は「nonamexx」に変更されて添付されます（xxは数字を表します）。ハングル文字を含んだファイル名の場合は、ハングル文字を削除したファイル名に変更されて添付されます。

S! メールを送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手に S! メールを送信します。

1 ✉ →「新規作成」

- 待受画面で ✉ を 1 秒以上押しても S! メール作成画面を呼び出すことができます。



S!メール作成画面

2 宛先欄を選択

3 「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-16 電話帳を検索する③)

- ✉(複数)で複数の宛先をまとめて電話帳から選択できます。

4 電話番号/ E メールアドレスを選択

5 件名欄を選択→件名を入力

6 ファイルを添付する場合は、添付欄を選択(➲P.4-4)

7 本文入力欄を選択→本文を入力

8 ✉(送信)

- 「送受信履歴」/「メールグループ」/「番号入力」/「アドレス入力」からも相手に S! メールを送信することができます(➲P.4-17)。
- S! メールの宛先には電話番号または E メールアドレスを入力します。入力できる宛先の件数は最大 20 件です。
- 宛先、件名、本文のいずれかを入力した状態、またはファイルを添付した状態で CLEAR を押すとメール作成の終了を確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択すると下書きに保存されます。「いいえ」を選択するとメール作成を終了します。「キャンセル」を選択すると S! メール作成画面に戻ります。
- 宛先、件名、本文のいずれかを入力した状態、またはファイルを添付した状態で ⊙ を押すとメール作成の終了を確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択するとメール作成を終了します。「いいえ」を選択すると S! メール作成画面に戻ります。
- 送信したメールは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」(➲P.14-16)を「On(保護を除いて)」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます(保護されたメールを除く)。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できないときはメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。

- 作成中の S! メールのサイズは、S! メール作成画面の右上に表示されます。

ファイルを添付する

画像や動画、サウンドを選択して添付できるほか、電話帳やカレンダー、予定リスト、オーナー情報の登録内容を vcf ファイル形式や vcs ファイル形式にして添付できます。
S! メールに添付できるファイルのサイズは、宛先や件名、メッセージなどを含めて 2M バイトまでです。
「メール作成サイズ」(➲P.14-17)のサイズを超えるメールは、自動的に添付画像のサイズが変更されます。一時的にサイズを変更することもできます(➲P.4-20)。
「自動リサイズ」のサイズを超える添付画像を添付しても、自動的に添付画像のサイズが変更されます。
1 通の S! メールに添付できるファイルの数は 20 個までです。

注意

- メールを送信する相手によっては、添付したファイルを受信できない場合がありますのでご注意ください。ソフトバンク携帯電話が対応するファイルについては、ソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)をご確認ください。
- S! メールで動画を添付するときは、「動画撮影」(➲P.7-9)で撮影したファイルを選択してください。送信できない動画を添付しようとした場合、添付できないという旨のメッセージが表示されます。

❶ ✉ →「新規作成」→添付欄を選択

❷ ファイルの添付操作

■ データフォルダ内のファイル
「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択

■ カメラで撮影した画像
「カメラ起動」→静止画を撮影

■ ビデオカメラで撮影した動画
「ビデオカメラ起動」→動画を撮影

■ 電話帳の登録内容
「電話帳データ」→電話帳を検索して選択（➔P.2-16）→ ✉（追加）

■ カレンダー／予定リストの登録内容
「カレンダーデータ」→タブメニューから「スケジュール」／「予定リスト」→登録するファイルを選んで ■（添付）

- 複数ファイルを添付するには、「カレンダーデータ」→タブメニューから「スケジュール」／「予定リスト」→ Y! →「複数」→登録内容をチェック→ ✉（追加）を押します。

■ メモ帳の登録内容
「メモ帳」→登録するファイルを選んで ■（選択）

- 複数ファイルを添付するには、「メモ帳」→ Y!（複数）→登録内容をチェック→ ✉（追加）を押します。

■ オーナー情報の登録内容
「オーナー情報引用」→ ✉（追加）

- ファイルを追加するには、添付欄を選択し Y! →「ファイル追加」を選択して操作 ❷ を繰り返します。
- ファイルを添付すると、添付ファイル表示画面にファイルの種別を示すアイコンとファイル名が表示されます。

：画像	：サウンド
：動画	：vcs ファイル
：vcf ファイル	
：上記以外のファイル	

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-17

- 宛先を追加したい
- 宛先を削除したい
- 添付したファイルを削除したい
- S! メールに情報を挿入したい
- S! メールの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい
- S! メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい
- S! メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい
- 下書きに保存したい
- フィーリングメールを送信したい
- フィーリング設定を解除したい
- 「アクション設定」を設定したメールを送信したい
- テンプレートを利用して S! メールを作成したい
- デコレーションを確認したい
- デコレメールテンプレートを登録したい

設定

- メール本文の文字サイズを変更する（☞P.14-6）
- 配信レポートの送信を設定する（☞P.14-13）
- 送信メールに受信メールの内容を引用する（☞P.14-14）
- 返信先を設定する（☞P.14-14）
- 返信先アドレスを設定する（☞P.14-14）
- 送信中の進行状況表示を設定する（☞P.14-14）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.14-16）
- S! メールの作成サイズの上限を設定する（☞P.14-17）
- 送信メールの優先度を設定する（☞P.14-17）
- 自動リサイズを設定する（☞P.14-17）
- 署名を設定する（☞P.14-17）
- 署名を編集する（☞P.14-17）

SMSを作成・送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にSMSを送信します。

1 ✉ →「SMS新規作成」



SMS作成画面

2 宛先欄を選択

3 「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16 電話帳を検索する③)

4 電話番号を選択

5 本文入力欄を選択→本文を入力

6 ✉(送信)

- SMSの宛先には電話番号を入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
- SMSの本文で送信可能な文字数(➔P.4-2)を超えた場合、S!メールに変更する確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとS!メールに切り替わります。本文にハングルが含まれている場合は、ハングル文字用に文字コードがUTF-8に変更されます。
- 送信したSMSは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」(➔P.14-16)を「On(保護を除いて)」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます(保護されたメールを除く)。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-21

- 宛先を追加したい
- 宛先を削除したい
- SMSに情報を挿入したい
- SMSの本文を作成中にユーザ辞書登録したい
- SMSの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい
- 作成中のSMSを下書きに保存したい
- 作成中のSMSをS!メールに変更したい
- 入力した本文をすべて削除したい

設定

- 配信レポートの送信を設定する(☞P.14-13)
- 送信中の進行状況表示を設定する(☞P.14-14)
- メールサーバへの保存期間を設定する(☞P.14-18)
- SMSセンター番号を設定する(☞P.14-18)
- 文字コードを変更する(☞P.14-18)

デコレメールを作成・送信する

本文をデコレメールに編集する

注意

- ハングル文字を入力したS! メールをデコレメールに編集することはできません。
- デコレメールではハングル文字は利用できません。デコレメールに編集されたS! メール画面で、ハングル文字が入力されたメモ帳、電話帳などの情報を挿入した場合、ハングル文字が削除されます。

ここでは例として、次のとおりに設定します。

- 文字サイズ、背景色を変更
- データフォルダの画像、絵文字を挿入
- 文字を左右に移動表示(スクロール)
- 他の項目については、「S! メール送信に関する便利な機能」(➔P.4-17)を参照してください。

1 ✉ →「新規作成」→本文入力欄を選択

2 Y! →「デコレメール(長押:通話キー)」



デコレメール作成画面

3 「サイズ」→「大」／「標準」／「小」→本文を入力

- 続けて他の設定をするときは、✉(デコレーション)を押して操作します。

4 ✉(デコレーション)→「背景」

5 背景色を選択

6 ✉(デコレーション)→「画像」

7 「ピクチャー」→ファイルを選択

- デコレメピクチャーを挿入するときは、「デコレメピクチャー」を選択します。
- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択することができます。
- 画像を撮影して挿入するときは「カメラ起動」を選択します。

8 ✉(デコレーション)→「マイ絵文字」→絵文字を選択→ CLEAR

9 ✉(デコレーション)→ Y!(範囲選択)→装飾する最初の箇所にカーソルを移動→ ■(始点)→装飾する最後の箇所にカーソルを移動→ ■(終点)→「効果」

10 「スクロール」→「右から左へ」

- 1つ前の状態に戻すには、デコレメール作成画面で「戻す」を選択します。
- 装飾をすべてやり直すには、デコレメール作成画面で「解除」→「はい」を選択します。

S! メールを楽デコで変換する

1 ✉ →「新規作成」

2 本文入力欄を選択→本文を入力

3 「楽デコ」

4 ✉(別の候補)でデコレーションを選択→ ■(OK)

メール受信・確認／返信／転送

メールの受信方法には、主に自動受信と手動受信があります。
自動受信は、メール全文を自動的に受信する受信方法です。
手動受信は、メールの一部分を自動的に受信する受信方法です。
メール全文を受信するためには、続きを受信する必要があります。
受信したメールは、受信ボックスに保存されます。
メールの受信／確認／返信／転送手順について説明します。

注意

- 大容量のメールを受信する場合、お客様のご契約内容により、通信料が高額になる可能性がありますので、ご注意ください。本文の一部を受信して、必要なメールだけを全文受信するときは、メール受信設定の「自動受信設定」を「Off」に設定してください(➲P.14-17)。
- ハングル文字が入力されているメールを転送、または引用付で返信する場合、メールの文字コードはハングル文字用にUTF-8 に変更されます。一度 UTF-8 に変更されたメール中のハングル文字を削除しても、文字コードは UTF-8 のままです。文字コードが UTF-8 に変更されると、デコレメールを利用できません。

新着メールを確認する

新着メールを受信すると、待受画面上に新着メール受信の通知画面が表示されます。

注意

- S! メールでは、添付ファイルを含む全文が自動的に受信されます。お客様のご契約の内容により、所定の料金が発生いたしますので、ご注意ください。自動受信しないように設定することもできます(➲P.4-9)。
- 「自動受信設定」を「On(最大 1MB まで)」または「On(最大 300KB まで)」にすると、お客様の携帯電話に送信されたメール(電話番号宛、E メールアドレス宛ともに)は自動的に全文受信されます。本文の一部を受信して、必要なメールだけを全文受信する場合は、メール受信設定の「自動受信設定」を「Off」に設定してください(➲P.14-17)。

1 通知を選択

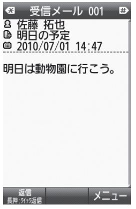
- 待受画面以外を表示中にメールを受信すると、ディスプレイ最上段に差出人の電話番号または E メールアドレス(電話帳に登録されている場合は、登録した名前)などがスクロールして表示されます。スクロールが終了すると、ディスプレイ最上段に ✉ が表示されます(➲P.1-5、P.14-14)。



受信件数

受信の通知画面

2 メールの内容を確認

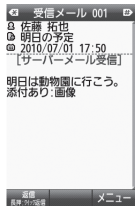


- ファイルが添付されている場合は、メールの一番下にファイル名やサムネイルが表示されます。
- 配信レポートを受信すると、ディスプレイ最上段にが点滅したあと表示が消えます。待受画面には配信レポート受信の通知画面が表示されます。
- 受信したメールは受信ボックスに保存されます。受信ボックスの「自動削除設定」(➲P.14-15)を「On(保護を除いて)」/「On(既読のみ)」に設定している場合、メール受信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます。ただし、「On(保護を除いて)」に設定している場合は保護されているメールは削除されません。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。

メールを手動で受信する

S! メールの「受信オプション」の「自動受信設定」(➲P.14-17)を「Off」に設定している場合は、受信した S! メールがメールサーバに一時保存され、メッセージの一部が受信通知としてお客様の本機に送信されます。続きはメールサーバから受信する必要があります。

1. ✉ →「受信ボックス」
2. フォルダを選択→受信通知を選択



3. 「サーバーメール受信」
   - 「最大受信サイズ」を「2MB」に設定している場合に、サーバーメールのサイズが 300KB 以上のメールを受信したときは、受信するメールのサイズを「300KB 以内」/「最大」から選択してください。

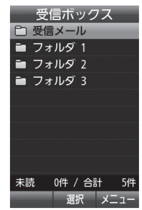
- メール一覧画面に表示される受信通知のアイコン

未読の受信通知	既読の受信通知
:優先度高	:優先度高
:優先度標準	:優先度標準
:優先度低	:優先度低

メール一覧からメールを表示する

受信ボックスや下書き、送信済みボックス、未送信ボックスのメール一覧画面から、メッセージを確認できます。

1. ✉ →「受信ボックス」/「送信済みボックス」/「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択

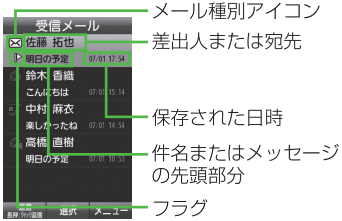


メールフォルダー覧画面
(受信ボックスの場合)

4

メール

② メールを選択



メール一覧画面（受信ボックスの場合）

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、「セキュリティ設定」の「シークレットモード」が「表示しない」に設定されていると表示されません。表示するには、[Y!] →「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→ [■]（OK）を押します。
- メッセージ画面で [十字キー] で画面をスクロールできます。また、[十字キー] でメール内の電話番号などを選んで [■]（選択）を押すと、選んだ項目が選択できます。
- メッセージ画面で [*] ／ [#] を押すと、前後のメールのメッセージ画面に切り替わります。
- 受信ボックスや下書き、送信済みボックス、未送信ボックスにデータがない場合は「メールはありません」と表示されます。

メール一覧画面に表示されるアイコン

• 受信ボックス

説明	アイコン 未読	アイコン 既読
S! メール受信中		
S! メール		
優先度高		
優先度標準		
優先度低		
動画やサウンドの挿入あり		
受信通知		
優先度高		
優先度標準		
優先度低		
SMS		
本体に保存		
USIM カードに保存		

• 下書き

説明	アイコン
S! メール	
動画やサウンドの挿入ありの S! メール	
SMS	

• 未送信ボックス

説明	アイコン
S! メール	
S! メール	
動画やサウンドの挿入あり	
再送信	
SMS	
SMS	
USIM カードに保存	

• 送信済みボックス

説明	アイコン
S! メール	
S! メール	
動画やサウンドの挿入あり	
SMS	
SMS	
USIM カードに保存	
配信レポート	
未読の S! メール	
未読の SMS	

- 「セキュリティ設定」の「シークレットモード」を「表示しない」に設定している場合、電話帳のシークレットモードを「シークレットモード -On」に設定している相手とメールの送受信する際に、名前は表示されずに電話番号または E メールアドレスが表示されます。

受信したメールに返信する

受信したメールの差出人に返信します。

1. ✉→「受信ボックス」
2. フォルダを選択→メールを選んで✉(返信)
3. メールの作成操作(➲P.4-4 S! メールを送信する 5)

- 受信したメールの本文を引用して返信することができます(➲P.14-14)。
- 返信する S! メールの件名には「Re:」が自動的に付きます。
- 受信したメールに入力されているすべての宛先へ返信したいときは、操作 2 で✉→「全員に返信」を選択します。
- ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「返信」/「全員に返信」→「S! メール」/「S! メール(引用付)」/「SMS」/「SMS(引用付)」を選択しても同じ操作が行えます。
- あらかじめ設定されている文面(➲P.4-23)を選んですぐに返信したい場合は、✉(長押:クイック返信)を1秒以上押し、文面を選択します。

受信したメールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送します。

1. ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択
2. メールを選択→Y!→「転送」
3. メールの作成操作(➲P.4-4 S! メールを送信する 2)

- 転送する S! メールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- 受信したSMSを転送する場合は、S! メールで転送するか SMS で転送するかを選択できます。
- ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選んでY!→「転送」→「S! メール」/「SMS」を選択しても同じ操作が行えます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-23

- 全文を受信していないメールを受信したい
- 受信通知/サーバメールを転送したい
- 差出人に電話をかけたい
- 受信通知からメールサーバに保存されているメールを削除したい

設定

- クイック返信の内容を変更する(☞P.14-14)
- 受信の通知を設定する(☞P.14-14)
- シークレット設定を設定したフォルダの受信通知を設定する(☞P.14-14)
- フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する(☞P.14-14)
- フィーリングメールを受信したときの着信ライトの色を設定する(☞P.14-14)
- フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する(☞P.14-14)
- フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する(☞P.14-15)
- フィーリングメールの着信音を設定する(☞P.14-15)
- フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する(☞P.14-15)
- 文字サイズを設定する(☞P.14-15)
- メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する(☞P.14-15)
- S! メールの受信サイズの上限を設定する(☞P.14-17)
- S! メールの受信方法を設定する(☞P.14-17)
- 自動受信の条件を設定する(☞P.14-17)
- 自動受信の条件を編集する(☞P.14-17)
- 添付画像の表示方法を設定する(☞P.14-17)
- 添付画像の自動再生を設定する(☞P.14-17)
- 添付サウンドの自動再生を設定する(☞P.14-17)

メールの利用

本機では、メールの種類ごとに5種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
下書き	作成途中で保存したメールが保存されます。
テンプレート	テンプレートとして登録したデコレメールテンプレートが保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗したメール、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。

メールの差出人や宛先、メール内の情報を利用する

メールのメッセージ画面や受信通知画面で、カーソルを合わせると選択できる情報があります。選択された差出人や宛先、メール本文の電話番号、Eメールアドレス、URLを使って、電話帳への登録や、電話の発信、メールの送信、ブックマークへの登録、インターネットへの接続を行います。

電話帳に登録する

1. ✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→電話番号／Eメールアドレス／URLを選択→「電話帳登録」
2. 電話帳の登録操作
   - ■ 新しい電話帳に登録するとき
     「新規」→(➲P.2-15 新規に電話帳を登録する ②)
   - ■ 既存の電話帳に追加登録するとき
     「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P2-16)→電話帳の登録操作(➲P2-15)

ブックマークに登録する

1. ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→URLを選択→「ブックマーク登録」
2. ■(選択)→タイトルを入力
3. ✉(保存)

4 メール

電話発信／メール送信／インターネット接続を行う

メールのメッセージ画面や受信通知画面に表示されている差出人や宛先、電話番号、Eメールアドレス、URLの情報を利用できます。

1 **✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択**

2 **情報の利用操作**

■ 音声電話をかけるとき
電話番号を選択→「音声通話」

■ TVコールをかけるとき
電話番号を選択→「TVコール」

■ 電話番号を変更してから電話をかけるとき
電話番号を選択→「発信前に電話番号を編集」

■ メールを送信するとき
電話番号／Eメールアドレスを選択→「メール作成」→(➔P.4-4 S! メールを送信する⑤、P.4-6 SMSを作成·送信する⑤)

■ インターネットへ接続するとき
URLを選択→「Yahoo! ケータイで開く」

• 電話番号を選択してメールを送信する場合は、S! メールを送信するかSMSを送信するかを選択し、メールを作成します。

メール／テンプレートを保護／保護解除する

メールやテンプレートを指定して保護したり、メールボックス内のすべてのメールをまとめて保護することができます。
保護設定したメールは、削除するときに確認するメッセージを表示します。
保護設定したメール／デコレテンプレートは、その保護を解除できます。

1 **✉→「受信ボックス」／「下書き」／「テンプレート」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択**

2 **メール／テンプレートの保護操作**

■ 1件保護するとき
メール／テンプレートを選んで Y! →「保護」／「保護解除」→「1件」

■ 複数のメール／テンプレートをまとめて保護するとき
Y! →「保護」／「保護解除」→「複数」→メール／テンプレートをチェック→ ✉(保護)

■ すべてのメール／テンプレートを保護するとき
Y! →「保護」／「保護解除」→「全件」

メール／テンプレートを削除する

メールを削除する

メールを指定して削除したり、メールボックス内のすべてのメールをまとめて削除することができます。

1 **✉ →「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択**

2 **メールの削除操作**

■ 1件削除するとき
メールを選んで Y! →「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数のメールをまとめて削除するとき
Y! →「削除」→「複数」→メールをチェック→ ✉(削除)→「はい」

■ すべてのメールを削除するとき
Y! →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

テンプレートを削除する

テンプレートを指定して削除したり、登録されているすべてのテンプレートをまとめて削除することができます。

1. ✉ →「テンプレート」
2. テンプレートの削除操作
   - ■ 1 件削除するとき
     テンプレートを選んで Y! →「削除」→「1 件」→「はい」
   - ■ 複数のテンプレートをまとめて削除するとき
     Y! →「削除」→「複数」→テンプレートをチェック→ ✉(削除)→「はい」
   - ■ すべてのテンプレートを削除するとき
     Y! →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

• 保護されているメール／テンプレートが含まれる場合は、確認メッセージが表示されます。

添付ファイルをデータフォルダに保存する

1. ✉ →「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択
2. Y! →「保存」
   - ■ コンテンツを選択して保存するとき
     「添付ファイル保存」→ファイルをチェック→ ✉(保存)→「ピクチャーに保存」／「マイ絵文字に保存」／「デコレメピクチャーに保存」／「Flash®に保存」／「着信音 Flash® に保存」／「着うた・メロディに保存」／「ミュージックに保存」
   - ■ マイ絵文字をすべて保存するとき
     「マイ絵文字一括保存」
   - ■ 受信したデコレメールをテンプレートとして保存するとき
     「テンプレート保存」→テンプレート名を入力

• 保存時にファイル名が重複したときは、自動的にファイル名が編集されます。

メールグループを利用する

メールグループを利用すると、複数の相手に同じメールを一括で送信できます。

メールグループを作成する

1. ■ →「電話機能」→「メールグループ」→ ■(新規)
   • すでにメールグループが 1 件以上登録されている場合は、Y! →「新規グループ」を選択します。
2. グループ名を入力→グループ名を選択→ ■(追加)
3. 電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)

メールグループ宛にメールを送信する

1. ■ →「電話機能」→「メールグループ」
2. グループ名を選択→ ■(✉)→メールの作成操作(➔P.4-4 S! メールを送信する ⑤)
   • メールグループを選んで ✉(✉)を押しても同じ操作ができます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-24

- 表示中のメールを削除したい
- メールの文字コードを設定したい
- 受信したメールを迷惑メールとして申告したい
- メッセージ画面の文頭/文末に移動したい
- メール/デコレメールテンプレートの詳細を確認したい
- メール一覧画面のメールを並べ替えたい
- メールのフラグを設定/解除したい
- メールを既読/未読にしたい
- メール一覧画面で SMS を本機/ USIM カードに移動したい
- 配信レポートを確認したい
- 送信済みのメールを取り消すメールを送りたい
- 未送信メールを編集して送信したい
- 未送信メールのエラー詳細を確認したい
- 登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい
- デコレメールテンプレートを移動したい
- デコレメールテンプレートをコピーしたい
- デコレメールテンプレートを並べ替えたい
- デコレメールテンプレートを管理したい
- メールサーバに保存されているメールを転送したい
- メールリストを利用してサーバ内のメールを削除したい

設定

- 受信ボックスのメールの自動削除を設定する(☞P.14-15)
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する(☞P.14-16)

メールのフォルダ管理

受信ボックス、送信済みボックス内に自分でフォルダを作成したり、フォルダにルールを設定して自動でメールを振り分けます。フォルダには、セキュリティを設定することができます。ただし、「受信メール」フォルダ、「送信メール」フォルダは削除したり、設定を変更することはできません。
受信ボックスのメール一覧でフラグを設定するとフラグが点灯/消灯します。フラグの点灯および消灯でメール一覧をソートすることができます。

フォルダを作成する

1 **✉ →「受信ボックス」/「送信済みボックス」**

2 **Y! →「フォルダ作成」**

3 **フォルダ名を編集**

- 新しく作られたフォルダは画面の一番下に位置されます。
- 同じ名前のフォルダが存在していても、確認メッセージは表示されません。

4 **振り分け設定を追加するかで「はい」/「いいえ」**

- 「はい」の場合は、(➔P.4-16 メールを振り分ける ❸)

4 メール

メールを移動する

1 ✉ →「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択

2 メールの移動操作

■ 1 件移動するとき
メールを選んで Y! →「フォルダへ移動」→「1 件」

■ 複数のメールをまとめて移動するとき
Y! →「フォルダへ移動」→「複数」→メールをチェック→ ✉（移動）

■ すべてのメールを保護するとき
Y! →「フォルダへ移動」→「全件」

3 移動先のフォルダを選択

• 受信したメールは「受信メール」フォルダに、送信したメールは「送信メール」フォルダに保存されます。他のフォルダに移動したあと、メールを元のフォルダに戻す場合は、操作 **2** を実行し、「受信メール」フォルダ／「送信メール」フォルダを選択します。

メールを振り分ける

送受信したメールを相手の電話番号や E メールアドレスによって自動的に指定したフォルダに振り分けることができます。S! メールでの件名や、SMS の本文に入力されたテキストでも振り分けることができます。1 つのフォルダに設定できるルールは最大 20 件です。

1 ✉ →「受信ボックス」／「送信済みボックス」

2 フォルダを選んで Y! →「メール振り分け設定」

• 選択したフォルダにメールを振り分けるルールが設定されていて、ルールを追加するときは Y! →「ルール追加」を選択してください。

3 振り分けルールの設定操作

■ 振り分ける電話番号／ E メールアドレスを電話帳から選択するとき
「送信者」（画面によっては「宛先」）→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-16）→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ 振り分ける電話番号／ E メールアドレスを履歴から選択するとき
「送信者」（画面によっては「宛先」）→「送受信履歴」→タブメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

■ 振り分ける電話番号／ E メールアドレスを電話帳のグループから選択するとき
「送信者」（画面によっては「宛先」）→「グループ」→グループを選択

• USIM カードに登録されているグループは設定できません。

■ 振り分ける電話番号／ E メールアドレスを直接入力するとき
「送信者」／「送信者（部分一致）」（画面によっては「宛先」）→（「送信者」／「宛先」を選択した場合のみ「番号入力」／「アドレス入力」）→電話番号／ E メールアドレスを入力

■ テキストから選択するとき
「件名」→振り分けルールに設定するテキストを入力

4 「はい」／「いいえ」

• 設定したルールに合うすべてのメールを振り分けフォルダに移動するかどうかを選択します。

5 ✉（OK）

迷惑メールを振り分ける

電話帳に登録していない電話番号やEメールアドレスからのメールは、着信通知をせずに迷惑メールフォルダに振り分けます。

1 ✉ →「設定」→「一般設定」→「迷惑メール設定」

2 操作用暗証番号を入力→ ■(OK)

■ 電話帳未登録のメールを迷惑メールとして振り分けるとき
「電話帳未登録」→「On」

■ 迷惑メールをリストで指定して振り分けるとき
「指定迷惑リスト」→「On」→「指定迷惑リスト」→ ✉(編集) →(データが登録済の場合のみ Y! → 「迷惑リスト追加」)→「送信者」／「送信者(部分一致)」／「件名」→(➔P.4-16 メールを振り分ける**3**)

■ 迷惑メール判定をしないメールをリストで指定するとき
「受信許可リスト」→「On」→「受信許可リスト」→ ✉(編集) →(データが登録済の場合のみ Y! → 「許可リスト追加」)→「送信者」／「送信者(部分一致)」／「件名」→(➔P.4-16 メールを振り分ける **3**)

- 「電話帳未登録」が「On」または、「指定迷惑リスト」が「On」になっていないと登録できません。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-28

- フォルダ名を変更したい
- シークレット設定を設定したい
- フォルダを削除したい
- フォルダの詳細情報を確認したい
- メールの自動振り分けルールを変更したい
- 振り分けルールを削除したい

設定

- 受信ボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.14-15）
- 送信済みボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.14-15）
- 電話帳未登録の携帯メールを迷惑メールとして振り分ける（☞P.14-16）
- 迷惑メールをリストで指定して振り分ける（☞P.14-16）
- 迷惑メール判定をしないメールをリストで指定する（☞P.14-16）
- 迷惑メール申告先を設定する（☞P.14-16）
- メールの保存先を設定する（☞P.14-16）

便利な機能

S! メール送信

「電話帳」以外の方法で宛先を入力したい

S! メール作成画面で宛先欄を選択

■ **履歴から入力するとき**
「送受信履歴」→タブメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

■ **メールのグループを選択するとき**
「メールグループ」→メールグループを選択

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

■ **Eメールアドレスを直接入力するとき**
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

宛先を追加したい **[宛先追加]**

S! メール作成画面で宛先欄を選択→ Y! →「宛先追加」

■ **電話帳から選択するとき**
「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ **履歴から入力するとき**
「送受信履歴」→タブメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

■ **メールのグループを選択するとき**
「メールグループ」→メールグループを選択

■電話番号を直接入力するとき
「番号入力」→電話番号を入力

■Eメールアドレスを直接入力するとき
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

- メール作成画面の宛先欄の横に宛先件数が表示されます。

送受信履歴の詳細を確認したい

S!メール作成画面で宛先欄を選択→「送受信履歴」→タブメニューから「送信履歴」/「受信履歴」→履歴を選んで (表示)

送受信履歴を削除したい

S!メール作成画面で宛先欄を選択→「送受信履歴」→タブメニューから「送信履歴」/「受信履歴」

■1件削除するとき
履歴を選んで (削除)→「1件」

■複数の履歴を削除するとき
(削除)→「複数」→履歴をチェック→ (削除)

■すべて削除するとき
(削除)→「全件」→「はい」

宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい

S!メール作成画面で宛先欄を選択→ →「TOに変更」/「CCに変更」/「BCCに変更」

宛先を削除したい **[宛先削除]**

S!メール作成画面で宛先欄を選択

■1件削除するとき
宛先を選んで →「宛先削除」→「1件」

■複数の宛先をまとめて削除するとき
→「宛先削除」→「複数」→宛先をチェック→ (削除)

■すべての宛先を削除するとき
→「宛先削除」→「全件」→「はい」

添付したファイルを確認したい

S!メール作成画面で添付欄を選択→ファイルを選択

添付したファイルを削除したい **[添付削除]**

S!メール作成画面で添付欄を選択

■1件削除するとき
ファイルを選んで →「添付削除」→「1件」

■複数の添付ファイルをまとめて削除するとき
→「添付削除」→「複数」→ファイルをチェック→ (削除)

■すべての添付ファイルを削除するとき
→「添付削除」→「全件」→「はい」

S!メールに情報を挿入したい **[挿入]**

S!メールの本文を作成中に →「挿入」

■メモ帳を挿入するとき
「メモ帳」→項目を選択

■バーコードを挿入するとき
「バーコードリーダー」→(➲P.10-9バーコード/QRコードを読み取る ❷)

■電話帳の番号を挿入するとき
「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)→項目を選択

■オーナー情報を挿入するとき
「オーナー情報引用」→項目を選択

■署名を挿入するとき
「署名」

■アドレスの一部を挿入するとき
「簡単アドレス入力」→項目を選択

- デコレメールではハングル文字は利用できません。デコレメールに編集されたS!メール画面で、ハングル文字が入力されたメモ帳、電話帳などの情報を挿入した場合、ハングル文字が削除されます。

S!メールの本文を作成中にカーソルを文頭/文末に移動させたい **[カーソル移動]**

S!メールの本文を作成中に →「カーソル移動」→項目を選択

S!メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい **[ユーザ辞書登録]**

S!メールの本文を作成中に →「ユーザ辞書登録」→(➲P.2-13入力した文字をユーザ辞書に登録する ❷)

S! メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい 【入力／変換設定】

S! メールの本文を作成中に [Y!] →「入力／変換設定」

■ 予測入力機能を設定／解除するとき

「予測入力」→「On」／「Off」

■ 学習機能を設定／解除するとき

「学習」→「On」／「Off」

■ 英文自動大文字化機能を設定／解除するとき

「英文自動大文字化」→「On」／「Off」

■ フレキシブル検索機能を設定／解除するとき

「フレキシブル検索」→「On」／「Off」

■ 学習機能をリセットするとき

「学習リセット」→操作用暗証番号を入力→ [■] (OK) →「はい」

■ 絵文字／記号の履歴をリセットするとき

「絵／記号履歴リセット」→「はい」

■ 文字サイズを変更するとき

「文字サイズ」→「大」／「標準」／「小」

■ カーソルの移動速度を変更するとき

「自動カーソル」→「Off」／「遅い」／「普通」／「速い」／「高速」

下書きに保存したい 【下書きに保存】

S! メール作成画面で [Y!] →「下書きに保存」

- 宛先、件名、本文のいずれかが入力されている、またはファイルが添付／挿入されている場合のみ保存できます。

フィーリングメールを送信したい 【フィーリング設定】

S! メール作成画面で [Y!] →「フィーリング設定」→フィーリングを選択→感情を表す絵文字を選択

フィーリング設定を解除したい 【フィーリング解除】

S! メール作成画面で [Y!] →「フィーリング解除」

「アクション設定」を設定したメールを送信したい 【アクション設定】

S! メール作成画面で [Y!] →「アクション設定」

■ 相手がメールを読むと自動で削除されるかどうか設定するとき

「メール自動消去」→「On」／「Off」

■ 相手に返信を要求するとき

「返信リクエスト」→「On ／ Off 設定」→「On」

- 「On」に設定しているときは、「返信リクエスト」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ 相手に転送してほしくないとき

「転送 NG」→「On ／ Off 設定」→「On」

- 「On」に設定しているときは、「転送 NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ 相手に削除してほしくないとき

「削除 NG」→「On ／ Off 設定」→「On」

- 「On」に設定しているときは、「削除 NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ 相手がクイズ（一問一答）に答えないとメールを読めないようにするとき

「クイズ」→「On ／ Off 設定」→「一問一答」→「問題」→問題を入力→「答え」→答えを入力→「メッセージ（正解時）」→正解の場合のメッセージを入力→「メッセージ（不正解時）」→不正解の場合のメッセージを入力→ [✉] (完了)

- 問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

■ 相手がクイズ（選択式）に答えないとメールを読めないようにするとき

「クイズ」→「On／Off設定」→「選択式」→「問題」→問題を入力→「答え」を選び、[◎] で正解番号を選択→選択肢 1 〜 4 欄を選択しそれぞれに選択肢を入力→「メッセージ（正解時）」→正解の場合のメッセージを入力→「メッセージ（不正解時）」→不正解の場合のメッセージを入力→ [✉] (完了)

- 問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

- 「アクション設定」を設定すると、メールを受け取った相手側の動作を設定できます。

S! メールの作成サイズの上限を変更したい

S! メール作成画面で ✉ →「送信オプション」→「メールサイズ」→「2MB」/「300KB」

- 待受画面で ✉ →「設定」→「S! メール設定」→「送信オプション」→「メール作成サイズ」で設定しているサイズが表示されます（➲P.14-17）。
- 設定されているサイズを超える画像ファイルを添付すると、自動的に画像ファイルがリサイズされます。
- メール作成中に「300KB」に変更しようとした場合、添付されている画像ファイルの容量が「300KB」を超えていると、添付ファイルを削除しないと変更できないことを知らせるメッセージが表示されます。

作成中の S! メールの配信確認を設定したい

S! メール作成画面で ✉ →「送信オプション」→「配信確認」→「On」/「Off」

- 「On」に設定すると、メールサーバから メールが相手に送信されたときに、配信レポートを受信します。作成中のメールにのみ設定が反映されます。
- E メールアドレスを宛先にした S! メールに設定した場合、送信が失敗します。

作成中の S! メールの返信先を設定したい

S! メール作成画面で ✉ →「送信オプション」→「返信先指定」→「On」/「Off」

- 返信先は「返信先アドレス設定」（➲P.14-14）から設定できます。

作成中の S! メールの優先度を設定したい

S! メール作成画面で ✉ →「送信オプション」→「優先度」→項目を選択

サーバメール転送後、サーバからメールを削除するかどうか設定したい

S! メール作成画面で ✉ →「送信オプション」→「サーバーメール転送設定」→項目を選択

- サーバメール転送時（➲P.4-27）のみ設定できます。

テンプレートを利用して S! メールを作成したい **［テンプレート呼出し］**

S! メール作成画面で ✉ →「テンプレート呼出し」→テンプレートを選択

- 件名、本文のいずれかが入力されている、ファイルが添付／挿入されている、またはテンプレートを利用しているときは、編集内容を破棄する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると編集内容は破棄され、新たにテンプレートを呼び出すことができます。

作成中の S! メールを圏内時に自動送信したい

S! メール作成画面で ✉ →「送信予約」→「圏内時に送信」→「はい」

作成中の S! メールの送信時間を指定したい

S! メール作成画面で ✉ →「送信予約」→「日時指定」→予約日欄で予約日を入力→予約時刻欄で予約時刻を入力→ ■（OK）→「はい」

文字色を変更したい

デコレメール作成画面で「色」→文字色を選択→本文を入力

文字を点滅させたい

デコレメール作成画面で「効果」→「点滅」→「On」→本文を入力

- 効果を元に戻した文字を続けて入力したいときは、デコレメール作成画面で「効果」→「点滅」→「Off」と操作してから入力します。

文字を整列させたい

デコレメール作成画面で「効果」→「整列」→項目を選択→本文を入力

BGM ／ Flash® ／区切り線を挿入したい

デコレメール作成画面で「挿入」

■ データフォルダから BGM を挿入するとき

「BGM 挿入」→「着うた・メロディ」／「ミュージック」→ファイルを選択

■ BGM を録音して挿入するとき

「BGM 挿入」→「ボイスレコーダー起動」→録音操作（➲P.10-12 音声を録音する❷）→ ✉ →「メールに追加」

■ Flash® を挿入するとき

「Flash 挿入」→ファイルを選択

■ 区切り線を挿入するとき

「区切り線挿入」

挿入した BGM を解除したい

BGM が挿入されたデコレメール作成画面で「挿入」→「BGM を削除」

入力済みの文字の文字色／文字サイズ／効果を変更したい

文字が入力済みのデコレメール作成画面で 🅨(範囲選択)→装飾する最初の箇所にカーソルを移動→ ■(始点)→装飾する最後の箇所にカーソルを移動→ ■(終点)

■ 文字色を変えるとき
「色」→文字色を選択

■ 文字サイズを変えるとき
「サイズ」→項目を選択

■ 効果を変えるとき
「効果」→効果を選択→項目を選択

■ 元に戻すとき
「戻す」

デコレーションを確認したい **[プレビュー]**

デコレメールの本文入力中に 🅨 →「プレビュー」

デコレメールテンプレートを登録したい **[テンプレート保存]**

S! メール作成画面で 🅨 →「テンプレート保存」→ファイル名を入力

- 本文を装飾している場合のみ、デコレメールテンプレートに保存できます(➔P.4-7)。

SMS 送信

「電話帳」以外の方法で宛先を入力したい

SMS 作成画面で宛先欄を選択

■ 履歴から入力するとき
「送受信履歴」→タブメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

■ メールのグループを選択するとき
「メールグループ」→メールグループを選択

■ 電話番号を直接入力するとき
「番号入力」→電話番号を入力

宛先を追加したい **[宛先追加]**

SMS作成画面で宛先欄を選択→ 🅨 →「宛先追加」

■ 電話帳から選択するとき
「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)→電話番号を選択

■ 履歴から入力するとき
「送受信履歴」→タブメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

■ メールのグループを選択するとき
「メールグループ」→メールグループを選択

■ 電話番号を直接入力するとき
「番号入力」→電話番号を入力

- SMS 作成画面の宛先欄 👤 の横に宛先件数が表示されます。

送受信履歴の詳細を確認したい

SMS 作成画面で宛先欄を選択→「送受信履歴」→タブメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選んで ✉(表示)

送受信履歴を削除したい

SMS 作成画面で宛先欄を選択→「送受信履歴」→タブメニューから「送信履歴」／「受信履歴」

■ 1 件削除するとき
履歴を選んで 🅨(削除)→「1 件」

■ 複数の履歴を削除するとき
🅨(削除)→「複数」→履歴をチェック→ ✉(削除)

■ すべて削除するとき
🅨(削除)→「全件」→「はい」

宛先を削除したい **[宛先削除]**

SMS 作成画面で宛先欄を選択

■ 1 件削除するとき
宛先を選んで 🅨 →「宛先削除」→「1 件」

■ 複数の宛先をまとめて削除するとき
🅨 →「宛先削除」→「複数」→宛先をチェック→ ✉(削除)

■ すべての宛先を削除するとき
🅨 →「宛先削除」→「全件」→「はい」

SMSに情報を挿入したい　【挿入】

SMSの本文を作成中に Y! →「挿入」

■ メモ帳を挿入するとき
「メモ帳」→項目を選択

■ バーコードを挿入するとき
「バーコードリーダー」→（➲P.10-9 バーコード／QRコードを読み取る ❷）

■ 電話帳の番号を挿入するとき
「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-16）→項目を選択

■ オーナー情報を挿入するとき
「オーナー情報引用」→項目を選択

■ 署名を挿入するとき
「署名」

■ アドレスの一部を挿入するとき
「簡単アドレス入力」→項目を選択

SMSの本文を作成中にユーザ辞書登録したい　【ユーザ辞書登録】

SMSの本文を作成中に Y! →「ユーザ辞書登録」→（➲P.2-13 入力した文字をユーザ辞書に登録する ❷）

SMSの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい　【入力／変換設定】

SMSの本文を作成中に Y! →「入力／変換設定」

■ 予測入力機能を設定／解除するとき
「予測入力」→「On」／「Off」

■ 学習機能を設定／解除するとき
「学習」→「On」／「Off」

■ 英文自動大文字化機能を設定／解除するとき
「英文自動大文字化」→「On」／「Off」

■ フレキシブル検索機能を設定／解除するとき
「フレキシブル検索」→「On」／「Off」

■ 学習機能をリセットするとき
「学習リセット」→操作用暗証番号を入力→ ■（OK）→「はい」

■ 絵文字／記号の履歴をリセットするとき
「絵／記号履歴リセット」→「はい」

■ 文字サイズを変更するとき
「文字サイズ」→「大」／「標準」／「小」

■ カーソルの移動速度を変更するとき
「自動カーソル」→「Off」／「遅い」／「普通」／「速い」／「高速」

作成中のSMSを下書きに保存したい　【下書きに保存】

SMS作成画面で Y! →「下書きに保存」

- 宛先、本文のいずれかが入力されている場合のみ、下書きに保存できます。

作成中のSMSをS!メールに変更したい　【S!メールに変換】

SMS作成画面で Y! →「S!メールに変換」

- ハングル文字を入力したSMSをS!メールに変換する場合、デコレメールが使用できなくなります。

作成中のSMSの配信確認を設定したい

SMS作成画面で Y! →「送信オプション」→「配信確認」→「On」／「Off」

- 「On」に設定すると、SMSセンターからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の本機に送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のSMSの有効期限を設定したい

SMS作成画面で Y! →「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

入力した本文をすべて削除したい　【本文削除】

SMS作成画面で Y! →「本文削除」→「はい」

作成中のSMSを圏内時に自動送信したい

SMS作成画面で Y! →「送信予約」→「圏内時に送信」→「はい」

作成中のSMSの送信時間を指定したい

SMS作成画面で Y! →「送信予約」→「日時指定」→予約日欄で予約日を入力→予約時刻欄で予約時刻を入力→ ■（OK）→「はい」

デコレメール送信

絵文字の追加位置を制限したい

S! メール作成画面で、「楽デコ」→ Y!(設定)→「絵文字」→「インライン＋行末」／「行末のみ」→ ■(OK)→ ✉(送信)

- 本文が入力されている場合のみ、楽デコの操作が可能です。

テキストカラー／テキストサイズ／背景色の On ／ Off を設定したい

S! メール作成画面で、「楽デコ」→ Y!(設定)→「テキストカラー」／「テキストサイズ」／「背景色」→「On」／「Off」→ ■(OK)→ ✉(送信)

- 本文が入力されている場合のみ、楽デコの操作が可能です。

楽デコのテーマを変更したい

S! メール作成画面で、「楽デコ」→ Y!(設定)→「テーマ選択」→「エモーショナルキャラクター」／「ブラック＆シンプル」／「標準」→ ■(OK)→ ✉(送信)

- 本文が入力されている場合のみ、楽デコの操作が可能です。

テンプレートを使ってメールを作成・送信したい

✉ →「テンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→ ■(メール作成)→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)

受信メール

手動でメールを受信したい

✉ →「新着メール受信」

添付画像の表示サイズを設定したい

✉ →「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→ Y! →「設定」→「画像表示設定」→項目を選択

全文を受信していないメールを受信したい **[サーバーメール受信]**

✉ →「受信ボックス」→フォルダを選択

■ 1 件受信するとき

メールを選んで Y!→「サーバーメール受信」→「1 件」

■ 複数のメールを受信するとき

Y! →「サーバーメール受信」→「複数」→メールをチェック→ ✉(受信)

■ すべて受信するとき

Y! →「サーバーメール受信」→「全件」

- 「最大受信サイズ」を「2MB」に設定している場合に、サーバーメールのサイズが300KB 以上のメールを受信したときは、受信するメールのサイズを「300KB 以内」／「最大」から選択してください。

受信通知／サーバメールを転送したい **[転送]**

✉ →「受信ボックス」→フォルダを選択→受信通知を選択→ Y! →「転送」→項目を選択→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)

- フォルダを選択後、受信通知を選んで Y! →「転送」→項目を選択→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)でも同じ操作ができます。

差出人に電話をかけたい **[発信]**

✉ →「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選んで Y! →「発信」→ ■(📞)／ ⌒

- 宛先人が電話番号の場合のみ利用できます。

受信通知からメールサーバに保存されているメールを削除したい **[削除]**

✉ →「受信ボックス」→フォルダを選択→受信通知を選択→ Y! →「削除」→項目を選択→「はい」

受信メールに定型文で簡潔に返信したい

✉ →「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→ ✉(長押：クィック返信)を長押し→定型文を選択

- フォルダを選択後、メールを選んで ✉(長押：クィック返信)を長押し→定型文を選択しても同じ操作ができます。
- 定型文を選択するとメールが送信されます。

メールの利用／管理

添付ファイルを確認したい

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→ファイルを選択

- 確認前に画像ファイル以外のファイルをデータフォルダに保存するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「保存」を選択します。画像ファイルをデータフォルダに保存するには、メッセージ画面でファイルを選択→✉(保存)→「ピクチャーに保存」／「マイ絵文字に保存」／「デコレメピクチャに保存」を選択します。
- 確認前に vcf ファイルと vcs ファイルを電話帳やカレンダー、予定リストに登録するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「電話帳登録」／「カレンダーに登録」を選択します。
- コンテンツ・キーの購入／取得が必要なファイルが添付されている場合は、確認メッセージが表示されます。ファイルを確認するときは、「はい」を選択してコンテンツ・キーを購入または取得します。
- 回数制限があり、1 回だけ再生／表示できるファイルを選択→「開く」を選択したときは、表示／再生回数が 1 回だけ残っていることをお知らせするメッセージが表示されます。

メールグループの名前を変更したい **[グループ名変更]**

▣→「電話機能」→「メールグループ」→グループ名を選んで Y! →「グループ名変更」→グループ名を入力

メールグループを削除したい **[削除]**

▣→「電話機能」→「メールグループ」

■ 1 件削除するとき

メールグループを選んで Y! →「削除」→「1 件」→「はい」

■ すべてのメールグループを削除するとき

Y! →「削除」→「全件」→「はい」

メールグループのメンバーを解除したい

▣→「電話機能」→「メールグループ」→グループを選択

■ 1 件解除するとき

メンバーを選んで Y!(解除)→「1 件」

■ 複数のメンバーを解除するとき

Y!(解除)→「複数」→メンバーをチェック→ ✉(解除)

■ すべてのメンバーを解除するとき

Y!(解除)→「全件」→「はい」

送信者や宛先を確認したい **[メールアドレス表示]**

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→ Y! →「メールアドレス表示」

メールの内容をコピーしたい **[コピー]**

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→ Y! →「コピー」

■ 差出人や宛先をコピーするとき

「アドレス」→アドレスを選択

■ 件名をコピーするとき

「件名」(➲P.2-18 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい)

■ 本文をコピーするとき

「本文」(➲P.2-18 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい)

表示中のメールを削除したい **[削除]**

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→ Y! →「削除」→「はい」

画像表示を設定したい

✉→「受信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→ Y! →「設定」→「画像表示設定」→項目を選択

メールの文字サイズを設定したい

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→ Y! →「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

メッセージ画面のスクロール単位を設定したい

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

メールの文字コードを設定したい
[文字コード変換]

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「文字コード変換」→項目を選択

受信したメールを迷惑メールとして申告したい
[迷惑メール申告]

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「迷惑メール申告」→✉(送信)

メッセージ画面の文頭／文末に移動したい
[画面移動]

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「画面移動」→項目を選択

メール／デコレメールテンプレートの詳細を確認したい
[詳細]

✉→「受信ボックス」／「テンプレート」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メール／テンプレートを選択→Y!→「詳細」

- ✉→「受信ボックス」／「下書き」／「テンプレート」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メール／テンプレートを選んでY!→「詳細」でも同じ操作が行えます。

メール一覧画面のメールを並べ替えたい
[ソート]

✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→Y!→「ソート」→項目を選択

- 並べ替えができる項目は、次のとおりです。
  - 日付の順(「日付：新しい順」／「日付：古い順」)
  - 宛先／送信者の順(「宛先順」／「送信者順」)
  - 未読／既読を分けて表示(「未読／既読順」)
  - 件名の順(「件名順」)
  - メールサイズの大きい順(「サイズ順」)
  - 添付ファイルあり／なしを分けて表示(「添付順」)
  - 保護されている／されていないメールを分けて表示(「保護順」)
  - フラグの点灯／消灯を分けて表示(「フラグ順」)
- 「宛先順」／「送信者順」／「件名順」を選択したときは、半角記号、半角数字、半角英字、半角カタカナ、全角ひらがな、全角カタカナ、ハングル、漢字、絵文字、全角数字、全角記号、全角英字の順で表示されます。ただし、「件名順」を選択したときは「タイトルなし」が優先されます。

メールのフラグを設定／解除したい
[フラグ設定]

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選んでY!→「フラグ設定(短押：1キー)」／「フラグ解除(短押：1キー)」

- ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選んで1でも同じ操作が行えます。

メールを既読／未読にしたい
[未読に変更]／[既読に変更]

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択

■1件変更するとき

メールを選んでY!→「未読に変更」／「既読に変更」→「1件」

■複数のメールを変更するとき

Y!→「未読に変更」／「既読に変更」→「複数」→メールをチェック→✉(未読)／✉(既読)

■すべてのメールを変更するとき

Y!→「未読に変更」／「既読に変更」→「全件」

- メールを選択するたびに設定が切り替わります。

メール一覧画面でSMSを本機／USIMカードに移動したい
[USIMに移動]／[本体に移動]

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→SMSを選んでY!→「USIMに移動」／「本体に移動」

- USIM カードには、最大 10 通の SMS を保存できます。USIM カードに保存できる件数は、カードの種類によって異なります。
- 作成したフォルダにある受信 SMS を USIM カードに移動する場合は、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると USIM カードに移動します。

下書きからメールを送信したい

✉ →「下書き」→メールを選択→ ✉(送信)

- 宛先が入力されていないときは ✉(送信)は選択できません。

送信済みメールを編集して送信したい

✉ →「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→ ✉(編集)→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷、P.4-6 SMS を作成·送信する ❷)

- ✉ →「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選んで ✉(編集)でも同じ操作が行えます。

配信レポートを確認したい **[レポート]**

✉ →「送信済みボックス」→フォルダを選択→「配信確認」を設定したメールを選択→ Y! →「レポート」

- SMS または電話番号を宛先にした S! メールで送信した場合に、確認できます。

送信済みのメールを取り消すメールを送りたい **[送信済メール取消]**

✉ →「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→ Y! →「送信済メール取消」→「はい」→「送信したメールをキャンセルします」というメールが送信されます。

未送信メールを編集して送信したい **[編集と送信]**

✉ →「未送信ボックス」→メールを選択→ Y! →「編集と送信」→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷、P.4-6 SMS を作成·送信する ❷)

- ✉ →「未送信ボックス」→メールを選んで Y! →「編集」でも同じ操作が行えます。

未送信メールを再送信したい

✉ →「未送信ボックス」→メールを選んで ✉(再送信)

未送信メールのエラー詳細を確認したい **[エラー詳細]**

✉ →「未送信ボックス」→メールを選んで Y! →「エラー詳細」

登録したデコレメールテンプレートを表示して確認したい

✉ →「テンプレート」→デコレメールテンプレートを選択

登録したデコレメールテンプレートを編集したい **[テンプレート保存]**

✉ →「テンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→ ■(メール作成)→本文入力欄を選択→本文を入力→ Y! →「テンプレート保存」→ファイル名を入力

登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい **[メール添付送信]**

✉ →「テンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→ Y! →「メール添付送信」→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)

デコレメールテンプレートを送信したい

✉ →「テンプレート」

■ メールで送信するとき

テンプレートを選んで Y! →「送信」→「メール添付」→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→テンプレートをチェック→ ✉(送信)→(➲P.13-3)

デコレメールテンプレートを移動したい **[移動]**

✉ →「テンプレート」

■ 1 件移動するとき

テンプレートを選んで Y! →「移動」→「1 件」→移動先を選択

■ 複数のテンプレートを移動するとき

[Y!]→「移動」→「複数」→テンプレートをチェック→[✉](移動)→移動先を選択

■ すべてのテンプレートを移動するとき

[Y!]→「移動」→「全件」→移動先を選択

- 新規にフォルダを作成してその中に移動する場合は、[Y!](作成)→フォルダ名を入力します。

デコレメールテンプレートをコピーしたい

[コピー]

[✉]→「テンプレート」

■ 1 件コピーするとき

テンプレートを選んで[Y!]→「コピー」→「1 件」→コピー先を選択

■ 複数のテンプレートをコピーするとき

[Y!]→「コピー」→「複数」→テンプレートをチェック→[✉](コピー)→コピー先を選択

■ すべてのテンプレートをコピーするとき

[Y!]→「コピー」→「全件」→コピー先を選択

- 新規にフォルダを作成してその中にコピーする場合は、[Y!](作成)→フォルダ名を入力します。

デコレメールテンプレートを並べ替えたい

[ソート]

[✉]→「テンプレート」→[Y!]→「ソート」→項目を選択

デコレメールテンプレートを管理したい

[データ管理]

[✉]→「テンプレート」→必要に応じてフォルダを選択

■ テンプレート名を変更するとき

テンプレートを選んで[Y!]→「データ管理」→「テンプレート名変更」→名前を入力

■ フォルダを作成するとき

[Y!]→「データ管理」→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

■ フォルダ名を変更するとき

フォルダを選んで[Y!]→「データ管理」→「フォルダ名変更」→名前を入力

■ コンテンツ・キー情報を確認するとき

[Y!]→「データ管理」→「コンテンツ・キー情報」→コンテンツ・キーを選択

■ コンテンツ・キーを購入または取得するとき

テンプレートを選んで[Y!]→「データ管理」→「コンテンツ・キー再取得」

メールサーバに保存されているメールを確認したい

[✉]→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

メールリストを更新したい

[✉]→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→[✉](更新)

メールリストからメールを受信したい

[✉]→「サーバーメール操作」

■ 1 件受信するとき

「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→メールを選んで[■](受信)

または

「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→メールを選んで[Y!]→「受信」→「1 件」

■ メールを選択して受信するとき

「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→[Y!]→「受信」→「複数」→メールをチェック→[✉](受信)

■ すべてのメールを受信するとき

「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→[Y!]→「受信」→「全件」

- 「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→[Y!]→「メール全受信」を選択しても同じ操作を行うことができます。

メールサーバに保存されているメールを転送したい

[サーバーメール転送]

[✉]→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→メールを選んで[Y!]→「サーバーメール転送」→(➔P.4-4 S! メールを送信する❷)

- 転送するメールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- サーバメール転送後、サーバからメールを削除するかどうかをあらかじめ設定することができます（➔P.4-20 サーバメール転送後、サーバからメールを削除するかどうか設定したい）。

メールサーバに保存されているメールをすべて削除したい

✉→「サーバーメール操作」→「メール全削除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→項目を選択

メールリストを利用してサーバ内のメールを削除したい　［削除］

✉→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

■ 1件削除するとき

メールを選んで Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数のメールを削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→メールをチェック→✉（削除）→「はい」

■ すべてのメールを削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

メールサーバの使用状況を確認したい

✉→「サーバーメール操作」→「サーバーメール容量」

- 最新の情報に更新する場合は■（更新）を押します。

メモリの使用状況を確認したい

✉→「メモリ容量確認」→Y!（件数）／Y!（サイズ）

- 「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」／「SMS（USIM）」別に表示されます。
- USIMカード内に保存したSMSは、「件数」で表示したとき確認できます。
- 確認したメモリを削除するには✉（削除）を押します（➔P.12-14 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

フォルダ管理

フォルダ名を変更したい　［フォルダ名変更］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選んで Y!→「フォルダ名変更」→名前を入力

- 「受信メール」フォルダと「送信メール」フォルダはフォルダ名を変更することができません。

シークレット設定を設定したい　［シークレット設定］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「テンプレート」→フォルダを選んで Y!→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→確認画面が表示されたときは■（OK）

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、Y!→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）を押します。

フォルダの詳細情報を確認したい　［詳細］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「テンプレート」→フォルダを選んで Y!→「詳細」

フォルダを削除したい　**[削除]**

✉ →「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「テンプレート」→フォルダを選んで Y! →「削除」

- 「受信メール」フォルダと「送信メール」フォルダは削除することができません。

メールの自動振り分けルールを変更したい　**[ルール変更]**

✉ →「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選んで Y! →「メール振り分け設定」→ルールを選んで Y! →「ルール変更」→（➔P.4-16 メールを振り分ける ❸）

振り分けルールを削除したい　**[削除]**

✉ →「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選んで Y! →「メール振り分け設定」

■ 1 件削除するとき

ルールを選んで Y! →「削除」→「1 件」

■ 複数削除するとき

Y! →「削除」→「複数」→ルールをチェック→ ✉（削除）

■ 全件削除するとき

Y! →「削除」→「全件」→「はい」

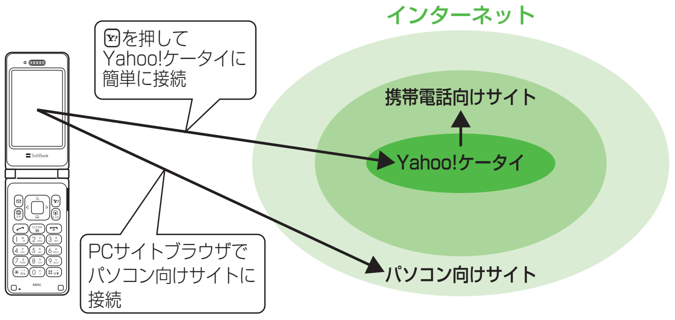
メモ

インターネット

5

インターネットについて

本機では、Yahoo! ケータイや PC サイトブラウザでインターネットに接続し、コンテンツの閲覧や、画像やサウンドなどのダウンロードを行うことができます。
この章では、インターネットの使い方について説明します。



- Yahoo! ケータイや PC サイトブラウザでインターネットに接続したとき、表示される画面を情報画面といいます。
- 本書では、ソフトバンクのポータルサイトを「Yahoo! ケータイ」、PC サイトブラウザを利用して閲覧できるサイトを「PC サイト」とし、これらの総称を「インターネット」と表記しています。
- インターネットのご利用前に、あらかじめネットワーク自動調整を行う必要があります。

注意

- インターネットのご利用には、別途ご契約が必要です。
- 情報画面への接続時にパケット通信料が発生します。

安全に通信するしくみ(SSL ／ TLS)

SSL(Secure Sockets Layer)と TLS (Transport Layer Security)とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル(通信規約)です。SSL/TLS 接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーにかかわる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。
本機では、あらかじめ認証機関から発行されたサーバ証明書が登録されていて、確認することもできます(➔P.5-11)。

注意

- SSL/TLS の利用について
  セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任において SSL/TLS を利用するものとします。お客様自身による SSL/TLS の利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、エントラストジャパン株式会社、GMO グローバルサイン株式会社、RSA セキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパンは、お客様に対し SSL/TLS の安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

一時保存用メモリ(キャッシュ)ですばやく表示

キャッシュとは、インターネットで入手したメニューや情報を、一時的に保存するメモリです。キャッシュに保存された情報は、インターネットを終了したり電源を切ったりしても保持されますが、メモリの容量がいっぱいになると古い情報から自動的に消去されます。
キャッシュに情報が保存されている情報画面を再表示すると、サービスセンター内の最新情報ではなく、以前に表示した情報画面が表示される場合があります。最新の情報を表示するには、情報を更新してください。

- 本機に他のUSIMカードを取り付けたときは、キャッシュに保存されている情報が自動的に消去されます。
- 有効期限が設定されている情報が保存されているときは、設定されている期限になると、キャッシュから自動的に消去されます。

Yahoo! ケータイ

Yahoo! ケータイを利用すれば、いろいろなコンテンツを閲覧したり、ダウンロードすることができます。
Yahoo! ケータイの接続方法には、以下の6つの方法があります。

- メインメニューから接続する方法
- メニューリストから接続する方法
- URLを直接入力して接続する方法
- 閲覧履歴を利用して接続する方法
- ブックマークから接続する方法(➔P.5-8)
- Web検索から接続する方法(➔P.5-10)

注意

- 「Referer送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります(➔P.5-11)。

Yahoo! ケータイのメインメニューから接続する

Yahoo! ケータイのメインメニューから項目を選択し、目的の情報画面に接続できます。

1. [Y!]
2. **項目を選択**

- お買い上げ後に初めてインターネットに接続すると、操作 1 でネットワーク自動調整画面が表示されます。ネットワーク自動調整を行うと、情報画面が表示されます。
- PCサイトブラウザの情報画面に切り替えるには、Yahoo! ケータイの情報画面で [Y!] →「PCサイトブラウザ切替」→「このページ」/「リンク先」→警告メッセージが表示されたときは、[■](選択)を押します。

Yahoo! ケータイのメニューリストから接続する

Yahoo! ケータイのメニューリストから項目を選択し、目的の情報画面に接続できます。

1. [■] →「Yahoo!」→「メニューリスト」

URL を入力して接続する

Yahoo! ケータイの URL 入力から閲覧したい情報画面の URL を入力することで、目的の情報画面に接続できます。

1 ■ →「Yahoo!」→「URL 入力」

- URL 欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。

2 URL を入力

- 情報画面で Y! →「URL 入力」→ URL を入力しても同じ操作を行うことができます。URL 欄には、あらかじめ現在の情報画面の URL が入力されています。

一度みたサイトに接続する（閲覧履歴）

Yahoo! ケータイから接続したサイトは、Yahoo! ケータイの閲覧履歴に登録されます。閲覧履歴では、閲覧したいサイトを選択し、目的の情報画面に接続できます。
履歴には接続した情報画面の URL が最大 50 件まで記録されます。

1 ■ →「Yahoo!」→「閲覧履歴」

2 サイトを選択

- 情報画面で Y! →「便利機能」→「閲覧履歴」→サイトを選択しても同じ操作を行うことができます。
- ■ →「Yahoo!」→「最新閲覧画面」を選択すると、最後に閲覧したサイトに接続することができます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-12

- 情報画面から Yahoo! ケータイのメインメニューに移動したい

設定

- 情報画面のキャッシュ／ Cookie ／認証情報を消去する（☞P.14-18）
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.14-19）
- Referer を送信するかどうか設定する（☞P.14-19）
- Cookie の有効／無効を設定する（☞P.14-19）
- ルート証明書を確認する（☞P.14-19）
- 認証情報の保存期間を設定する（☞P.14-19）
- ブラウザを初期化する（☞P.14-19）
- 設定をリセットする（☞P.14-19）

PC サイトの閲覧

PC サイトブラウザを利用すれば、パソコン向けに作成された情報画面に接続し、コンテンツを閲覧したり、ダウンロードすることができます。
PC サイトから接続する方法には、以下の 5 つの方法があります。

- ホームページから接続する方法
- URL を直接入力して接続する方法
- 閲覧履歴を利用して接続する方法
- ブックマークから接続する方法（➲P.5-8）
- Web 検索から接続する方法（➲P.5-10）

注意

- 「Referer 送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります（➲P.5-11）。
- データ量の多い情報画面を表示するときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

PCサイトブラウザのホームページから接続する

PCサイトブラウザのホームページから項目を選択し、パソコン向けサイトの情報画面に接続できます。

1 ■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ホームページ」

- 警告メッセージが表示されたときは、■(選択)を押します。

2 項目を選択

- PCサイトブラウザを起動すると、ディスプレイ最上段に が表示されます。
- PCサイトブラウザでは、ドキュメントファイル以外のデータをダウンロードまたはストリーミングすることはできません。
- サイトによっては正しく表示されない場合があります。
- Yahoo!ケータイの情報画面に切り替えるには、PCサイトブラウザの情報画面でY!→「Yahoo!ケータイ切替」→「このページ」を選択します。

URLを入力して接続する

PCサイトブラウザのURL入力から閲覧したい情報画面のURLを入力することで、目的の情報画面に接続できます。

1 ■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「URL入力」

- URL欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。

2 URLを入力

- 警告メッセージが表示されたときは、■(選択)を押します。

- 情報画面でY!→「URL入力」→URLを入力しても同じ操作を行うことができます。URL欄には、あらかじめ現在の情報画面のURLが入力されています。

一度みたサイトに接続する(閲覧履歴)

PCサイトブラウザから接続したサイトは、PCサイトブラウザの閲覧履歴に登録されます。閲覧履歴では、閲覧したいサイトを選択し、目的の情報画面に接続できます。
履歴には接続した情報画面のURLが最大50件まで記録されます。

1 ■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」

2 サイトを選択

- 警告メッセージが表示されたときは、■(選択)を押します。

- 情報画面でY!→「便利機能」→「閲覧履歴」→サイトを選択しても同じ操作を行うことができます。
- ■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「最新閲覧画面」を選択すると、最後に閲覧したサイトに接続することができます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-12

- 情報画面からPCサイトのホームページに移動したい
- 情報画面の表示幅を変更したい

設定

- 情報画面のキャッシュ/Cookie/認証情報を消去する(☞P.14-20)
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する(☞P.14-20)
- Refererを送信するかどうか設定する(☞P.14-20)
- Cookieの有効/無効を設定する(☞P.14-20)
- スクリプトの有効/無効を設定する(☞P.14-20)
- ルート証明書を確認する(☞P.14-20)
- 認証情報の保存期間を設定する(☞P.14-20)
- 警告メッセージを表示するかどうか設定する(☞P.14-20)
- ブラウザを初期化する(☞P.14-20)
- 設定をリセットする(☞P.14-20)

情報画面の操作

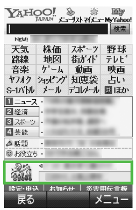
情報画面では、文字や画像などが表示されます。
表示された文字などは、拡大や縮小が可能です。
情報画面では、メニューなどを選択して閲覧したい情報画面にリンクしたり、ラジオボタンを選択して条件を設定することができます。

メニューを選択する

1 / で上方向/下方向にスクロール

- / で上方向/下方向に複数行分スクロールします。
- 情報画面の下部に横方向のスクロールバーが表示されている場合は、 / で左方向/右方向にスクロールします。

2 メニューを選んで (選択)



情報画面
(Yahoo!ケータイ)

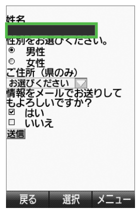
- 前の情報画面がない状態で (戻る)/ を押すと、インターネット接続終了の確認メッセージが表示され、「はい」を選択するとインターネット接続を終了します。
- (戻る)/ を押すと、ひとつ前の情報画面へ戻ります。
- リンクなどを選んで (選択)を押すと、選択した情報画面に進みます。
- →「進む」を選択すると、 (戻る)/ を押す前の状態に戻ります。
- を長押しすると、情報画面の BGM がミュート(消音)になります。

文字を入力する

登録内容や認証のパスワードなどを入力します。

1 文字入力欄を選択

2 文字を入力



注意

- 文字入力や項目選択の表示は、表示する情報画面によって異なる場合があります。

画面の一部分を拡大する/縮小する

Yahoo! ケータイで画面の拡大/縮小ができます。

1 →「便利機能」→「拡大縮小表示」

2 で倍率を選択→ (保存)



5 インターネット

複数の画面を切り替えて表示する(タブ)

画面上部に表示されるタブを利用して、最大３つの情報画面を表示できます。

❶ 情報画面を表示

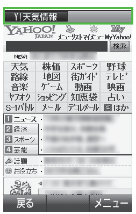
■ 新しいタブで開くとき
リンクを選んで Y! →「タブメニュー」→「新しいタブで開く」

■ タブを切り替えるとき
Y! →「タブメニュー」→「タブ切替」→ ◀▶ で表示したいタブに切り替え → ■(選択)

- *A/a を長押ししても、タブ切替モードに切り替わります。

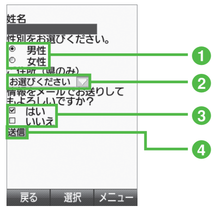
■ 選択中のタブを閉じるとき
Y! →「タブメニュー」→「選択中のタブを閉じる」

■ タブを選択して閉じるとき
Y! →「タブメニュー」→「他のタブを閉じる」→ ◀▶ で閉じたいタブに切り替え→ ■(選択)



- Yahoo! ケータイの情報画面と PC サイトブラウザの情報画面は同時に表示できません。
- 情報画面によっては、自動的にタブが追加されることがあります。
- 複数の情報画面を表示しているときは、情報画面が一部表示できないことがあります。不要となった情報画面は閉じて閲覧することをおすすめします。

ボタン/チェックボックス/ラジオボタンなどを利用する



❶ ラジオボタン
複数の選択項目から１つの項目を選択するには、○→◉の項目を選んで→ ■(選択)
◉に変わり、選択された状態になります。

❷ メニュー欄
メニューを表示して項目を選択するには、メニューを選んで ■(選択)→項目を選んで ■(選択)

❸ チェックボックス
複数の選択項目から複数の項目を選択するには、□→☑の項目を選んで ■(選択)
☑に変わり、選択された状態になります。

❹ 実行ボタン
ボタンに表示されている操作を実行するには、ボタンを選んで ■(選択)

情報画面のリンクからストリーミングする

1 情報画面を表示

2 リンクを選んで ■(選択)



使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-12

- 情報画面のテキストをコピーしたい
- 情報画面を最新の情報に更新したい
- 情報画面で URL を入力して他の情報画面に接続したい
- 閲覧履歴を送信したい
- 閲覧履歴を削除したい
- メニュー操作からブラウザを終了したい

設定

■ Yahoo! ケータイ

- Yahoo! ケータイの情報画面の文字サイズを変更する（☞P.14-6）
- 情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する（☞P.14-18）
- 情報画面での文字コードを設定する（☞P.14-18）
- 情報画面でのスクロール単位を設定する（☞P.14-18）
- 情報画面で画像を表示するかどうか設定する（☞P.14-18）
- 情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する（☞P.14-18）
- 情報画面の画像などの保存先を設定する（☞P.14-18）

■ PC サイトブラウザ

- PC サイトブラウザの情報画面の文字サイズを変更する（☞P.14-6）
- 情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する（☞P.14-19）
- 情報画面での文字コードを設定する（☞P.14-18）
- 情報画面でのスクロール単位を設定する（☞P.14-18）
- 情報画面で画像を表示するかどうか設定する（☞P.14-19）
- 情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する（☞P.14-20）
- 情報画面の画像などの保存先を設定する（☞P.14-18）

ブックマーク／画面メモ

ブックマークには情報画面の URL が登録され、インターネットに接続することで情報画面を表示できます。
画面メモには情報画面そのものが登録され、インターネットに接続せずに情報画面を表示できます。

ブックマークに登録する

ブックマークは、Yahoo! ケータイと PC サイトそれぞれで最大 50 件まで保存できます。

1 情報画面を表示

2 Y! →「ブックマーク」→「登録」

3 タイトルを入力

ブックマークから接続する

1 ■ →「Yahoo!」→必要に応じて「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」

2 ブックマークを選択

注意

- 情報画面への接続時には、パケット通信料が発生します。

画面メモに登録する

画面メモは、Yahoo! ケータイと PC サイトでそれぞれ最大 30 件まで登録できます。

1. **情報画面を表示**
2. **[Y!] →「画面メモ」→「登録」**
3. **タイトルを入力**

画面メモを表示する

1. **[■] →「Yahoo!」→必要に応じて「PC サイトブラウザ」→「画面メモ」**
2. **画面メモを選択**

注意

- 画面メモを保存したときに取り付けていた USIM カードを差し替えると、画面メモは表示できません。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-13

- ブックマークを直接入力して登録したい
- ブックマークのタイトルや URL を編集したい
- ブックマークの URL を S! メールに添付して送信したい
- ブックマークの URL を SMS の本文に挿入して送信したい
- ブックマークの URL を赤外線通信で送信したい
- ブックマークの一覧表示にフォルダを作成したい
- ブックマークをフォルダの中に移動したい
- ブックマークを並べ替えたい
- ブックマークをデータフォルダに保存したい
- ブックマークの詳細を確認したい
- ブックマークを削除したい
- 画面メモのタイトルを編集したい
- 画面メモを削除したい

便利な機能

Yahoo! ケータイ／PC サイトブラウザ共通の機能

情報画面のテキストをコピーしたい 【テキストコピー】

情報画面で [Y!] →「テキストコピー」

■ **文字を選択してコピーするとき**

コピーしたい最初の文字に [◎] でカーソルを合わせ [■](始点)→ [◎] で範囲を指定→ [■](終点)

■ **文字入力画面上のすべての文字をコピーするとき**

[Y!](全て)

情報画面を最新の情報に更新したい 【更新】

情報画面で [Y!] →「更新」

情報画面で URL を入力して他の情報画面に接続したい 【URL 入力】

情報画面で [Y!] →「URL 入力」→ URL を入力

履歴を使って URL を入力したい

情報画面で [Y!] →「URL 入力」→ [Y!] →「挿入」→「URL 入力履歴」→ URL を選択

- [■] →「Yahoo!」→(「PC サイトブラウザ」)→「URL 入力」→ [Y!] →「挿入」→「URL 入力履歴」→ URL を選択しても同じ操作を行うことができます。

- URL 入力履歴は、新しいものから順に最大 10 件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

表示しているページとは別に Web 検索をしたい

情報画面で [Y!] →「便利機能」→「Web 検索」→検索文字を入力

- ■ →「Yahoo!」→(「PC サイトブラウザ」)→「Web 検索」でも検索することができます。

情報画面のテキストを検索したい

情報画面で [Y!] →「便利機能」→「ページ内検索」→検索文字を入力

- 一致した検索文字が選ばれます。✉(戻る)/ ■(進む)を押すと、前後のテキストを検索します。情報画面に戻るときは [Y!](キャンセル)を押します。

表示しているページの文頭/文末へ移動したい

情報画面で [Y!] →「便利機能」→「ページ内移動」→「文頭へ移動」/「文末へ移動」

情報画面の URL をメールで送信したい

情報画面で [Y!] →「便利機能」→「URL 送信」→「S! メール」/「SMS」→(➔P.4-4 S! メールを送信する ②、P.4-6 SMS を作成·送信する ②)

以前に表示した情報画面を表示したい

情報画面で [Y!] →「便利機能」→「閲覧履歴」→ URL を選択

- ■ →「Yahoo!」→(「PC サイトブラウザ」)→「閲覧履歴」→ URL を選択しても同じ操作を行うことができます。
- 履歴には接続した情報画面の URL が最大 50 件まで記録されます。
- 閲覧履歴を新しいタブで表示したいときは、閲覧履歴を選んで [Y!] →「新しいタブで開く」を選択します。

閲覧履歴を送信したい　[URL 送信]

情報画面で [Y!] →「便利機能」→「閲覧履歴」→ URL を選んで [Y!] →「URL 送信」→「S! メール」/「SMS」→(➔P.4-4 S! メールを送信する ②、P.4-6 SMS を作成·送信する ②)

- ■ →「Yahoo!」→(「PC サイトブラウザ」)→「閲覧履歴」→ URL を選んで [Y!] →「URL 送信」→「S! メール」/「SMS」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴を削除したい　[削除]

情報画面で [Y!] →「便利機能」→「閲覧履歴」

■ 1 件削除するとき

URL を選んで [Y!] →「削除」→「1 件」→「はい」

■ 複数削除するとき

[Y!] →「削除」→「複数」→履歴をチェック→ ✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

[Y!] →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

- ■ →「Yahoo!」→(「PC サイトブラウザ」)→「閲覧履歴」→ URL を選んで [Y!] →「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

情報画面を拡大/縮小したい

情報画面で [Y!] →「便利機能」→「拡大縮小表示」→ [↕] で倍率を選択→ ■(保存)

情報画面から Flash® を操作したい

情報画面の Flash® を表示し [Y!] →「便利機能」→「Flash® メニュー」

■ 一時停止/再生するとき

「一時停止」/「再生」

■ 始めから再生するとき

「始めから再生」

選択中のフレームだけを表示したい

情報画面で [Y!] →「便利機能」→「フレームイン」

- 情報画面によっては、画面が分割されていることがあります。このとき分割された 1 つ 1 つの画面を「フレーム」と呼びます。
- 元に戻るには、[Y!] →「便利機能」→「フレームアウト」を選択します。

表示中の情報画面のプロパティを確認したい

情報画面で Y! →「便利機能」→「プロパティ表示」

■ **ページ情報を確認するとき**

「ページ情報」

■ **サーバー証明を確認するとき**

「サーバー証明」

情報画面の文字サイズを変更したい

情報画面で Y! →「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

文字コードを変更したい

情報画面で Y! →「設定」→「文字コード変換」→項目を選択

- 情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。

情報画面のスクロール幅を変更したい

情報画面で Y! →「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

情報画面で画像やサウンドを表示／再生するかどうか設定したい

情報画面で Y! →「設定」→「画像・音設定」

■ **画像の設定をするとき**

「画像表示」→「表示する」／「表示しない」

■ **サウンドの設定をするとき**

「音再生」→「再生する」／「再生しない」

情報画面の画像などの保存先を設定したい

情報画面で Y! →「設定」→「保存先設定」→「メモリカード優先」／「本体」／「毎回確認」

キャッシュに保存された情報を消去したい

情報画面で Y! →「設定」→「メモリ操作」→「キャッシュ消去」→「はい」

Cookie を消去したい

情報画面で Y! →「設定」→「メモリ操作」→「Cookie 消去」→「はい」

認証情報を消去したい

情報画面で Y! →「設定」→「メモリ操作」→「認証情報消去」→「はい」

製造番号を通知するかどうか設定したい

情報画面で Y! →「設定」→「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→「On」／「Off」

Referer 情報の転送を設定したい

情報画面で Y! →「設定」→「セキュリティ設定」→「Referer 送出」→項目を選択

- Referer とは、情報画面に接続する際にウェブサーバへ送信するリンク元の URL 情報のことです。

Cookie の設定をしたい

情報画面で Y! →「設定」→「セキュリティ設定」→「Cookie 設定」→項目を選択

- 「毎回確認」を選択すると Cookie の記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- Cookie とは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に本機に記録する仕組みです。Cookie には、ユーザー情報や接続日時などが記録されます。

ルート証明書を確認したい

情報画面で Y! →「設定」→「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→証明書を選択→ ■(OK)

- 本機にあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。

認証情報の設定をしたい

情報画面で Y! →「設定」→「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択

保存された情報を初期化したい

情報画面で Y! →「設定」→「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

- ブラウザの設定やブックマーク、画面メモなどの保存された情報を初期化できます。

Yahoo! ケータイ／PC サイトブラウザの設定をリセットしたい

情報画面で Y! →「設定」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

メニュー操作からブラウザを終了したい

[ブラウザ終了]

情報画面で Y! →「ブラウザ終了」→「はい」

Yahoo! ケータイ

情報画面から Yahoo! ケータイのメインメニューに移動したい **[Yahoo! ケータイ]**

情報画面で Y! →「Yahoo! ケータイ」

PC サイトブラウザ

情報画面から PC サイトのホームページに移動したい **[ホームページ]**

情報画面で Y! →「ホームページ」

スクリプト設定をしたい

情報画面で Y! →「設定」→「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択

警告画面の表示を設定したい

情報画面で Y! →「設定」→「警告画面表示設定」→「On」／「Off」

- Yahoo! ケータイから PC サイトブラウザを切り替えたとき、または PC サイトブラウザを起動したときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。

情報画面の表示幅を変更したい

[スモールスクリーン]／[PC スクリーン]

情報画面で Y! →「スモールスクリーン」／「PC スクリーン」

情報画面操作

情報画面内の電話番号／E メールアドレスを電話帳に登録したい

情報画面で電話番号／E メールアドレスを選択→「電話帳登録」→「本体」／「USIM」

■ 新しい電話帳に登録するとき

「新規」→(➔P.2-15 新規に電話帳を登録する②)

■ 既存の電話帳に追加登録するとき

「追加」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)→電話帳の登録操作(➔P.2-15)

- 利用できる電話番号／E メールアドレスには、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の電話番号／E メールアドレスを利用してメールを送信したい

情報画面で電話番号／E メールアドレスを選択→「メール作成」→「S! メール」／「SMS」→(➔P.4-4 S! メールを送信する⑤、P.4-6 SMS を作成・送信する⑤)

- 利用できる電話番号／E メールアドレスには、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の電話番号を利用して電話をかけたい

情報画面で電話番号を選択→「音声通話」／「TV コール」

- 利用できる電話番号には、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の URL を利用して他の情報画面に接続したい

情報画面で URL を選択

- 利用できる URL には、アンダーラインが表示されます。

情報画面から画像や各種ファイルを保存したい

■ 情報画面内に表示されている画像を保存するとき

情報画面で Y! →「保存」→「ファイル保存」→画像を選択→「保存」／「マイ絵文字で保存」／「デコレメピクチャーとして保存」

- Yahoo! ケータイでは、画像が複数あるときのみ、画像を選択します。

■ 背景画像を保存するとき

情報画面で Y! →「保存」→「背景画像を保存」→「保存」

■ バックグラウンドで再生されるサウンドを保存するとき

情報画面で Y! →「保存」→「ファイル保存」→ ■(保存)

- PC サイトブラウザでは保存できません。
- ページ内に画像がある場合は、♪を選択してサウンドを保存します。

■ リンク先の各種ファイルを保存するとき

情報画面でファイルのリンクを選んで ■(選択)→「保存」

- 自動保存形式のファイルの場合は、リンクを選択すると自動で保存を行います。
- リンクを選んで ■(選択)を押したときやファイルを保存したときは、次の操作を行うことができます(ファイルにより、行える操作が異なります)。

「再生」: ファイルを再生

「表示」: ファイルを表示

「登録」: 保存したファイルを各種の画面／着信音に設定

「詳細」: ファイルの詳細情報を表示

「ブラウザへ戻る」／「戻る」: 情報画面へ戻る

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

ブックマーク

Yahoo! ケータイと PC サイトブラウザのブックマークを切り替えたい

情報画面で Y! →「ブックマーク」→「一覧表示」→ ✉(PC)／ ✉(Y!)

- ■ →「Yahoo!」→(「PC サイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ ✉(PC)／ ✉(Y!)を押しても同じ操作を行うことができます。

情報画面を表示中にブックマークから接続したい

情報画面で Y! →「ブックマーク」→「一覧表示」→ブックマークを選択

- ブックマークを新しいタブで表示したいときは、ブックマークを選んで Y! →「新しいタブで開く」を選択します。

ブックマークを直接入力して登録したい **[新規登録]**

情報画面で Y! →「ブックマーク」→「一覧表示」→ Y! →「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→ URL 欄を選択→ URL を入力→ ✉(保存)

- ■ →「Yahoo!」→(「PC サイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ Y! →「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→ URL 欄を選択→ URL を入力→ ✉(保存)を押しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークのタイトルやURLを編集したい　**[編集]**

情報画面で [Y!] →「ブックマーク」→「一覧表示」→ブックマークを選んで [Y!] →「編集」→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→ [✉](保存)

- [■] →「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ブックマークを選んで [Y!] →「編集」→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→ [✉](保存)を押しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークのURLをS!メールに添付して送信したい　**[送信]**

情報画面で [Y!] →「ブックマーク」→「一覧表示」→ブックマークを選んで [Y!] →「送信」→「メール」→「S!メール」→ブックマークをチェック→ [✉](送信)→(➔P.4-4 S!メールを送信する ②)

- [■] →「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ブックマークを選んで [Y!] →「送信」→「メール」→「S!メール」→ブックマークをチェック→ [✉](送信)を押しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークのURLをSMSの本文に挿入して送信したい　**[送信]**

情報画面で [Y!] →「ブックマーク」→「一覧表示」→ブックマークを選んで [Y!] →「送信」→「メール」→「SMS」→(P.4-6 SMSを作成・送信する ②)

- [■] →「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ブックマークを選んで [Y!] →「送信」→「メール」→「SMS」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークのURLを赤外線通信で送信したい　**[送信]**

情報画面で [Y!] →「ブックマーク」→「一覧表示」→ブックマークを選んで [Y!] →「送信」→「赤外線通信」→(➔P.13-3)

- [■] →「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ブックマークを選んで [Y!] →「送信」→「赤外線通信」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークの一覧表示にフォルダを作成したい　**[フォルダ作成]**

情報画面で [Y!] →「ブックマーク」→「一覧表示」→ [Y!] →「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

- [■] →「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ [Y!] →「フォルダ作成」→フォルダ名を入力しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークをフォルダの中に移動したい　**[移動]**

情報画面で [Y!] →「ブックマーク」→「一覧表示」

■ 1件移動するとき

ブックマークを選んで [Y!] →「移動」→「1件」→移動先のフォルダを選択

■ 複数移動するとき

[Y!] →「移動」→「複数」→ブックマークをチェック→ [✉](移動)→移動先のフォルダを選択

■ すべて移動するとき

[Y!] →「移動」→「全件」→移動先のフォルダを選択

- [■] →「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ブックマークを選んで [Y!] →「移動」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークを並べ替えたい　**[並べ替え]**

情報画面で [Y!] →「ブックマーク」→「一覧表示」→ブックマークを選んで [Y!] →「並べ替え」→移動させる位置に [◆] でカーソルを移動→ [■](選択)

- [■] →「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ [Y!] →「並べ替え」→移動させる位置に [◆] でカーソルを移動→ [■](選択)を押しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークをデータフォルダに保存したい　**[データフォルダ保存]**

情報画面で [Y!] →「ブックマーク」→「一覧表示」→ブックマークを選んで [Y!] →「データフォルダ保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- [●]→「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ブックマークを選んで[Y!]→「データフォルダ保存」→「本体」/「メモリカード」→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。
- メモリカードを取り付けているときは、保存先が選択できます。

ブックマークの詳細を確認したい 【詳細】

情報画面で[Y!]→「ブックマーク」→「一覧表示」→ブックマークを選んで[Y!]→「詳細」

- [●]→「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ブックマークを選んで[Y!]→「詳細」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークを削除したい 【削除】

情報画面で[Y!]→「ブックマーク」→「一覧表示」

■ 1件削除するとき

ブックマークを選んで[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

[Y!]→「削除」→「複数」→ブックマークをチェック→[✉](削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[●](OK)→「はい」

- [●]→「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「ブックマーク」→ブックマークを選んで[Y!]→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

画面メモ

Yahoo! ケータイとPCサイトブラウザの画面メモを切り替えたい

情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」→[✉]([PC])/[✉]([Y!])

- [●]→「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「画面メモ」→[✉]([PC])/[✉]([Y!])を押しても同じ操作を行うことができます。

情報画面を表示中に画面メモを表示したい

情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」→画面メモを選択

- 画面メモを新しいタブで表示したいときは、画面メモを選んで[Y!]→「新しいタブで開く」を選択します。

画面メモのタイトルを編集したい 【ページ名変更】

情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」→画面メモを選んで[Y!]→「ページ名変更」→名前を入力

- [●]→「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「画面メモ」→画面メモを選んで[Y!]→「ページ名変更」→名前を入力しても同じ操作を行うことができます。

画面メモを並べ替えたい

情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」→画面メモを選んで[Y!]→「並べ替え」→移動させる位置に[◇]でカーソルを移動→[●](選択)

- [●]→「Yahoo!」→(「PCサイトブラウザ」)→「画面メモ」→画面メモを選んで[Y!]→「並べ替え」→移動させる位置に[◇]でカーソルを移動→[●](選択)を押しても同じ操作を行うことができます。

画面メモを削除したい 【削除】

情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」

■ 1件削除するとき

画面メモを選んで[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

[Y!]→「削除」→「複数」→画面メモをチェック→[✉](削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[●](OK)→「はい」

- [●]→「Yahoo!」→「画面メモ」→画面メモを選んで[Y!]→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

メモ

テレビ

6

テレビについて

本機では、地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を視聴できます。
この章では、ワンセグの楽しみかたについて説明します。

チャンネル設定



ワンセグ放送を視聴できるようにチャンネルを設定します（➲P.6-3）。

テレビを見る



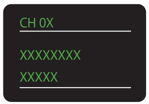
待受画面で を1秒以上押すだけで、テレビを視聴できます（➲P.6-4）。

テレビの録画／再生／予約



番組表や日時を指定してテレビを録画／予約できます。録画したテレビは再生できます（➲P.6-9）。

データ放送を見る



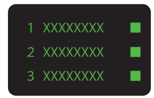
番組に関連した情報などが入手できるデータ放送を視聴できます（➲P.6-5）。

番組表を利用する



ダウンロードした番組表を利用して、自分の見たい番組を簡単に探すことができます（➲P.6-5）。

TV リンク



TV リンクを使って番組に参加できます（➲P.6-6）。

地上デジタル放送とワンセグについて

ワンセグは地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスです。
ワンセグとは、地上デジタル放送の電波の一部を使用して、携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送の視聴を可能にした、携帯・移動体向けの地上デジタルテレビサービスです。
地上デジタル放送の 6MHz の帯域を 13 分割して送る日本独自の放送方式によって実現したサービスで、13 分割された 1 つの部分（セグメント）だけで放送されるため「ワンセグ」と呼ばれるようになりました。
ワンセグは 2006 年 4 月 1 日から三大広域圏（都市圏）と 13 の県の放送局で開始されているサービスです。受信料などについて詳しくは、下記のホームページなどを参照してください。

- 社団法人 デジタル放送推進協会 -
  http://www.dpa.or.jp/（パソコン用）
  http://www.dpa.or.jp/1seg/k/（携帯電話用）

テレビ利用時のご注意

テレビをご利用になる前に、次のことをご確認ください。

- 本機のテレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送の携帯･移動体通信向けサービス「ワンセグ」を利用できます。海外では放送方式や放送の周波数が異なるため利用できません。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中はテレビを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられるため、交通事故の原因となります。[道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります（2004年11月1日改正施行)]。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道などでは特にご注意ください。
- テレビ視聴中に音声電話での通話やメールを受信すると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。また、テレビ視聴中にほかの携帯電話を近づけると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。

電波の受信状況

電波の受信状況が悪い次のような場所では、テレビが正しく利用できないことがあります。

- 放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- 山間部やビルの陰
- 移動中の電車や自動車の中
- 高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- 線路や高速道路の近くなど
- 地下街、トンネルの中など
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電池残量

電池レベル表示が［電池アイコン］のときは、テレビは起動できません。

- 視聴中に電池残量が不足すると、テレビは自動的に終了します。

充電中の視聴

テレビは充電しながらでも視聴できます。

- 充電中に視聴するときは、ソフトバンクが指定した充電器を使用してください。
- 充電中にACアダプタのコードをアンテナに近づけると、映像に影響を与えることがあります。
- テレビを利用しながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかります。

チャンネルを設定する(エリア設定)

本機には、あらかじめ各地域のチャンネル情報が登録されています。初めてお使いになるときは、地域を指定してエリアの設定をします。

1. **［TVキー］(1秒以上)**
2. **確認画面が表示されたら「はい」**
3. **エリアを選択**
4. **都道府県を選択**
5. **ローカルエリアを選択**
   - チャンネルの検索を開始します。
   - 開始されたチャンネルの検索を中止する場合は、「キャンセル」を選択します。
6. **［■］(次)→名前を入力**

テレビ視聴

チャンネル設定がされていれば、テレビを見ることはもちろん、番組表を利用したり、データ放送、TV リンクを利用できます。

テレビを見る

1 **[TV](1 秒以上)**

2 **チャンネルの選択操作**

- 1 つずつ選択して変更する場合は、[◉] を押します。
- テレビ画面で [Y!] →「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→チャンネルを選択でもチャンネルを変更できます。

3 **テレビを終了する場合は [終話] →「はい」**

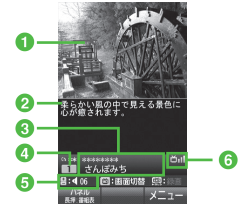
- テレビ画面で [Y!] →「TV 終了」でも終了できます。

- テレビ視聴中に音量を調節するには、[▲] ／ [▼] を押します。

テレビで使用するボタン

ボタン操作	項　目
[◉] ／ [▲][▼]	音量調節
[✉](パネル)	パネルを表示／非表示にする
[✉](長押：番組表)	番組表を見る
[Y!]	メニューを表示する
[TV]	画面表示を切り替える
[TV](1 秒以上)	録画する／録画を終了する

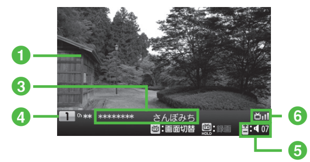
テレビ画面の見かた



縦画面／3～6を表示（字幕あり）



縦画面／データ放送を表示



横画面／3～6を表示

6 テレビ



横画面／③〜⑥を非表示

① テレビ映像
② 字幕
③ 放送局名／番組名
④ チャンネル
⑤ 音量
⑥ テレビ受信状態
⑦ データ放送

• データ放送は縦画面のみです。

番組表(G ガイドモバイル)を利用する

番組表(G ガイドモバイル)は、地上波アナログ、地上波デジタルの番組表を見ることができる便利なアプリです。
いつでもどこでも知りたいテレビ番組の番組情報をジャンルやキーワードから検索し、簡単に取得して録画や視聴の予約ができます。

1 [TV] →「番組表」

- 番組表を初めて起動したときは、「G ガイドモバイル」の初期設定画面が表示されます。初期設定を行うと、番組表が表示されます。

• 番組表で、視聴したい番組を [十字キー] で選んで [TV](TV 起動)を押すと、テレビ画面が表示されます。また、[決定] を押すと、選んでいる番組の詳細が表示されます。

データ放送を利用する

テレビでは、映像／音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、画面に表示される説明に従って操作することで、番組に関連した情報を入手したり、投票などで番組に参加するなど、さまざまな情報を利用できます。
データ放送の利用方法は、番組によって異なります。

注意

• データ放送の視聴には通信料はかかりません。ただし、データ放送で提供される双方向サービスを利用するときや、インターネットを利用したサービスを利用するときなどには、通信料がかかります。

1 **テレビ視聴中に [上下キー] で項目を選んで「選択」**

• データ放送、放送局サーバによっては、インターネットに接続するかどうかの確認画面が表示されます。データ放送を見る(放送で情報を受信する)ときは、通信料はかかりませんが、データ放送サイトなどでインターネットを利用したサービスを利用するときは、通信料がかかります。

TV リンクを利用する

TV リンクの登録操作は番組によって異なります。詳しくはデータ放送内の情報を確認してください。

TV リンクを登録する

1 データ放送を行っている番組で、「番組携帯サイトをテレビリンクに登録」などの項目を選択

- 項目名は表示するデータ放送によって異なります。

TV リンクを表示する

1 [TV] →「TV リンク」→ TV リンクを選択→「はい」

- テレビ画面で [Y!] →「TV リンク」→ TV リンクを選択→「はい」でも TV リンクを表示できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.6-10

- 視聴しているチャンネルの番組情報を確認／利用したい
- 放送中の番組を画像で一覧表示してチャンネルを選択したい
- データ放送を全画面で見たい
- 字幕の表示を設定したい
- TV リンクを削除したい
- TV リンクの詳細を確認したい
- データ放送のトップページに戻りたい
- 視聴中の番組を録画したい
- ボタンに割り当てられた機能を確認したい

設定

- 通信接続確認を設定する（☞P.14-21）
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.14-21）
- 放送局データを削除する（☞P.14-22）
- 横画面でディスプレイ最上段に各種お知らせのアイコンを表示するかどうかを設定する（☞P.14-22）
- 横画面の映像を拡大表示するかどうかを設定する（☞P.14-22）
- 縦画面の映像を拡大表示するかどうかを設定する（☞P.14-22）
- 画面の明るさを設定する（☞P.14-22）
- テレビ起動時の画面の向きを設定する（☞P.14-22）
- 番組に合わせた音質に設定する（☞P.14-22）
- 音声切り替えを設定する（☞P.14-22）
- テレビ視聴中の着信・アラームの動作を設定する（☞P.14-22）
- 設定時間でテレビが消えるようにする（☞P.14-23）
- 本体を閉じたときにテレビが消えるようにする（☞P.14-23）

テレビ視聴中の着信

電話が着信すると



着信画面が表示されます。[通話] を押すと電話を受けられます。
通話中は相手の名前／電話番号が表示されます。
通話を終了するとテレビ画面に戻ります。
着信を拒否して電話を切りたい場合は、[Y!]（拒否）を押します。

6 テレビ

メールを受信すると



ディスプレイ最上段に電話帳に登録されている相手の名前などが表示されます。

- メールを確認しないで待受画面に戻ると、受信の通知画面に新着メールと未読メールの合計が表示されます。
- テレビ視聴中に音声電話で通話をしたりメールを受信すると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。また、テレビ利用中に他の携帯電話を近づけると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。

番組の録画／再生

- メモリカードに録画する際は、あらかじめ、本機でフォーマット（初期化）したメモリカードを取り付けておいてください（➔P.12-9）。
- 録画中は、絶対に電池パックやメモリカードを取り外さないでください。録画したデータが消えたり、メモリカードが破損する原因となります。
- 本機／メモリカードの空き容量が少ないときは、録画できません。
- 録画中に電池残量が不足すると、録画は終了します。充電しながら録画することをおすすめします。
- 録画した番組は、コピー、転送、メール添付送信などを行うことはできません。
- 1 件あたり本体最大 72 分、メモリカード最大約 12 時間録画できます。ただし、12 時間の録画を行うには、約 2G バイトのメモリが必要です。
- データが何も保存されていない 256M バイトのメモリカードに録画できる時間の目安は、約 90 分です。

著作権保護について(番組録画時)
本機には、著作権保護のための暗号化技術が組み込まれており、データを記録する際に、メモリカードとの間でデータの暗号化／認証処理を行っています。
SD-Video 規格「ISDB-T mobile Video profile」に対応した機器以外では、この暗号化されたデータは再生できません。

注意

- お客様が録画したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録画した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 録画したデータを、別のメモリカードなど他のメディアにコピーすることはできません。

放送中の番組を録画する

放送中の番組を録画できます。

1 テレビ画面で[TV](1秒以上)

- 録画が始まります。

2 録画を終了するには [TV](1 秒以上)

- データ放送があるときは、映像とデータ放送の両方が録画されます。映像だけ録画するように設定しておくこともできます(➔P.14-21)。
- 録画中に音量、画面サイズ、サウンド設定を変更しても、録画内容には反映されません。

注意

- 録画中にメモリ残量や電池残量が不足したりすると、録画は終了します。このとき、終了するまでに録画していた番組は保存されます。
- 音声電話の着信があったときは、録画は継続されます。TV コールの着信があったときは、録画を継続するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 動画を着信音に設定しているとき、テレビ録画中に着信があると、お買い上げ時の着信音が鳴ることがあります。

録画した番組を再生する

1 [TV] →「TV プレイヤー」

- テレビ画面で [Y!] →「TV プレイヤー」を選択しても TV プレイヤーを表示できます。

2 ファイルを選択

- メモリカードに録画されたファイルを表示するには、[✉](メモリカード)を押します。
- 前回の再生時に途中で停止していたときは、続きから再生されます。
- [■](一時停止)で一時停止、[■](再生)で再生します。
- [◀▶] で巻き戻し/早送りができます。1 回押すと「× 2」、2 回押すと「× 10」になります。
- 早送り/巻き戻しを解除するときは、[■](再生)を押します。
- 停止するときは [✉](長押:停止)を1 秒以上押します。

- 録画したファイルの詳細を確認するには、操作 1 のあと、ファイルを選んで [Y!] →「詳細」を選択します。
- ファイル名を変更するには、操作 1 のあと、ファイルを選んで [Y!] →「ファイル名変更」→ファイル名を入力します。
- 録画したファイルを削除するには、操作 1 のあと、ファイルを選んで [Y!] →「削除」→「1 件」→「はい」を選択します。

使いこなしチェック!

設定

- データ放送の録画内容を設定する(☞P.14-21)
- データ放送を保存するときの保存先を設定する(☞P.14-21)

録画／視聴の予約

最大 5 件まで、録画／視聴予約を登録できます。ただし、録画／視聴予約の「予約日」で「1 回のみ」を選択したときは、1 週間より先の番組の録画／視聴予約はできません。また、1 件あたり本体最大 72 分、メモリカード最大約 12 時間録画できます。ただし、12 時間の録画を行うには、約 2G バイト以上のメモリが必要です。

録画予約時のご注意

録画が開始される前に次のことを確認しておいてください。

- 他の機能が終了していること
- 電池残量が不足していないこと（充電しながら録画することをおすすめします）
- メモリ残量が不足していないこと

録画の保存先について

- 録画の保存先がメモリカードに設定されていて、メモリカードが取り付けられていない場合は、本機に録画されます。
- 録画開始時に保存先のメモリが不足しているときは、保存先を切り替えて録画されます。

録画開始／終了時刻について

デジタルテレビでは、実際の番組開始時刻よりも、少し遅れて番組が受信されます。そのため、予約した番組が始まる少し前から録画が始まることがあります。
録画終了時刻は、番組の最後が切れないよう、設定した時刻よりも数秒間遅くなります。

番組表から予約したときについて

番組表を利用して、選択した番組を録画／視聴予約することができます（➔P.6-5）。

番組表から予約する

1. 📺 →「録画／視聴予約」
2. ✉（新規予約）→「番組表から」
   - 以降の操作について詳しくは番組表のヘルプを参照してください。

日付やチャンネルを指定して予約する

1. 📺 →「録画／視聴予約」
2. ✉（新規予約）→「手動設定」
3. 「録画」→「On」／「Off」
   - 録画する場合は「On」、視聴のみの場合は「Off」を選択します。
4. 「予約日」→「1 回のみ」（→日付を入力）／「毎日」／「曜日指定」
   - 「曜日指定」を選択した場合は、さらに予約する曜日をチェックします。
5. 開始時間欄で開始時間を入力
6. 終了時間欄で終了時間を入力
7. 「チャンネル」→チャンネルを選択
   - チャンネル番号を入力するときは、✉（手動）を押します。
8. 「番組名」→番組名を入力
9. ✉（保存）

- 録画／視聴予約の時刻が近づく(アラーム通知時間になる)と、予約時刻が近づいていることを、画面表示とアラームでお知らせします。
  テレビ視聴以外の機能が起動しているときは、使用中の機能を終了してください。待受画面に戻らないと予約内容が実行されません。

予約内容を確認する

1 📺 →「録画／視聴予約」

2 「予約」／「結果」→予約内容を選択

- 予約時刻前の予約は「予約」、予約時刻を過ぎた予約は「結果」に表示されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.6-13

- 予約内容を編集したい
- メモリ残量を確認したい

設定

- 予約通知のアラームを設定する (☞P.14-21)
- 予約通知のアラーム音を設定する (☞P.14-21)
- 予約通知の音量を設定する (☞P.14-21)
- 予約時間にバイブレータでお知らせする (☞P.14-21)
- 予約時間にライトでお知らせする (☞P.14-21)
- アラームの通知時間を設定する (☞P.14-21)
- アラームの鳴動時間を設定する (☞P.14-21)
- マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定する (☞P.14-21)
- 録画の保存先を設定する (☞P.14-22)

便利な機能

テレビ視聴

視聴しているチャンネルの番組情報を確認／利用したい **[番組情報]**

テレビ画面で Y! →「番組情報」

■ **番組の詳細を確認するとき**
番組を選択

■ **録画予約するとき**
番組を選んで ✉(録画)

- 放送中の番組を選択した場合は、すぐに録画が開始されます。

■ **視聴予約するとき**
番組を選んで Y! →「視聴予約」

■ **予約一覧を表示するとき**
Y! →「予約一覧」

■ **メモリ残量を確認するとき**
Y! →「メモリ残量」→「本体」／「メモリカード」

6 テレビ

エリアの設定を編集／設定したい

テレビ画面で [Y!] →「チャンネル設定」→「エリア切替」

■ **エリアを変更するとき**
エリアを選択

■ **新しいエリアを登録するとき**
未設定のエリアを選択→「はい」→エリアを選択→都道府県を選択→ローカルエリアを選択→ [●]（次）→名前を入力

- エリアは 10 件まで登録できます。

■ **エリア情報を再設定するとき**
エリアを選んで [Y!] →「エリア情報設定」→エリアを選択→都道府県を選択→ローカルエリアを選択→ [●]（次）→名前を入力

■ **エリア内のチャンネル情報を更新するとき**
エリアを選んで [Y!] →「チャンネル更新」→「全更新」／「追加更新」

- 「全更新」：登録されているチャンネルを消去して更新します。
- 「追加更新」：登録されているチャンネルは変更されずに、受信したチャンネルを追加します。チャンネル番号が重複しているときは、登録済みのチャンネルに上書きされます。

■ **エリア名を変更するとき**
エリアを選んで [Y!] →「エリア名変更」→名前を入力

■ **エリアの設定をリセットするとき**
[Y!] →「設定リセット」→「はい」

■ **エリアの詳細情報を確認するとき**
エリアを選んで [Y!] →「詳細」

■ **エリアを削除するとき**
エリアを選んで [Y!] →「削除」→「はい」

チャンネルの設定を編集／設定したい

テレビ画面で [Y!] →「チャンネル設定」→「チャンネル切替」

■ **チャンネル番号を変更するとき**
チャンネルを選んで [Y!] →「移動」→移動させる位置に [◆] でカーソルを移動→ [●]（OK）

■ **チャンネル情報を更新するとき**
[Y!] →「チャンネル更新」→「全更新」／「追加更新」

■ **チャンネル情報の詳細を確認するとき**
チャンネルを選んで [Y!] →「詳細」

■ **チャンネル情報を削除するとき**
チャンネルを選んで [Y!] →「削除」→「1 件」→「はい」

- 複数件数削除する場合は、[Y!] →「削除」→「複数」→チャンネルをチェック→ [✉]（削除）→「はい」を選択します。
- 全件削除する場合は、[Y!] →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ [●]（OK）→「はい」を選択します。

チャンネル情報を保存したい

テレビ画面で [Y!] →「チャンネル設定」→「チャンネル保存」→チャンネルを選択

チャンネルの選択方法を設定したい

テレビ画面で [Y!] →「チャンネル設定」→「チャンネル選択設定」→項目を選択

放送中の番組を画像で一覧表示してチャンネルを選択したい 【番組プレビュー】

テレビ画面で [Y!] →「番組プレビュー」→チャンネルを選択

データ放送を全画面で見たい 【データ放送全画面表示】

テレビ画面で [Y!] →「データ放送全画面表示」

- テレビ映像を選択するには、[Y!]（TV）を押します。

字幕の表示を設定したい 【字幕表示】／【字幕非表示】

テレビ画面で [Y!] →「字幕表示」／「字幕非表示」

- 字幕なしの番組のときは字幕表示の設定にかかわらず、字幕は表示されません。
- 字幕付きの番組でも、字幕が表示されていないときは、字幕エリアだけが表示されます。

TVリンクを削除したい 【削除】

テレビ画面で 🅨 →「TVリンク」

■ 1件削除するとき
TVリンクを選んで 🅨(削除)→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき
🅨(削除)→「複数」→TVリンクをチェック→ ✉(削除)→「はい」

■ 全件削除するとき
🅨(削除)→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

- 📺 →「TVリンク」→ 🅨 →「削除」を選択しても同じ操作ができます。

TVリンクの詳細を確認したい 【詳細】

テレビ画面で 🅨 →「TVリンク」→TVリンクを選んで 🅨 →「詳細」

- 📺 →「TVリンク」→TVリンクを選んで 🅨 →「詳細」を選択しても同じ操作ができます。

データ放送のトップページに戻りたい 【データ放送トップに戻る】

テレビ画面で 🅨 →「データ放送トップに戻る」

データ放送を設定したい

テレビ画面で 🅨 →「設定」→「データ放送」

■ 録画内容を設定するとき
「録画設定」→項目を選択

■ 保存先を設定するとき
「画像保存先設定」→項目を選択

■ 通信接続確認を設定するとき
「通信接続確認」→項目を選択

■ 製造番号通知を設定するとき
「製造番号通知」→「On」/「Off」

■ 放送局メモリを削除するとき
「放送局メモリ削除」→項目を選んで 🅨 →「削除」→「はい」

- 全削除する場合は、🅨 →「全削除」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」を選択します。

画面を設定したい

テレビ画面で 🅨 →「設定」→「画面設定」

■ ピクトの表示設定をするとき
「ピクト表示設定」→「On」/「Off」

■ 横画面の表示設定をするとき
「横画面表示設定」→項目を選択

■ 縦画面の表示設定をするとき
「縦画面表示設定」→項目を選択

■ 画面の明るさを設定するとき
「画面明るさ設定」→ ◘ で明るさを調節→ ■(選択)

■ テレビ起動時の画面の向きを設定するとき
「画面表示設定」→項目を選択

音声を設定したい

テレビ画面で 🅨 →「設定」→「サウンド設定」

■ 音質を設定するとき
「サウンドモード設定」→項目を選択

■ 言語を設定するとき
「音声言語設定」→項目を選択

録画の保存先を設定したい

テレビ画面で 🅨 →「設定」→「録画保存先設定」→項目を選択

テレビ視聴中の優先動作を設定したい

テレビ画面で 🅨 →「設定」→「着信時優先動作」→項目を選択→動作を選択

自動でテレビを終了するようにしたい

テレビ画面で 🅨 →「設定」→「オートオフ時間設定」→「オートオフ時間設定」/「本体クローズ終了」→項目を選択

視聴中の番組を録画したい 【録画開始】

テレビ画面で 🅨 →「録画開始」→ 📺(1秒以上)

- 録画中はテレビ画面で 🅨 →「録画停止」→「はい」を選択しても、録画を終了できます。

ボタンに割り当てられた機能を確認したい 【ヘルプ】

テレビ画面で 🅨 →「ヘルプ」

録画／視聴の予約

毎日／曜日を指定して繰り返し予約したい

▣→「TV」→「録画／視聴予約」→ ✉(新規予約)→「手動設定」→「予約日」→「毎日」／「曜日指定」

- 「曜日指定」を選択した場合は、さらに予約する曜日を選択します。

予約する番組の番組名を入力したい

▣→「TV」→「録画／視聴予約」→ ✉(新規予約)→「手動設定」→「番組名」→番組名を入力

予約時間お知らせを設定したい

▣→「TV」→「設定」→「予約時間お知らせ」

■ アラームを設定するとき

アラーム→「On」／「Off」

■ アラーム音を設定するとき

「アラーム音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択

■ 音量を設定するとき

「音量」→ ◘ で音量を調節→ ▣(選択)

■ バイブレータを設定するとき

「バイブ」→項目を選択

■ ライトを設定するとき

「ライト」→「On」／「Off」

■ 通知時間を設定するとき

「アラーム通知時間」→項目を選択

■ 鳴動時間を設定するとき

「アラーム鳴動時間」→項目を選択

■ マナーモード時のアラームを設定するとき

「マナーモード時設定」→「アラーム音」／「バイブ」→「On」／「Off」

- テレビ画面で Y! →「設定」→「予約時間お知らせ」を選択しても同じ操作ができます。

予約内容を編集したい　**[編集]**

▣→「TV」→「録画／視聴予約」→予約内容を選んで Y! →「編集」→(➔P.6-9 日付やチャンネルを指定して予約する ❸)

メモリ残量を確認したい　**[メモリ残量]**

▣→「TV」→「録画／視聴予約」→ Y! →「メモリ残量」→「本体メモリ」／「メモリカード」

予約内容を削除したい

▣→「TV」→「録画／視聴予約」

■ 1 件削除するとき

予約内容を選んで Y!(削除)→「1 件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!(削除)→「複数」→予約内容をチェック→ ✉(削除)→「はい」

■ 全件削除するとき

Y!(削除)→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ▣(OK)→「はい」

メモ

カメラ／静止画編集

7

カメラ／静止画編集について

本機では、カメラを使って静止画や動画を撮影できます。また、静止画を加工することもできます。この章では、静止画や動画の撮影方法や静止画の編集方法について説明します。

静止画／動画の撮影

本機では、カメラを使って静止画や動画を撮影できます。
動画の撮影では、1 回で 1 時間まで撮影できます(➲P.7-9)。



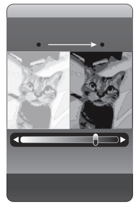
様々な撮影方法

静止画の撮影では、シーンに合わせた撮影、連写機能での撮影などいろいろな撮影方法があります(➲P.7-3)。



画像の加工

本機では、撮影した静止画などの画像を加工できます。
画像サイズを変更(静止画加工)することができます(➲P.7-11)。



Flash® を作成

データフォルダに保存されている静止画を利用して、Flash® 画像を作成します(➲P.7-12)。



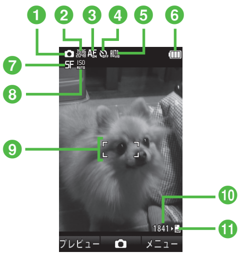
注意

- カメラのレンズ部に指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズ部をきれいにしてください。
- 手振れにご注意ください。画像がぶれる原因となります。本機が動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。
- カメラ利用時に、本機を静電気が発生する装置に近づけないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- 本機を暖かい場所に長時間置いたあとで撮影したり画像を保存した場合は、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、画像が変色することがあります。
- 電池の残量が少ないと、カメラが起動しないことがあります。

静止画撮影

静止画撮影では、用途に合わせて撮影モードを設定できます。
撮影モードは、1 枚ずつ撮影するときは「通常撮影」、連写するときは「連写」または「フォトコンビ」などの撮影モードがあります。
撮影した静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダにも保存できます。

静止画ビューファインダー(撮影画面)の見かた



静止画のビューファインダー

❶	カメラモード切替 ：通常撮影 ：シーン撮影 ：連写 ：フォトコンビ ：パノラマ
	撮影モード選択 ：オート※1 ：ポートレイト※1 ：風景※1 ：スポーツ※1 ：夜景※1 ：夕焼け※1
	連写枚数選択 ：枚数(6 枚)※1 ：枚数(9 枚)※1
	連写スピード選択 ：速い※2 ：普通※2 ：遅い※2 ：マニュアル※2
❷	撮影サイズ(「パノラマ」撮影時は数値が入れ換わります) ：3.1M(1536x2048)※3 ：Wide2.4M(1232x2048)※3 ：2M(1200x1600)※3 ：Wide1.5M(960x1600)※3 ：Wide1.0M(768x1280)※3 ：0.3M(480x640)※3 ：壁紙(240x400) ：メール(240x320)
❸	フォーカス ：AF On ：マクロ ：AF Off
❹	タイマー ：Off　：3 秒 ：5 秒　：10 秒
❺	ホワイトバランス ：オート　：晴天 ：白熱灯　：蛍光灯 ：曇り
❻	電池残量
❼	画質設定 ：スーパーファイン ：ファイン ：ノーマル

❽	ISO ISO AUTO：自動　ISO 100：100 ISO 200：200　ISO 400：400
❾	フォーカスフレーム 「 」：多分割測光 「◎」：中央部重点測光 「○」：スポット測光
❿	撮影可能残数
⓫	保存先設定 ▷本体：本体、毎回確認 ▷SD：メモリカード、デジタルカメラ

※１ 撮影モードと撮影サイズの間に表示されます。

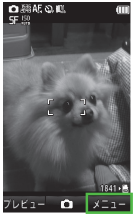
※２ 撮影サイズとフォーカスの間に表示されます。

※３ 撮影モードが「通常撮影」／「シーン撮影」時のみ

• 📷 を押すたびに、アイコンや設定内容などの表示／非表示が切り替わります。

撮影モード	特　長
通常撮影	メールに添付や、待受画面の背景にするなど、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。
シーン撮影	夜景、風景など撮影対象に適した静止画を撮影できます。
連写	6、9 枚の静止画を自動で連続撮影できます。
フォトコンビ	手動で連続撮影できます。フレームを選んで撮影すると、連続撮影したすべての静止画が 1 枚の静止画として配置されます。
パノラマ	風景などをパノラマ形式で撮影できます。パノラマ撮影時に最大 6 枚まで撮影された画像を、自動的に 1 枚のパノラマ画像に生成します。

静止画撮影の流れ



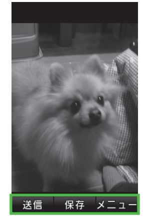
Y!を押す



撮影方法の設定をして
✉（戻る）を押す



■（📷）を押す



自動保存設定（➔P.14-23）
に応じて、自動保存、または
保存確認画面で手動保存

- 静止画撮影では、明るさやサイズを設定できます。
- 静止画撮影後は、撮影したファイルをメール添付(➔P.7-13)することもできます。
- 撮影した静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。メモリカードを取り付けて「デジタルカメラ」フォルダを保存先に設定しているときは、「デジタルカメラ」フォルダに保存されます。
- 「フォーカス」が「AF On」に設定されている場合は、センター AF フレーム(白色の枠)に自動でピントを合わせるオートフォーカス機能が利用できます。■(📷)を押すと、オートフォーカスでピントが合い、センター AF フレームが緑色になります。

通常撮影する

1 →「カメラ」→「カメラ」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います(➲P.7-14)。

2 被写体をビューファインダーに表示

- または ／ で拡大／縮小ができます。
- で明るさを調整できます。



3 ( )

- 「フォーカス」が「AF On」に設定されている場合は自動でピントが合います。
- 自動的に保存されます。
- 「自動保存設定」で、手動保存に変更できます(➲P.14-23)。

シーンに合わせて撮影する

1 →「カメラ」→「カメラ」

2 →「シーン撮影」

3 「シーン設定」→シーンを選択 → (戻る)

- 必要に応じて撮影前に設定を行います(➲P.7-14)。
- シーン撮影では、マクロ／ISO／測光／撮影効果は使用できません。
- メニューを閉じるには、(戻る)を押します。

4 被写体をビューファインダーに表示

- または ／ で拡大／縮小ができます。
- で明るさを調整できます。

5 ( )

- 「フォーカス」が「AF On」に設定されている場合は自動でピントが合います。
- 自動的に保存されます。
- 「自動保存設定」で、手動保存に変更できます(➲P.14-23)。

連写機能で撮影する

1 →「カメラ」→「カメラ」

2 →「連写」

3 「連写枚数」→連写枚数を選択

4 「連写スピード」→「速い」／「普通」／「遅い」／「マニュアル」→ (戻る)

- 必要に応じて撮影前に設定を行います(➲P.7-14)。
- 連写では、顔リンク表示は使用できません。
- メニューを閉じるには、(戻る)を押します。

5 被写体をビューファインダーに表示

- または ／ で拡大／縮小ができます。
- で明るさを調整できます。

6 ( )

- 連写枚数分撮影が終了すると、自動的に保存されます。
- 「自動保存設定」で、手動保存に変更できます(➲P.14-23)。
- 連写スピードで「マニュアル」を選択した場合は、操作 6 を繰り返します。(停止)を押すと、撮影を終了して保存できます。撮影をやり直す場合は、 を押します。

• 手動保存(自動保存設定「Off」)に変更した場合は、撮影後、連続撮影した静止画がすべて表示され、必要な静止画を選んで保存できます。手順 6 のあと、保存する静止画をチェックして ✉(保存)を押します。

分割撮影する(フォトコンビ)

1 ■ →「カメラ」→「カメラ」

2 Y! →「フォトコンビ」

3 「スタイル」→スタイルを選択

- 必要に応じて撮影前に設定を行います(➲P.7-14)。
- フォトコンビでは、顔リンク表示は使用できません。
- メニューを閉じるには、✉(戻る)を押します。

4 被写体をビューファインダーに表示→選んだフレームに合わせて ■(📷)

- 〔方向キー〕または 〔上〕/〔下〕で拡大/縮小ができます。
- 〔方向キー〕で明るさを調整できます。

5 操作 4 を繰り返して被写体を撮影

- 撮影をやり直す場合は、CLEAR を押します。
- 枚数分撮影が終了すると、自動的に保存されます。
- 「自動保存設定」で、手動保存に変更できます(➲P.14-23)。

パノラマ撮影をする

1 ■ →「カメラ」→「カメラ」

2 Y! →「パノラマ」

- パノラマ撮影では画面が横向きになります。
- 必要に応じて撮影前に設定を行います(➲P.7-14)。
- パノラマ撮影では、顔リンク表示は使用できません。
- メニューを閉じるには、✉(戻る)を押します。

3 被写体をビューファインダーに表示

- 〔方向キー〕または 〔上〕/〔下〕で拡大/縮小ができます。
- 〔方向キー〕で明るさを調整できます。

4 ■(📷)

5 撮りたい方向(上下または左右)に本機を動かす→小さい白枠を大きい黒枠の中に合わせると自動的に撮影

6 操作 5 を繰り返して撮影したい範囲を撮影

- 撮影途中でパノラマ画像を生成する場合は、✉(停止)押します。
- 撮影をやり直す場合は、CLEAR を押します。
- 6 枚まで撮影すると、自動的に撮影が終了します。
- 「自動保存設定」で、手動保存に変更できます(➔P.14-23)。
- 自動的にパノラマ画像が生成、保存されます。
  パノラマ撮影時の撮影枚数により、生成に時間がかかることがあります。

- パノラマ撮影中は、本機をゆっくり動かして撮影してください。
- パノラマ撮影は、屋外の風景を撮影するのに適した形式です。被写体との撮影距離を10m 以上とられることをおすすめします。被写体との距離が近すぎると、パノラマ画像が生成できないことがあります。
- 暗い場所や、濃淡のない背景を撮影すると、パノラマ画像が生成できないことがあります。

撮影した静止画を見る(クイック再生)

撮影して保存した静止画を撮影画面から確認することができます。

1 ■ →「カメラ」→「カメラ」→ ✉(プレビュー)

2 📷 で画像を確認

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」/「デジタルカメラ」の画像を確認できます。
- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください(➔P.14-24)。
- 撮影した静止画は、データフォルダから確認することもできます(➔P.12-3)。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-14

- 撮影した静止画を各種の画面に設定したい
- 静止画のクイック再生をスライドショーで再生したい

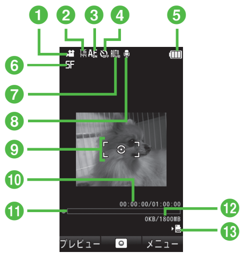
設定

- 画質を設定する(☞P.14-23)
- ISO を設定する(☞P.14-23)
- 測光モードを設定する(☞P.14-23)
- 撮影効果を設定する(☞P.14-23)
- 自動保存を設定する(☞P.14-23)
- 保存先を設定する(☞P.14-24)
- グリッド線の表示を設定する(☞P.14-24)
- 顔リンク表示を設定する(☞P.14-24)
- シャッター音を設定する(☞P.14-24)
- タイマー音を設定する(☞P.14-24)

動画撮影

手軽に動画を撮影できます。撮影した動画は、3GP 形式でデータフォルダの「ムービー」フォルダに保存されます。メールに添付／挿入する動画を撮影する場合は撮影サイズを「S! メール」に設定してください（➔P.7-13）。

動画ビューファインダー（撮影画面）の見かた



動画のビューファインダー

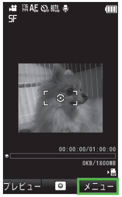
1	カメラモード切替 ：動画撮影
2	撮影サイズ ：QVGA（320 × 240）※ ：QCIF（176 × 144） ：SQCIF（128 × 96） ：S! Mail（176 × 144） ：S! Mail（128 × 96）
3	フォーカス ：AF On ：マクロ ：AF Off
4	タイマー ：Off　：3 秒 ：5 秒　：10 秒
5	電池残量
6	画質設定 ：スーパーファイン ：ファイン ：ノーマル
7	ホワイトバランス ：オート　：晴天 ：白熱灯　：蛍光灯 ：曇り
8	録音設定 ：On（映像＋音） ：Off（映像のみ）
9	フォーカスフレーム
10	撮影経過時間／撮影可能時間 • 撮影サイズが「S! Mail」の場合は、撮影経過時間のみ表示されます。
11	プログレスバー
12	撮影データの容量／撮影開始時のメモリ残量 • 撮影サイズが「S! Mail」の場合は、撮影データの容量／撮影可能容量が表示されます。
13	保存先設定 ：本体 ：メモリカード

※　横向き表示のみ

- を押すたびに、アイコンや設定内容などの表示／非表示が切り替わります。
- 撮影サイズが大きい場合や、メモリ残量が少ないときは、撮影可能時間が経過する前に録画が終了します。

撮影モード	特　長
ビデオ	メールに添付する動画や本機に保存して楽しむ動画を撮影できます。

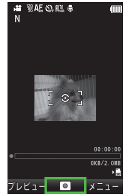
動画撮影の流れ



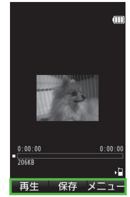
Y!を押す



撮影方法の設定をして
✉（戻る）を押す



■（ ● ）を押す



自動保存設定（➔P.14-24）に
応じて、自動保存、または
保存確認画面で手動保存

- 動画撮影では、明るさやサイズを設定できます。
- 動画撮影後は、撮影したファイルをメール添付(➔P.7-13)することもできます。
- 「フォーカス」が「AF On」に設定されている場合は、センター AF フレーム(白色の枠)に自動でピントを合わせるオートフォーカス機能が利用できます(撮影中のピントは固定となります)。
- 動画ファイルが 15FPS 以上にエンコードされる場合は、十分な性能が提供できないことがあります。

動画を撮影する

1 回の動画撮影について、最大 1 時間まで撮影できます。

1. ■ →「カメラ」→「ビデオカメラ」
   - 必要に応じて撮影前に設定を行います(➲P.7-14)。
2. 被写体をビューファインダーに表示
   - □ または □ ／ □ で拡大／縮小ができます。
   - □ で明るさを調整できます。
3. ■(●)
   - 撮影中に一時停止する場合は □(一時停止)を押します。撮影を再開する場合は □(再開)を押します。
4. ■(停止)
   - 「フォーカス」が「AF On」に設定されている場合は自動でピントが合います。
   - 撮影が終了し、自動的に保存されます。撮影時間が経過した場合は、自動的に撮影が終了します。
   - 「自動保存設定」で、手動保存に変更できます(➲P.14-24)。

撮影した動画を見る(クイック再生)

撮影して保存した動画を撮影画面から確認することができます。

1. ■ →「カメラ」→「ビデオカメラ」→ □(プレビュー)
2. □ で動画を選んで ■(再生)
   - 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください(➲P.14-24)。
   - 撮影した動画は、データフォルダから確認することもできます(➲P.12-3)。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-14

- 撮影した動画を各種の着信音に設定したい

設定

- 画質を設定する (☞P.14-24)
- 撮影効果を設定する (☞P.14-23)
- 録音するかどうか設定する (☞P.14-24)
- 自動保存を設定する (☞P.14-24)
- 保存先を設定する (☞P.14-24)
- グリッド線の表示を設定する (☞P.14-24)
- シャッター音を設定する (☞P.14-24)
- タイマー音を設定する (☞P.14-24)

静止画加工

データフォルダに保存された静止画を編集します。画像の明るさ、サイズ、効果などを設定することができます。

1. ■ →「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択
2. ファイルを選択
   - 確認メッセージが表示されたときは、「OK」を選択します。
3. □ →「編集」→「画像編集」
4. 画像の編集操作

■ 画像にエフェクトを設定するとき
□ →「効果」→「フィルター」／「スタイル」／「ワープ」を選択→プレビュー画像を選択→ ■(OK)
- 選択したエフェクトによっては、効果を調節できます。

■ 画像を自動調整するとき
□ →「画像調整」→「自動レベル調整」

■ 画像を調整するとき
□ →「画像調整」→「明るさ」／「コントラスト」／「色」→画像を調整→ ■(OK)

■ 画像のサイズを変更するとき
□ →「変形」→「サイズ変更」→サイズを選択
- 「カスタマイズ」を選択したときは、「幅」と「高さ」を入力して ■(OK)を押します。

■ 画像を回転するとき
Y! →「変形」→「回転」→ ✉（↶）／Y!（↷）→ ■（OK）

■ 画像を反転するとき
Y! →「変形」→「反転」→ ✉（◁▷）／Y!（▽△）→ ■（OK）

■ 画像を切り取るとき
Y! →「変形」→「切り取り」→ ✥ で切り取り枠を切り取り位置に移動 → ✉（サイズ）→ ✥ でサイズを調節 → ■（OK）

- 直前に行った編集を取り消すには、✉（元に戻す）を押します。

5 ■（保存）→「はい」→画像名を入力

フォトライブラリ

フォトアルバムを見る

フォトアルバムでは、本体／メモリカードに保存したJPEG形式の静止画を確認できます。

1 ■ →「カメラ」→「フォトアルバム」



2 フォルダを選択

3 ⊡ でファイルを表示

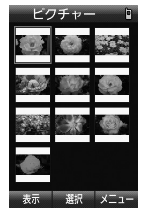


- ファイルによっては表示されない場合があります。
- ■（ズーム）を押すと、画像の中心から拡大して表示できます。また、画像をスクロールして確認することもできます。表示を元に戻すときは ■（OK）／ CLEAR を押します。

Flash® を作成する

データフォルダに保存されている静止画を利用して、Flash® 画像を作成します。
作成したFlash® 画像は、データフォルダの「Flash®」フォルダに保存されます。

1 ■ →「カメラ」→「ダイナミックエフェクト」



- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

2 ファイルを選択→ Flash® の作成操作

■ 画像にフレームを付けるとき
(フレーム)→フレームの種類を選択→フレームを選択(→ (完了))

■ 画像にアイコンを付けるとき
(アイコン)→(アイコンを追加するときは →「挿入」→)アイコンを選択→位置を調整→ (OK)

■ 画像に吹き出しを付けるとき
(吹き出し)→(吹き出しを追加するときは →「挿入」→)「テンプレート」/「プリセット」
→吹き出しを選択→位置を調整
(「テンプレート」を選択した場合は、テキストを入力→位置を調整)
→ (OK)

■ 編集中の画像を元に戻すとき
(リセット)→「はい」

3 (保存)→名前を入力

- 画像に追加したフレームを削除するには、ファイルを選択したあと、(フレーム)→「なし」を選択します。
- 画像に追加したアイコンを削除するには、ファイルを選択したあと、(アイコン)→ →「削除」→ で削除するアイコンを選んで (削除)を押します。
- 画像に追加した吹き出しを削除するには、ファイルを選択したあと、(吹き出し)→ →「削除」→ で削除するアイコンを選んで (削除)を押します。
- データフォルダの画像から Flash® を作成するときは、画像を選んで →「編集」→「ダイナミックエフェクト」を選択しても同じ操作を行うことができます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-15
- 画像が保存されているフォルダを切り替えたい
- 表示している静止画を各種の画面に設定したい
- 表示しているファイルを送信したい
- 表示している静止画を編集したい
- タグの情報を登録したい
- 表示しているファイルを削除したい

便利な機能

静止画/動画撮影共通

撮影方法を設定したい

撮影画面で

■撮影サイズを設定するとき
「撮影サイズ」→項目を選択

■マクロ機能を設定するとき
「フォーカス」→「マクロ」

■タイマーの設定をするとき
「タイマー」→項目を選択

■ホワイトバランスの設定をするとき
「ホワイトバランス」→項目を選択

■撮影効果(色調)の設定をするとき
「設定」→「撮影効果」→項目を選択

■録音の設定をするとき
「設定」→「録音設定」→「On」/「Off」
- 録音設定は、動画撮影時のみの設定です。

撮影した静止画/動画を送信したい

撮影後に (送信)

- 「自動保存設定」を「Off」または「On(プレビュー手動)」に変更してから操作してください(➔P.14-23)。

■メールで送信するとき
「メール添付」→(➔P.4-4 S! メールを送信する **2**)

■赤外線で送信するとき
「赤外線通信」(➔P.13-3)

静止画撮影

撮影した静止画を各種の画面に設定したい **[登録]**

静止画撮影後に [Y!] →「登録」

- 「自動保存設定」を「Off」または「On(プレビュー手動)」に変更してから操作してください(➔P.14-23)。

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**

「壁紙」→必要に応じて [✉](回転)を何度か押して向きを調節
または、
[▲] ／ [▼] でサイズを調整→ [■](設定)

■ **個別着信音の着信画像に設定するとき**

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)→ [■](設定)

■ **TV コールの代替画像に設定するとき**

「TV コール代替画像」→ [■](設定)

顔リンクを編集したい

静止画撮影後に [Y!] →「顔リンク編集」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)

- 撮影前に「顔リンク表示」を「On」に設定してください。

動画撮影

撮影した動画を保存前に確認したい

動画撮影後に [✉](再生)

- 「自動保存設定」を「Off」に変更してから操作してください(➔P.14-24)。

撮影した動画を各種の着信音に設定したい **[登録]**

動画撮影後に [Y!] →「登録」

- 「自動保存設定」を「Off」に変更してから操作してください(➔P.14-24)。

■ **音声着信音に設定するとき**

「音声着信音」

■ **TV コール着信音に設定するとき**

「TV コール着信音」

■ **個別着信音に設定するとき**

「個別着信音」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)

クイック再生

クイック再生で表示した静止画を編集／設定／送信したい

[■] →「カメラ」→「カメラ」→ [✉](プレビュー)→ [◐] で静止画を確認

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください(➔P.14-24)。

■ **静止画を送信するとき**

[✉](送信)

- メールで送信する

  「メール添付」→(➔P.4-4 S! メールを送信する 2)

- 赤外線で送信する

  「赤外線通信」(➔P.13-3)

■ **静止画を各種の画面に設定するとき**

[Y!] →「登録」

- ディスプレイの壁紙に設定するとき

  「壁紙」→必要に応じて [✉](回転)を何度か押して向きを調節
  または、
  [▲] ／ [▼] でサイズを調整→ [■](設定)

- 個別画像に設定するとき

  「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)→ [■](設定)

- TV コールの代替画像に設定するとき

  「TV コール代替画像」→ [■](設定)

■ **静止画を編集するとき**

Y! →「編集」→「画像編集」→（➲P.7-11 静止画加工 ❹）

■ **静止画の詳細を確認するとき**

Y! →「詳細」

■ **静止画を削除するとき**

静止画を選んで Y! →「削除」→「はい」

クイック再生で表示した動画を編集／設定／送信したい

■ →「カメラ」→「ビデオカメラ」→ ✉（プレビュー）→ ◎ で動画を確認

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-24）。

■ **動画を送信するとき**

Y! →「送信」

- メールで送信する

「メール添付」→（➲P.4-4 S! メールを送信する ❷）

- 赤外線で送信する

「赤外線通信」（➲P.13-3）

■ **動画を各種の着信音に設定するとき**

Y! →「登録」

- 音声着信音に設定する

「音声着信音」

- TV コール着信音に設定する

「TV コール着信音」

- 個別着信音に設定する

「個別着信音」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-16）

■ **動画の詳細を確認するとき**

Y! →「詳細」

■ **動画を削除するとき**

- 1 件削除するとき

動画を選んで Y! →「削除」→「1 件」→「はい」

- 複数削除するとき

Y! →「削除」→「複数」→動画をチェック→ ✉（削除）→「はい」

- 全件削除するとき

Y! →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■（OK）→「はい」

静止画のクイック再生をスライドショーで再生したい **［スライドショー］**

■ →「カメラ」→「カメラ」→ ✉（プレビュー）→ Y! →「スライドショー」

- 再生中に ■（ポーズ）を押すと、スライドショーが一時停止します。スライドショーを再開する場合は ■（再起動）を押します。
- スライドショーを終了する場合は ✉（停止）を押します。
- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-24）。

クイック再生を終了したい

クイック再生中に CLEAR

フォトライブラリ

画像の表示単位（フォルダ別、月別、日付別、タグ別、顔別）を切り替えたい

■ →「カメラ」→「フォトアルバム」→ ✉（分類）→「フォルダ別」／「月別」／「日付別」／「タグ別」／「顔別」

画像が保存されているフォルダを切り替えたい **［メモリ切替］**

■ →「カメラ」→「フォトアルバム」→ Y! →「メモリ切替」→「本体＋メモリカード」／「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」

- メモリカードを取り付けているときのみ、「本体＋メモリカード」、「メモリカード」、「デジタルカメラ」を選択できます。

表示している静止画を各種の画面に設定したい **［登録］**

■ →「カメラ」→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→ Y! →「登録」

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**

「壁紙」→必要に応じて ✉（回転）を何度か押して向きを調節

または、

▲ ／ ▼ でサイズを調整→ ■（設定）

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-16）→ ■（設定）

■ **TV コールの代替画像に設定するとき**

「TV コール代替画像」→ ■（設定）

表示しているファイルを送信したい 【送信】

■→「カメラ」→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→◎でファイルを表示→✉(送信)

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」(➲P.13-3)

表示している静止画を編集したい 【編集】

■→「カメラ」→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→◎でファイルを表示→Y!→「編集」→「画像編集」→(➲P.7-11 静止画加工 ❹)

タグの情報を登録したい 【タグ管理】

■→「カメラ」→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→◎でファイルを表示→Y!→「タグ管理」

■ **既存タグを登録するとき**
タグを選択

■ **新規タグを登録するとき**
✉(新規)→タグ名を入力→■(完了)→新規タグを選択

表示しているファイルを削除したい 【削除】

■→「カメラ」→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→◎でファイルを表示→Y!→「削除」→「はい」

アイコンを調整してから配置したい

■→「カメラ」→「ダイナミックエフェクト」→ファイルを選択→(アイコン)→アイコンを選択→Y!

■ **拡大・縮小するとき**
「拡大縮小」→◎でサイズを調整→■(OK)→位置を調整→■(OK)

■ **回転するとき**
「回転」→◎で角度を調整→■(OK)→位置を調整→■(OK)

■ **反転するとき**
「反転」→◎→■(OK)→位置を調整→■(OK)

■ **透過するとき**
「透過」→◎で透過率を調整→■(OK)→位置を調整→■(OK)

吹き出しの文字を編集したい

■→「カメラ」→「ダイナミックエフェクト」→ファイルを選択→(吹き出し)→「テンプレート」→テキストを入力→Y!

■ **文字サイズを変更するとき**
「文字サイズ」→◎で文字サイズを調整→■(OK)→位置を調整→■(OK)

■ **文字色を変更するとき**
「文字色」→◎で文字色を選んで■(OK)→位置を調整→■(OK)

■ **文字に動きをつけるとき**
「アクションテキスト」→◎でアクションを選んで■(OK)→位置を調整→■(OK)

■ **吹き出しを反転するとき**
「反転」→◎→■(OK)→位置を調整→■(OK)

■ **テキストを編集するとき**
「テキストを編集」→テキストを編集→■(OK)→位置を調整→■(OK)

配置したアイコンを編集したい

アイコンを配置(➲P.7-13)→(アイコン)→◎でアイコンを選んで■(編集)

■ **位置を調整するとき**
「位置調整」→位置を調整→■(OK)→✉(完了)

■ **拡大・縮小するとき**
「拡大縮小」→◎でサイズを調整→■(OK)→✉(完了)

■ **回転するとき**
「回転」→◎で角度を調整→■(OK)→✉(完了)

■ **反転するとき**
「反転」→◎→■(OK)→✉(完了)

■ **透過するとき**
「透過」→◎で透過率を調整→■(OK)→✉(完了)

配置した吹き出しを編集したい

吹き出しを配置（➔P.7-13）→[吹き出しアイコン]（吹き出し）→ [キー] で吹き出しを選んで [■]（編集）

■ テキストを編集するとき

「テキスト編集」→テキストを編集 → [✉]（完了）

■ 吹き出しのタイプを変更するとき

「吹き出しタイプ」→吹き出しを選択 → [✉]（完了）

■ 位置を調整するとき

「位置調整」→位置を調整→ [■]（OK） → [✉]（完了）

■ 文字サイズを変更するとき

「文字サイズ」→ [キー] で文字サイズを調整 → [■]（OK）→ [✉]（完了）

■ 文字色を変更するとき

「文字色」→ [キー] で文字色を選んで [■]（OK） → [✉]（完了）

■ 文字に動きをつけるとき

「アクションテキスト」→ [キー] でアクションを選んで [■]（OK）→ [✉]（完了）

■ 吹き出しを反転するとき

「反転」→ [キー] → [■]（OK）→ [✉]（完了）

作成した Flash® をプレビューで確認したい

Flash® 作成画面で [Y!]（プレビュー）

メモ

メディアプレイヤー

8

メディアプレイヤーについて

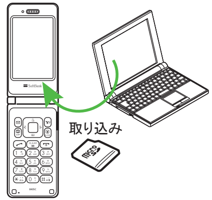
本機では、メディアプレイヤーを利用して、音楽や動画を楽しめます。
音楽や動画は、Yahoo! ケータイからダウンロードしたり、自分好みのプレイリストを作成することができます。
この章では、メディアプレイヤーの利用方法について説明します。

音楽／動画の再生



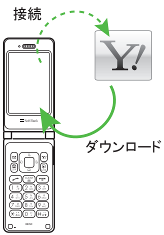
メディアプレイヤーから音楽／動画を再生できます(➔P.8-4、P.8-7)。
フォルダやプレイリストなど様々な方法で再生できます。

音楽／動画をパソコンからメモリカードに保存



パソコンで音楽／動画を保存したメモリカードを本機に取り付けます(➔P.8-3)。

音楽／動画のダウンロード



Yahoo! ケータイへ直接接続し、音楽や動画をダウンロードできます。
また、ストリーミング機能を利用すると、ダウンロードしながら順次再生できます(➔P.8-3)。

プレイリストの作成



お気に入りの音楽や動画をプレイリストに登録することができます。
プレイリストを作成すれば、自分だけのアルバムを作ることができます(➔P.8-8)。

音楽／動画のダウンロード

Yahoo! ケータイに接続すれば、音楽や動画をダウンロードできます。
また、ご自宅のパソコンから本機へ音楽や動画をコピーすることもできます。

注意

- データ量の多い音楽や動画をダウンロードするときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

音楽／動画をダウンロードする

Yahoo! ケータイに直接接続し、音楽や動画をダウンロードできます。

1 ■ →「メディア」

2 音楽／動画のダウンロード操作

■ 音楽をダウンロードするとき
「ミュージック」→「全曲一覧」→「楽曲を探す」

■ 動画をダウンロードするとき
「ムービー」→「全ムービー一覧」→「動画を探す」

音楽／動画をパソコンからメモリカードに保存する

音楽／動画のファイル形式を変換できるソフトウェアが必要です。

- 当社では、特定のソフトウェアの動作保証はしておりません。
- ソフトウェアの仕様や使用方法については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

1 本機にメモリカードを取り付ける

- 以降は、(➔P.12-9)の指示に従って操作してください。

- 保存するファイルの種類別に、メモリカード内の次のフォルダに保存してください。
  音楽ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Music
  PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Sounds & Ringtones
  動画ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Videos
- ファイルの保存後、メモリカードの読込みが完了すると、ファイルの再生が可能となります。

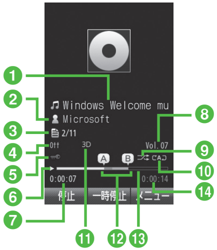
音楽再生

ミュージックのフォルダ構成は次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生／再生中のミュージック	最後に再生したファイルを表示／現在再生中のファイルを表示
全曲一覧	すべてのファイルを最大9999件表示
プレイリスト	任意で作成するフォルダを表示
アーティスト	アーティスト別に表示
アルバム	アルバム別に表示
ジャンル	ジャンル別に表示
フォルダ	「着うた・メロディ」フォルダや「ミュージック」フォルダに保存されているファイルを表示
最近聴いた曲	最近再生したファイルの履歴を最大100件表示(最後に再生したファイルを一番上に表示)
よく聴く曲	再生回数の多いファイルの履歴を最大100件表示(最も再生回数が多いファイルを一番上に表示)

- 再生できるファイルが保存されたメモリカードを取り付けているときに、ファイルを一覧表示するまで時間がかかることがあります。
- 「ミュージック」で再生できないファイルは表示されません。

音楽再生画面の見かた



音楽再生画面

1. タイトル(タイトル情報がない場合はファイル名)
2. アーティスト名
3. ファイル番号／総ファイル数
4. サウンドエフェクト
5. 著作権保護
6. 状態：再生／一時停止／停止
7. 再生経過時間
8. 再生音量
9. シャッフル
10. 再生パターン
    - A ：Off
    - [1]：1 曲リピート
    - [A]：全曲リピート
11. 3D サウンド
12. 部分リピート
13. プログレスバー
14. 総再生時間

ショートカット（ボタン操作）について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。
再生している状態やファイルの種類によっては、操作できない場合があります。

ボタン	内容
■	再生／一時停止
▶	次の曲へ
◀	前の曲へ／再生中の曲の先頭へ
▲／▲	音量アップ
▼／▼	音量ダウン
✉	停止
Y!	メニュー
1	再生パターン
2	シャッフル
3	サウンドエフェクト
4	タイムサーチ
5	部分リピート

- 再生する音楽または環境によっては、効果が確認できない場合があります。

音楽を再生する

1 ■ →「メディア」→「ミュージック」

2 ファイルの選択操作

■ 最後に再生したファイルを再生するとき
「続き再生」
- 再生中は「再生中のミュージック」と表示され、音楽再生画面が表示されます。

■ すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき
「全曲一覧」→ファイルを選択

■ プレイリストからファイルを選択するとき
「プレイリスト」→プレイリストを選択→ファイルを選択

■ アーティスト別の一覧からファイルを選択するとき
「アーティスト」→アーティストを選択→ファイルを選択

■ アルバム別の一覧からファイルを選択するとき
「アルバム」→アルバムを選択
→ファイルを選択

■ ジャンル別の一覧からファイルを選択するとき
「ジャンル」→ジャンルを選択
→ファイルを選択

■ フォルダの一覧からファイルを選択するとき
「フォルダ」→フォルダを選択
→ファイルを選択

■ 最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき
「最近聴いた曲」→ファイルを選択

■ よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき
「よく聴く曲」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「全曲一覧」や「フォルダ」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルにはが表示されます。
- メディアプレイヤーを起動して音楽を再生している場合は、を繰り返し押すと再生を継続したまま音楽再生画面を終了します。また、を押すとメディアプレイヤーを終了させるか、BGM として再生を続けるかを選択できます。
  再生を終了するには、待受画面でを押します。再生を終了するかどうかの確認メッセージが表示されたら、「はい」を選択します。

- メディアプレイヤー画面で音楽を再生中に電話がかかってきたときは、再生が一時停止され、着信音が鳴ります。通話が終了すると、音楽再生が一時停止のまま、音楽再生画面に戻ります。
  BGM として再生中は、通話が終了すると再生を再開します。
- メディアプレイヤー画面で音楽を再生中にアラームの設定時刻になったときは、再生が一時停止され、アラームを音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まり、表示が消えます。BGM として再生中のときは、アラーム音を止めた時点で再生を再開します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-10

- タイトルやアーティスト名でファイルを探したい
- ファイルを送信したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- 指定した位置から再生したい
- 歌詞を表示したい
- ウェブリンクに接続したい
- ボタンに割り当てられた機能を確認したい

設定

- 再生パターンを設定する（☞P.14-25）
- シャッフル再生をするかどうか設定する（☞P.14-25）
- サウンドエフェクトを設定する（☞P.14-25）
- 3D サウンドを設定する（☞P.14-25）

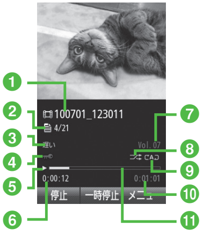
動画再生

ムービーのフォルダ構成は、次のとおりです。

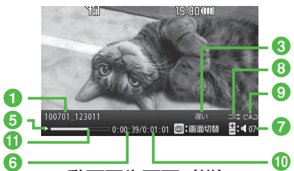
フォルダ	概　要
続き再生	最後に再生したファイルを表示
全ムービー一覧	すべてのファイルを最大 9999 件表示
プレイリスト	ファイルから任意で作成するフォルダを表示
フォルダ	「ムービー」フォルダに保存されているファイルを表示
最近見たムービー	最近再生したファイルの履歴を最大 100 件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく見るムービー	再生回数の多いファイルの履歴を最大 100 件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）

- 再生できるファイルが保存されたメモリカードを取り付けているときに、ファイルを一覧表示するまで時間がかかることがあります。
- 「ムービー」で再生できないファイルは表示されません。

動画再生画面の見かた



動画再生画面（縦）



動画再生画面（横）

❶ ビデオタイトル(ビデオタイトルがない場合はファイル名)とアーティスト名
❷ ファイル番号／総ファイル数
❸ 再生スピード
❹ 著作権保護
❺ 状態：再生／一時停止／停止
❻ 再生経過時間
❼ 再生音量
❽ シャッフル
❾ 再生パターン
　A ：Off
　[1]：1 ファイルリピート
　[A]：全ファイルリピート
❿ 総再生時間
⓫ プログレスバー

ショートカット（ボタン操作）について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。
再生している状態やファイルの種類によっては、操作できない場合があります。

標準画面表示時

ボタン	内容
	再生／一時停止
	次のムービーへ
	前のムービーへ／再生中のムービーの先頭へ
／	音量アップ
／	音量ダウン
	停止
	メニュー
	全画面表示
1	再生パターン
2	シャッフル
3	画面サイズ切り替え
4	タイムサーチ
5	画面キャプチャ
6	再生スピード

全画面表示時

ボタン	内容
	再生／一時停止
／	音量アップ
／	音量ダウン
	次のムービーへ
	前のムービーへ／再生中のムービーの先頭へ
	標準画面表示
1	再生パターン
2	シャッフル
5	画面キャプチャ
6	再生スピード

動画を再生する

1. →「メディア」→「ムービー」
2. **ファイルの選択操作**
   - ■ 最後に再生したファイルを再生するとき
     「続き再生」
   - ■ すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき
     「全ムービー一覧」→ファイルを選択
   - ■ プレイリストからファイルを選択するとき
     「プレイリスト」→プレイリストを選択→ファイルを選択
   - ■ フォルダの一覧からファイルを選択するとき
     「フォルダ」→ファイルを選択
   - ■ 最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき
     「最近見たムービー」→ファイルを選択
   - ■ よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき
     「よく見るムービー」→ファイルを選択

- 「全ムービー一覧」を選んで (再生)を押すと、該当するファイルの一覧をすべて再生します。
- メモリカードを取り付けているときは、「全ムービー一覧」や「フォルダ」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルにはが表示されます。
- 「全ムービー一覧」や「フォルダ」の一覧画面などでは、ファイルを選ぶとプレビューが表示されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-11

- タイトルや制作者名でファイルを探したい
- ファイルを送信したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- 画面全体に動画を表示したい
- 表示サイズを変更したい
- 指定した位置から再生したい
- 動画から静止画を切り取りたい
- ウェブリンクに接続したい
- 再生速度を変更したい
- ボタンに割り当てられた機能を確認したい

設定

- 再生パターンを設定する（☞P.14-25）
- シャッフル再生をするかどうか設定する（☞P.14-25）
- バックライトを設定する（☞P.14-25）
- 縦画面の表示サイズを設定する（☞P.14-25）
- ムービー起動時の画面表示を設定する（☞P.14-25）
- プレビュー表示を設定する（☞P.14-25）
- リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する（☞P.14-25）

プレイリスト

プレイリストを作成すれば、自分だけのアルバムを作ることができます。

プレイリストを作成する

プレイリストは最大 20 件作成でき、1 件のプレイリストには最大 100 件のファイルを登録できます。

1. ■ →「メディア」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」→ ✉（新規）
2. プレイリスト名を入力
3. プレイリストを選択
4. ✉（追加）
5. 登録するファイルをチェック → ✉（追加）

プレイリストを再生する

1. ■ →「メディア」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」
2. プレイリストを選択
3. ファイルを選択

• プレイリストに登録したファイルを削除した場合や、メモリカードのファイルを登録しメモリカードを取り外した場合は再生できません。メモリカードを再度取り付けてファイルの読込みが完了すると、再生できるようになります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-12

- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルをプレイリストから削除したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい

ストリーミング

音楽や動画などのデータをダウンロードしながら順次再生します。情報画面に表示されているリンクなどから接続して、ストリーミングができます。

注意

- ストリーミング中は、一時停止した場合でも通信は継続されるため、パケット通信料が発生します。

情報画面のリンクからストリーミングする

1. **情報画面を表示**
2. **リンクを選択**



ストリーミング画面

- ストリーミング中の再生／停止操作は、メディアプレイヤー再生中の操作と同様です（➔P.8-4、P.8-6）。

URLを直接入力する

1. **■→「メディア」→「ストリーミング」→「URL入力」**
   - URL欄には、あらかじめ「rtsp://」が入力されています。
2. **URLを入力**

ブックマークから接続する

接続したストリーミング画面のブックマークを最大20件まで保存できます。

1. **■→「メディア」→「ストリーミング」→「ブックマーク」**
2. **ブックマークを選択**

接続履歴から接続する

接続したストリーミング画面のURLを最大20件まで保存できます。

1. **■→「メディア」→「ストリーミング」→「履歴」**
2. **履歴を選択**

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-12

- 表示サイズを変更したい
- 指定した位置から再生したい
- ストリーミング中にブックマークに登録したい
- ストリーミング画面でブックマークに登録したストリーミングに接続したい
- ストリーミング画面で以前に利用したストリーミングに接続したい
- ストリーミングのブックマークを直接入力して登録したい
- ブックマークに登録したストリーミングを削除したい

便利な機能

音楽再生

ファイルを通常モードの着信音に設定したい

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ファイルを選んで ✉(登録)→項目を選択

- 着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。

タイトルやアーティスト名でファイルを探したい **[検索]**

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ Y! →「検索」→「タイトル」または「アーティスト」をチェック→検索欄を選択→タイトルまたはアーティスト名を入力→ ✉(検索)

ファイルを送信したい **[送信]**

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ファイルを選んで Y! →「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→ファイルをチェック→ ✉(送信)(➲P.13-3)

ファイルの順序を変更したい **[ソート]**

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ Y! →「ソート」→項目を選択

- 「フォルダ」内のファイルでも同様に操作できます。
- メモリカードの読み込みが完了するまで、変更できない可能性があります。もう一度同じ手順を繰り返します。

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい **[コンテンツ・キー再取得]**

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ファイルを選んで Y! →「コンテンツ・キー再取得」

ファイルの詳細情報を確認したい **[詳細]**

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ファイルを選んで Y! →「詳細」

- 音楽再生画面で Y! →「詳細」を選択しても同じ操作を行うことができます。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

指定した位置から再生したい **[タイムサーチ]**

音楽再生画面で Y! →「タイムサーチ」→時間を入力→ ■(ジャンプ)

歌詞を表示したい **[歌詞表示]**

音楽再生画面で Y! →「歌詞表示」

- 歌詞表示に対応していない曲は表示できません。

ウェブリンクに接続したい **[ウェブリンク接続]**

音楽再生画面で Y! →「ウェブリンク接続」→「はい」

- Web リンクがない曲は、Web 接続ができません。

ボタンに割り当てられた機能を確認したい **[ヘルプ]**

音楽再生画面で Y! →「ヘルプ」

動画再生

ファイルを通常モードの着信音に設定したい

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを選んで ✉(登録)→項目を選択

- 着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。

タイトルや制作者名でファイルを探したい **[検索]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ Y! →「検索」→「タイトル」または「制作者」をチェック→検索欄を選択→タイトルまたは制作者名を入力→ ✉(検索)

ファイルを送信したい **[送信]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを選んで Y! →「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→ファイルをチェック→ ✉(送信)(➲P.13-3)

ファイルの順序を変更したい **[ソート]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ Y! →「ソート」→項目を選択

- 「フォルダ」内のファイルでも同様に操作できます。

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい **[コンテンツ・キー再取得]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを選んで Y! →「コンテンツ・キー再取得」

ファイルの詳細情報を確認したい **[詳細]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを選んで Y! →「詳細」

- 動画再生画面(縦)で Y! →「詳細」を選択しても同じ操作を行うことができます。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

画面全体に動画を表示したい **[全画面表示]**

動画再生画面(縦)で Y! →「全画面表示」

表示サイズを変更したい **[画面表示サイズ]**

動画再生画面(縦)で Y! →「画面表示サイズ」→項目を選択

- フルスクリーンでプレビューを見るには、動画映像が 320 x 192 解像度でエンコードされている必要があります。

指定した位置から再生したい **[タイムサーチ]**

動画再生画面(縦)で Y! →「タイムサーチ」→時間を入力→ ■(ジャンプ)

動画から静止画を切り取りたい **[画面キャプチャ]**

動画再生画面(縦)で Y! →「画面キャプチャ」

ウェブリンクに接続したい **[ウェブリンクに接続]**

動画再生画面(縦)で Y! →「ウェブリンクに接続」→「はい」

再生速度を変更したい **[再生スピード]**

動画再生画面(縦)で Y! →「再生スピード」→項目を選択

- 速度変更中は音声が再生されません。

ボタンに割り当てられた機能を確認したい **[ヘルプ]**

動画再生画面(縦)で Y! →「ヘルプ」

プレイリスト

ファイルをプレイリストに追加したい **[プレイリストに追加]**

■→「メディア」→「ミュージック」／「ムービー」→「全曲一覧」／「全ムービー一覧」

■ 1件追加するとき

ファイルを選んで Y! →「プレイリストに追加」→「1件」→プレイリストを選択

■ 複数追加するとき

Y! →「プレイリストに追加」→「複数」→ファイルをチェック→ ✉(追加)→プレイリストを選択

ファイルをプレイリストから削除したい **[プレイリストから削除]**

■→「メディア」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを選択

■ 1件削除するとき

ファイルを選んで Y! →「プレイリストから削除」→「1件」

■ 複数削除するとき

Y! →「プレイリストから削除」→「複数」→ファイルをチェック→ ✉(削除)

■ 全件削除するとき

Y! →「プレイリストから削除」→「全件」→「はい」

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい **[並べ替え]**

■→「メディア」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→ファイルを選んで Y! →「並べ替え」→ ◎ で移動先を選んで ■(OK)

プレイリスト名を編集したい **[プレイリスト名変更]**

■→「メディア」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選んで Y! →「プレイリスト名変更」→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい **[削除]**

■→「メディア」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」

■ 1件削除するとき

プレイリストを選んで Y! →「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y! →「削除」→「複数」→プレイリストをチェック→ ✉(削除)→「はい」

■ 全件削除するとき

Y! →「削除」→「全件」→「はい」

ストリーミング

最後に再生したストリーミングを再生したい

■→「メディア」→「ストリーミング」→「続き再生」

表示サイズを変更したい **[画面表示サイズ]**

ストリーミング画面で Y! →「画面表示サイズ」→項目を選択

指定した位置から再生したい **[タイムサーチ]**

ストリーミング画面で Y! →「タイムサーチ」→時間を入力→ ■(ジャンプ)

ストリーミング中にブックマークに登録したい **[ブックマーク登録]**

ストリーミング画面で Y! →「ブックマーク登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→ URL 欄を選択→ URL を入力→ ✉(保存)

ストリーミング画面でブックマークに登録したストリーミングに接続したい **[ブックマーク一覧]**

ストリーミング画面で Y! →「ブックマーク一覧」→ブックマークを選択

ストリーミング画面で以前に利用したストリーミングに接続したい **[履歴一覧]**

ストリーミング画面で Y! →「履歴一覧」→履歴を選択

ブックマークに登録したストリーミングのURL を編集したい

■ →「メディア」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→ブックマークを選んで ✉(編集)→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→ URL を編集→ ✉(保存)

- ストリーミング画面で Y! →「ブックマーク一覧」→ブックマークを選んで ✉(編集)→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL 欄を選択→URL を編集→ ✉(保存)を押しても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングのブックマークを直接入力して登録したい **[新規登録]**

■ →「メディア」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→ Y! →「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを編集→ URL 欄を選択→ URL を編集→ ✉(保存)

- ストリーミング画面で Y! →「ブックマーク一覧」→ Y! →「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを編集→ URL 欄を選択→ URL を編集→ ✉(保存)を押しても同じ操作を行うことができます。

ブックマークに登録したストリーミングを削除したい **[削除]**

■ →「メディア」→「ストリーミング」→「ブックマーク」

■ 1 件削除するとき

ブックマークを選んで Y! →「削除」→「1 件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y! →「削除」→「複数」→ブックマークをチェック→ ✉(削除)→「はい」

■ 全件削除するとき

Y! →「削除」→「全件」→「はい」

- ストリーミング画面で Y! →「ブックマーク一覧」→ Y! →「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングの接続履歴を編集したい

■ →「メディア」→「ストリーミング」→「履歴」→履歴を選んで ✉(編集)→タイトル欄を選択→タイトルを編集→ URL 欄を選択→ URL を編集→ ✉(保存)

- ストリーミング画面で Y! →「履歴一覧」→履歴を選んで ✉(編集)→タイトル欄を選択→タイトルを編集→ URL 欄を選択→ URL を編集→ ✉(保存)を押しても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングの接続履歴を削除したい

■ →「メディア」→「ストリーミング」→「履歴」

■ 1 件削除するとき

履歴を選んで Y!(削除)→「1 件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!(削除)→「複数」→履歴をチェック→ ✉(削除)→「はい」

■ 全件削除するとき

Y!(削除)→「全件」→「はい」

- ストリーミング画面で Y! →「履歴一覧」→ Y!(削除)を押しても同じ操作を行うことができます。

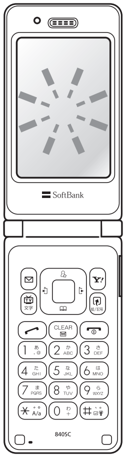
メモ

エンタテイメント

9

エンタテイメントについて

本機では、インターネットに接続して、様々なコンテンツをダウンロードしたり閲覧することができます。
また、コンテンツを登録することによって、最新情報を自動的に受信できます。
ここでは、コンテンツのダウンロード方法と利用方法について説明します。



S! アプリ（➔P.9-3）



ダウンロードしたり、あらかじめ登録されているソフトバンク携帯電話専用のアプリケーション(S! アプリ)を楽しめます。

S! コンテンツストア（➔P.9-5）



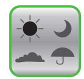
「S! コンテンツストア」は音楽、ゲーム、コミックなどのデジタルコンテンツを簡単に探せてダウンロードできる総合ナビゲーションサイトです。

S! 速報ニュース（➔P.9-3）



登録した Yahoo! ケータイのコンテンツの更新情報を見ることができます。

S! 情報チャンネル／お天気（➔P.9-5）



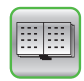
登録したニュースなどを夜間にお届けします。また、待受画面にお天気情報をアイコンでお知らせします。

無料コンテンツ（➔P.9-5）



「S! コンテンツストア」に登録されているサイトの中で音楽、ゲームなどの情報料が無料のコンテンツだけに簡単に接続できるサイトです。

ブックサーフィン®（➔P.9-6）



データフォルダの「ブック」フォルダに保存されている電子コミックや電子写真集など(CCF ファイル)を閲覧するためのビューアです。

注意

次のコンテンツのご利用には、別途お申し込みが必要です。
- S! 速報ニュース
- S! 情報チャンネル／お天気

S! アプリ

ダウンロードしたり、あらかじめ登録されているソフトバンク携帯電話専用のアプリケーション（S! アプリ）を楽しめます。

- 操作方法について詳しくは S! アプリ内のヘルプやダウンロードしたインターネットの情報画面などを参照してください。

S! アプリをダウンロードする

1. ■ →「S! アプリ」→「S! アプリライブラリ」→「Y! ケータイで探す」
   - 以降は、画面の指示に従って操作してください。

S! アプリを起動する

1. ■ →「S! アプリ」→「S! アプリライブラリ」
2. 利用する S! アプリを選択

ネットワーク接続型 S! アプリを選ぶと

- ネットワーク（インターネット）へ接続するかどうかの確認が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

S! アプリ起動中に着信があると

- S! アプリは一時停止し、着信画面が表示されます。

S! アプリの開始要求履歴を確認するとき

- ■ →「S! アプリ」→「S! アプリ開始要求履歴」

S! アプリを終了する

1. S! アプリ起動中に [終話]
2. 「終了」

S! アプリを一時停止するとき

- S! アプリ起動中に [終話] →「一時停止」

一時停止中の S! アプリを再開するとき

- ■ →「S! アプリ」→「再開」

一時停止中の S! アプリを終了するとき

- ■ →「S! アプリ」→「終了」

使いこなしチェック!

設定

- S!アプリの音量を設定する（☞P.14-26）
- ディスプレイのバックライトを設定する（☞P.14-26）
- S! アプリのバイブレータの有効／無効を設定する（☞P.14-26）
- S! アプリ中の着信／アラーム／ S! アプリ開始要求の動作を設定する（☞P.14-26）
- S! アプリの設定をリセットする（☞P.14-26）

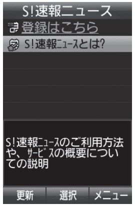
S! 速報ニュース

S! 速報ニュースでは、登録した Yahoo! ケータイのコンテンツの更新情報を見ることができます。

- 待受画面で S! 速報ニュース一覧に登録したコンテンツの最新情報を確認することができます（➔P.9-4）。
- S! 速報ニュースのご利用には、別途お申し込みが必要です。

リスト画面を表示する

1. ■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 速報ニュース」



S!速報ニュース
一覧画面

：特別未読
：速報未読
：一般未読
：特別既読
：速報既読
：一般既読

注意

- S! 速報ニュースのご利用時には、パケット通信料が発生します。

更新情報を確認する

1. [■]→「ニュース／エンタメ」→「S! 速報ニュース」
2. コンテンツを選択
3. 情報を選択
   - S! 速報ニュース内容一覧画面に戻るときは、[✉](一覧)を押します。
   - インターネットに接続して更新情報を確認するには、項目を選択し、「はい」を選択します。
   - 次の情報があるときは、[Y!](次へ)を押すと次の情報画面を表示します。

S! 速報ニュース一覧に登録する

S! 速報ニュース一覧には特別が 1 件、一般／速報が最大 5 件まで登録できます。

1. [■]→「ニュース／エンタメ」→「S! 速報ニュース」
2. 「登録はこちら」→「はい」
3. コンテンツを選択→画面の指示に従って操作

S! 速報ニュース一覧を手動で更新する

1. [■]→「ニュース／エンタメ」→「S! 速報ニュース」
2. [✉](更新)
   - ■ 1 件更新するとき
     コンテンツを選んで「1 件」
   - ■ 複数のコンテンツをまとめて更新するとき
     「複数」→コンテンツをチェック→[✉](更新)
   - ■ すべてのコンテンツを更新するとき
     「全件」
   - 更新中に中止したいときは[Y!](キャンセル)を押します。

S! 速報ニュース一覧を削除する

1. [■]→「ニュース／エンタメ」→「S! 速報ニュース」
2. [Y!]→「削除」
   - ■ 1 件削除するとき
     コンテンツを選んで「1 件」→「はい」
   - ■ 複数のコンテンツをまとめて削除するとき
     「複数」→コンテンツをチェック→[✉](削除)→「はい」
   - ■ すべてのコンテンツを削除するとき
     「全件」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-7

- コンテンツの詳細を確認したい
- S! 速報ニュース一覧の内容一覧画面で情報を更新したい
- S! 速報ニュース一覧の内容一覧画面から更新情報を確認したい

無料コンテンツ

「S! コンテンツストア」に登録されているサイトの中で音楽、ゲームなどの情報料が無料のコンテンツだけに簡単に接続できるサイトです。

1. ■ →「ニュース／エンタメ」→「無料コンテンツ」
2. 「タダメロディ」／「タダデコ」／「タダコミ」／「タダゲーム」／「タダ歌ばん」→画面の指示に従って操作

注意

- 無料コンテンツへの接続時には、パケット通信料が発生します。

S! コンテンツストア

「S! コンテンツストア」は音楽、ゲーム、コミックなどのデジタルコンテンツを簡単に探せてダウンロードできる総合ナビゲーションサイトです。オススメや情報料無料コンテンツ、ランキング、新着コンテンツなど情報も充実。点数やクチコミを確認しながらコンテンツ選びもできます。

1. ■ →「ニュース／エンタメ」→「S! コンテンツストア」
2. 画面の指示に従って操作

注意

- S! コンテンツストアへの接続時には、パケット通信料が発生します。

S! 情報チャンネル

S! 情報チャンネルでは、登録したニュースなどを夜間にお届けします。また、待受画面にお天気情報をアイコンでお知らせします。

- 日本国内だけで利用できるサービスです。
- S! 情報チャンネルのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

- S! 情報チャンネルのご利用時には、パケット通信料が発生します。

サービス登録を行う

1. ■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「サービス登録・解除」
2. 画面の指示に従って操作

新着情報を確認する

S! 情報チャンネルの情報は自動的に受信され、待受画面に通知が表示されます。

1. 通知を選択
2. 画面の指示に従って操作
   - 操作方法は、Yahoo! ケータイと同様です。

お天気アイコンを利用する

S! 情報チャンネルのサービス登録を行うと、現在いる地域の天気を示すマーク(お天気アイコン)が、待受画面に表示されます。

☀：晴れ(昼)
☽：晴れ(夜)
☁：曇り
☂：雨
⛄：雪
⚡：雷雨
▷：のち
/：時々
例：☁/☂→曇り時々雨

- 上記以外に、降水確率や季節情報なども表示されます。

使いこなしチェック!

設定

- お天気アイコンを表示するかどうか設定する（☞P.14-26）
- お天気アイコンが更新されたときに通知するかどうかを設定する（☞P.14-26）
- お天気アイコンを自動的に更新するかどうかを設定する（☞P.14-26）

ブックサーフィン®

ブックサーフィン®は、データフォルダの「ブック」フォルダに保存されている電子コミックや電子写真集など（CCF ファイル）を閲覧するためのビューアです。画像の拡大／縮小や、簡単な操作で画面をスクロールしたり、サウンドやバイブレーションなどの効果により臨場感ある演出も可能です。CCF ファイルを閲覧するには、コンテンツ・キーを取得してください。
機種を変更した後は、メモリカードで CCF ファイルを移動してください。また、移動したファイルを閲覧するには、コンテンツ･キーを再度ダウンロードする必要があります。
なお、ファイルによっては CCF ファイルを再度ダウンロードする必要があります。

電子書籍をダウンロードする

1 ▣ →「S! アプリ」→「S! アプリライブラリ」→「ブックサーフィン」

2 「作品をさがす(Web から)」→「はい」

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

電子書籍を読む

1 ▣ →「S! アプリ」→「S! アプリライブラリ」→「ブックサーフィン」→「ブックフォルダ」→「ＯＫ」

- 起動後の操作については、ブックサーフィン®のヘルプを参照してください。

S! 速報ニュース

コンテンツの詳細を確認したい　【詳細】

S! 速報ニュース一覧画面でコンテンツを選んで 📧 →「詳細」

S! 速報ニュース一覧の内容一覧画面で情報を更新したい　【更新】

S! 速報ニュース一覧画面でコンテンツを選択→ 📧 →「更新」

- 更新中に中止するときは 📧(キャンセル)を押します。

S! 速報ニュース一覧の内容一覧画面から更新情報を確認したい　【Web に接続】

S! 速報ニュース一覧画面でコンテンツを選択→ 📧 →「Web に接続」→「はい」

- 接続中に中止するときは 📧(キャンセル)を押します。

S! 速報ニュース一覧を自動更新したい

■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 速報ニュース」→ 📧 →「設定」→「自動更新設定」

■「速報」を自動更新するとき

「速報」→項目を選択

■「一般」を自動更新するとき

「一般」→「On」／「Off」

■「特別」を自動更新するとき

「特別」→「On」／「Off」

- 自動更新に設定した時刻を基準に自動更新が行われます。次回の自動更新の時刻は、S! 速報ニュース一覧画面でコンテンツを選んで 📧 →「詳細」を選択すると確認できます。
- 「一般」を「On」に設定すると 1 日に 1 回自動更新されます。
- 「特別」を「On」に設定すると、通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。
- 「特別」を「On」に設定すると 4 時間に 1 回自動更新されます。
- 「特別」、「速報」は、夜間から早朝の間は自動更新が行われません。「一般」の場合は、この時間帯にも自動更新が行われます。
- ローミング中は自動更新は行われません。ただし、手動で更新できます(➔P.9-4)。
- 圏外や電波の悪い場所では、自動更新されないことがあります。
- 何らかの事情で自動更新が停止したときは、手動で更新できます(➔P.9-4)。
- USIM カードを交換したときは、「自動更新しない」または「Off」に設定されます。

S! 速報ニュース一覧を全削除したい

■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 速報ニュース」→ 📧 →「設定」→「S! 速報ニュース一覧消去」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

S! 情報チャンネル

通知が消えた後で確認したい

■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「最新情報」

以前受信した情報を確認したい

■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「バックナンバー」→項目を選択

受信できなかった情報を再度受信したい

■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「再配信要求」→「はい」

天気予報を表示したい

■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「天気予報」

お天気アイコンを手動で更新したい

■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「手動更新」→「はい」

お天気の設定を変更したい

▣ →「ニュース／エンタメ」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「設定」

■ **表示設定を変更するとき**
「表示設定」→「On」／「Off」

■ **インフォメーション表示設定を変更するとき**
「インフォメーション表示設定」→「On」／「Off」

■ **自動更新を設定するとき**
「自動更新」→「On」／「Off」

ツール

10

ツールについて

本機では、アラームやカレンダーなどの生活ツール、電卓やバーコードリーダーなどの便利ツールが用意されています。
この章では、本機に用意されているツールについて説明します。

アラーム



アラーム機能を設定できます（➲P.10-3）。

カレンダー



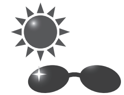
カレンダーを表示したり、スケジュールを登録することができます（➲P.10-4）。

予定リスト



予定リストを登録／確認できます（➲P.10-6）。

UV チェッカー



紫外線の強弱を計測できます（➲P.10-7）。

ストップウォッチ



ストップウォッチ機能を使用できます（➲P.10-7）。

世界時計



世界各国の都市の現在時刻確認ができます（➲P.10-7）。

おやすみタイマー



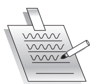
着信音やバイブレータを停止させる時間帯を設定できます（➲P.10-8）。

電卓



電卓機能を使用できます（➲P.10-8）。

メモ帳



メモを登録／確認できます（➲P.10-9）。

バーコードリーダー



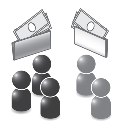
バーコード、QRコードの読み取りや、QRコードの作成ができます（➲P.10-9）。

通貨・単位換算



金額を各国の通貨に換算したり、長さや重さなどを他の単位に換算できます（➲P.10-11）。

割り勘ツール



精算金額の一人当たりの金額を計算できます（➲P.10-22）。

ボイスレコーダー



音声を録音／再生できます（➲P.10-12）。

ドキュメントビューア



ドキュメントファイルを閲覧できます（➲P.10-13）。

見せかけ着信



緊急時などに、電話がかかってきたふりをすることができます（➲P.10-14）。

辞書



日本語の英語訳や英単語の日本語訳を調べられます（➲P.10-15）。

アラーム

アラームを10件登録できます。時刻などを登録しておけば、「On」または「Off」に切り替えるだけで設定や解除ができます。
1回限りの起動だけでなく、特定の曜日や毎日の起動を登録することもできます。

アラームを設定／リセットする

ここでは例として、アラーム時刻のみ設定します。

- 他の項目については、「アラームの内容を編集する」(➲P.10-3)を参照してください。

設定する

1. ■→「ツール」→「アラーム」
2. アラームを選択→「設定時刻」→アラーム時刻を入力
3. ✉(保存)
   - ディスプレイに🔔が表示されます。
   - アラームの設定／編集をして✉(保存)を押すと、そのアラームは自動的に「On」に設定されます。

- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。バイブレータを「Off」以外に設定しているときはバイブレータでもお知らせします。スヌーズを「Off」に設定している場合は、■(停止)を押すとアラーム音とバイブレータが止まります。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中(「呼び出し中…」と表示)、発信中(「ダイヤル中…」と表示)は、表示でお知らせします。スヌーズを「Off」に設定している場合は、■(停止)を押すと表示が消えます。
- スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、スヌーズを解除するまでアラーム通知を設定した時間毎に設定した回数繰り返します。アラーム通知時に■(スヌーズ)を押すと、設定した時間後に再度アラーム通知されます。✉(終了)→「終了」を選択すると、アラームが終了して表示が消えます。
- 複数のアラームに同じ起動時刻が登録されている場合は、最初に設定した内容が優先されます。ただし、スケジュールや予定リストのアラームと同じ起動時刻に設定されているときは、スケジュールや予定リストのアラームよりも優先されます。
- マナーモード設定時は、アラーム音とバイブレータは「マナーモード設定」(➲P.10-15)の設定に従います。
- 動画撮影中または音声録音中だったときは、撮影または録音の終了と同時に、アラーム音と表示でお知らせします。

リセットする

1. ■→「ツール」→「アラーム」→アラームを選んで✉(On／Off)

アラームの内容を編集する

1. ■→「ツール」→「アラーム」→アラームを選択

■ アラーム時刻を設定するとき
設定時刻欄で設定時刻を入力→✉(保存)

■ 繰り返しを設定するとき
「繰り返し」→項目を選択→✉(保存)
- すべての曜日を通知する設定にしているときは、毎日通知されます。

■ 祝日の除外を設定するとき
「祝日除外設定」→「On」／「Off」→✉(保存)

■ スヌーズを設定するとき
「スヌーズ」→項目を選択→✉(保存)
- スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、スヌーズを解除するまでアラーム通知を設定した時間毎に設定した回数繰り返します。アラーム通知時に■(スヌーズ)を押すと、設定した時間後に再度アラーム通知されます。✉(終了)→「終了」を選択すると、アラームを終了して表示が消えます。
- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ スヌーズの繰り返し回数を設定するとき
「スヌーズ繰り返し回数」→項目を選択→✉(保存)

■ アラーム音やムービーを設定するとき
「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→ ✉（保存）

- ✉（再生）を押すとファイルを再生します。

■ アラーム音量を調節するとき
「音量」→音量を調節→ ✉（保存）

- ✉（再生）を押すとファイルを再生します。

■ バイブレータを設定するとき
「バイブ」→項目を選択→ ✉（保存）

- ✉（再生）を押すと振動パターンを確認できます。

■ アラーム音の鳴動時間を設定するとき
「鳴動時間」→項目を選択→ ✉（保存）

- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ アラーム名を編集するとき
アラーム名欄でアラーム名を入力→ ✉（保存）

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-15

● マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定したい

カレンダー

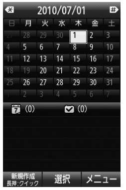
カレンダーを表示したり、カレンダーにスケジュールを登録することができます。
3 種類の方法でカレンダーを表示できます。
スケジュールには、件名、開始日などを登録できます。
予定リストと合わせて最大 500 件登録できます。

カレンダーの見かた

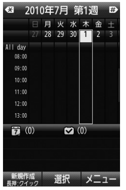
1 ヶ月、1 週間、1 日の 3 つの表示モードがあります。

- Y! →「表示切替」→「月表示」／「週表示」／「日表示」を選択すると表示モードが切り替わります。
- スケジュールが登録されている日付を選択すると、スケジュールが表示されます。

白文字の日付：月曜日～金曜日
青文字の日付：土曜日
赤文字の日付：日曜日、祝日
曜日と同じ色の背景の日付：選んでいる位置
曜日と同じ色の枠の日付：今日
■：スケジュール登録あり



1 ヶ月表示画面



1 週間表示画面



1 日表示画面

ツール 10

- 各画面で前後の月／週／日に切り替えるには、＊／＃を押します。
- スケジュールやアラームを登録している日などを表示すると、スケジュールの件名やアイコンなどが表示されます。
  - ：スケジュール(カテゴリなし)
  - ：スケジュール(約束)
  - ：スケジュール(会議)
  - ：スケジュール(仕事)
  - ：スケジュール(個人予定)
  - ：スケジュール(祝日)
  - ：スケジュール(記念日)
  - ：スケジュール(誕生日)
  - ：スケジュール(電話)
  - ：スケジュール(デート)
  - ：スケジュール(旅行)
  - ：スケジュール(買い物)
  - ：スケジュール(その他)
  - ：アラームの設定あり
  - ：繰り返しの設定あり
- 操作 2 の前に、カレンダー画面で目的の日付を選択しておくと、開始日欄や終了日欄にその日付が表示されます。

カレンダーを表示する

1. ■ →「ツール」→「カレンダー」

スケジュールを登録する

予定リストと合わせて最大 500 件登録できます。
ここでは例として、件名、開始日、開始時刻、終了日、終了時刻を登録します。

- 他の項目については、「スケジュールの内容を登録したい」(➔P.10-15)を参照してください。

1. ■ →「ツール」→「カレンダー」
2. ✉(新規作成)
3. 件名を入力
4. 日時を選択→開始日欄で開始日を入力→開始時刻欄で開始時刻を入力
5. 終了日欄で終了日を入力→終了時刻欄で終了時刻を入力
6. ■(OK)→ ✉(保存)

スケジュールを確認する

1. ■ →「ツール」→「カレンダー」
2. 日付を選択
3. スケジュールを選択

- カレンダーの登録状況を確認するには、カレンダー画面または全スケジュール表示画面で、Y! →「メモリ容量確認」を選択すると、カレンダーと予定リストの登録件数を確認できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-15

- 表示モードを切り替えたい
- 日付を指定して表示を切り替えたい
- すべてのイベントを表示したい
- カテゴリごとにスケジュールを確認したい
- スケジュールを送信したい
- スケジュールを削除したい
- シークレット設定したスケジュールを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい
- カレンダーの登録状況を確認したい
- スケジュールを保存したい

予定リスト

予定リストをスケジュールと合わせて最大500件登録して、リストで管理できます。

予定リストを登録する

ここでは例として、件名、期限日、期限時刻を登録します。

- 他の項目については、「予定リストの内容を登録したい」(➔P.10-18)を参照してください。

1. ■ →「ツール」→「予定リスト」
2. ✉(新規登録)
3. 件名を入力
4. 期限日欄で年月日を入力→期限時間欄で時刻を入力→ ■(OK)
5. ✉(保存)

予定リストを確認する

1. ■ →「ツール」→「予定リスト」

- 予定リスト一覧画面でタブを選択すると、(全予定リスト)、(処理済)、(未処理)、(期限切)を切り替えることができます。

処理済みマークを付ける

1. ■ →「ツール」→「予定リスト」
2. 予定リストを選んで Y! →「ステータス」→「処理済」



- 「ステータス」で項目を選択するたびに、(処理済)/(未処理)を切り替えることができます。

使いこなしチェック!

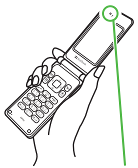
便利 ☞P.10-18

- 予定リストを送信したい
- 予定リストを並べ替えたい
- 予定リストを検索したい
- 予定リストを保存したい
- マナーモード時のアラーム音/バイブレータを設定したい
- シークレット設定した予定リストを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい
- 予定リストの登録状況を確認したい
- 予定リストを削除したい

UV チェッカー

紫外線センサーを利用して、紫外線を計測できます。

1. ▣ →「ツール」→「UV チェッカー」
2. 紫外線センサーを 1 ～ 2 秒間、太陽に向ける→ ▣(計測)



紫外線センサー

注意

- 計測する角度によっては、測定品質が変わることがあります。
- 紫外線センサーが汚れていると、正しく測定できないことがあります。柔らかい布で汚れを拭き取ってからご使用ください。

ストップウォッチ

本機をストップウォッチとして使えます。最大 10 回のラップタイムと合計タイムも計れます。

1. ▣ →「ツール」→「ストップウォッチ」
2. ▣(スタート)
   - ラップタイムを計るときは、計測中に ✉(ラップ)を押します。10 回以上ラップタイムを計ったときは、最後の 10 回のラップタイムが記録されます。
3. ▣(停止)

- ストップウォッチの内容をメモ帳に登録するときは、Y!(保存)→「はい」を選択します。
- 停止後、計測を再開するときは ▣(リスタート)を押します。
- ✉(リセット)を押すとすべての計測タイムを削除します。

世界時計

世界各国の都市の現在時刻を確認できます。

世界時計を見る

1. ▣ →「ツール」→「世界時計」

地域を設定する

地域を設定しておくと、世界時計を呼び出すだけで簡単に表示できます。

1. ▣ →「ツール」→「世界時計」
   - ▣ →「設定」→「ディスプレイ設定」→「時計／カレンダー表示」→「デュアル時計」を選択しても同じ操作が行えます。
2. ◐ でタイムゾーンを選択
   - サマータイムの設定をするときは、Y!(サマータイム)を押します。
3. ▣(保存)

おやすみタイマー

アラーム音／バイブレータ／ライトを停止させる時間帯を設定できます。

- おやすみタイマーが「On」の間は、アラーム音／バイブレータ／ライトが「Off」に設定されます。音の出る機能を起動した場合は、音量レベル0で起動します。
- おやすみタイマーが「On」でも、電話など、他の機能を利用できます。

注意

- おやすみタイマー起動時に、すべての機能を終了しておいてください。
- 何らかの機能を使用していると、おやすみタイマーを起動できません。

1 ■ →「ツール」→「おやすみタイマー」

2 タイマーの時刻欄を選択

3 開始時間欄で開始時刻を入力→終了時間欄で終了時刻を入力

- 「今すぐ起動」をチェックすると、おやすみタイマーを設定した直後からタイマーが起動します。

4 ■(OK)

5 「繰り返し」→項目を選択

- すべての曜日をチェックしているときは、毎日繰り返されます。
- 操作 3 で「今すぐ起動」をチェックしている場合は、繰り返しの設定は無効になります。

6 おやすみタイマー起動中でもアラーム音を鳴らす場合は、「アラーム起動」→「On」

7 ✉(保存)

- 自動的におやすみタイマーが「On」になります。

電卓

13 桁までの四則演算ができます。

1 ■ →「ツール」→「便利ツール」→「電卓」

2 数字と記号を入力して計算

- 電卓の内容をメモ帳に登録したいときは、Y! →「メモ帳に保存」→「はい」を選択します。計算が終了した内容のみ、メモ帳に登録できます。
- 電卓を終了したいときは、Y! →「終了」を選択します。

- 数式を 1 文字消すには、CLEAR を押します。
- 数式と計算結果をまとめて消すには、✉(AC)を押します。

ツール

10

メモ帳

最大 100 件のメモを登録できます。
メモ帳は通話中にも登録できます(➔P.3-22)。

メモを登録する

1. ■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」
2. ✉(新規作成)→内容を入力
3. カテゴリ欄を選択→カテゴリを選択
4. ✉(保存)

メモを確認する

1. ■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」→メモ帳を選択

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-19

- メモを検索したい
- メモをカテゴリ別に表示したい
- メモを送信したい
- メモをデータフォルダに保存したい
- メモの登録状況を確認したい
- メモを削除したい

バーコードリーダー

印刷されたバーコードや QR コードをカメラで撮影して読み取ったり、インターネットなどで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取れます。

バーコード／QR コードを読み取る

バーコード(JAN コード)または QR コードを自動的に判別し、読み取ることができます。また、読み取った結果を利用して電話をかけるなどの操作ができます。

QRコード

1. ■ →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード読み取り」
2. バーコードを画面中央に表示→ ■(読み取り)
   - 自動的にフォーカスが調整され、読み取りを行います。

- ■ →「カメラ」→「バーコードリーダー」を選択しても起動できます。
- バーコードによっては、読み取れないことがあります。
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合に、体の一部や本体の影がバーコードにかかっていると読み取れないことがあります。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。
- JAN コードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。JAN コード以外の一次元コード(ITF コード、Code39、Codabar/NW-7 など)は読み取ることができません。
- QR コードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
- 被写体とは約 10cm 離してください。読み取りにくいときは、本体をゆっくりと動かして被写体との距離を調整し、もう一度読み取りを行います。
- マクロを無効／有効にするには ✉(マクロ)を押します。
- 読み取り結果を保存するには、✉(保存)を押します。バーコードリーダー起動中に保存した読み取り結果を確認するときは、Y! →「読み取りデータ確認」を選択します。

- 複数のバーコードを続けて読み取るには、バーコードリーダーを起動後に [Y!] →「連続読み取り」を選択してバーコードを読み取ります。読み取り終了後「はい」を選択し、読み取り操作を繰り返します。
- 分割されているバーコードはすべて読み込まないと内容を表示したり、保存できません。
- 読み取り結果に電話番号やメールアドレス、電話帳用の項目などが含まれるときは、それらの情報を利用できます（➔P.10-20）。情報を利用できるものにはテキストに水色の背景が付きます（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降はテキストに水色の背景は付きません）。
- QR コードの情報で読み取れるのは、テキストデータのみです。画像や音楽ファイルの QR コードは、ファイルとして読み取ることができません。

バーコードファイルを読み取る

データフォルダに保存されたバーコードファイルを直接読み取ります。

1 [■] →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「データフォルダ」→項目を選択

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

2 ファイルを選択

- 分割されているバーコードは、分割されたうちの 1 つを読み取ると、残りのバーコードを自動的に認識して読み取ります。分割されたバーコードのファイル名や保存場所が変更されているときは、自動で認識できなかったファイルを選択すると読み取ることができます。
- サイズを変更したバーコードは、読み取れないことがあります。
- バーコードの種類によっては、読み取れない旨のメッセージが表示され、確認できないことがあります。

QR コードを作成する

電話帳や入力したテキストを利用して、QR コードを作成できます。

- 1 つの QR コードに登録できる文字数の目安は、半角文字を入力したときは 211 文字、全角文字だけを入力したときは 105 文字です。
- 情報量が多いときは、自動的に分割 QR コードが表示されます（16 分割まで）。
- 作成した QR コードは、データフォルダの「ピクチャー」フォルダに保存されます。保存後は、データフォルダの操作で確認できます（➔P.10-10）。

1 [■] →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「QR コード作成」

2 QR コードの作成

■ 電話帳を利用するとき
「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-16）→電話番号を選択

■ オーナー情報を入力するとき
「オーナー情報」

■ テキストを入力するとき
「テキスト入力」→テキストを入力

3 [■]（保存）

- 保存先を指定したいときは、[Y!] →「保存先設定」→項目を選択→ [■]（保存）を押します。

- 電話帳を利用する場合、QR コードには名前、名前のヨミガナ、電話番号、E メールアドレス、住所、メモが含まれます。その他の項目は含まれません。
- QR コード作成後、✉(送信)を押すと、作成した QR コードを添付した S! メールを作成できます。

読み取ったバーコードを確認する

保存した読み取り結果を確認します。

1 ■ →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「読み取りデータ確認」

2 読み取り結果を選択

- 表示サイズが大きすぎると表示されません。また、ファイルによっては表示できないことがあります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-20

- 読み取ったバーコードの名前を変更したい
- 読み取ったバーコードの詳細を表示したい
- 読み取ったバーコードを削除したい

通貨・単位換算

金額を各国の通貨に換算できます。長さや重さなどを他の単位に換算することもできます。

通貨換算する

1 ■ →「ツール」→「便利ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」

2 換算元の通貨欄を選択→通貨を選択

3 金額欄を選んで金額を入力



4 金額を確認

- 通貨換算した内容をメモ帳に登録したいときは、Y! →「メモ帳に保存」→「はい」を選択します。
- 通貨・単位換算を終了したいときは、Y! →「終了」を選択します。

他の単位に換算する

1 ■ →「ツール」→「便利ツール」→「通貨・単位換算」→「長さ」／「重さ」／「体積」／「面積」／「温度」

2 換算元の単位欄を選択→単位を選択

3 換算元の単位の数値欄を選んで数値を入力

4 数値を確認

- 単位換算した内容をメモ帳に登録したいときは、Y! →「メモ帳に保存」→「はい」を選択します。
- 通貨・単位換算を終了したいときは、Y! →「終了」を選択します。

割り勘ツール

支払比率の異なる 2 組の精算金額を計算できます。

1. ■ →「ツール」→「便利ツール」→「割り勘ツール」
2. 合計金額欄に金額を入力
3. 人数の A 欄に人数を入力
4. 人数の B 欄に人数を入力
5. 支払比率を ◐ で変更
   - A、B の一人当たりの金額及び繰越し金額が表示されます。

- 切上単位を変更するときは、割り勘ツール画面から、Y!(設定)→「切上単位」→項目を選択→ CLEAR を押します。
- 端数分を多めに徴収するときは、割り勘ツール画面から、Y!(設定)→「多めに徴収」→「はい」/「いいえ」→ CLEAR を押します。

ボイスレコーダー

音声を最長 60 分間録音できます。ボイスレコーダーは、ツールメニューのほか、通話中やデータフォルダ、メール作成画面のメニューからも起動できます。

ボイスレコーダーの表示画面の見かた

ソフトキーの表示や、マルチファンクションボタンのガイド表示に従って操作します。



録音中の画面　　再生中の画面

1. ステータスバー
2. 録音可能時間(録音中)／再生時間(再生中)
3. 経過時間
4. 音量調節

音声を録音する

録音した音声は、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。

1. ■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」
2. ■(録音)
3. ✉(停止)
   - 録音が終了し、音声データは自動的にデータフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。
   - 録音時間が経過した場合は、自動的に録音が終了します。
   - ■(一時停止)を押した後、✉(保存)でも録音した音声データを保存できます。
   - ■(一時停止)を押すと、一時停止できます。■(録音)を押すと録音を再開できます。

- 録音後、すぐに録音内容を確認したい場合は ■(再生)を押すと確認できます。■(一時停止)を押すと、一時停止できます。
- 録音後、すぐに次の録音をしたい場合は Y! →「録音」を選択します。

音声を再生する

データフォルダに保存されている音声ファイルを再生します。

1. →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」
2. →「データフォルダ」
3. ファイルを選択

- ／ で再生音量の調節ができます。
- で巻き戻し／早送りができます。

使いこなしチェック!

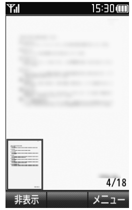
便利 ☞P.10-22

- 録音した音声ファイルの保存場所を移動したい
- 録音した音声ファイルをコピーしたい
- 録音した音声ファイルを送信したい
- 録音した音声ファイルを削除したい
- 録音した音声ファイル名を編集したい
- 録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい

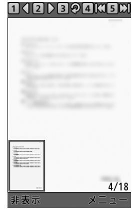
ドキュメントビューア

ドキュメントファイルは、標準表示または全画面表示で確認できます。標準表示と全画面表示は、メニューから切り替えられます。

- 本書では、標準表示で説明を記載しています。



標準表示



全画面表示

注意

- ページ数の多いドキュメントや複雑なデザインを含むドキュメントなどでは、ファイルをすべて表示できない場合があります。
- 日本語／英語／韓国語／中国語(簡体字)／ポルトガル語が含まれたファイルを正しく表示するには、言語選択で該当の言語を設定する必要があります。

ドキュメントファイルを確認する

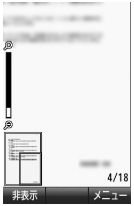
1. →「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」
2. ファイルを選択
3. ファイルを確認
   - でページをめくることができます。

- データフォルダ内のドキュメントファイル(PDF、XLS、DOC、PPT、TXT)を確認できます。データフォルダの一覧画面でこれらのファイルを選択すると、自動的にドキュメントビューアが起動します。
- 約10Mバイトまでのファイルを閲覧することができます。ファイルの内容によってはサイズが10Mバイト内であっても表示できないことがあります。

ファイルを拡大／縮小する

1. →「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択

2 [Y!] →「ズーム」→「ズームイン」／「ズームアウト」



- [↑] ／ [↓] でも倍率を調節できます。

- [Y!] →「フィット表示」→「ページ全体」／「幅に合わせる」／「高さに合わせる」を選択すると画面の表示方法を変更できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-23

- ファイルを削除したい
- 全画面表示／標準表示を切り替えたい
- ページ内の文字列を検索したい
- ページを移動したい
- ページの表示向きを切り替えたい
- 画面をキャプチャしたい
- ファイルを送信したい
- ファイル名を編集したい
- ファイルを保護して変更や削除などを制限したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- ショートカットのキー割り当てを確認したい

見せかけ着信

緊急時などに、電話がかかってきたふりをすることができます。

見せかけ着信の内容を設定する

見せかけ着信タイマー、発信者の名前、番号を設定することができます。

サイドキーでの起動を有効／無効にする

1 [■] →「ツール」→「便利ツール」→「見せかけ着信」→「サイドキー起動」

2 「On」／「Off」

- 「On」に設定した場合、待受画面で [↓] を２秒以上押すと見せかけ着信が実行されます。

見せかけ着信タイマーを設定する

1 [■] →「ツール」→「便利ツール」→「見せかけ着信」→「着信タイミング」

2 時間を選択

発信者を設定する

1 [■] →「ツール」→「便利ツール」→「見せかけ着信」→「着信相手」

2 名前欄を選択→発信者名を入力

3 電話番号欄を選択→発信者番号を入力

見せかけ着信を利用する

1 待受画面で [↓]（2 秒以上）

- 「着信タイミング」で設定した時間に実行されます。

2 見せかけ着信実行中に [通話]

3 見せかけ着信終了後に [終話]

ツール 10

- 見せかけ着信の設定で着信相手の名前および電話番号が設定されていない場合、見せかけ着信着信時の発信者情報には「非通知設定」が表示されます。
- 見せかけ着信を実行したときに表示される画面上のメニューボタンは機能しません。
- 見せかけ着信実行中に、実際に電話がかかってきた場合、見せかけ着信は終了され、実際の着信が優先されます。
- 見せかけ着信の通話中に実際に電話がかかってきた場合、着信音は鳴らずに、通知音が鳴ります。
- ■ →「ツール」→「便利ツール」→「見せかけ着信」→「見せかけ着信実行」→「はい」を選択しても見せかけ着信を実行できます。その場合、「着信タイミング」の設定にかかわらず、すぐに実行されます。

英和辞書／和英辞書

日本語の単語の英語訳や、英単語の日本語訳を調べることができます。

1 **■ →「ツール」→「便利ツール」→「辞書」**

2 **「英和辞書」／「和英辞書」**

3 **調べる単語を入力**

4 **単語を選択**

- 辞書で検索した内容をメモ帳に登録したいときは、✉(保存)→「はい」を選択します。
- ✉(辞書切替)を押すと「英和辞書」／「和英辞書」に切り替えられます。

便利な機能

アラーム

アラームを設定／解除したい

■ →「ツール」→「アラーム」→アラームを選んで ✉(On ／ Off)

マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定したい 【マナーモード設定】

■ →「ツール」→「アラーム」→ Y! →「マナーモード設定」→「アラーム音」／「バイブ」→「On」／「Off」

カレンダー

スケジュールの内容をクイック登録したい

■ →「ツール」→「カレンダー」→ ✉(長押：クイック)→件名を入力→開始日欄で開始日を入力→開始時刻欄で開始時刻を入力→終了日欄で終了日を入力→終了時刻欄で終了時刻を入力→ ■(OK)

■ スケジュールを終日に設定するとき

「終日」をチェック→ ■(OK)

スケジュールの内容を登録したい 【新規作成】

■ →「ツール」→「カレンダー」→ ✉(新規作成)→件名を入力→日時を選択→開始日欄で開始日を入力→開始時刻欄で開始時刻を入力→終了日欄で終了日を入力→終了時刻欄で終了時刻を入力→ ■(OK)

■スケジュールを終日に設定するとき

日時を選択→「終日」をチェック→ ■(OK)→ ✉(保存)

■カテゴリを設定するとき

「カテゴリ」→項目を選択→ ✉(保存)

■アラームを設定するとき

「アラーム」→「設定時刻」→項目を選択→「鳴動時間」→項目を選択→「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→「音量」→音量を調節→「バイブ」→項目を選択→ ✉(完了)→ ✉(保存)

- 設定時刻／鳴動時間で「その他」を選択したときは、設定時刻／鳴動時間を入力します。
- アラーム音／ムービーのファイル選択時に ✉(再生)を押すとファイルを再生します。
- バイブパターン選択時に ✉(再生)を押すと振動パターンを確認できます。
- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■設定したスケジュールを繰り返すとき

「繰り返し」→項目を選択→繰り返す回数を入力→ ■(OK)→ ✉(保存)

- 「一回のみ」を選択した場合は、繰り返す回数を入力する操作はありません。

■場所を設定するとき

「場所」→場所を入力→ ✉(保存)

■ゲストを設定するとき

「ゲスト」→「電話帳」／「番号入力」／「アドレス入力」→電話帳を検索して選択(➔P.2-16)／番号を入力／アドレスを入力→ ✉(OK)→ ✉(保存)

- ゲストを追加する場合は、Y! →「追加」を選択します。
- ゲストを削除する場合は、次のように操作します。
  - 1件削除するとき
    ゲストを選んで Y! →「削除」→「1件」
  - 複数削除するとき
    Y! →「削除」→「複数」→ゲストをチェック→ ✉(削除)
  - 全件削除するとき
    Y! →「削除」→「全件」

■スケジュールを自動で削除するとき

「有効期限」→項目を選択→ ✉(保存)

- 有効期限を過ぎると、カレンダーから自動的に削除されます。たとえば表示期限が「1年後」の場合、繰り返しを設定していないときは、終了日から1年経過すると削除されます。繰り返しを設定しているときは、繰り返しの最終日から1年で削除されます。自動的に削除されないようにするには、「設定しない」を選択します。

■スケジュールの詳細を設定するとき

「詳細」→内容を入力→ ✉(保存)

■シークレット設定をするとき

「シークレット設定」→「On」／「Off」→ ✉(保存)

スケジュールを編集したい

■ →「ツール」→「カレンダー」→日付を選択→スケジュールを選択→ ■(編集)→スケジュールの登録操作(➔P.10-15)

表示モードを切り替えたい　【表示切替】

■ →「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「表示切替」→「月表示」／「週表示」／「日表示」

日付を指定して表示を切り替えたい　【表示日指定】

■ →「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「表示日指定」

■今日の日付を表示するとき

「今日」

■確認したい日付に表示を切り替えたいとき

「日付指定」→年月日を入力

すべてのイベントを表示したい　【全スケジュール表示】

■ →「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「全スケジュール表示」

カテゴリごとにスケジュールを確認したい　[カテゴリ別表示]

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「カテゴリ別表示」→項目を選択

スケジュールを送信したい　[送信]

■→「ツール」→「カレンダー」→日付を選択→スケジュールを選んで Y! →「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→スケジュールをチェック→ ✉(送信)→(➔P.4-4 S! メールを送信する ❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→スケジュールをチェック→ ✉(送信)(➔P.13-3)

- スケジュールの詳細画面で Y! →「送信」を選択しても送信できます。

スケジュールを削除したい　[削除]

■→「ツール」→「カレンダー」

■ 1 件削除するとき

スケジュールを選んで Y! →「削除」→「1 件」→「はい」

■ 選択した日のスケジュールを削除するとき

1 ヶ月表示画面／ 1 週間表示画面で日付を選択→ Y! →「削除」

- 複数削除するとき
  「複数」→スケジュールをチェック→ ✉(削除)→「はい」
- 全件削除するとき
  「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

■ 特定の期間のスケジュールを削除するとき

1 ヶ月表示画面／ 1 週間表示画面で Y! →「削除」→「期間指定」→「開始日」を選んで開始年月日を入力→「終了日」を選んで終了年月日を入力→ ■(削除)→「はい」

■ 表示中の月／週のスケジュールを削除するとき

1 ヶ月表示画面／ 1 週間表示画面で Y! →「削除」→「今月」／「今週」→「はい」

■ 選んでいる日付より前の全スケジュールを削除するとき

1 ヶ月表示画面／ 1 週間表示画面で Y! →「削除」→「選択日より前」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

■ すべてのスケジュールを削除するとき

1 ヶ月表示画面／ 1 週間表示画面で Y! →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

■ カテゴリごとに複数のスケジュールをまとめて削除するとき

1 ヶ月表示画面／ 1 週間表示画面で Y! →「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択

- 複数削除するとき
  Y! →「削除」→「複数」→スケジュールをチェック→ ✉(削除)→「はい」
- 選択したカテゴリ全てを削除するとき
  Y! →「削除」→「このカテゴリ全て」→「はい」

祝日を追加したい

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「設定」→「祝日設定」→祝日がすでに登録されている場合は、Y! →「追加」→件名を入力→ ✉(保存)

- 日付を変更したいときは、「日付」→日付を入力します。
- 頻度を変更したいときは、「頻度」→項目を選択します。

追加した祝日の有効／無効を変更したい

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「設定」→「祝日設定」→ ✉(On ／ Off)

追加した祝日を編集したい

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「設定」→「祝日設定」→祝日を選択→祝日設定を選択→項目を編集→ ✉(保存)

追加した祝日を削除したい　[削除]

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「設定」→「祝日設定」→祝日を選んで Y! →「削除」

週の開始曜日を設定したい

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「設定」→「週の始まり」→「日曜日」／「月曜日」

カレンダー起動時の表示画面を設定したい

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「設定」→「基本表示モード」→項目を選択

マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定したい

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「設定」→「マナーモード設定」→「アラーム音」／「バイブ」→「On」／「Off」

シークレット設定したスケジュールを確認したい **[シークレット一時解除]**

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)

アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい **[未確認アラームイベント]**

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「未確認アラームイベント」→スケジュールを選択

カレンダーの登録状況を確認したい **[メモリ容量確認]**

■→「ツール」→「カレンダー」→ Y! →「メモリ容量確認」

スケジュールを保存したい **[データフォルダ保存]**

1日表示画面でスケジュールを選んで Y! →「データフォルダ保存」→項目を選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

予定リスト

予定リストの内容を登録したい

■→「ツール」→「予定リスト」→ ✉(新規登録)→件名を入力→「期限日時」→期限日欄で年月日を入力→期限時間欄で時刻を入力→ ■(OK)

■ アラームを設定するとき

「アラーム」→「設定時刻」→項目を選択→「鳴動時間」→項目を選択→「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→「音量」→音量を調節→「バイブ」→項目を選択→ ✉(完了)→ ✉(保存)

- アラーム設定時刻で「その他」を選択したときは、アラーム日時を入力します。
- 鳴動時間設定で「その他」を選択したときは、鳴動時間を入力します。
- アラーム音のファイル選択時に ✉(再生)を押すとファイルを再生します。
- バイブパターン選択時に ✉(再生)を押すと振動パターンを確認できます。
- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。■(OK)を押すとアラーム音が止まり、表示が消えます。アラームを停止しなかったときは、未確認のアラームがある旨をお知らせするメッセージが表示されます。メッセージを選択すると、内容を確認できます。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中(「呼び出し中…」と表示)、発信中(「ダイヤル中…」と表示)だったときは、表示でお知らせします。表示は、■(OK)を押すと消えます。

■ 重要度を設定するとき

「重要度」→項目を選択→ ✉(保存)

■ 予定リストの詳細を設定するとき

「詳細」→内容を入力→ ✉(保存)

■ シークレット設定をするとき

「シークレット設定」→「On」／「Off」→ ✉(保存)

予定リストを編集したい

■→「ツール」→「予定リスト」→予定リストを選択→ ■(編集)→予定リストの編集操作(➲P.10-18)

予定リストを送信したい **[送信]**

■→「ツール」→「予定リスト」→ Y! →「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→予定リストをチェック→ ✉(送信)→(➲P.4-4 S!メールを送信する ②)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→予定リストをチェック→ ✉(送信)(➔P.13-3)

- 予定リストの詳細画面で Y! →「送信」→項目を選択しても送信できます。

予定リストを並べ替えたい **[ソート]**

■ →「ツール」→「予定リスト」→ Y! →「ソート」→「期限順」/「重要度順」

予定リストを検索したい **[検索]**

■ →「ツール」→「予定リスト」→ Y! →「検索」→「期限から」/「件名から」→検索する期限/件名を入力

予定リストを保存したい **[データフォルダ保存]**

■ →「ツール」→「予定リスト」→予定リストを選択→ Y! →「データフォルダ保存」→項目を選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

マナーモード時のアラーム音/バイブレータを設定したい **[マナーモード設定]**

■ →「ツール」→「予定リスト」→ Y! →「マナーモード設定」→「アラーム音」/「バイブ」→「On」/「Off」

シークレット設定した予定リストを確認したい **[シークレット一時解除]**

■ →「ツール」→「予定リスト」→ Y! →「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)

アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい **[未確認アラームイベント]**

■ →「ツール」→「予定リスト」→ Y! →「未確認アラームイベント」→予定リストを選択

予定リストの登録状況を確認したい **[メモリ容量確認]**

■ →「ツール」→「予定リスト」→ Y! →「メモリ容量確認」

予定リストを削除したい **[削除]**

■ →「ツール」→「予定リスト」

■ タブごとに選択して削除するとき

「処理済」/「未処理」/「期限切」タブを選択→ Y! →「削除」

- 複数削除するとき
  「複数」→予定リストをチェック→ ✉(削除)→「はい」
- タブ内全てを削除するとき
  「タブ内全て」→「はい」

■ すべての予定リストを削除するとき

Y! →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

おやすみタイマー

おやすみタイマーの内容をリセットしたい

■ →「ツール」→「おやすみタイマー」→ Y!(リセット)→「はい」

メモ帳

メモのカテゴリを変更したい

■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」→メモを選択→メモのカテゴリ欄を選択→カテゴリを選択

メモの内容を編集したい

■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」→メモを選択→本文欄を選択→メモを編集

メモを検索したい **[検索]**

■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」→ Y! →「検索」→文字を入力

メモをカテゴリ別に表示したい **[カテゴリ別表示]**

■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」→ Y! →「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択

メモを送信したい **[送信]**

■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」→ Y! →「送信」

■ **メモの内容をメールの本文に挿入するとき**
「メール本文に挿入」→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)
- メモ帳にハングル文字が含まれている場合は、デコレメールと楽デコが使用できなくなります。

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→メモをチェック→ ✉(送信)→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❷)

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」→メモをチェック→ ✉(送信)→(➲P.13-3 データを 1 件ずつ送信する ❶)
- 詳細画面で ✉(送信)を押しても送信できます。

メモをデータフォルダに保存したい **[データフォルダ保存]**

■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」→ Y! →「データフォルダ保存」→「本体」／「メモリカード」→メモを選択→「はい」
- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

メモの登録状況を確認したい **[メモリ容量確認]**

■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」→ Y! →「メモリ容量確認」

メモを削除したい **[削除]**

■ →「ツール」→「便利ツール」→「メモ帳」

■ **1 件削除するとき**
メモを選んで Y! →「削除」→「1 件」→「はい」
- 詳細画面で Y! →「削除」を選択しても削除できます。

■ **複数削除するとき**
Y! →「削除」→「複数」→メモをチェック→ ✉(削除)→「はい」

■ **全件削除するとき**
Y! →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

バーコードリーダー

読み取ったデータから操作したい

■ →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード読み取り」→バーコードを読み取り

■ **読み取った電話番号に電話をかけるとき**
「TEL:」の付いている番号または 0 から始まる 10 桁以上 32 桁以下の番号を選んで ■(選択)→「音声通話」／「TV コール」／「発信前に電話番号を編集」
- 「発信前に電話番号を編集」を選択した場合は、電話番号を編集し、 ／ ■( )を押します。

■ **読み取った電話番号にメールを送信するとき**
「TEL:」の付いている番号または 0 から始まる 10 桁以上 32 桁以下の番号を選んで ■(選択)→「メッセージ作成」→「S! メール」／「SMS」→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❺、P.4-6 SMS を作成・送信する ❺)

■ **読み取った E メールアドレスにメールを送信するとき**
「@」の含まれる E メールアドレスを選んで ■(選択)→「メッセージ作成」→(➲P.4-4 S! メールを送信する ❺)

■ **読み取った URL に接続するとき**
「http://」／「rtsp://」から始まる URL を選んで ■(選択)→「Yahoo! ケータイで開く」／「PC サイトブラウザで開く」→「はい」

■ **読み取った電話帳を登録するとき**
電話帳データを選んで ■(選択)→ ✉(保存)

■ **読み取った電話番号などを新しい電話帳に登録するとき**
電話番号などを選んで ■(選択)→「電話帳に保存」→「新規」→(➲P.2-15 新規に電話帳を登録する ❷)

■ **読み取った電話番号などを既存の電話帳に追加登録するとき**
電話番号などを選んで ■(選択)→「電話帳に保存」→「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)→電話帳の登録操作(➲P.2-15)

■読み取った URL をブックマークに登録するとき
URL を選んで [●](選択)→「ブックマーク追加」→タイトルを入力

■読み取った E メールアドレスや電話番号などをコピーするとき
E メールアドレスや電話番号などを選んで [Y!] →「アドレスコピー」/「電話番号コピー」/「コピー」
- 「コピー」を選択したときは、コピーする最初の文字を選択して [●](始点)→コピーする文字の末尾を選択して範囲を指定→ [●](終点)を押します。

■読み取った電話番号や E メールアドレスなどをすべてメール本文に貼り付けるとき
[Y!] →「送信」→「S! メール」/「SMS」→(➲P.4-4 S! メールを送信する❷、P.4-6 SMS を作成・送信する❷)

■読み取った文字をコピーするとき
[Y!] →「コピー」→コピーする最初の文字を選択して [●](始点)→コピーする文字の末尾を選択して範囲を指定→ [●](終点)

作成した QR コードをメールに添付して送信したい

[●] →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「QR コード作成」→「電話帳」/「オーナー情報」/「テキスト入力」→ QR コードの作成操作(➲P.10-10 QR コードを作成する❷)→ [✉](送信)→(➲P.4-4 S! メールを送信する❷)

保存した読み取りデータから操作したい

[●] →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「読み取りデータ確認」→読み取り結果を選択→ [Y!]

■文字をメール本文に貼り付けるとき
「送信」→「S! メール」/「SMS」→(➲P.4-4 S! メールを送信する❷、P.4-6 SMS を作成・送信する❷)

■文字をコピーするとき
「コピー」→コピーする最初の文字を選択して [●](始点)→コピーする文字の末尾を選択して範囲を指定→ [●](終点)

読み取ったバーコードの名前を変更したい **[ファイル名変更]**

[●] →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「読み取りデータ確認」→読み取ったデータを選んで [Y!] →「ファイル名変更」→ファイル名を入力

読み取ったバーコードの詳細を表示したい **[詳細]**

[●] →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「読み取りデータ確認」→読み取ったデータを選んで [Y!] →「詳細」

読み取ったバーコードを削除したい **[削除]**

[●] →「ツール」→「便利ツール」→「バーコードリーダー」→「読み取りデータ確認」

■1 件削除するとき
読み取ったデータを選んで [Y!] →「削除」→「1 件」→「はい」

■複数件削除するとき
[Y!] →「削除」→「複数」→項目をチェック→ [✉](削除)→「はい」

■全件削除するとき
[Y!] →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ [●](OK)→「はい」

通貨・単位換算

為替レートを確認したい

[●] →「ツール」→「便利ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→ [✉](レート表示)

為替レートを変更したい

[●] →「ツール」→「便利ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→ [✉](レート表示)→通貨を選択→レートを入力→ [●](保存)

通貨単位を追加したい

[●] →「ツール」→「便利ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→ [✉](レート表示)→ [✉](追加)→通貨単位名を入力→レートを入力

追加した通貨単位を削除したい

[●] →「ツール」→「便利ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→ [✉](レート表示)→通貨を選んで [Y!](削除)

割り勘ツール

金額を電卓で計算したい

割り勘ツール画面の合計金額欄を選んで ✉(電卓)

支払金額と繰越し金額を保存したい

割り勘ツール画面で ■(保存)→「はい」

- 支払金額と繰越し金額を保存するには、合計金額と少なくとも A と B のどちらかの人数を入力する必要があります。

ボイスレコーダー

録音した音声ファイルを着信音などに設定したい

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→ ✉(登録)→着信音を選択

- 「個別着信音」を選択した場合は、電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)します。

録音した音声ファイルの保存場所を移動したい 【移動】

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→ Y! →「データフォルダ」

■ **1 件移動するとき**

ファイルを選んで Y! →「移動」→「1 件」→移動先を選択

■ **複数移動するとき**

Y! →「移動」→「複数」→ファイルをチェック→ ✉(移動)→移動先を選択

■ **全件移動するとき**

Y! →「移動」→「全件」→移動先を選択

録音した音声ファイルをコピーしたい 【コピー】

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→ Y! →「データフォルダ」

■ **1 件コピーするとき**

ファイルを選んで Y! →「コピー」→「1 件」→コピー先を選択

■ **複数コピーするとき**

Y! →「コピー」→「複数」→ファイルをチェック→ ✉(コピー)→コピー先を選択

■ **全件コピーするとき**

Y! →「コピー」→「全件」→コピー先を選択

録音した音声ファイルを送信したい 【送信】

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→ Y! →「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→(➔P.4-4 S! メールを送信する ❷)

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」(➔P.13-3)

録音した音声ファイル名を編集したい 【ファイル名変更】

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→ Y! →「ファイル名変更」→ファイル名を入力

録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい 【詳細】

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→ Y! →「詳細」

録音した音声ファイルを削除したい　[削除]

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→ Y! →「削除」→「はい」

保存時に付けられるファイル名を変更したい

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→ Y! →「録音設定」→「保存ファイル名設定」→ファイル名を入力

録音時間を変更したい

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→ Y! →「録音設定」→「録音時間」→項目を選択

- 「その他」を選択したときは、録音時間を入力します。

ファイルの保存先を変更したい

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ボイスレコーダー」→ Y! →「録音設定」→「保存先設定」→項目を選択

ドキュメントビューア

ファイルを削除したい　[削除]

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」

■ 1 件削除するとき

ファイルを選んで Y! →「削除」→「1 件」→「はい」

- 詳細画面で Y! →「削除」→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

■ 複数削除するとき

Y! →「削除」→「複数」→ファイルをチェック→ ✉(削除)→「はい」

■ 全件削除するとき

Y! →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■ →「はい」

全画面表示／標準表示を切り替えたい　[全画面表示]／[標準表示]

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「全画面表示」／「標準表示」

- TV でも全画面表示／標準表示を切り替えられます。

ページ内の文字列を検索したい　[検索]

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「検索」→検索文字を入力

- 検索結果が表示されたあと、同じ検索文字で文末に向かって検索するときは ■(次)を押します。
- 検索を終了するときは CLEAR を押します。
- 続けて次の検索をするときは Y! →「検索」を選択します。

ページを移動したい　[移動]

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「移動」→項目を選択

- 「ページ指定」を選択したときは、移動したいページ数を入力して指定します。
- 表示倍率によっては、▯ でページを移動することもできます。

ページの表示向きを切り替えたい　[回転]

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「回転」

- 3 でも表示向きを切り替えられます。

画面をキャプチャしたい　[画面撮影]

■ →「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「画面撮影」

- キャプチャした画像は本機のデータフォルダの「ピクチャー」フォルダに JPEG 形式で保存されます。

ファイルを送信したい　【送信】

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S!メールを送信する ❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.13-3)

- 「ドキュメントビューア」を選択後、ファイルを選んで Y! →「送信」→「メール添付」/「赤外線通信」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ファイル名を編集したい　【ファイル名変更】

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「ファイル名変更」→ファイル名を入力

- 「ドキュメントビューア」を選択後、ファイルを選んで Y! →「データ管理」→「ファイル名変更」→ファイル名を入力しても同じ操作を行うことができます。

ファイルを保護して変更や削除などを制限したい　【保護】/【保護解除】

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「保護」/「保護解除」

- 「ドキュメントビューア」を選択後、ファイルを選んで Y! →「保護」/「保護解除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ファイルの詳細情報を確認したい　【詳細】

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「詳細」

- 「ドキュメントビューア」を選択後、ファイルを選んで Y! →「詳細」を選択しても同じ操作を行うことができます。

スクロール単位を設定したい

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

文字情報のファイル(doc や txt など)の表示を画面幅に合わせるかどうか設定したい

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「設定」→「画面幅に合わせて表示」→「On」/「Off」

マップの表示を設定したい

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「設定」→「マップ表示」→「On」/「Off」

- マップ上では、表示中のエリアが水色の枠で示されます。

コントローラの表示を設定したい

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「設定」→「コントローラ表示」→「On」/「Off」

- 「On」に設定すると、「全画面表示」の場合にのみ画面上に表示されます。

画面撮影時に付けられるファイル名を編集したい

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「設定」→「画面撮影ファイル名」→ファイル名を入力

ショートカットのキー割り当てを確認したい　【ショートカット表示】

■→「ツール」→「便利ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ Y! →「ショートカット表示」

セキュリティ

11

セキュリティ機能について

本機では、安全＆安心にご使用していただくために、様々なセキュリティ機能をご用意しています。
この章では、本機に搭載されているセキュリティ機能について説明します。

本機のロック

次の方法で本機をロックできます。ロックを解除しない限り、本機の操作を禁止／制限します。

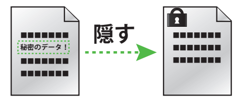
- 暗証番号によるロック
  設定した暗証番号を使用したロックです。
  操作用暗証番号、PIN コード、USIM パスワードを使ったものがあります(➔P.11-3)。



機能別のロック

電話帳やメールなどの機能ごとに操作を禁止／制限します。
各機能を使用する際に、操作用暗証番号の入力が必要になります。
シークレットモードを設定すると、秘密のデータを隠すことができます。





お買い上げ時の状態に戻す

電話帳などの登録情報を消去したり、各機能での設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

暗証番号の変更

本機では、操作用暗証番号とPINコード／PIN2コードを暗証番号として利用できます。

操作用暗証番号を変更する

お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「暗証番号変更」



2. 現在の操作用暗証番号を入力→■(OK)
3. 新しい操作用暗証番号(4～8桁)を入力→■(OK)
4. もう一度新しい操作用暗証番号を入力→■(OK)

使いこなしチェック!

設定

● 操作用暗証番号を変更する(☞P.14-27)

PINコード／PIN2コードを変更する

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「PIN変更」／「PIN2変更」
   - PINコードを変更する場合には、「PIN認証」を「On」にします(➔P.11-4)。
2. 現在のPINコード／PIN2コードを入力→■(OK)
3. 新しいPINコード／PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)
4. もう一度新しいPINコード／PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)

本機のロック

本機では、ロックの方法として次の方法を用意しています。

- 電源On時ロック
- キー操作ロック
- PIN認証
- USIM照合
- 安心遠隔ロック

電源On時ロックを設定／解除する

「On」に設定すると、電源を入れるごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」
2. 「電源On時ロック」→「On」／「Off」
3. 操作用暗証番号を入力→■(OK)

- 操作用暗証番号を入力するまで、電話の着信を含むすべての操作が行えません。

キー操作ロックを設定／解除する

キー操作ロックを設定すると、待受画面でいずれかのボタンを押したときに操作用暗証番号の入力画面が表示されます。操作用暗証番号を入力するとキー操作ロックが解除されて本機を操作できます。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」
2 「キー操作ロック」→「On」／「Off」
3 操作用暗証番号を入力→■(OK)

- キー操作ロックを設定していても、電話を受けるなど一部の操作は行えます。
- 設定後、待受画面に戻ります。いずれかのボタンを押すと、操作用暗証番号の入力画面が表示されます。操作用暗証番号を入力してキー操作ロックを解除すると、「キー操作ロック」の設定は自動的に「Off」になります。

PINコード認証を設定／解除する

PINコードはUSIMカードの暗証番号です。USIMカードについて詳しくは、「USIMカードのお取り扱い」(➲P.1-6)を参照してください。電源を入れるたびにPINコードによる認証をするようにしたい場合は、「On」に設定します。

設定する

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」
2 「PIN認証」→「On」／「Off」
3 PINコードを入力→■(OK)

解除する

PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロックまたはPIN2ロックが設定され、本機の使用が制限されます。

注意

- PINロック解除コードまたはPIN2ロック解除コード(PUK/PUK2コード)については、お問い合わせ先(➲P.15-32)までご連絡ください。
- PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます(途中で電源を切っても連続として数えます)。
- USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➲P.15-32)までご連絡ください。

PINロックまたはPIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

1 PINロック解除コード(PUKコード)の入力画面が表示されている状態でPUKコードを入力→■(OK)
2 新しいPINコード／PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)
3 もう一度新しいPINコード／PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)

使いこなしチェック!

設定

- PIN認証を設定する(☞P.14-27)
- PINコードを変更する(☞P.14-27)
- PIN2コードを変更する(☞P.14-27)

USIM照合を設定／解除する

本機に他のUSIMカードが取り付けられたとき、USIMパスワードを入力しないと使用できないように設定できます。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」
2. 「USIM照合」→「On」／「Off」
3. USIMパスワード(4～8桁の任意の番号)を入力→■(OK)
   - 「On」に設定する場合は、もう一度USIMパスワード(4～8桁の任意の番号)を入力し、■(OK)を押します。

- USIMパスワードとは、USIMカードの認証に使用する専用のパスワードです。USIMパスワードが一致すれば、他のUSIMカードでも本機を使用できます。USIMパスワードは、「USIM照合」を「On」に設定するたびに変更できます。
- USIMパスワードを忘れたときは、「USIM照合」を「On」に設定したUSIMカードを本機に取り付けて、オールリセット(➔P.11-7)を行います。

使いこなしチェック!

設定

● USIM照合を設定する（☞P.14-27）

安心遠隔ロック

本機が紛失・盗難にあったときなど、パソコンや他の携帯電話から遠隔で本機をロックしたり、本機のデータを消去できます。「安心遠隔ロック」では、以下の機能をサポートしています。

- ロック
- ロック解除
- データ消去
- 携帯電話の状態確認
- 履歴の表示

- 安心遠隔ロックの詳細については、ソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)を参照してください。または､お問い合わせ先(➔P.15-32)までご連絡ください。

機能別のロック

機能別にロックする

機能別ロックを設定すると、電話帳、カレンダー／メモ帳／予定リスト、Yahoo!ケータイ、メール、通話履歴、データフォルダの各機能を呼び出すごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「機能別ロック」
2. ロックする機能をチェック→ ✉(保存)
3. 操作用暗証番号を入力→■(OK)

シークレットモードを設定／解除する

「表示しない」に設定すると、電話帳の一覧画面やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストを表示したときに、各機能でシークレットを設定している登録内容が表示されなくなります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットモード」
2. 操作用暗証番号を入力→■(OK)
3. 「表示する」／「表示しない」

- 「シークレットモード」を「表示する」に設定しても、本機の電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

シークレットデータフォルダを設定／解除する

「表示しない」に設定すると、データフォルダを表示したときに、シークレットを設定したサブフォルダが表示されなくなります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットデータフォルダ」
2. 操作用暗証番号を入力→ ■(OK)
3. 「表示する」／「表示しない」

• 「シークレットデータフォルダ」を「表示する」に設定しても、本機の電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

モバイルトラッカーを設定する

「On」に設定すると、設定したときと異なるUSIM カードが取り付けられたとき、指定した宛先に SMS を送信してお知らせします。宛先は 2 件まで指定できます。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「モバイルトラッカー」
2. 操作用暗証番号を入力→ ■(OK)
3. 設定欄を選択→「On」
4. 宛先欄を選択
5. To 欄を選択→「直接入力」→宛先を入力→ ✉(完了)
   - 電話帳から宛先を登録する場合は、To 欄を選択→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)→電話番号を選択します。
6. 送信者欄を選択→送信者名を入力
7. ✉(保存)
   - 異なる USIM カードが取り付けられると、起動中に指定した宛先に SMS が送信されます。USIM カードを差し替えた相手には気づかれません。モバイルトラッカーを設定するときに、操作用暗証番号を 3 回続けて間違えた場合も SMS が送信されます。
   - 宛先を削除するときは、操作 5 で ■ を押して「削除」を選択します。

使いこなしチェック!

設定

- 電源On時ロックを設定する（☞P.14-27）
- キー操作ロックを設定する（☞P.14-27）
- 機能別ロックを設定する（☞P.14-27）
- シークレットモードを設定する（☞P.14-27）
- データフォルダのサブフォルダにシークレットモード設定をする（☞P.14-27）
- モバイルトラッカーを設定する（☞P.14-27）

お買い上げ時の状態に戻す（メモリ消去／リセット）

メモリ消去

メモリ消去を行うと、次のデータが消去されます。

- データフォルダ
- メール
- 電話帳
- カレンダー／予定リスト
- メモ帳
- ユーザ辞書

これらのデータは、まとめて消去することもできます。

1. ■→「設定」→「メモリ設定」→「本体」→ ✉(消去)
2. 項目をチェック→ ✉(消去)
3. 操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

設定リセット

設定リセットを行うと、次のデータがお買い上げ時の状態に戻ります。

設定メニュー	リセットされる内容
ツール	•「アラーム」
TV	•「チャンネル設定」 •「設定」
設定	•各設定内容

ただし、以下の内容はリセットされません。

設定メニュー	リセットされない内容
ツール	•「カレンダー」 •「予定リスト」 •「便利ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」の為替レート •「便利ツール」→「メモ帳」
データフォルダ	•各フォルダの内容
TV	•「TV リンク」 •「番組表」 •「TV プレイヤー」 •「録画／視聴予約」
電話機能	•「電話帳」 •「通話履歴」 •「オーナー情報」の電話番号 •「グループ名」 •「お気に入り」 •「メールグループ」

設定メニュー		リセットされない内容
設定		
	一般設定	•ユーザ辞書
	セキュリティ設定	•「USIM 照合」 •「PIN 認証」 •「PIN 変更」 •「PIN2 変更」
	通話設定	•「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」の設定内容 •「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」の登録・設定内容 •「通話サービス」→「割込通話」の設定内容 •「通話サービス」→「発着信規制」の設定内容 •「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト」の登録内容
メール		•メッセージフォルダ内の内容

設定リセットは、以下の手順で行います。

1 **■→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「設定リセット」**

2 **操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」**

- 「はい」を選択した後、本機は再起動します。

オールリセット

本機の電話帳、通話履歴、メール、データフォルダの登録内容および各機能の設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、お買い上げ時にあらかじめ保存されているデータフォルダ内のファイルは、消去されません。

1 **■→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「オールリセット」**

2 **操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」**

- 「はい」を選択した後、本機は再起動します。

使いこなしチェック!

設定

● 設定をリセットする（☞P.14-27）

メモ

データフォルダ／メモリ

12

データフォルダについて

本機では、様々なデータファイルをフォルダで管理することができます。この章では、データの管理方法について説明します。

データフォルダの構成

ファイルは、データ形式に応じて自動的にフォルダに分類されます。

- **ピクチャー**：本機で撮影した静止画など
- **デジタルカメラ**：本機で撮影した静止画（メモリカードを取り付けているときのみ保存可能）
- **マイ絵文字**：ダウンロードした絵文字
- **デコレメピクチャー**：メールと関連するイメージ
- **着うた・メロディ**：ダウンロードしたメロディや、ボイスレコーダーで録音した音声など
- **S! アプリ**：ダウンロードしたS! アプリ
- **ミュージック**：ダウンロードした着うたフル®
- **ムービー**：本機で撮影した動画など
- **ブック**：ダウンロードしたブック
- **デコレメールテンプレート**：S! メールで作成したテンプレート
- **Flash®**：ダウンロードしたFlash® ファイル
- **着信音 Flash®**：ダウンロードした着信音に設定できるFlash® ファイル
- **その他ファイル**：ドキュメントビューアで表示するファイル、vcf ファイルや vcs ファイルなどのその他のファイル

- 1 件の種別フォルダ内には、フォルダとファイルを合わせて最大 999 件保存できます。
- 「メモリ容量確認」を選択すると、データフォルダのフォルダごとのメモリ使用状況を確認できます。「設定」からも同じ操作を行うことができます（➔P.12-10）。
- データフォルダで ➔「メモリ切替」➔「本体＋メモリカード」／「本体」／「メモリカード」を選択すると、参照するデータフォルダを切り替えることができます。
- 種別フォルダ内に表示されるは、ダウンロードサイトへのショートカットです。選択すると、インターネット上のダウンロードサイトに接続できます。
- 1 件の種別フォルダ内にファイルが大量にある場合、本機の動作が遅くなることがあります。

ファイルの確認

データフォルダに保存されている画像ファイル、アニメーションなどのファイルを確認します。データフォルダを選択すると、フォルダ内に保存されたファイルが一覧表示されます。

1. ■ ➔「データフォルダ」
2. ファイルの保存場所を選択
3. 一覧画面でファイルを選択

- ファイルの一覧に表示されるアイコン
  - ：転送不可
  - ：転送不可かつ利用不可
  - ：保護あり
  - ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー有効）
  - ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー期限切れ）
  - ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー有効）
  - ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー期限切れ）
  - ：待受画面に表示している壁紙／着信音／アラーム音の設定あり
- プリインストール以外の転送不可ファイルと著作権保護ファイルは利用できません。

- **データフォルダからのカメラ／ボイスレコーダー起動**
  - 「ピクチャー」フォルダを表示中に静止画撮影モードのカメラを起動することができます（➔P.12-13）。
  - 「ムービー」フォルダを表示中に動画撮影モードのカメラを起動することができます（➔P.12-13）。
  - 「着うた・メロディ」フォルダを表示中にボイスレコーダーを起動することができます（➔P.12-14）。

イメージビューアで画像ファイルを確認する

静止画を縦表示／横表示で確認できます。横長の静止画は、静止画の全体を表示させるため、小さく表示されます。

1 ■ →「データフォルダ」→「ピクチャー」

2 ファイルを選択



3 ✥ で画像を移動

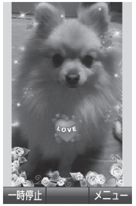
• データによっては、表示されない場合があります。

グラフィックス／アニメーションを確認する

グラフィックスやアニメーションを確認できます。

1 ■ →「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 ファイルを選択



- ✉(一時停止)を押すと一時停止します。
- ✉(再生)を押すと続きを再生します。

• データフォルダ内の SWF 形式のファイルを確認できます。
• データによっては、表示されない場合があります。
• データフォルダの一覧画面で該当するファイルを選択すると、自動的に Flash® ビューアが起動します。

画像を拡大／縮小する

1 ■ →「データフォルダ」→「ピクチャー」→画像を選択

2 ■(ズーム)

3 ▯ ／ ▯ で拡大／縮小

- ✥ で画面をスクロールします。

顔リンクのデータを登録する

静止画の人物の顔に電話帳の情報をリンクさせ、静止画から電話をかけたりメールを送信したりできます。
1 枚の静止画につき、最大 10 件の情報を登録できます。

静止画を撮影して登録する

1 ■ →「カメラ」→「カメラ」

2 Y! →「設定」→「撮影設定」→「顔リンク表示」→「On」→ ✉(戻る)

3 ■(📷)



データフォルダ／メモリ
12

- 顔リンク表示を「On」、自動保存設定を「Off」または「On(プレビュー手動)」に設定しないと登録できません。
- 撮影後に顔が認識されると、静止画の顔部分に枠が表示されます。
- すでに顔リンクのデータを登録済みの場合は、登録された名前が表示されます。登録されていない場合は、「？」と表示されます。
- 撮影後に顔が認識されなかった場合は、枠は表示されず、画像を保存するとカメラの撮影画面に戻ります。
- 「自動保存設定」を「On」に設定している場合は、静止画は保存され、カメラの撮影画面に戻ります。

4 →「顔リンク編集」

5 電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)

6 (OK)

保存した画像にデータを登録する

1 →「データフォルダ」→「ピクチャー」

2 ファイルを選択

3 →「顔リンク」

4 →「名前タグ追加」

5 電話帳を検索し、選択(➲P.2-16)

6 で名前タグを移動→ (OK)

顔リンクを利用する

顔リンクのデータが登録された静止画から、電話をかけたりメールを送信したりすることができます。

登録した画像から電話／メールをする

1 →「データフォルダ」→「ピクチャー」→ファイルを選択

2 →「顔リンク」→ ( )

- 複数の顔リンクが設定されている場合は、利用する顔リンクを で選択します。

3 顔リンクのデータからの選択操作

■ 他の顔リンクのデータを確認するとき
「この人の写真」

■ 同じ顔リンクのデータを登録する画像を選択するとき
「この人の写真」→ →「追加」→ファイルを選択→ (登録)
- 顔リンクのデータが登録されていない画像の場合は、「この人の写真」→ →「追加」→ファイルを選択→「はい」→ で名前タグを移動→ (保存)を押します。

■ 同じ顔の画像を検索して登録するとき
「この人の写真」→ →「顔検索」→「はい」

■ 同じ顔リンクのデータを解除するとき
「この人の写真」→解除したいファイルを選んで →「解除」→「1 件」→「はい」
- 複数解除したい場合は、「この人の写真」→ →「解除」→「複数」→ファイルをチェック→ (削除)→「はい」を選択します。
- 全件解除したい場合は、「この人の写真」→ →「解除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ (OK)→「はい」を選択します。

■ 音声電話をかけるとき
「電話」

■ S! メールを送信するとき
「メール」→(➲P.4-4 S! メールを送信する 5)

■ 電話帳を確認するとき
「電話帳」

登録した顔リンクのデータをメールで送信する

1 ■ →「データフォルダ」→「ピクチャー」→ファイルを選択

2 Y! →「顔リンク」

3 名前タグを選んで Y! →「メール添付送信」

4 メールの送信操作(➲P.4-4 S! メールを送信する 5)

使いこなしチェック!

便利 ☞P.12-11

- 画像を自動的に切り替えながら確認したい
- 表示しているファイルを削除したい
- 表示しているファイルの詳細を確認したい
- ドキュメントの画面を撮影したい
- PDF/DOC 形式のファイルの表示ページを移動したい
- PDF/DOC 形式のファイルのテキストを検索したい

ファイル／フォルダの管理

「ピクチャー」フォルダや「ムービー」フォルダにサブフォルダを作成したり、フォルダ／ファイルのコピー、移動、削除などができます。

フォルダを作成する

種別フォルダ内にサブフォルダを作成できます。
自分で作成したサブフォルダに「シークレット設定」を設定すると、非表示にできます。

1 ■ →「データフォルダ」

2 種別フォルダを選択

3 Y! →「データ管理」→「フォルダ作成」

- フォルダ内にサブフォルダもファイルもない場合は、メニューが異なります。

4 名前を入力

- メモリカードを取り付けているときは、「本体」／「メモリカード」を選択してから名前を入力します。

- サブフォルダの中にサブフォルダを作成することはできません。

ファイル名／フォルダ名を編集する

1 ■ →「データフォルダ」

2 種別フォルダを選択

3 サブフォルダ／ファイルを選んで Y! →「データ管理」→「フォルダ名変更」／「ファイル名変更」

4 名前を入力

- ファイルが保護されていると、ファイル名を編集できません。

ファイル／フォルダを移動する

メモリカードを取り付けているときは、本機とメモリカードの間でもファイル／サブフォルダの移動ができます。

注意

- ファイルが保護されていると、移動できません。
- 本機でダウンロードしたファイルは、他の携帯電話に移動したときや本機に異なる USIM カードを挿入したときには、表示や再生ができない場合があります。
- 転送不可かつ利用不可ファイル、保護ありファイル、転送不可の著作権保護ファイル(、)はメモリカードに移動できません。

1. ■ →「データフォルダ」
2. 種別フォルダを選択
3. ファイル/サブフォルダを選んで Y! →「移動」
4. ファイル/サブフォルダの移動操作

   ■ 1 件移動するとき
   「1 件」

   ■ 複数移動するとき
   「複数」→ファイル/サブフォルダをチェック→ ✉(移動)

   ■ 同一フォルダ内のすべてのファイル/すべてのサブフォルダを移動するとき
   「全件」
5. 移動先のフォルダを選択→「ここに移動」
   - メモリカードを取り付けているときは、「本体」/「メモリカード」を選択してから移動先のフォルダを選択します。

- 移動先にすでに同名のファイル/サブフォルダがあったときは、移動するファイルまたはサブフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。
- 壁紙や着信音などに設定しているファイルをメモリカードへ移動するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、移動が完了します。複数または全件移動するときに「いいえ」を選択すると、設定されていないファイルのみを移動します。移動を中止するときは CLEAR を押します。

ファイル/フォルダをコピーする

コピーしたファイルを種別フォルダやサブフォルダに貼り付けたり、コピーしたサブフォルダを種別フォルダに貼り付けられます。メモリカードを取り付けているときは、本機とメモリカードの間でも貼り付け操作ができます。

注意

- 転送不可のファイルはコピーできません。

1. ■ →「データフォルダ」
2. 種別フォルダを選択
3. ファイル/サブフォルダを選んで Y! →「コピー」
4. ファイル/サブフォルダのコピー操作

   ■ 1 件コピーするとき
   「1 件」

   ■ 複数コピーするとき
   「複数」→ファイル/サブフォルダをチェック→ ✉(コピー)

   ■ 同一フォルダ内のすべてのファイル/すべてのサブフォルダをコピーするとき
   「全件」
5. コピー先のフォルダを選択→「ここにコピー」
   - メモリカードを取り付けているときは、「本体」/「メモリカード」を選択してからコピー先のフォルダを選択します。

- ファイル/サブフォルダのコピーをコピー元と同じ場所に貼り付けると、貼り付けたファイルまたはサブフォルダに、自動的に「_001」などが付き、別名で保存されます。
- 貼り付け先にすでに同名のファイル/サブフォルダがあったときは、貼り付けるファイルまたはサブフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。

ファイル/フォルダを削除する

1. ■ →「データフォルダ」→ファイル/サブフォルダの保存場所を選択
2. 一覧画面でファイル/サブフォルダを選んで Y! →「削除」
3. ファイル/サブフォルダの削除操作

   ■ 1 件削除するとき
   「1 件」→「はい」

   ■ 複数削除するとき
   「複数」→ファイル/サブフォルダをチェック→ ✉(削除)→「はい」

   ■ 同一フォルダ内のすべてのファイル/すべてのサブフォルダを削除するとき
   「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

- フォルダを削除するときは、フォルダを選んで [Y!] →「削除」→操作用暗証番号を入力→ [■](OK)→「はい」を選択してください。
- 壁紙や着信音などの設定や、保護を設定しているファイルを削除するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、削除を実行します。複数または全件削除するときは、「はい」→「保護以外削除」を選択すると設定や保護のないファイルのみが削除されます。
- コンテンツ・キーがあるファイルを削除すると、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、コンテンツ・キーも削除されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.12-12

- ファイルを送信したい
- ファイルを並べ替えたい
- コンテンツ・キーを削除したい
- サブフォルダにシークレット設定をしたい
- シークレット設定を一時的に解除したい
- 静止画撮影モードのカメラを起動したい
- 動画撮影モードのカメラを起動したい
- ボイスレコーダーを起動したい
- ファイルの保護/保護を解除したい
- 画像ファイルを各種の画面に設定したい
- サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい
- 動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい

メモリカード

本機はmicroSD™メモリカードおよびmicroSDHC™に対応しています。メモリカードを利用する場合は、市販のメモリカードを購入してください。

- 推奨のものを使用してください。推奨以外のメモリカードを使用すると、正しく動作しないことがあります。
- ラベルやシールなどを貼り付けないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 分解や改造などをしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- 端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる所、湿度が高い所、ほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 火気に近づける、火の中に投げ込むなどしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間使用するとデータが書き込めなくなることがあります。

- 本機で利用するmicroSD™メモリカードおよびmicroSDHC™メモリカードは、64Mバイト、128Mバイト、256Mバイト、512Mバイト、1Gバイト、2Gバイト、4Gバイト※、8Gバイト※、16Gバイト※のメモリカードを推奨します。

  ※microSDHC™メモリカードのみ推奨

注意

- **大切なデータを失わないために**

  メモリカードに登録した内容は、事故や故障などにより消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリカードには、ライトプロテクトがありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。

メモリカードを初期化する

メモリカードを初期化すると、メモリカード内のデータが削除されます。本機で使用するメモリカードは必ず本操作を行ってください。

1. ▣ →「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」→ ✉(初期化)→操作用暗証番号を入力→ ▣(OK)→「はい」

メモリカードを取り付ける/取り外す

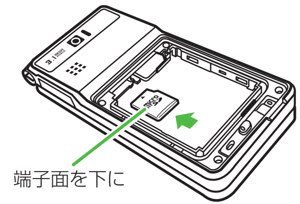
取り付けや取り外しをするときは、必ず電源を切ってください。

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、メモリカードや本機が破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したメモリカードは、紛失しないようにご注意ください。
- メモリカードの取り付けや取り外しを行うときは、端子部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。
- データの読み込み中や書き込み中は絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードや本機が破損することがあります。

取り付ける

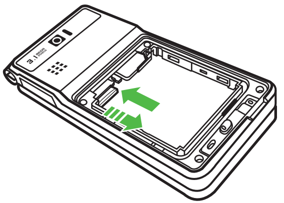
1. 電池カバー/電池パックを取り外す(➲P.1-8)
2. メモリカードの端子部分を下にしてメモリカードスロットに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込む



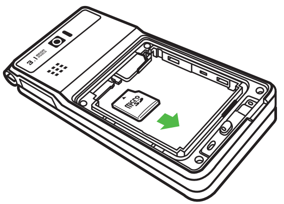
3. 電池パック/電池カバーを取り付ける

取り外す

1. 電池カバー/電池パックを取り外す(➲P.1-8)
2. 「カチッ」と音がするまでメモリカードを軽く押し込む



3. メモリカードから手を離し、メモリカードが少し飛び出したら取り出す



4. 電池パック/電池カバーを取り付ける

メモリカードの内容を確認する

1 ■ →「データフォルダ」

2 Y! →「メモリ切替」→「メモリカード」

- メモリカードの内容を確認する際は、あらかじめ、メモリカードを取り付けておいてください。
- 本機のデータフォルダの内容に切り替える場合、Y! →「メモリ切替」→「本体」を選択します。

使いこなしチェック!

設定

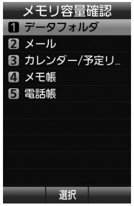
- メモリカードの詳細情報を確認する（☞P.14-28）
- メモリカードの表示名を編集する（☞P.14-28）
- メモリカードをフォーマット（初期化）する（☞P.14-28）
- データの保存先を本機／メモリカードに指定する（☞P.14-29）

メモリ容量を確認する

次の情報を確認できます。

- データフォルダのメモリ使用状況
- SMS および S! メールのメールボックスの使用状況
- カレンダー／予定リストの種別の登録状況
- メモ帳の使用状況
- 電話帳（本機および USIM カード）の登録状況

1 ■ →「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」



2 確認する項目の選択操作

■ データフォルダの容量を確認するとき
「データフォルダ」→「本体メモリ」／「メモリカード」

■ メールの容量を確認するとき
「メール」

- メールのサイズ容量が表示されます。
- メールの件数容量を確認したいときは、Y!（件数）を押します。
- USIM カード内に保存した SMS の件数は、メール（件数）画面でのみ確認できます。

■ カレンダー／予定リストの容量を確認するとき
「カレンダー／予定リスト」

■ メモ帳の容量を確認するとき
「メモ帳」

■ 電話帳を確認するとき
「電話帳」

使いこなしチェック!

設定

- 本機のメモリの詳細情報を確認する（☞P.14-28）
- 本機のメモリを消去する（☞P.14-28）
- メモリ容量を確認する（☞P.14-28）

便利な機能

ファイルの確認

画像を自動的に切り替えながら確認したい [スライドショー]

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを選んで■(表示)→Y!→「スライドショー」

- 一時停止／再開する場合は■(ポーズ)／■(再起動)を押します。
- スライドショーを停止する場合は✉(停止)を押します。

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選んでY!→「データ管理」→「コンテンツ・キー再取得」

SWF 形式のグラフィックス／アニメーションを確認したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!

■全画面表示／標準表示に切り替えるとき

「全画面表示」／「標準表示」

■リプレイするとき

「リプレイ」

■拡大／縮小するとき

「ズーム」

■画質を切り替えるとき

「画質」→項目を選択

■表示向きを切り替えるとき

「回転」

表示しているファイルを削除したい [削除]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!→「削除」→「はい」

表示しているファイルの詳細を確認したい [詳細]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!→「詳細」

ドキュメントの画面を撮影したい [画面撮影]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!→「画面撮影」

- 撮影した静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。

PDF/DOC 形式のファイルの表示ページを移動したい [移動]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!→「移動」→「前のページへ」／「次のページへ」／「最初のページへ」／「最後のページへ」／「ページ指定」

- 「ページ指定」を選択した場合は、表示したいページ数を入力してください。

PDF/DOC 形式のファイルのテキストを検索したい [検索]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!→「検索」→検索文字を入力

- 一致した検索文字が選ばれます。■(次)を押すと、次のテキストを検索します。

ファイル／フォルダの管理

静止画を使って画像を編集したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→ Y! →「編集」→「画像編集」→(➔P.7-11 静止画加工 ❹)

静止画を使って画像に効果を付けたい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→ Y! →「編集」→「ダイナミックエフェクト」→(➔P.7-12)

ファイルを送信したい 【送信】

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選んで Y! →「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→(➔P.4-4 S! メールを送信する ❷)

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→ファイルをチェック→ ✉(送信)(➔P.13-3)

ファイルを並べ替えたい 【ソート】

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ Y! →「ソート」→項目を選択

- 次の項目で並べ替えができます。
  - 日付の新しい順(「日付順」)
  - ファイル形式別(「ファイルタイプ順」)
  - ファイル名(「ファイル名順」)
  - ファイルのサイズの小さい順(「サイズ順」)
  - タイトル(「タイトル順」)
  - コンテンツ·キーの状態別(「コンテンツ·キータイプ順」)
- 一覧にフォルダが含まれているときは、どの基準で並べたときも、先頭にフォルダが表示されます。
- 「ファイルタイプ順」を選択したときの並び順は、拡張子のアルファベット順で表示されます。
- 「ファイル名順」を選択したときの並び順は、数字→英字(半角)→日本語→英字(全角)の順で表示されます。
- 「テンプレート」フォルダ内のファイルは「ファイルタイプ順」で並べ替えはできません。
- 「コンテンツ・キータイプ順」を選択したときの並び順は、著作権保護や転送の制限のないファイル→転送不可のファイル→著作権保護のファイル(コンテンツ・キー有効)→著作権保護のファイル(コンテンツ・キー期限切れ)→転送不可かつ利用不可のファイルの順に表示されます。
- タイトル名のないファイルは「タイトル順」で並べ替えはできません。

サウンドファイルや動画ファイルをプレイリストに追加したい

■→「データフォルダ」→「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」→ファイルを選んで Y! →「データ管理」→「プレイリストに追加」→プレイリストを選択

- プレイリストを新しく作成して追加するときは、追加画面で ✉(新規)を押します。

データフォルダ内のコンテンツ・キーを管理したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ Y! →「データ管理」→「コンテンツ・キー情報」→コンテンツ・キーを選択

- どのフォルダでコンテンツ・キー情報を表示しても、データフォルダおよびメモリカードに保存されているすべてのコンテンツ・キーが表示されます。
- コンテンツ・キーを持つファイルがない場合は「コンテンツ・キー情報」の項目は表示されません。

コンテンツ・キーを削除したい 【削除】

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ Y! →「データ管理」→「コンテンツ・キー情報」

■ **1 件削除するとき**

コンテンツ・キーを選んで Y! →「削除」→「1 件」→「はい」

■ 全件削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

- コンテンツ・キーを持つファイルがない場合は「コンテンツ・キー情報」の項目は表示されません。

サブフォルダにシークレット設定をしたい
[シークレット設定]

[■]→「データフォルダ」→サブフォルダの保存場所を選択→フォルダを選んで[Y!]→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)

- 本体に保存されているフォルダのみ設定できます。
- シークレット設定を解除する場合は、[Y!]→「シークレット解除」→操作用暗証番号の入力→[■](OK)を押します。

シークレット設定を一時的に解除したい
[シークレット一時解除]

[■]→「データフォルダ」→フォルダの保存場所を選択→[Y!]→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)

静止画撮影モードのカメラを起動したい
[カメラ起動]

[■]→「データフォルダ」→「ピクチャー」→[Y!]→「カメラ起動」

動画撮影モードのカメラを起動したい
[ビデオカメラ起動]

[■]→「データフォルダ」→「ムービー」→[Y!]→「ビデオカメラ起動」

ボイスレコーダーを起動したい
[ボイスレコーダー起動]

[■]→「データフォルダ」→「着うた・メロディ」→[Y!]→「ボイスレコーダー起動」

ファイルの保護／保護を解除したい
[保護／保護解除]

[■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選んで[Y!]→「保護」／「保護解除」

- 本体に保存されているファイルのみ設定できます。
- 保護すると、ファイル名の編集やファイルの移動、削除などが制限されます。

画像ファイルを各種の画面に設定したい
[登録]

[■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→[Y!]→「登録」

■ ディスプレイの壁紙に設定するとき

「壁紙」→プレビューを確認→[■](設定)

■ 電話帳の着信画像に設定するとき

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)→[■](設定)

■ TV コールの代替画像に設定するとき

「TV コール代替画像」→[■](設定)

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい
[登録]

[■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選んで[Y!]→「登録」

■ 各機能の着信音に設定するとき

「音声着信音」／「TV コール着信音」／「メール着信音」／「着信お知らせ機能着信音」／「S! 速報ニュース着信音」／「配信確認着信音」

■ 各電話帳の着信音に設定するとき

「個別着信音」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-16)

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- MPEG4 ファイルのオーディオコーデックが AAC、AAC+、Enhanced AAC+ の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。ただし、使用回数に制限のある著作権保護ファイルは設定できません。

動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい **[登録]**

■ →「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選んで Y! →「登録」

■ 各機能の着信音に設定するとき

「音声着信音」／「TV コール着信音」

■ 各電話帳の着信音に設定するとき

「個別着信音」→電話帳を選択（➔P.2-16）

- MPEG4 ファイルのオーディオコーデックが AAC、AAC+、Enhanced AAC+ の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。ただし、使用回数に制限のある著作権保護ファイルは設定できません。

ファイルを各機能に取り込みたい

■ →「データフォルダ」→「その他ファイル」→ vcf ファイル／vcs ファイルを選択→ ■（登録）

- データフォルダに保存されている vcf ファイルや vcs ファイルなどを電話帳やカレンダーに登録します。

メモリ容量確認

登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい

■ →データフォルダ→「メモリ容量確認」→必要に応じて「本体」／「メモリカード」→項目を選んで ✉（削除）→「はい」

■ 1 件または複数削除するとき

項目をチェック→ ✉（削除）→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!（全チェック）→ ✉（削除）→操作用暗証番号を入力→ ■（OK）→「はい」

- ■ →「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」→機能を選択→必要に応じて「本体」／「メモリカード」→項目を選んで ✉（削除）→「はい」を選択しても操作できます。
- メールボックスやデータフォルダ、カレンダー／予定リスト、電話帳の内容を削除します。
- 削除する内容に機能や保護が設定されている内容が含まれているときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

通信／バックアップ

13

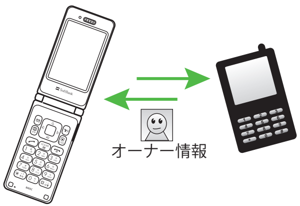
通信／バックアップについて

本機では、赤外線通信などを利用したデータのやり取り、S! 電話帳バックアップを使ったバックアップを利用できます。
この章では、データのやり取り、バックアップについて説明します。
※ S! 電話帳バックアップは、ソフトバンクが提供する有料のオプションサービスです。

データのやり取り

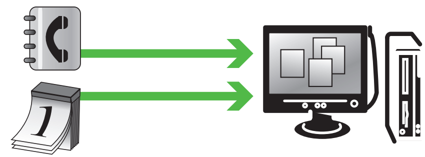
本機では、次の機能を使ってデータをやり取りできます。

- 赤外線通信(➲P.13-3)
- USB 接続(➲P.13-5)

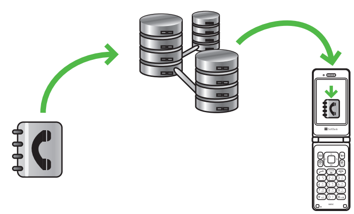


もしものときのバックアップ

本機では、メモリカードやパソコンにデータのバックアップをとることができます(➲P.13-6)。



S! 電話帳バックアップを使ってサーバにバックアップをとることもできます。
S! 電話帳バックアップを使うと、本機の電話帳データが消えても電話帳を復元できます。
バックアップをとった電話帳は、パソコンで編集することもできます(➲P.13-8)。



赤外線通信

本機など赤外線対応の携帯電話や、他の赤外線通信対応機器（パソコンなど）と無線で接続し、データの送受信ができます。

- 本機の赤外線通信機能は、IrMC1.1 に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1 に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 電話帳、オーナー情報、カレンダーのスケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイル、Flash® などを送受信できます。
  また、電話帳、カレンダー／予定リスト、ブックマーク、メモ帳、受信ボックス、下書き、送信済みボックスを一括で送受信できます。

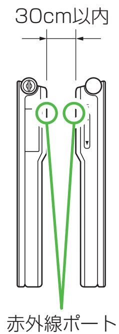
- 認証コードは、赤外線通信機器どうしが接続するためのパスワード(4 桁)です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

注意

- インターネットの利用中、メールやデータの編集中などは、赤外線通信でのデータ送信は行えません。
- 受信したデータの内容によっては、本機に正しく登録できなかったり、一部登録できないことがあります。

赤外線ポートの向き

- 受信側、送信側のソフトバンク携帯電話(または赤外線通信対応機器)を、30cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。



- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままの状態にして動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 正常に通信できないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。「赤外線ポートの向き」を確認したあと、「はい」を選択して再接続してください。

データを送信する

事前に送信先を受信待機の状態にしておきます。

データを 1 件ずつ送信する

1 データの送信操作

- 一覧画面で [Y!] →「送信」→「赤外線通信」→データをチェック→ [✉](送信)

- 機能によっては詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

データを一括送信する

1 [■] →「赤外線」→「全件データ送信」

2 操作用暗証番号を入力→ [■](OK)

3 「電話帳」／「カレンダー／予定リスト」／「ブックマーク」／「メモ帳」／「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」

- 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

4 認証コード(4 桁)を入力→ [■](OK)

データを受信する

注意

- 誤動作防止中やソフトウェア更新中にデータ受信は行えません。

データを1件ずつ受信する

1 ■→「赤外線」→「受信」

- データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から3分以内にデータを送信

3 保存の確認メッセージが表示されたら「はい」

- 画像ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」/「デコレメピクチャー」から選択します。
- 絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」/「デコレメピクチャー」/「マイ絵文字」から選択します。
- Flash® ファイルを受信するときは、保存先を「Flash®」/「着信音Flash®」から選択します。
- 受信を中止するときは Y!(キャンセル)を押します。
- 受信を強制終了するときは ☎ を押します。

- vcf ファイルに着信画像が含まれる場合、着信画像のサイズが 100K バイトを超えると画像を削除して電話帳に登録します。

データを一括受信する

1 ■→「赤外線」→「受信」

- データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から3分以内にデータを送信

3 認証コード(4桁)を入力→■(OK)

- 送信側と同じ認証コードを入力してください。

4 登録方法の選択操作

■ 追加登録するとき
「追加登録」

■ すべてのデータを削除して登録するとき
「削除して上書き」→「はい」→操作用暗証番号を入力→■(OK)

- 電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報以外の電話帳は消去されます。オーナー情報が送信されてきたときは、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。

- 受信を中止するときは Y!(キャンセル)を押します。
- 受信を強制終了するときは ☎ を押します。

使いこなしチェック!

設定

- 赤外線通信で受信する(☞P.14-29)
- オーナーの情報を転送する(☞P.14-29)
- ファイルを送信する(☞P.14-29)
- データを一括送信する(☞P.14-29)

USB接続

本機をUSBケーブルでパソコンと接続し、データを送受信することができます。
本機はUSB2.0に対応しています。
本機をUSBケーブルでパソコンと接続する前に、USBドライバとSamsung New PC Studioをインストールする必要があります。インストール手順やご利用いただけるパソコンの動作環境などについてはSAMSUNGホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/840download.html）でご確認ください。

USB接続でできること

次のような操作ができます。

- パソコン側からの操作で本機のデータフォルダのファイルを転送する
- パソコン側から送信されたファイルを受信し、データフォルダに保存する
- パケット通信をする

注意

- 携帯電話とパソコンやPDAを接続してインターネットをご利用いただく場合（モバイルデータ通信）は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額となる可能性がございます。ご利用される場合は、通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

カードリーダーモードでデータを送受信する

メモリカードを取り付けた状態の本機とパソコンをUSBケーブルで接続することで、パソコンからメモリカードにアクセスしてデータの読み書きができます。

パソコンに接続する／取り外す

1. 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
2. ■→「設定」→「外部接続」→「カードリーダーモード」→「はい」
3. 操作用暗証番号を入力→■（OK）
4. パソコンからデータを読み書き
   - S!メールの受信中やSamsung New PC Studioの利用中などは、カードリーダーモードはご利用になれません。
   - カードリーダーモードでの利用中は、通話やメッセージの受信などができません。
5. パソコンでハードウェアデバイスの取り外し操作
6. 接続中に[Y!]（終了）
7. USBケーブルの取り外し

注意

- ハードウェアデバイスの取り外し操作を行うまでは、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

使いこなしチェック!

[設定]

- カードリーダーモードを起動する（☞P.14-29）

メモリカードバックアップ

本機では、電話帳などのデータをメモリカードへバックアップ(一括保存)できます。バックアップしたデータはあとで読込み（一括復元）できます。

- あらかじめバックアップしておけば、大事なデータを誤って消してしまったときでも、あとで復元できます。
- データの種類ごとに 1 つのバックアップファイルとして保存されます(転送日のファイル名が付きます)。
- バックアップできるデータの種類は、次のとおりです。
  - 電話帳
  - カレンダー
  - 予定リスト
  - 受信ボックス
  - 下書き
  - 送信済みボックス
  - 未送信ボックス
  - メモ帳
  - コンテンツ・キー
  - ブックマーク

- バックアップは、個人データの保存や同機種間(メモリカード対応機)での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

メモリカードバックアップ時のご注意

- 電池残量が少ないときは、利用できません。
- バックアップやデータ読込み中は、電話やメールは利用できません(着信もできません)。
- データの内容によっては、バックアップできないことがあります。また、バックアップしたデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 本機またはメモリカードの空き容量が少ないときは、バックアップが正常に行えないことがあります。
- 本機に保存できる予定／用件は、カレンダーと予定リストを合わせて最大 500 件です。メモリカードからの読込み中、500 件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- バックアップ時、ブックマークのデータは、Yahoo! ケータイ、PC サイトブラウザのブックマークのデータをバックアップします。
- バックアップしたブックマークのサイズが大きいとき、データ形式によっては正しく読み込めないことがあります。
- 電話帳のバックアップ時、電話帳に設定した画像のサイズによっては、バックアップデータに含まれないことがあります。
- メモリカードにバックアップファイルとして保存されたあとは、メモリカードから読み込むまでは、本機でデータの内容を確認できません。
- コンテンツ・キーをバックアップするときは、次の点にご注意ください。
  - コンテンツ・キーのバックアップファイルは 1 つしか保存できないため、再度別のコンテンツ・キーをバックアップすると、前回のバックアップファイルは確認メッセージが表示されて上書きされます(前回バックアップしたファイルを残したいときは、メモリカードからコンテンツ・キーのバックアップファイルを本機へ読み込んだあと、あらためてバックアップの操作を行ってください)。
  - 本機へ読込み時、コンテンツ・キーは、本機内のコンテンツ・キーを上書きせず、追加します。

メモリカードにバックアップする

1. ■ →「設定」→「メモリカード保存・読込み」→「メモリカードへ保存」
2. 「はい」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)
3. 「電話帳」/「カレンダー」/「予定リスト」/「受信ボックス」/「下書き」/「送信済みボックス」/「未送信ボックス」/「メモ帳」/「コンテンツ・キー」/「ブックマーク」
4. 確認メッセージが表示されたら「はい」
   - バックアップを中止するときは Y!(キャンセル)→「はい」を選択します。
   - 「コンテンツ・キー」を選択した場合に、メモリカードに以前バックアップした「コンテンツ・キー」のバックアップファイルがあるときは、上書きをするかどうかの確認メッセージが表示されます。上書きをするには ✉(はい)を押します。

メモリカードから読み込む

項目を選択して復元する

1. ■ →「設定」→「メモリカード保存・読込み」→「メモリカードから読込み」
2. 「はい」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「選択項目」
3. 「電話帳」/「カレンダー」/「予定リスト」/「受信ボックス」/「下書き」/「送信済みボックス」/「未送信ボックス」/「メモ帳」/「コンテンツ・キー」/「ブックマーク」
4. ファイルを選択
   - バックアップファイルを削除するときは、ファイルを選んで Y!(削除)→「はい」を選択します。
5. 「追加」/「上書き」
   - 復元を中止するときは Y!(キャンセル)→「はい」を選択します。

自動バックアップから復元する

1. ■ →「設定」→「メモリカード保存・読込み」→「メモリカードから読込み」
2. 「はい」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「自動バックアップ項目」
3. 項目を選択→「はい」
   - 復元を中止するときは Y!(キャンセル)→「はい」を選択します。

メモリカードに自動バックアップする

注意

- 本機能の使用にはS! 電話帳バックアップサービス(有料)に加入が必要となりますのでご了承ください。
- 本設定を行う前にS! 電話帳バックアップの「自動保存設定」を「On」にしてください(➔P.13-10)。
- S! 電話帳バックアップサービス(有料)を申し込みをした方はお買い上げ時はS! 電話帳バックアップは「On」になっており、自動バックアップの周期は毎週となっております。
- 自動バックアップは、待受画面でのみ行われます。
- 自動バックアップが失敗した場合、翌日の同じ時間に自動バックアップが起動します。

1. ▣ →「設定」→「メモリカード保存・読込み」→「自動バックアップ」
2. 「バックアップ周期」
3. 「周期」
   - ■ 週に1回バックアップするとき
     「毎週」→曜日を選択
   - ■ 月に1回バックアップするとき
     「毎月」→日付を入力
4. 「開始時間」→開始時間を入力 → CLEAR
5. 「バックアップ項目」→バックアップする項目をチェック→ ✉(保存)
6. 「暗号設定」→「電話帳」/「カレンダー/予定リスト」/「メール」/「メモ帳」/「ブックマーク」→「On」/「Off」

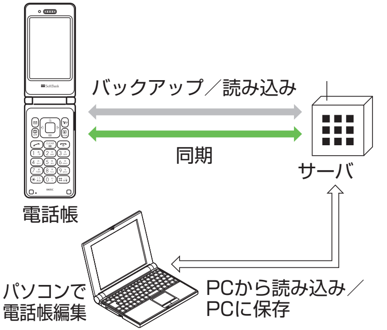
使いこなしチェック!

設定

- メモリのバックアップをとる(☞P.14-28)
- バックアップしたデータから復元する(☞P.14-28)

S! 電話帳バックアップを利用する

S! 電話帳バックアップとは、本機の電話帳をサーバにバックアップしたり、本機の電話帳とサーバ内の電話帳の同期をとる(同じ状態にする)ことができるサービスです。本機の破損時や紛失時の備えとして、便利にお使いいただけます。



ご利用いただく前に

注意

- S! 電話帳バックアップのご利用には、別途お申し込みが必要です(有料)。
- S! 電話帳バックアップのご利用時(保存／読込み、更新)には、パケット通信料が発生します。

- 機種変更をしても、他の S! 電話帳バックアップ対応機で電話帳を引き継ぐことができます。

  ご利用のお申し込み後は、ネットワーク自動調整実行時に自動保存設定※が「On」になり、電話帳編集後に自動でバックアップを行います。
- お客様ご自身で自動保存設定を「Off」に設定した場合も、再度ネットワーク自動調整を実行すると自動的に「On」に変更されますので、ご注意ください。
- サービス解約後は、自動保存設定が「Off」になっていることをご確認ください。

  ※ 自動保存設定の「保存モード」は「通常」に設定されます。電話帳を編集してから約 10 分後に同期が実行されます。

同期に関する注意

同期モードの種類は次のとおりです。

同期モード	説　明
通常	本機の電話帳更新情報のバックアップ、サーバ上の電話帳の更新情報読み込みを同時に行います。本機の電話帳とサーバ上の電話帳で同じフィールドを更新していた場合は、基本的にサーバ上の電話帳更新情報を優先します。
保存(変更分のみ)	本機の電話帳更新情報をバックアップします。
保存(全件上書き)	既存のサーバ上の電話帳をすべて消去し、新たに本機の電話帳をすべてバックアップします。
読込み(変更分のみ)	サーバ上の電話帳更新情報を読込みます。
読込み(全件上書き)	既存の本機の電話帳をすべて消去し、新たにサーバ上の電話帳をすべて読込みます。ただし、本機の電話帳が保存できる件数以上は読み込めません。サーバ上の電話帳で編集を行った日付が新しい順に本機の電話帳に読み込まれます。

- 初めて利用する場合や、前回の同期が途中でキャンセルされるなど正常に終了しなかったあとに同期を行ったときは、設定にかかわらず「通常」の同期モードで同期が行われます。

- 次の項目は S! 電話帳バックアップで同期できません。

  「読込み(全件上書き)」を行うと、本機本体の電話帳の設定が失われますので、ご注意ください。
  - フォト
  - 着信音設定、バイブ設定(音声通話／TV コール／メール)
  - 血液型
- 保存／読込みのタイミングや同期の方向にご注意ください。
  - 本機本体の電話帳をすべて削除したあと「通常」、「保存(変更分のみ)」、「保存(全件上書き)」を行うと、サーバ内の電話帳もすべて削除されます。
  - サーバ内の電話帳をすべて削除したあと「通常」、「読込み(変更分のみ)」、「読込み(全件上書き)」を行うと、本機本体の電話帳もすべて削除されます。
- 電話番号など、複数登録できる項目の登録可能件数が、本機(または機種変更後の機種)とサーバとで異なる場合に、同期を行うと、両方とも少ない方の件数に統一されます。
- S! 電話帳バックアップを解約すると、サーバ内の電話帳は削除されます。

電話帳の同期を行う

サーバで管理している電話帳に接続して、本機の電話帳と同期できます。

注意

- 同期を開始すると、ネットワークに接続します。ネットワークの接続中は通信料が発生します。同期が終了すると、自動的にネットワークの接続を解除します。

1 ■→「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「開始」

- 「通常」の同期モードで同期を行います。
- 「保存(変更分のみ)」/「保存(全件上書き)」/「読込み(変更分のみ)」/「読込み(全件上書き)」の同期モードで同期を行う場合は、■→「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「保存・読込み」→項目を選択してください。
- ■→「ニュース/エンタメ」→「S! 電話帳バックアップ」→「開始」を選択しても同じ操作ができます。

電話帳の自動保存設定を行う

「自動保存設定」を「On」に設定すると、更新頻度と更新モードを設定する必要があります。

1 ■→「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「自動保存設定」

- ■→「ニュース/エンタメ」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「自動保存設定」を選択しても同じ操作ができます。

2 「On/Off 設定」→「On」

3 設定の選択操作

■ 月に 1 回バックアップするとき
「毎月」→日付欄に日付を入力→時間欄に時間を入力→■(OK)

■ 週に 1 回バックアップするとき
「毎週」→曜日を選択→時刻設定欄に時刻を入力→■(OK)

■ 電話帳編集 10 分後にバックアップするとき
「電話帳編集後」

4 「通常」/「保存(変更分のみ)」/「保存(全件上書き)」/「読込み(変更分のみ)」/「読込み(全件上書き)」

5 ■(OK)

- 自動保存設定を解除するには、操作 2 の「On/Off 設定」で「Off」を選択します。

便利な機能

S! 電話帳バックアップ

S! 電話帳バックアップの履歴を確認したい

■→「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「履歴」→履歴を選択

S! 電話帳バックアップの履歴を削除したい

■→「電話機能」→「S! 電話帳バックアップ」→「詳細」→「履歴」→履歴を選んで ✉(削除)→「はい」

カスタマイズ

14

本体機能の設定

本体機能に関する設定

共通操作 ■ →「設定」→「一般設定」

ディスプレイの表示言語を切り替える **お買い上げ時** 日本語	「Language」→項目を選択
タイムゾーンの更新の設定をする **お買い上げ時** 最初に確認	「日時設定」→「日時設定」→「タイムゾーンの更新」→項目を選択→ ✉(保存)
タイムゾーンを変更する **お買い上げ時** GMT+09:00	「日時設定」→「日時設定」→「タイムゾーン」→ ◎ で都市を選択→ ■(選択)→ ✉(保存) •お使いの地域に合わせて日付や時刻を切り替えます。
サマータイムを設定する	「日時設定」→「日時設定」→「タイムゾーン」→ ◎ で都市を選択→サマータイムを選んで ✉(チェック)→ ■(選択)→ ✉(保存)
時刻を設定する	「日時設定」→「日時設定」→時間欄で時間を入力→ ✉(保存) •設定しないとご利用になれない機能があります。
日付を設定する	「日時設定」→「日時設定」→日付欄で日付を入力→ ✉(保存) •設定しないとご利用になれない機能があります。
時刻の表示形式を変更する **お買い上げ時** 24H	「日時設定」→「日時設定」→「時刻表示形式」→項目を選択→ ✉(保存)
日付の表示形式を変更する **お買い上げ時** 年／月／日	「日時設定」→「日時設定」→「日付表示形式」→項目を選択→ ✉(保存)
時刻補正を設定する **お買い上げ時** 自動補正：On、補正タイミング：S! 情報チャンネル	「日時設定」→「時刻補正」→「自動補正」→「On」／「Off」 •自動補正を行うタイミングを設定するときは、「補正タイミング」→項目をチェック→ ✉(保存)を押します。 •「即時補正(手動)」→「はい」を選択すると、ただちに時刻補正を行います。
イヤホン挿入時の設定をする **お買い上げ時** イヤホンのみ	「イヤホン設定」→「イヤホンのみ」／「イヤホンと本体」
予測入力機能を設定する **お買い上げ時** On	「入力／変換設定」→「予測入力」→「On」／「Off」
学習機能を設定する **お買い上げ時** On	「入力／変換設定」→「学習」→「On」／「Off」
英文自動大文字化機能を設定する **お買い上げ時** On	「入力／変換設定」→「英文自動大文字化」→「On」／「Off」
フレキシブル検索機能を設定する **お買い上げ時** On	「入力／変換設定」→「フレキシブル検索」→「On」／「Off」
学習機能をリセットする	「入力／変換設定」→「学習リセット」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

絵文字／記号の履歴をリセットする	「入力／変換設定」→「絵／記号履歴リセット」→「はい」
文字サイズを変更する **お買い上げ時** 標準	「入力／変換設定」→「文字サイズ」→「大」／「標準」／「小」
カーソルの移動速度を変更する **お買い上げ時** Off	「入力／変換設定」→「自動カーソル」→「Off」／「遅い」／「普通」／「速い」／「高速」
ユーザ辞書を登録する	「ユーザ辞書」→「日本語辞書」／「英語辞書」→「新規登録」→語句欄を選択→単語や文を入力→読み欄を選択→ヨミガナを入力→ ✉(保存)
ユーザ辞書の登録内容を編集する	「ユーザ辞書」→「日本語辞書」／「英語辞書」→内容を選択→語句やヨミガナを編集→ ✉(保存)
ユーザ辞書の登録内容を削除する	「ユーザ辞書」→「日本語辞書」／「英語辞書」→内容を選んで Y! →「削除」→「1 件」→「はい」 •複数の内容を削除する場合は､「日本語辞書」／「英語辞書」→ Y! →「削除」→「複数」→内容をチェック→ ✉(削除)→「はい」を選択します。 •すべて削除する場合は、「日本語辞書」／「英語辞書」→ Y! →「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」を選択します。
スピード検索の設定をする **お買い上げ時** Off	「スピード検索設定」→「On」／「Off」 •「On」に設定し、待受画面で数字を入力すると、その数字のダイヤルボタンに割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭に持つ電話番号を電話帳から検索して表示します。
サイドボタン操作で応答拒否する／着信音を消す **お買い上げ時** 着信音サイレント	「サイドキー設定」→項目を選択 •着信中に ▯ ／ ▯ を 1 秒以上押したときの動作を設定します。
エニーキーアンサーを設定する **お買い上げ時** Off	「エニーキーアンサー」→「On」／「Off」 •「On」に設定すると、✉、■、Y!、☎、▯、▯ を除くどのボタンを押しても電話を受けられます。
オープン通話を設定する **お買い上げ時** Off	「オープン通話」→「On」／「Off」 •「On」に設定すると、着信したときに本体を開くことで電話を受けられます。
キーライトを設定する **お買い上げ時** 通常モード	「キーライト」→項目を選択 •「通常モード」に設定すると、本機を操作後「バックライト点灯時間」で設定した時間の間、キーが点灯します。 •「節電モード」を選択したときは、節電開始時刻欄で節電開始時刻を入力→節電終了時刻欄で節電終了時刻を入力→ ✉(保存)を押します。 •「節電モード」に設定すると、節電時刻の間、キーは点灯しません。

音／バイブレータ／着信ライトの設定

音／バイブレータに関する設定

共通操作 ■ →「設定」→「音・バイブ・ライト」

音量を設定する お買い上げ時 音声着信／TVコール着信／メール着信／着信お知らせ機能／配信確認／効果音：レベル3、S!速報ニュース：Off	「音量」→項目を選択→ ◎ で音量を調節 •「着信音調節機能」（➲P.14-12）が「On」の場合、レベル1の音量で4秒間呼び出したあと、設定されている音量で呼び出します。 •着信中に音量を調節するには、着信中に ▯／▯ を押します。 •着信時やメール受信時のお知らせをミュート（表示のみ）にするには、「音量」を「0」にし、「バイブ」を「Off」にします。ミュートにしているときは、ディスプレイに ◎ が表示されます。
音声通話／TVコールの着信音を設定する お買い上げ時 音声着信／TVコール着信：Samsung Tune	「着信音」→「音声着信」／「TVコール着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 •✉（再生）を押すとファイルが再生されます。
電話以外の着信音を設定する お買い上げ時 メール着信：Samsung Tune、着信のお知らせ機能／S!速報ニュース／配信確認：BussinessTone	「着信音」→項目の着信音欄を選択→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 •✉（再生）を押すとファイルが再生されます。
電話以外の着信鳴動時間を設定する お買い上げ時 5秒	「着信音」→項目を選択→「鳴動時間」→時間を入力→ ■（選択）
待ちうた™を探す	「待ちうた」→「楽曲を探す」→画面の指示に従って操作
待ちうた™を設定する	「待ちうた」→「待ちうた設定」→画面の指示に従って操作
待ちうた™の開始／解約を設定する	「待ちうた」→「サービス開始・解約」→画面の指示に従って操作
待ちうた™の説明を確認する	「待ちうた」→「待ちうたとは？」
バイブレータを設定する お買い上げ時 Off	「バイブ」→項目を選択→パターンを選択 •✉（再生）を押すと、振動パターンを確認できます。
ボタン確認音を設定する お買い上げ時 Off	「操作音」→「ボタン確認音」→項目を選択

効果音を設定する お買い上げ時 ポップアップ音／通話終了音／通話中イベント通知：On、通話時間通知(毎分)／呼び出し開始音／電源 On ／電源 Off ／オープン／クローズ音：Off	「操作音」→「効果音」→項目をチェック→ ✉(保存) • モードによって、設定できない項目があります。

•「設定」の「音・バイブ・ライト」は、通常モードの設定内容を変更するためのメニューです。他のモードの内容は変更されません。

着信ライトに関する設定

共通操作 ■ →「設定」→「音・バイブ・ライト」→「着信ライト」

受信中に点滅する照明の色を設定する お買い上げ時 音声着信／ TV コール着信／着信お知らせ機能：パターン 4、メール着信／配信確認：パターン 1、S! 速報ニュース：パターン 3、アラーム：パターン 2	「着信時ライト」→項目を選択→パターンを選択 •「Off」を選択すると、照明の点滅でお知らせしません。 • ✉(確認)を押すと着信ライトが点滅します。
不在時に着信などがあったことをお知らせする照明の色を設定する お買い上げ時 不在着信／着信お知らせ機能：パターン 4、メール着信／簡易留守録：パターン 3、アラーム：パターン 2、配信確認：パターン 1	「通知ライト」→項目を選択→パターンを選択 •「Off」を選択すると、照明の点滅でお知らせしません。 • ✉(確認)を押すと着信ライトが点滅します。
閉じたときに点滅する照明の色を設定する お買い上げ時 パターン 2	「端末閉時ライト」→パターンを選択 •「Off」を選択すると、照明の点滅でお知らせしません。 • ✉(確認)を押すと着信ライトが点滅します。

画像／文字表示の設定

共通操作 ■ →「設定」→「ディスプレイ設定」

ディスプレイの壁紙の設定を変更する お買い上げ時 Macaroon	「壁紙」→(➲P.2-7 ディスプレイの壁紙を設定する ❷)
スマート壁紙を設定／解除する お買い上げ時 On	「スマート壁紙」→「On ／ Off 設定」→「On」／「Off」

カスタマイズ

14

スマート壁紙の壁紙を変更する お買い上げ時 バレンタインデー：Valentine's day、ひな祭り：Girl's day、ホワイトデー：White day、母の日：Mother's day、父の日：Father's day、ハロウィーン：Halloween、クリスマス：Christmas	「スマート壁紙」→「壁紙」→壁紙を選択
メインメニューの設定を変更する お買い上げ時 ネオンブロック	「メニュースタイル」→項目を選択→色を選択→ ■（選択）
メニューのカラーテーマを設定する お買い上げ時 ブルー＆ブラック	「カラーテーマ」→項目を選択 •カスタマイズしたカラーテーマを使用する場合は、「カラーテーマ」→「カスタマイズ」を選んで ✉（編集）→背景色を選択→タイトル欄の色を選択→メニューを選んだときの色を選択→ Y!（保存）を押します。
時計／カレンダー表示の設定を変更する お買い上げ時 デジタル時計	「時計／カレンダー表示」→項目を選択 •「デジタル時計」を選択したときは、スタイル欄でスタイルを選択→位置欄で表示位置を選択→ ■（保存）を押します。 •「デュアル時計」を選択したときは、第一時計欄でタイムゾーンを選択→第二時計欄でタイムゾーンを選択→ ■（保存）を押します。 •「カレンダー（1ヶ月表示）」を選択したときは、「大」／「小」を選択します。
ミニ時計を設定する お買い上げ時 時間のみ	「ミニ時計」→項目を選択
文字について設定する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字の太さ」→項目を選択
メニューリストの文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「メニューリスト」→項目を選択
Yahoo! ケータイの情報画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「Yahoo! ケータイ」→項目を選択
PC サイトブラウザの情報画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「PC サイトブラウザ」→項目を選択
電話帳の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「電話帳」→項目を選択
文字入力の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「文字入力」→項目を選択
メール本文の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字表示」→「文字サイズ」→「メール」→項目を選択
メニューリストの文字スクロール速度を変更する お買い上げ時 普通	「文字スクロール速度」→「速い」／「普通」／「遅い」

ディスプレイの明るさを調整する **お買い上げ時** レベル 3	「バックライト」→「明るさ」→ [キー] で明るさを調節→ [■](OK)
バックライト点灯時間を設定する **お買い上げ時** 15 秒	「バックライト」→「バックライト点灯時間」→「バックライト点灯」→項目を選択 •「Off」に設定すると、画面が暗くなります。 •設定した時間を経過すると画面が暗くなります。
バックライトの省電力点灯時間を設定する **お買い上げ時** 15 秒	「バックライト」→「バックライト点灯時間」→「省電力設定」→項目を選択 •設定した時間を経過するとディスプレイが消灯します。
省電力モードを設定する **お買い上げ時** On	「省電力モード」→「On」/「Off」
ダイヤル表示の文字タイプを変更する **お買い上げ時** 標準 1	「ダイヤル表示スタイル」→「文字の太さ」→項目を選択
ダイヤル表示の文字サイズを変更する **お買い上げ時** 標準	「ダイヤル表示スタイル」→「文字サイズ」→項目を選択
ダイヤル表示の文字カラーを変更する **お買い上げ時** 標準	「ダイヤル表示スタイル」→「文字カラー」→項目を選択 •「単色」を選択したときは、色欄で色を選択します。
ダイヤル表示の背景色を変更する	「ダイヤル表示スタイル」→「背景色」→項目を選択
事業者名の表示設定をする **お買い上げ時** Off	「事業者名表示」→「On」/「Off」

マナーモードの設定

マナーモードを切り替える	[■] →「設定」→「マナーモード設定」→項目を選択 •各モードの設定内容を変更するには、モードを選んで [✉](編集)→各項目の設定をします。

通話の設定

共通操作 [■] →「設定」→「通話設定」

呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」→「呼出なし(0 秒)」
呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」→「呼出あり(5-30 秒)」

転送電話サービスを設定する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」→通話の種類を選択→設定を選択→項目を選択→転送先の設定操作
留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」
留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「設定確認」
留守番電話の伝言メッセージを聞く	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話再生」→ ⌒ ／ ■( )
割込通話サービスを開始／解除する	「通話サービス」→「割込通話」→「On」／「Off」
割込通話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「割込通話」→「設定確認」
発信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「発信規制」→項目を選択→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→ ■(OK)
着信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「着信規制」→項目を選択→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→ ■(OK)
発着信規制の制限をすべて解除する	「通話サービス」→「発着信規制」→「全ての着信規制解除」→規制暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」
発着信規制の設定を確認する	「通話サービス」→「発着信規制」→「設定確認」→項目を選択
着信お知らせ機能を設定する	「通話サービス」→「着信お知らせ機能」→ ⌒ ／ ✉( )
すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する	「通話時間・料金」→「累積」 • 通話時間／通話料金をリセットするには、✉(リセット)→ PIN2 コードを入力→ ■(OK)を押します。
前回の通話時間／通話料金を確認する	「通話時間・料金」→「直前の通話」 • 前回通話時間／前回通話料金をリセットするには、✉(リセット)を押します。
累積データ通信量を確認する	「通話時間・料金」→「累積データ通信量」 • 送信データ量／受信データ量をリセットするには、✉(リセット)を押します。
通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する お買い上げ時 Off	「通話時間・料金」→「通話後料金表示」→「On」／「Off」 • 本機能はご利用になれない場合があります。
通話料金の通貨単位を変更する	「通話時間・料金」→「通貨設定」→ PIN2 コードを入力→ ■(OK)→レート欄で円に対するレートを入力→通貨欄で通貨単位を入力→ ✉(保存)

通話料金の限度額を設定する	「通話時間・料金」→「通話料金上限設定」→ ■(編集)→ PIN2 コードを入力→ ■(OK)→通話料金上限設定(円)欄で通話料金の上限値を入力→ ✉(保存) •通話料金の上限を超えると、緊急電話発信を除くすべての電話の発信やメールの送受信、ウェブ接続(通話料、通信料が課金される操作)ができなくなります。 •「通話後料金表示」がご利用になれない場合、通話料金の限度額を設定する機能はご利用になれません。
通話料金の限度額の設定を解除する	「通話時間・料金」→「通話料金上限設定」→ Y!(リセット)→ PIN2 コードを入力→ ■(OK)
簡易留守録を設定する 【お買い上げ時】Off	「簡易留守録」→「On ／ Off」→「On」／「Off」
簡易留守録の応答時間を設定する 【お買い上げ時】18 秒	「簡易留守録」→「応答時間」→項目を選択 •「その他」を選択した場合は、時間を入力します。
簡易留守録に録音された用件を確認する	「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」→用件を選択 •用件を削除するには、用件を選んで ✉(削除)→「はい」を選択します。 •📞 →「全履歴」／「着信履歴」→履歴を選択→ ✉([アイコン])→用件を選択しても確認できます。
応答メッセージの言語を設定する 【お買い上げ時】日本語	「簡易留守録」→「応答言語」→項目を選択 •✉(再生)を押すと応答メッセージが再生されます。
自画像の代わりに送信する画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TV コール」→「代替画像」→「固定データ」→ ■(OK)
自画像の代わりに送信する画像を設定する	「TV コール」→「代替画像」→「ピクチャー」→ファイルを選択→ ■(OK) •メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」からも画像を選択できます。
TV コール中の相手画像の画質を調整する 【お買い上げ時】標準	「TV コール」→「受信画質」→項目を選択
TV コール中の自画像の画質を調整する 【お買い上げ時】標準	「TV コール」→「送信画質」→項目を選択
TV コール中の保留画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TV コール」→「保留設定」→「通話中保留」→「固定データ」→ ■(OK)
TV コール中の保留画像について設定する	「TV コール」→「保留設定」→「通話中保留」→「ピクチャー」→ファイルを選択→ ■(OK) •メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」からも画像を選択できます。

TV コールに応答保留する際の画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TV コール」→「保留設定」→「応答保留」→「固定データ」→ ■(OK)
TV コールに応答保留する際の画像について設定する	「TV コール」→「保留設定」→「応答保留」→「ピクチャー」→ファイルを選択→ ■(OK) • メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」からも画像を選択できます。
TV コール中の音声の送信について設定する お買い上げ時 Off	「TV コール」→「私の音声ミュート」→「On」/「Off」 • 「On」に設定している場合、TV コール中に一時的に音声を送信するには ✉(ミュートオフ)を押します。
TV コール中にスピーカーを利用するかどうか設定する お買い上げ時 On	「TV コール」→「スピーカー」→「On」/「Off」
TV コール中のバックライトの明るさを設定する お買い上げ時 On	「TV コール」→「バックライト」→「On」/「Off」 • 「Off」に設定するとディスプレイは「On」の設定時より暗くなります。
TV コールがつながらなかったときの動作を設定する お買い上げ時 毎回確認	「TV コール」→「再発信方法」→項目を選択 • 「なし」に設定すると、何も表示せずに発信を終了できます。 • TV コールがつながらなかったときに、設定した方法で再発信をうながすメッセージを表示することができます。
指定した相手からの TV コール着信を自動で受ける お買い上げ時 Off	「TV コール」→「自動応答」→「On ／ Off 設定」→「On」/「Off」 • 指定した相手から TV コールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。
TV コール着信を自動で受ける相手を指定する	「TV コール」→「自動応答」→「自動応答リスト」→ ■(追加)→「電話帳」/「通話履歴」/「直接入力」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→電話番号の登録操作 • 削除するには「自動応答リスト」を選択後、相手を選んで Y!(削除)→「1 件」→「はい」を選択します。 • 選択した相手を削除する場合は「自動応答リスト」を選択後、Y!(削除)→「複数」→相手をチェック→ ✉(削除)→「はい」を選択します。 • すべて削除する場合は「自動応答リスト」を選択後、✉(削除)→「全件」→「はい」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)を押します。
TV コール発信時の自画像の送信について設定する お買い上げ時 On	「TV コール」→「自画像送信」→「On」/「Off」

電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話番号指定」→「On ／ Off 設定」→「On」／「Off」 •着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、相手には話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信通知」と表示してお知らせします。表示を選択すると着信履歴を確認できます。
着信拒否する電話番号を登録する	「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト」→ [Y!] →「追加」→項目を選択→電話番号の登録操作 •登録した電話番号を 1 件削除するには、「拒否リスト」を選択後、相手を選んで [Y!] →「削除」→「1 件」→「はい」を選択します。 •登録した電話番号を全件削除するには、「拒否リスト」を選択後、[Y!] →「削除」→「全件」→「はい」→操作用暗証番号を入力→ [■]（OK）を押します。
電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話帳以外」→「On」／「Off」
非通知着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「非通知」→「On」／「Off」
公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「公衆電話」→「On」／「Off」
電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「通知不可」→「On」／「Off」
国際コードを登録する お買い上げ時 0046010	「国際設定」→「国際コード」→操作用暗証番号を入力→ [■]（OK）→国際コードを入力
国番号を追加／編集／削除する お買い上げ時 日本、韓国、イギリス、イタリア、スイス、スペイン、ドイツ、ポルトガル、オランダ、フランス、モナコ、アメリカ合衆国、スウェーデン、オーストラリア、中国、香港、台湾	「国際設定」→「国番号リスト」→追加／編集／削除の操作 •追加するときは、[✉]（追加）→「国名」→国名を入力→「国番号」→国番号を入力→ [✉]（保存）を押します。 •変更するときは、国番号リストから項目を選択→「国名」→国名を入力→「国番号」→国番号を入力→ [✉]（保存）を押します。 •削除するときは、項目を選んで [Y!]（削除）→「はい」を選択します。
接続するネットワークを選択する お買い上げ時 自動	「国際設定」→「事業者設定」→「自動・手動選択」→項目を選択 •「手動」を選択したときは、ネットワークを選択します。
優先されるネットワークをリストから設定する	「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」→ [Y!] →「挿入」→「ネットワークリスト」→ネットワークを選択

優先されるネットワークを新規追加する	「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」→ [Y!] →「挿入」→「新規ネットワーク」→国番号欄で国番号を入力→ネットワークコード欄でネットワークコードを入力→ネットワーク名欄でネットワーク名を入力→ [メール]（保存）
海外発信アシストを設定する **お買い上げ時** On	「国際設定」→「海外発信アシスト」→「On」／「Off」 •「On」に設定すると海外で発信する際にポップアップで誘導されます。国番号を付加して発信する場合は、ポップアップは表示されません。
電波 Off モードを設定する **お買い上げ時** Off	「電波 Off モード」→「On」／「Off」
発信者番号の通知／非通知を設定する	「発信者番号通知」→「通知する」／「通知しない」 •現在の設定を確認するには、「設定確認」を選択します。
話し中だった相手に自動的にリダイヤルする **お買い上げ時** Off	「オートリダイヤル」→「On」／「Off」 •音声電話や TV コールをかけた相手がお話し中だったときに、自動的に電話を切り、すぐにリダイヤルを開始するように設定できます。オートリダイヤルは、[Y!]（キャンセル）／ [終話] を押すまで最大 10 回繰り返されます。 •TV コールの再発信方法を設定しているときは、オートリダイヤルの設定が優先されます。 •相手が転送電話サービスや留守番電話サービスを設定しているときは、電話が転送され、オートリダイヤルは行われません。
着信音調節機能を設定する **お買い上げ時** On	「着信音調節機能」→「On」／「Off」 •音声電話や TV コールの着信音量が大きな音で設定されている場合、着信時にいきなり大きな音で呼び出すことを防ぐために、レベル 1 の音量で 4 秒間呼び出したあと徐々に大きくなり、設定されている音量で呼び出します。
イヤホン通話を使う **お買い上げ時** Off	「イヤホン通話」→「On ／ Off 設定」→「On」／「Off」→「電話番号指定」→項目を選択→電話番号の登録操作 •イヤホンマイク（オプション品）のスイッチを 1 秒以上押して、指定した電話番号に電話をかけられるように設定できます。指定した電話番号を変更する場合は同じ操作を繰り返し、変更する電話番号を登録します。
通話中の音量を調節する **お買い上げ時** レベル 3	「受話音量」→ [サイドキー] で音量を調節

電話帳の設定

共通操作 ■ →「電話機能」→「設定」

優先的に登録される電話帳を変更する **お買い上げ時** 本体	「保存先設定」→項目を選択 •「毎回確認」に設定すると、新規登録のたびに保存先の確認メッセージが表示されます。
表示される電話帳(本機/USIM カード)を変更する **お買い上げ時** 本体	「表示切替」→項目を選択
電話帳の検索方法を切り替える **お買い上げ時** あかさたな	「検索方法」→項目を選択
文字サイズを設定する **お買い上げ時** 標準	「文字サイズ」→項目を選択
電話帳の内容を全件コピーして本機/USIM カードに登録する	「全件コピー」→「本体→ USIM」/「USIM →本体」→「はい」

メールの設定

E メールアドレスに関する設定

E メールアドレスを変更する	✉ →「設定」→「メール・アドレス設定」→画面の指示に従って操作 •パソコンなどから E メールを受信するときに使用する E メールアドレスのアカウント名(@より前の部分)を変更できます。ご契約時のアカウント名は、ランダムな英数字に設定されています。

S! メール、SMS に関する共通の設定

共通操作 ✉ →「設定」→「一般設定」

配信レポートの送信を設定する **お買い上げ時** Off	「送信設定」→「配信確認」→「On」/「Off」 •「On」に設定すると、メールサーバからメールが相手に送信されたときに、配信レポートが本機に送信されます。

送信メールに受信メールの内容を引用する **お買い上げ時** On（SMS とデコレメールを除く）	「送信設定」→「引用設定」→項目を選択
返信先を設定する **お買い上げ時** Off	「送信設定」→「返信先指定」→「On」／「Off」 •設定内容は次のとおりです。 「On」：「返信先アドレス設定」で設定したアドレスに返信されます。 「Off」：本機のアドレスに返信されます。 •本機から E メールアドレス宛のメールを送り、受信した相手が返信する際の宛先を設定できます。
返信先アドレスを設定する	「送信設定」→「返信先アドレス設定」→項目を選択→アドレスの登録操作
クイック返信の内容を変更する	「送信設定」→「クイック返信設定」→項目を選択→返信内容を入力
送信中の進行状況表示を設定する **お買い上げ時** On	「送信設定」→「メール送信中画面」→「On」／「Off」
受信の通知を設定する **お買い上げ時** 差出人	「受信設定」→「メール受信通知」→「表示内容」→項目を選択 •待受画面以外を表示中にメールを受信したときに、ディスプレイ最上段にスクロール表示される通知の内容が設定できます。
シークレット設定を設定したフォルダの受信通知を設定する **お買い上げ時** 通知する	「受信設定」→「メール受信通知」→「シークレットフォルダ着信」→操作用暗証番号を入力→ ■（OK）→項目を選択 •「通知しない」に設定すると、受信ボックス内のシークレット設定を設定したフォルダにメールを受信したとき、新着メール受信の通知画面や「メール受信通知」は表示されません。
フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する **お買い上げ時** On	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「ライト色」→「On ／ Off 設定」→「On」／「Off」
フィーリングメールを受信したときの着信ライトの色を設定する **お買い上げ時** ハッピー／うれしい：パターン 1、OK ／ Good：パターン 3、悲しい／ごめんね：パターン 4、NG ／ Bad：パターン 2、重要／注目：パターン 2	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「ライト色」→「ライト色」→感情を選択→パターンを選択 •✉（確認）を押すと着信ライトが点滅します。
フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する **お買い上げ時** On	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「バイブ」→項目を選択

フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する **お買い上げ時**Off	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「On ／ Off 設定」→「On」／「Off」
フィーリングメールの着信音を設定する **お買い上げ時** ハッピー／うれしい：One Fine Day、OK ／ Good：Sunny day、悲しい／ごめんね：Jazzy House_Pleasure、NG ／ Bad：Vintage Cinema、重要／注目：On my way home	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「着信音選択」→感情を選択→ファイルの保存場所を選択→着信音を選択 • ✉(再生)を押すとファイルが再生されます。
フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する **お買い上げ時**5 秒	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「鳴動時間」→鳴動時間を入力→ ■(OK)
文字サイズを設定する **お買い上げ時** 標準	「表示設定」→「文字サイズ」→項目を選択
メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する **お買い上げ時**1 行	「表示設定」→「スクロール単位」→項目を選択
受信ボックスのメールの表示方法を設定する **お買い上げ時** フォルダ表示	「表示設定」→「受信ボックス表示設定」→項目を選択
送信済みボックスのメールの表示方法を設定する **お買い上げ時** フォルダ表示	「表示設定」→「送信済みボックス表示設定」→項目を選択
受信ボックスのメールの自動削除を設定する **お買い上げ時**On(保護を除いて)	「自動削除設定」→「受信ボックス」→項目を選択 • 受信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 • 設定内容は次のとおりです。 「On(保護を除いて)」：メール受信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます(保護されたメールを除く)。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。 「On(既読のみ)」：メール受信時に、日時の古い既読メールから順に自動的に削除されます(未読メールを除く)。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。 「Off」：メール受信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから再度受信します。

送信済みボックスのメールの自動削除を設定する お買い上げ時 On(保護を除いて)	「自動削除設定」→「送信済みボックス」→項目を選択 •送信済みボックス、または未送信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 •設定内容は次のとおりです。 「On(保護を除いて)」:メール送信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます(保護されたメールを除く)。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。 「Off」:送信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから、再度送信します。
電話帳未登録の携帯メールを迷惑メールとして振り分ける お買い上げ時 Off	「迷惑メール設定」→操作用暗証番号を入力→ ◙(OK)→「電話帳未登録」→「On」
迷惑メールをリストで指定して振り分ける お買い上げ時 Off	「迷惑メール設定」→操作用暗証番号を入力→ ◙(OK)→「指定迷惑リスト」→「On」 •リストを指定する場合は、「指定迷惑リスト」→ ✉(編集)→(データが登録済の場合のみ Y! →「迷惑リスト追加」)→「送信者」/「送信者(部分一致)」/「件名」を選択します。
迷惑メール判定をしないメールをリストで指定する お買い上げ時 Off	「迷惑メール設定」→操作用暗証番号を入力→ ◙(OK)→「受信許可リスト」→「On」 •リストを指定する場合は、「受信許可リスト」→ ✉(編集)→(データが登録済の場合のみ Y! →「許可リスト追加」)→「送信者」/「送信者(部分一致)」/「件名」を選択します。 •「電話帳未登録」が「On」または、「指定迷惑リスト」が「On」になっていないと登録できません。
迷惑メール申告先を設定する お買い上げ時 stop@meiwaku.softbankmobile.co.jp	「迷惑メール設定」→操作用暗証番号を入力→ ◙(OK)→「迷惑メール申告先設定」→申告先を入力→ ◙(OK)→「はい」
メールの保存先を設定する お買い上げ時 メモリカード優先	「保存先設定」→項目を選択 •「毎回確認」を選択すると、メールを保存するごとに保存先を確認するメッセージが表示されます。

S! メールに関する設定

共通操作 ✉ →「設定」→「S! メール設定」

S! メールの作成サイズの上限を設定する **お買い上げ時** 2MB	「送信オプション」→「メール作成サイズ」→項目を選択 • S! メール作成画面の Y! →「送信オプション」→「メール作成サイズ」でメール作成中に一時的に上限を変更することができます。
送信メールの優先度を設定する **お買い上げ時** 標準	「送信オプション」→「優先度」→項目を選択
自動リサイズを設定する **お買い上げ時** 500KB	「送信オプション」→「自動リサイズ」→項目を選択
S! メールの受信サイズの上限を設定する **お買い上げ時** 2MB	「受信オプション」→「最大受信サイズ」→「2MB」/「300KB」
S! メールの受信方法を設定する **お買い上げ時** On(最大 1MB まで)	「受信オプション」→「自動受信設定」→項目を選択 • 設定内容は次のとおりです。 「On(最大 1MB まで)」: 最大 1MB まで自動的に受信します。 「On(最大 300KB まで)」: 最大 300KB まで自動的に受信します。 「Off」: 受信通知のみを受信します。
自動受信の条件を設定する **お買い上げ時** 全てのメール	「受信オプション」→「自動受信の条件」→「全てのメール」/「指定アドレス」
自動受信の条件を編集する	「受信オプション」→「自動受信の条件」→ ✉(編集)→項目をチェック→ ■(OK) •「個別アドレス」をチェックした場合は、✉(編集)→ Y! →「追加」→項目を選択→アドレスを入力→ ✉(OK)を押します。
署名を設定する **お買い上げ時** 挿入しない	「署名設定」→「自動挿入」→項目を選択 •「署名編集」で署名を入力すると設定できます。
署名を編集する	「署名設定」→「署名編集」→署名を入力
添付画像の表示方法を設定する **お買い上げ時** 通常サイズ表示	「画像表示設定」→項目を選択
添付画像の自動再生を設定する **お買い上げ時** On	「添付ファイル自動表示」→「画像」→「On」/「Off」
添付サウンドの自動再生を設定する **お買い上げ時** Off	「添付ファイル自動表示」→「サウンド」→「On」/「Off」

SMS に関する設定

共通操作 ✉ →「設定」→「SMS 設定」

メールサーバへの保存期間を設定する **お買い上げ時** なし	「有効期限」→項目を選択 • 保存期間が経過すると、メールサーバから SMS が自動的に削除されます。
SMS センター番号を設定する **お買い上げ時** 設定 1 +819066519300	「SMS センター番号」→項目を選択
文字コードを変更する **お買い上げ時** 英語以外	「文字コード」→項目を選択

インターネットの設定

Yahoo! ケータイに関する設定

共通操作 ■ →「Yahoo!」→「設定」

情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する **お買い上げ時** 標準	「文字サイズ」→項目を選択
情報画面での文字コードを設定する **お買い上げ時** 自動	「文字コード変換」→項目を選択
情報画面でのスクロール単位を設定する **お買い上げ時** 1 行	「スクロール単位」→項目を選択
情報画面で画像を表示するかどうか設定する **お買い上げ時** 表示する	「画像・音設定」→「画像表示」→項目を選択 •「表示しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する **お買い上げ時** 再生する	「画像・音設定」→「音再生」→項目を選択 •「再生しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面の画像などの保存先を設定する **お買い上げ時** メモリカード優先	「保存先設定」→「メモリカード優先」／「本体」／「毎回確認」 • メモリカードを取り付けて、「メモリカード優先」を選択しているときは、メモリカードに画像を保存できます。
情報画面のキャッシュ／ Cookie ／認証情報を消去する	「メモリ操作」→項目を選択→「はい」

製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→「On」/「Off」 • 接続した情報画面から携帯電話のユーザーを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。
Referer を送信するかどうか設定する お買い上げ時 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer 送出」→項目を選択 • Referer とは、情報画面に接続する際にウェブサーバへ送信するリンク元の URL 情報のことです。
Cookie の有効/無効を設定する お買い上げ時 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie 設定」→項目を選択 •「毎回確認」を選択すると Cookie の記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。 • Cookie とは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に本機に記録する仕組みです。Cookie には、ユーザー情報や接続日時などが記録されます。
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択 • 本機にあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。
認証情報の保存期間を設定する お買い上げ時 ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択
ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」 • ブラウザの設定やブックマーク、画面メモなどの保存された情報を初期化できます。
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

PC サイトブラウザに関する設定

共通操作 ■ →「Yahoo!」→「PC サイトブラウザ」→「PC サイトブラウザ設定」

情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択
情報画面での文字コードを設定する お買い上げ時 自動	「文字コード変換」→項目を選択
情報画面でのスクロール単位を設定する お買い上げ時 1 行	「スクロール単位」→項目を選択
情報画面で画像を表示するかどうか設定する お買い上げ時 表示する	「画像・音設定」→「画像表示」→項目を選択 •「表示しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。

情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する お買い上げ時 再生する	「画像・音設定」→「音再生」→項目を選択 •「再生しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面の画像などの保存先を設定する お買い上げ時 メモリカード優先	「保存先設定」→「メモリカード優先」／「本体」／「毎回確認」 •メモリカードを取り付けて、「メモリカード優先」を選択しているときは、メモリカードに画像を保存できます。
情報画面のキャッシュ／ Cookie ／認証情報を消去する	「メモリ操作」→項目を選択→「はい」
製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→「On」／「Off」 •接続した情報画面から携帯電話のユーザーを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。
Referer を送信するかどうか設定する お買い上げ時 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer 送出」→項目を選択 •Referer とは、情報画面に接続する際にウェブサーバへ送信するリンク元の URL 情報のことです。
Cookie の有効／無効を設定する お買い上げ時 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie 設定」→項目を選択 •「毎回確認」を選択すると、Cookie の記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。 •Cookie とは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に本機に記録する仕組みです。Cookie には、ユーザー情報や接続日時などが記録されます。
スクリプトの有効／無効を設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択 •本機にあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。
認証情報の保存期間を設定する お買い上げ時 ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択
警告メッセージを表示するかどうか設定する お買い上げ時 On	「警告画面表示設定」→「On」／「Off」 •PC サイトブラウザを起動したとき、または Yahoo! ケータイと PC サイトブラウザを切り替えたときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。
ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」 •ブラウザの設定やブックマーク、画面メモなどの保存された情報を初期化できます。
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

テレビの設定

予約時間お知らせに関する設定

共通操作 ■ →「TV」→「設定」→「予約時間お知らせ」

予約通知のアラームを設定する お買い上げ時 On	「アラーム」→「On」／「Off」
予約通知のアラーム音を設定する お買い上げ時 Samsung Tune.mp4	「アラーム音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 • ✉(再生)を押すとファイルが再生されます。
予約通知の音量を設定する お買い上げ時 レベル 3	「音量」→ ◘ で音量を調節 • ✉(再生)を押すと音量を確認できます。
予約時間にバイブレータでお知らせする お買い上げ時 Off	「バイブ」→項目を選択 • ✉(再生)を押すと振動パターンを確認できます。
予約時間にライトでお知らせする お買い上げ時 On	「ライト」→「On」／「Off」
アラームの通知時間を設定する お買い上げ時 1 分前	「アラーム通知時間」→項目を選択
アラームの鳴動時間を設定する お買い上げ時 10 秒	「アラーム鳴動時間」→項目を選択
マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定する お買い上げ時 アラーム音：Off、バイブ：On	「マナーモード時設定」→「アラーム音」／「バイブ」→「On」／「Off」

データ放送に関する設定

共通操作 ■ →「TV」→「設定」→「データ放送」

データ放送の録画内容を設定する お買い上げ時 映像＋データ放送	「録画設定」→項目を選択
データ放送を保存するときの保存先を設定する お買い上げ時 メモリカード優先	「画像保存先設定」→項目を選択
通信接続確認を設定する お買い上げ時 毎回確認	「通信接続確認」→項目を選択
製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 On	「製造番号通知」→「On」／「Off」

放送局データを削除する	「放送局メモリ削除」→項目を選んで [Y!] →「削除」→「はい」 • 全削除する場合は、[Y!] →「全削除」→操作用暗証番号を入力→ [■](OK)→「はい」を選択します。

テレビ画面や音に関する設定

共通操作 [■] →「TV」→「設定」

横画面でディスプレイ最上段に各種お知らせのアイコンを表示するかどうかを設定する **お買い上げ時** Off	「画面設定」→「ピクト表示設定」→「On」/「Off」
横画面の映像を拡大表示するかどうかを設定する **お買い上げ時** 標準	「画面設定」→「横画面表示設定」→項目を選択
縦画面の映像を拡大表示するかどうかを設定する **お買い上げ時** 標準	「画面設定」→「縦画面表示設定」→項目を選択
画面の明るさを設定する **お買い上げ時** レベル 3	「画面設定」→「画面明るさ設定」→ [◎] で明るさを調節
テレビ起動時の画面の向きを設定する **お買い上げ時** 横	「画面設定」→「画面表示設定」→「横」/「縦」
番組に合わせた音質に設定する **お買い上げ時** 通常	「サウンド設定」→「サウンドモード設定」→項目を選択
音声切り替えを設定する **お買い上げ時** 主音声	「サウンド設定」→「音声言語設定」→項目を選択

録画に関する設定

録画の保存先を設定する **お買い上げ時** メモリカード優先	[■] →「TV」→「設定」→「録画保存先設定」→項目を選択

テレビ視聴中の着信・アラームに関する設定

テレビ視聴中の着信・アラームの動作を設定する **お買い上げ時** 音声着信/TVコール着信：着信優先動作、アラーム：アラーム優先	[■] →「TV」→「設定」→「着信時優先動作」→項目を選択→動作を選択 •「着信優先動作」/「アラーム優先」に設定すると、テレビ画面は一時的に中断され、着信画面やアラーム画面が表示されます。 •「着信通知動作」/「アラーム通知」に設定すると、テレビの視聴画面のままで、ディスプレイ最上段に着信やアラームのお知らせが表示され、バイブレータが振動します。電話を受ける場合は [通話] を押します。応答を保留する場合は [保留] を押します。

オートオフに関する設定

共通操作 ■→「TV」→「オートオフ時間設定」

設定時間でテレビが消えるようにする **お買い上げ時** Off	「オートオフ時間設定」→項目を選択
本体を閉じたときにテレビが消えるようにする **お買い上げ時** On	「本体クローズ終了」→「On」/「Off」

カメラの設定

静止画撮影に関する設定

共通操作 ■→カメラ→カメラ→Y!→🔧→「設定」

画質を設定する **お買い上げ時** スーパーファイン	「画質設定」→項目を選択
ISO を設定する **お買い上げ時** 自動	「ISO」→項目を選択
測光モードを設定する **お買い上げ時** 中央部重点測光	「測光」→項目を選択
撮影効果を設定する **お買い上げ時** 効果なし	「撮影効果」→項目を選択
自動保存を設定する **お買い上げ時** On(プレビュー手動)	「撮影設定」→「自動保存設定」→「On(プレビュー off)」/「On(プレビュー 2 秒)」/「On(プレビュー手動)」/「Off」 •「On(プレビューoff)」:撮影後自動で保存されます。保存後、画像のプレビューは表示されず、すぐに撮影画面に戻ります。 •「On(プレビュー 2 秒)」:撮影後自動で保存されます。保存後、画像のプレビューが 2 秒間だけ表示され、その後、撮影画面に戻ります。 •「On(プレビュー手動)」:撮影後自動で保存されます。保存後、画像のプレビューが表示されます。 •「Off」:撮影するたびに保存するかどうかを操作します。撮影をやり直す場合は、CLEAR を押します。保存するときは、■(保存)を押します。

保存先を設定する お買い上げ時 メモリカード優先	「撮影設定」→「保存先設定」→項目を選択 •メモリカードを取り付けているときのデータの保存先を設定できます。 •メモリカードが取り付けられていないときに、「メモリカード優先」／「デジタルカメラ優先」／「本体」／「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に本機になります。
グリッド線の表示を設定する お買い上げ時 Off	「撮影設定」→「補助グリッド」→「On」／「Off」
顔リンク表示を設定する お買い上げ時 Off	「撮影設定」→「顔リンク表示」→「On」／「Off」 •「On」に設定して撮影後に顔が認識されると、顔リンクで登録された名前が表示されます。
シャッター音を設定する お買い上げ時 パターン1	「撮影設定」→「シャッター音」→項目を選択
タイマー音を設定する お買い上げ時 パターン1	「撮影設定」→「タイマー音」→項目を選択

動画撮影に関する設定

共通操作 ■→カメラ→ビデオカメラ→Y!→🔧→「設定」

画質を設定する お買い上げ時 スーパーファイン	「画質設定」→項目を選択
撮影効果を設定する お買い上げ時 効果なし	「撮影効果」→項目を選択
録音するかどうか設定する お買い上げ時 On	「録音設定」→「On」／「Off」
自動保存を設定する お買い上げ時 On	「撮影設定」→「自動保存設定」→「On」／「Off」
保存先を設定する お買い上げ時 メモリカード優先	「撮影設定」→「保存先設定」→項目を選択 •メモリカードを取り付けていないときは、自動的に本機に保存されます。
グリッド線の表示を設定する お買い上げ時 Off	「撮影設定」→「補助グリッド」→「On」／「Off」
シャッター音を設定する お買い上げ時 パターン1	「撮影設定」→「シャッター音」→項目を選択
タイマー音を設定する お買い上げ時 パターン1	「撮影設定」→「タイマー音」→項目を選択

メディアプレイヤーの設定

ミュージックに関する設定

共通操作 ■ →「メディア」→「設定」→「ミュージック設定」

再生パターンを設定する お買い上げ時 全曲リピート	「再生パターン」→項目を選択 • 1 ファイルを繰り返し再生したり、すべてのミュージックやプレイリスト内のすべてのファイルを繰り返し再生するように設定できます。
シャッフル再生をするかどうか設定する お買い上げ時 Off	「シャッフル」→「On」／「Off」
サウンドエフェクトを設定する お買い上げ時 Off	「サウンドエフェクト」→項目を選択
3D サウンドを設定する お買い上げ時 Off	「3D サウンド」→「On」／「Off」

ムービーに関する設定

共通操作 ■ →「メディア」→「設定」→「ムービー設定」

再生パターンを設定する お買い上げ時 全ファイルリピート	「再生パターン」→項目を選択 • 1 ファイルを繰り返し再生したり、すべてのムービーやプレイリスト内のすべてのファイルを繰り返し再生するように設定できます。
シャッフル再生をするかどうか設定する お買い上げ時 Off	「シャッフル」→「On」／「Off」
バックライトを設定する お買い上げ時 常時 On	「バックライト」→項目を選択
縦画面の表示サイズを設定する お買い上げ時 240 × 180	「画面設定」→「縦画面表示設定」→項目を選択
ムービー起動時の画面表示を設定する お買い上げ時 横	「画面設定」→「画面表示設定」→項目を選択
プレビュー表示を設定する お買い上げ時 On	「画面設定」→「プレビュー表示」→「On」／「Off」
リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する お買い上げ時 On	「リンク接続事前確認」→「On」／「Off」 •「On」に設定すると、リンク情報を持ったファイルの再生終了後にリンク先に接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。

エンタテイメントの設定

S! 情報チャンネルに関する設定

共通操作 ■ →「ニュース／エンタメ」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「設定」

お天気アイコンを表示するかどうか設定する お買い上げ時 On	「表示設定」→「On」／「Off」
お天気アイコンが更新されたときに通知するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「インフォメーション表示設定」→「On」／「Off」
お天気アイコンを自動的に更新するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「自動更新」→「On」／「Off」

S! アプリに関する設定

共通操作 ■ →「S! アプリ」→「S! アプリ設定」

S! アプリの音量を設定する お買い上げ時 レベル 3	「音量」→ ◎ で音量を調節
ディスプレイのバックライトを設定する お買い上げ時 通常設定に従う	「バックライト設定」→「常に On」／「常に Off」／「通常設定に従う」 •「通常設定に従う」に設定すると、「ディスプレイ設定」の「バックライト」(➔P.14-7)の設定に従います。
S! アプリのバイブレータの有効／無効を設定する お買い上げ時 On	「バイブ設定」→「On」／「Off」
S! アプリ中の着信／アラーム／ S! アプリ開始要求の動作を設定する お買い上げ時 音声着信／ TV コール着信：着信優先動作、アラーム：アラーム優先、S! アプリ開始要求：着信通知	「着信時優先動作」→項目を選択→動作を選択 •「着信優先動作」／「アラーム優先」／「着信優先」に設定すると、S! アプリは一時停止になり、着信画面やアラーム画面、S! アプリ開始要求画面が表示されます。 •「着信通知動作」／「アラーム通知」／「着信通知」に設定すると、S! アプリ画面のままで、ディスプレイ最上段に着信やアラームのお知らせが表示されます。電話を受ける場合は ☎ を押します。応答を保留するときは ☎ を押します。 •「音声着信」を「着信通知動作」に設定している場合でも、簡易留守録を設定しているときは、応答時間を経過したあと簡易留守録が起動し、S! アプリが一時停止されます。
S! アプリの設定をリセットする	「S! アプリ設定リセット」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」

セキュリティの設定

共通操作 ■→「設定」→「セキュリティ設定」

電源 On 時ロックを設定する **お買い上げ時** Off	「電源 On 時ロック」→「On」／「Off」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)
キー操作ロックを設定する **お買い上げ時** Off	「キー操作ロック」→「On」／「Off」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)
操作用暗証番号を変更する **お買い上げ時** 9999	「暗証番号変更」→現在の操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→新しい操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→もう一度新しい操作用暗証番号を入力→ ■(OK)
機能別ロックを設定する **お買い上げ時** 全てロック解除しました	「機能別ロック」→項目をチェック→ ✉(保存)→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)
シークレットモードを設定する **お買い上げ時** 表示しない	「シークレットモード」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→項目を選択
USIM 照合を設定する **お買い上げ時** Off	「USIM 照合」→「On」／「Off」→ USIM パスワード(4 ～ 8 桁の任意の番号)を入力→ ■(OK)→必要に応じてもう一度 USIM パスワードを入力→ ■(OK)
PIN 認証を設定する **お買い上げ時** Off	「PIN 認証」→「On」／「Off」→ PIN コードを入力→ ■(OK)
PIN コードを変更する	「PIN 変更」→現在の PIN コードを入力→ ■(OK)→新しい PIN コードを入力→ ■(OK)→もう一度新しい PIN コードを入力→ ■(OK) • PIN コードを変更する場合には、「PIN 認証」を「On」にします。
PIN2 コードを変更する	「PIN2 変更」→現在の PIN2 コードを入力→ ■(OK)→新しい PIN2 コードを入力→ ■(OK)→もう一度新しい PIN2 コードを入力→ ■(OK)
データフォルダのサブフォルダにシークレットモード設定をする **お買い上げ時** 表示しない	「シークレットデータフォルダ」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→項目を選択
電話帳やメールなどを消去する	「リセット」→「オールリセット」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」
設定をリセットする	「リセット」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」
モバイルトラッカーを設定する **お買い上げ時** Off	「モバイルトラッカー」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「設定」→「On」→「宛先」→ To 欄を選択→「電話帳」／「直接入力」→電話帳を検索し、選択／電話番号を入力→ ✉(完了)→「送信者」→送信者名を入力→ ✉(保存)

メモリの設定

共通操作 ■ →「設定」

メモリカードの詳細情報を確認する	「メモリ設定」→「メモリカード」 • メモリカードの名前、メモリ容量、メモリ残量を確認できます。
メモリカードの表示名を編集する	「メモリ設定」→「メモリカード」→「名前」→名前を入力
メモリカードをフォーマット(初期化)する	「メモリ設定」→「メモリカード」→ ✉(初期化)→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」
本機のメモリの詳細情報を確認する	「メモリ設定」→「本体」 • 本機のメモリ容量、メモリ残量を確認できます。
本機のメモリを消去する	「メモリ設定」→「本体」→ ✉(消去)→項目をチェック→ ✉(消去)→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「はい」
メモリ容量を確認する	「メモリ設定」→「メモリ容量確認」→項目を選択 • 「データフォルダ」を選択した場合は、「本体メモリ」/「メモリカード」を選択します。 • 確認したメモリを削除するには✉(削除)を押します(➔P.12-14 登録/保存した内容を削除してメモリを整理したい)。
メモリのバックアップをとる	「メモリカード保存・読込み」→「メモリカードへ保存」→「はい」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→項目を選択→「はい」
メモリを自動でバックアップする周期を設定する	「メモリカード保存・読込み」→「自動バックアップ」→「バックアップ周期」→「周期」→「毎週」/「毎月」→曜日を選択/日付を入力→「開始時間」→開始時間を入力 • メモリの自動バックアップを解除するには、「周期」を選択後、「Off」を選択します。
メモリを自動でバックアップする項目を設定する お買い上げ時 全件	「メモリカード保存・読込み」→「自動バックアップ」→「バックアップ項目」→バックアップする項目をチェック→ ✉(保存)
メモリを自動でバックアップする項目に暗号設定をする お買い上げ時 On	「メモリカード保存・読込み」→「自動バックアップ」→「暗号設定」→項目を選択→「On」/「Off」
バックアップしたデータから復元する	「メモリカード保存・読込み」→「メモリカードから読込み」→「はい」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→「選択項目」→項目を選択→ファイルを選択→「追加」/「上書き」

データの保存先を本機／メモリカードに指定する お買い上げ時 メモリカード優先	「外部接続」→「保存先設定」→項目を選択 • メモリカードを取り付けているときのデータの保存先を、本機またはメモリカードのどちらにするかを設定できます。画像編集時、S! メールの添付ファイル保存時、情報画面からのファイルダウンロード時などのデータが対象になります。 • メモリカードが取り付けられていないときに、「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に本機になります。

外部接続の設定

赤外線通信に関する設定

共通操作 ■ →「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」

赤外線通信で受信する	「受信」
オーナーの情報を転送する	「オーナー情報送信」
ファイルを送信する	「ファイル送信」→データフォルダを選択→ファイルをチェック→ ✉(送信)
データを一括送信する	「全件データ送信」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→項目を選択→認証コード(4 桁)を入力→ ■(OK) • 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

USB 接続に関する設定

カードリーダーモードを起動する	■ →「設定」→「外部接続」→「カードリーダーモード」→「はい」→操作用暗証番号を入力→ ■(OK)→パソコンからデータを読み書き • あらかじめ、本機とパソコンを USB ケーブルで接続してから操作します。

ネットワークに関する設定

共通操作 ■ →「設定」→「ネットワーク設定」

ネットワーク自動調整を手動で行う	「ネットワーク自動調整」→「はい」／「いいえ」
優先されたネットワークを探す	「電波サーチ」→「はい」／「いいえ」

資料／付録

15

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処置
電源が入らない	電池切れになっていませんか？	電池パックを交換するか充電してください。
	電池パックが本機に装着されていますか？	正しく装着してください。
電源を入れるとPINコードの入力画面が表示される	「PIN認証」が「On」に設定されていませんか？	「PIN認証」が「On」に設定されているときは、画面の指示に従ってPINコードを入力してください。
電源を入れるとUSIMパスワードの入力画面が表示される	「USIM照合」が「On」に設定されていませんか？	「USIM照合」が「On」に設定されているときは、USIMパスワードを入力してください。
電源を入れたときや機能の操作時に「USIM未挿入です。」、「USIMが正しくありません」、「USIMエラーです」と表示される	USIMカードは正しく取り付けられていますか？	USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。
	USIMカードのデータ読込み中ではありませんか？	しばらくたってから操作し直してください。
電源を入れたときや機能の操作時に「USIM未挿入です。」、「USIMが正しくありません」、「USIMエラーです」と表示される	違ったUSIMカードをお使いではありませんか？	正しいUSIMカードであることを確認してください。当社で指定されたUSIMカードを使用してください。
	USIMカードのIC部分に指紋などの汚れがついていませんか？	乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。
「圏外」または「OUT」が表示され、電話がかけられない	サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
通話が途切れたり、切れたりする	「圏外」または「OUT」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
	電池切れになっていませんか？	電池パックを交換するか充電してください。
電話がかけられない	発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか？	発信の規制を停止してください。
	電波Offモードが設定されていませんか？（「」表示）	「電波Offモード」を「Off」に設定してください。

症状	確認すること	処置
電話帳、データフォルダ、通話履歴、カレンダー、メモ帳、予定リスト、Yahoo! ケータイやメールの各種の機能が呼び出せない	「機能別ロック」が設定されていませんか？	「機能別ロック」を解除してください。
通話中に「プチッ」と音が入る	－	電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。
充電できない	ACアダプタの接続コネクターが本機に確実に差し込まれていますか？	確実に差し込んでください。
	ACアダプタのプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？	確実に差し込んでください。
	電池パックが本機に取り付けられていますか？	正しく取り付けてください。
	本機および電池パックの充電端子やACアダプタの接続コネクター、本機の外部接続端子が汚れていませんか？	乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

症状	確認すること	処置
充電できない	周囲の温度が5℃より低い場所または40℃を超える場所で充電していませんか？	周囲の温度が5～40℃の範囲内で充電してください。
	電池パックに異常はありませんか？	新しい電池パックに交換してください。
	充電を繰り返しても、十分に充電できませんか？	電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。
	充電中に本機や電池パックの温度が上昇していませんか？	温度が上昇すると充電を中断することがあります。本機や電池パックが冷めてから、充電し直してください。
熱くなる	充電中に、ACアダプタが発熱することがあります。	手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合はただちに充電、使用を中止してお問い合わせ先（➔P.15-32）までご連絡ください。
	充電したり、長時間通話をすると本機が発熱することがあります。	
電池の消費が早い	使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。	適切な環境下でご使用のうえ、電池の消費が早い機能の使用を控えてください（➔P.1-8）。

症状	確認すること	処置
テレビが視聴できない	USIMカードを取り外していませんか？	USIMカードが取り付けられていないときは視聴できません。USIMカードを取り付けてください。
	ご契約を解除されましたか？	テレビの視聴は、ご契約中のみとなります。
ディスプレイの表示がちらつく	蛍光灯の近くで使用していませんか？	蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。
ディスプレイの表示が暗くなったり消えたりする	－	ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。暗くなったり消えたりするまでの時間はバックライトの設定で変更できます。
スピーカーで音楽が再生できない	「マナーモード」が設定されていませんか？	「マナーモード」を解除してください。
	イヤホンマイク（オプション品）を接続していませんか？	イヤホンマイク（オプション品）の接続コネクターを本機から抜いてください。
「これ以上起動できません」と表示された	多くの機能を一度に起動しています。	いくつかの機能を終了してください。

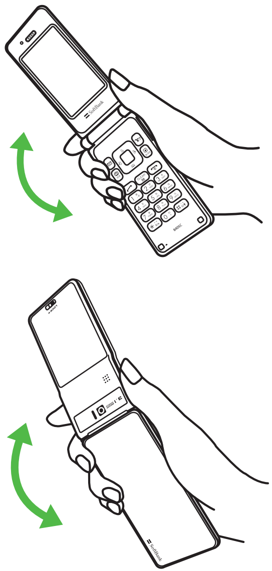
症状	確認すること	処置
Samsung New PC Studioを利用してUSB通信ができない	USBドライバはインストールされていますか？（USB通信の場合）	USBケーブルでパソコンと接続して通信する場合は、ドライバのインストールが必要です。SAMSUNGホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/840download.html）から「USB Driver Installer」をダウンロードして、ドライバのインストールを行ってください。
	パソコン側で接続方法が正しく設定されていますか？	ご利用になる通信に合わせて、Samsung New PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードで接続方法を「USB」に設定してください。
	パソコン側のUSBの接続ポートがSamsung New PC Studioで設定しているポートと同じですか？	Samsung New PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードでポートを合わせてください。

症状	確認すること	処置
電話帳やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストなどが表示されない	セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていませんか？	セキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」に設定してください。
	各機能のシークレット設定を有効にしていませんか？	表示したい画面で Y! から「シークレット一時解除」を選択してください。
サブフォルダが表示されない	セキュリティ設定のシークレットデータフォルダが「表示しない」に設定されていませんか？	セキュリティ設定のシークレットデータフォルダを「表示する」に設定してください。
	各機能のシークレット設定を有効にしていませんか？	表示したい画面で Y! から「シークレット一時解除」を選択してください。
「メール送信できませんでした」と表示された	メールが送信できなかったときに、その理由とあわせて表示されます。	送信できなかった理由を確認し、送信できる状態になってから送信してください。
「サービスは許可されていません」と表示された	3G サービスエリア外から送信しようとしたときに表示されます。	サービスエリア内から送信してください。
「電波 Off モードに設定されています」と表示された	電波 Off モード中に電話やメール送信しようとしたときに表示されます。	電波 Off モードを「Off」に設定してください（➔P.1-13）。
「保存領域が＊＊バイト不足しています。データフォルダ内のファイルを整理しますか？」と表示された	本機のメモリがいっぱいです。	不要なファイルを消去してから、やり直してください。
「ダウンロードできません。コンテンツが不正です。」と表示された	－	本機ではダウンロードできないデータです。ダウンロードを中止してください。
イヤホンマイク（オプション品）から発信できない	「イヤホン通話」の設定が「Off」になっていませんか？	「イヤホン通話」に指定先の電話番号を登録しても、「イヤホン通話」が「Off」に設定されているときは発信できません。「イヤホン通話」を「On」に設定してください（➔P.14-12）。

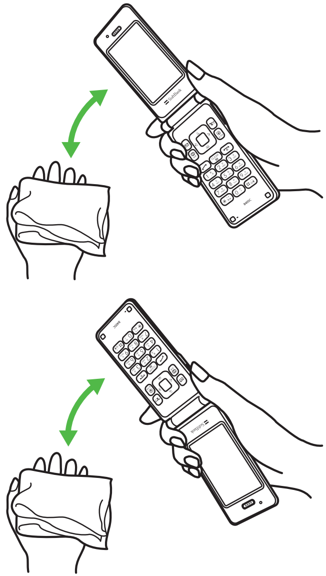
水抜きのしかた

水に濡れたあとは、必ず水抜きと乾燥を行ってください。

1. 本機の表面を乾いたきれいな布でふく
2. 本機をしっかりと持ち、20 回程度振って十分に水抜きを行う



3. 乾いたきれいな布を本機の隙間部（マイク、レシーバー、スピーカー部など）に押し当ててふき取る

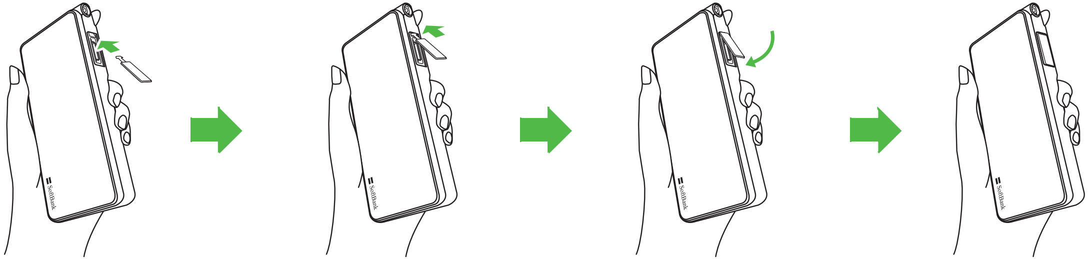


4. 常温で 2 ～ 3 時間放置して十分に乾燥させる

端子キャップの取り付けかた

端子キャップは、取り付けたり、取り外すことが可能です。端子キャップが外れたときは、端子キャップを取り付けてください。

1 以下の手順で取り付ける



ソフトウェアを更新する

本機のソフトウェアを更新する必要があるかどうかを確認し、必要な場合は通信を利用して最新のソフトウェアに更新できます。

1 ■ →「ツール」→「便利ツール」→「ソフトウェア更新」

2 「ソフトウェア更新」→ ✉(YES)

- ✉(YES)を押すと、ネットワークに接続します。

3 「今すぐ更新」

- 「今すぐ更新」を選択する前に、「ご利用規約を読む」を選択し、規約をよくお読みください。

4 ■(OK)

- ソフトウェア更新が実行されます。更新が完了すると、本機が再起動し、完了通知画面が表示されます。



- 操作のご案内については、ソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)からもご確認いただけます。
- 確認や更新に通信料はかかりません。

注意

- 電池が十分に残っている状態で更新を行ってください。更新中に電池残量が少なくなると、更新が失敗することがあります。
- 更新時に圏外になった場合は、ソフトウェア更新は行われません。
- 電波の状態が良好な場所で移動せずにご利用ください。
- 本機に保存されているデータを残したまま更新が行われますが、万一に備えてバックアップやメモなどをとることをおすすめします。データが消失した場合の損害につきましては当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 更新中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 更新が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 更新に失敗して本機が使用できなくなった場合は、ソフトバンクの故障受付(➲P.15-32)にご相談ください。
- ソフトウェア更新後に再起動しなかった場合、電池パックをいったん取り外したあと、再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ソフトバンクの故障受付(➲P.15-32)にご相談ください。

機能一覧

メインメニュー

待受画面で ■ を押して表示されるメインメニューです。

メインメニュー／中項目	参照先
メール	
受信ボックス	P.4-12
新規作成	P.4-3
新着メール受信	P.4-8
下書き	P.4-12
テンプレート	P.4-12
送信済みボックス	P.4-12
未送信ボックス	P.4-12
サーバーメール操作	P.4-27
SMS 新規作成	P.4-6
設定	P.14-13
メモリ容量確認	P.4-28
Yahoo!	
Yahoo! ケータイ	P.5-3
メニューリスト	P.5-3
ブックマーク	P.5-8
画面メモ	P.5-9
最新閲覧画面	P.5-4
Web 検索	P.5-10
URL 入力	P.5-4

メインメニュー／中項目		参照先
Yahoo!		
	閲覧履歴	P.5-4
	PC サイトブラウザ	P.5-5
	設定	P.14-18
S! アプリ		
	S! アプリ ライブラリ	P.9-3
	S! アプリ設定	P.14-26
	S! アプリ開始要求履歴	P.9-3
ニュース／エンタメ		
	S! 情報チャンネル／お天気	P.9-5
	S! 速報ニュース	P.9-3
	無料コンテンツ	P.9-5
	S! コンテンツストア	P.9-5
	S! 電話帳バックアップ	P.13-8
カメラ		
	カメラ	P.7-6
	ビデオカメラ	P.7-11
	バーコードリーダー	P.10-9
	ダイナミックエフェクト	P.7-12
	フォトアルバム	P.7-12
メディア		
	ミュージック	P.8-4
	ムービー	P.8-7
	ストリーミング	P.5-8
	設定	P.14-25

メインメニュー／中項目			参照先
ツール			
	生活ツール		
		アラーム	P.10-3
		カレンダー	P.10-4
		予定リスト	P.10-6
		UV チェッカー	P.10-7
		フォトアルバム	P.7-12
		ストップウォッチ	P.10-7
		世界時計	P.10-7
		おやすみタイマー	P.10-8
	便利ツール		
		電卓	P.10-8
		メモ帳	P.10-9
		バーコードリーダー	P.10-9
		赤外線通信	P.13-3
		通貨・単位換算	P.10-11
		割り勘ツール	P.10-12
		ボイスレコーダー	P.10-12
		ドキュメントビューア	P.10-13
		見せかけ着信	P.10-14
		辞書	P.10-15
		ソフトウェア更新	P.15-8

メインメニュー／中項目		参照先
データフォルダ		
	ピクチャー	P.12-2
	デジタルカメラ	P.12-2
	マイ絵文字	P.12-2
	デコレメピクチャー	P.12-2
	着うた・メロディ	P.12-2
	S! アプリ	P.12-2
	ミュージック	P.12-2
	ムービー	P.12-2
	ブック	P.12-2
	デコレメールテンプレート	P.12-2
	Flash®	P.12-2
	着信音 Flash®	P.12-2
	その他ファイル	P.12-2
	メモリ容量確認	P.12-10
赤外線		
	受信	P.13-4
	オーナー情報送信	P.14-29
	ファイル送信	P.14-29
	全件データ送信	P.13-3

メインメニュー／中項目	参照先
TV	
TV 視聴	P.6-4
番組表	P.6-5
TV リンク	P.6-6
TV プレイヤー	P.6-8
録画／視聴予約	P.6-9
設定	P.14-21
電話機能	
電話帳	P.2-17
新規登録	P.2-15
通話履歴	P.3-11
簡易留守録再生	P.3-9
留守番電話再生	P.3-17
オーナー情報	P.1-11
グループ設定	P.2-22
お気に入り	P.3-7
メールグループ	P.4-14
S! 電話帳バックアップ	P.13-8
設定	P.14-13
メモリ容量確認	P.14-28

メインメニュー／中項目	参照先
設定	
音・バイブ・ライト	P.14-4
ディスプレイ設定	P.14-5
一般設定	P.14-2
メニュー切替	P.2-4
セキュリティ設定	P.14-27
通話設定	P.14-7
マナーモード設定	P.14-7
外部接続	P.14-29
ネットワーク設定	P.14-30
メモリ設定	P.14-28
メモリカード保存・読込み	P.14-28

シンプルモードメニュー

簡単メニュー設定時に、待受画面で ■ を押して表示されるメインメニューです。

メインメニュー／中項目	参照先
メール	
受信ボックス	P.4-12
新規作成	P.4-3
下書き	P.4-12
テンプレート	P.4-12
送信済みボックス	P.4-12
未送信ボックス	P.4-12
SMS 新規作成	P.4-6
設定	P.14-13
Yahoo!	
Yahoo! ケータイ	P.5-3
メニューリスト	P.5-3
ブックマーク	P.5-8
画面メモ	P.5-9
最新閲覧画面	P.5-4
Web 検索	P.5-10
閲覧履歴	P.5-4
設定	P.14-18
カレンダー	P.10-4

メインメニュー／中項目		参照先
ツール		
	アラーム	P.10-3
	電卓	P.10-8
	メモ帳	P.10-9
	予定リスト	P.10-6
	フォトアルバム	P.7-12
	割り勘ツール	P.10-12
	バーコードリーダー	P.10-9
	赤外線通信	P.13-3
	ミュージック	P.8-4
	ムービー	P.8-7
	ボイスレコーダー	P.10-12
	ストップウォッチ	P.10-7
カメラ		
	カメラ	P.7-6
	ビデオカメラ	P.7-11
	バーコードリーダー	P.10-9
	フォトアルバム	P.7-12
データフォルダ		
	ピクチャー	P.12-2
	デジタルカメラ	P.12-2
	マイ絵文字	P.12-2
	デコレメピクチャー	P.12-2
	着うた・メロディ	P.12-2

メインメニュー／中項目		参照先
データフォルダ		
	S! アプリ	P.12-2
	ミュージック	P.12-2
	ムービー	P.12-2
	ブック	P.12-2
	デコレメールテンプレート	P.12-2
	Flash®	P.12-2
	着信音 Flash®	P.12-2
	その他ファイル	P.12-2
	メモリ容量確認	P.12-10
TV		
	TV 視聴	P.6-4
	TV プレイヤー	P.6-8
	録画／視聴予約	P.6-9
	設定	P.14-21
電話機能		
	電話帳	P.2-17
	新規登録	P.2-15
	通話履歴	P.3-11
	簡易留守録再生	P.3-9
	留守番電話再生	P.3-17
	オーナー情報	P.1-11

メインメニュー／中項目		参照先
電話機能		
	お気に入り	P.3-7
	メールグループ	P.4-14
	設定	P.14-13
設定		
	音・バイブ・ライト	P.14-4
	ディスプレイ設定	P.14-5
	一般設定	P.14-2
	メニュー切替	P.2-4
	セキュリティ設定	P.14-27
	通話設定	P.14-7
	マナーモード設定	P.14-7
	外部接続	P.14-29
	メモリ設定	P.14-28
	メモリカード保存・読込み	P.14-28

各モードのお買い上げ時の設定

お買い上げ時に、各モードに設定されている音量や着信音などを次の表に示します。
各モードの音声電話や TV コール、メールを受けたときの着信設定を変更できます（➔P.14-7）。

設定項目＼モード	通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
音量					
音声着信	レベル 3	–	–	Off	レベル 5
TV コール着信	レベル 3	–	–	Off	レベル 5
メール着信	レベル 3	–	–	Off	レベル 5
着信お知らせ機能	レベル 3	–	–	Off	レベル 5
S! 速報ニュース	Off	–	–	Off	Off
配信確認	レベル 3	–	–	Off	レベル 5
操作音	レベル 3	–	–	Off	レベル 5
着信音（着信音選択：鳴動時間）					
音声着信	Samsung Tune	–	–	Samsung Tune	Samsung Tune
TV コール着信	Samsung Tune	–	–	Samsung Tune	Samsung Tune
メール着信	Samsung Tune：5 秒	–	–	Samsung Tune：5 秒	Samsung Tune：5 秒
着信お知らせ機能	BusinessTone：5 秒	–	–	BusinessTone：5 秒	BusinessTone：5 秒
S! 速報ニュース	BusinessTone：5 秒	–	–	BusinessTone：5 秒	BusinessTone：5 秒
配信確認	BusinessTone：5 秒	–	–	BusinessTone：5 秒	BusinessTone：5 秒
バイブ					
音声着信	Off	パターン 1	–	Off	Off
TV コール着信	Off	パターン 1	–	Off	Off
メール着信	Off	パターン 1	–	Off	Off
着信お知らせ機能	Off	パターン 1	–	Off	Off
S! 速報ニュース	Off	Off	–	Off	Off
配信確認	Off	パターン 1	–	Off	Off
操作音※1					
ボタン確認音	Off	–	–	Off	Off
効果音	個別設定 On	通話中イベント通知	–	通話中イベント通知	個別設定 On

設定項目 ＼ モード			通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
着信ライト							
	着信時ライト						
		音声着信	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4
		TV コール着信	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4
		メール着信	パターン 1	パターン 1	パターン 1	パターン 1	パターン 1
		着信お知らせ機能	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4
		S! 速報ニュース	パターン 3	パターン 3	パターン 3	パターン 3	パターン 3
		アラーム	パターン 2	パターン 2	パターン 2	パターン 2	パターン 2
		配信確認	パターン 1	パターン 1	パターン 1	パターン 1	パターン 1
	通知ライト						
		不在着信	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4
		メール着信	パターン 3	パターン 3	パターン 3	パターン 3	パターン 3
		簡易留守録	パターン 3	パターン 3	パターン 3	パターン 3	パターン 3
		着信お知らせ機能	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4	パターン 4
		アラーム※2	パターン 2	パターン 2	パターン 2	パターン 2	パターン 2
		配信確認	パターン 1	パターン 1	パターン 1	パターン 1	パターン 1
	端末閉時ライト		パターン 2	パターン 2	パターン 2	パターン 2	パターン 2
簡易留守録			Off	Off	—※3	Off	Off

※ 1 マナーモードでは「効果音」の設定となります。「操作音」の設定はありません。
※ 2 見逃してしまったスケジュール（➔P.10-4）または予定リスト（➔P.10-6）をお知らせする通知ライトについての設定です（通常のアラーム（➔P.10-3）や、スケジュール・予定リストのアラーム動作時のライトの設定ではありません）。
※ 3「運転中モード」に設定すると、自動的に簡易留守録が「On」に設定されます。

文字入力用ボタン一覧

1 つのボタンには複数の文字が割り当てられています。文字を入力するには、目的の文字が表示されるまでボタンを繰り返し押します。
TV を押すと、入力モードを切り替えられます。
* は濁点を付けるなどの機能が、# には全角記号／半角記号入力モードへの切り替えなどの機能が割り当てられています。

<table>
<tr><th>ボタン</th><th>漢字／かな</th><th>カタカナ（全角／半角）</th><th>英字（全角／半角）</th><th>数字（全角／半角）</th></tr>
<tr><td>1</td><td>あいうえおぁぃぅぇぉ 1</td><td>アイウエオァィゥェォ 1</td><td>.@-_/:(˜ 全角のときは「～」) 1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>かきくけこ 2</td><td>カキクケコ 2</td><td>ABCabc2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>さしすせそ 3</td><td>サシスセソ 3</td><td>DEFdef3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>たちつてとっ 4</td><td>タチツテトッ 4</td><td>GHIghi4</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>なにぬねの 5</td><td>ナニヌネノ 5</td><td>JKLjkl5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>はひふへほ 6</td><td>ハヒフヘホ 6</td><td>MNOmno6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>まみむめも 7</td><td>マミムメモ 7</td><td>PQRSpqrs7</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>やゆよゃゅょ 8</td><td>ヤユヨャュョ 8</td><td>TUVtuv8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>らりるれろ 9</td><td>ラリルレロ 9</td><td>WXYZwxyz9</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>わをんー <スペース>0</td><td>ワヲンー <スペース>0</td><td>' <スペース>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>*</td><td colspan="2">•濁点あり／半濁点あり／濁点なしの変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ）
•大小変換可能な文字の変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ）</td><td>•大文字／小文字の変換（英字入力時、文字の決定前で、変換可能な場合のみ）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>#</td><td colspan="2">、。！？<改行></td><td>,.!?<改行></td><td>#</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">•1 つ前の割り当て文字の表示（文字の決定前のみ）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>TV</td><td colspan="4">•入力モードの切り替え</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">•絵文字／記号／顔文字入力モードへの切り替え</td></tr>
</table>

記号一覧

全角記号

↵、。，．！？・：； ゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝ ゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼ ～∥｜…‥‘’“”（） 〔〕［］｛｝〈〉《》「	」『』【】＋－±×÷＝ ≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′ ″℃￥＄￠￡％＃＆＊＠ §☆★○●◎◇◆□■△ ▲▽▼※〒→←↑↓〓∈
∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒ ⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪ ≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭ ♪†‡¶◯ゎゐゑヮヰヱ ヴヵヶΑΒΓΔΕΖΗΘ	ΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤ ΥΦΧΨΩαβγδεζ ηθικλμνξοπρ στυφχψωАБВГ ДЕЁЖЗИЙКЛМН
ОПРСТУФХЦЧШ ЩЪЫЬЭЮЯабвг деёжзийклмн опрстуфхцчш щъыьэюя─│┌	┐┘└├┬┤┴┼━┃┏ ┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨ ┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ
ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶ ㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞ ㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤ ㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼∮ ∑∟⊿	

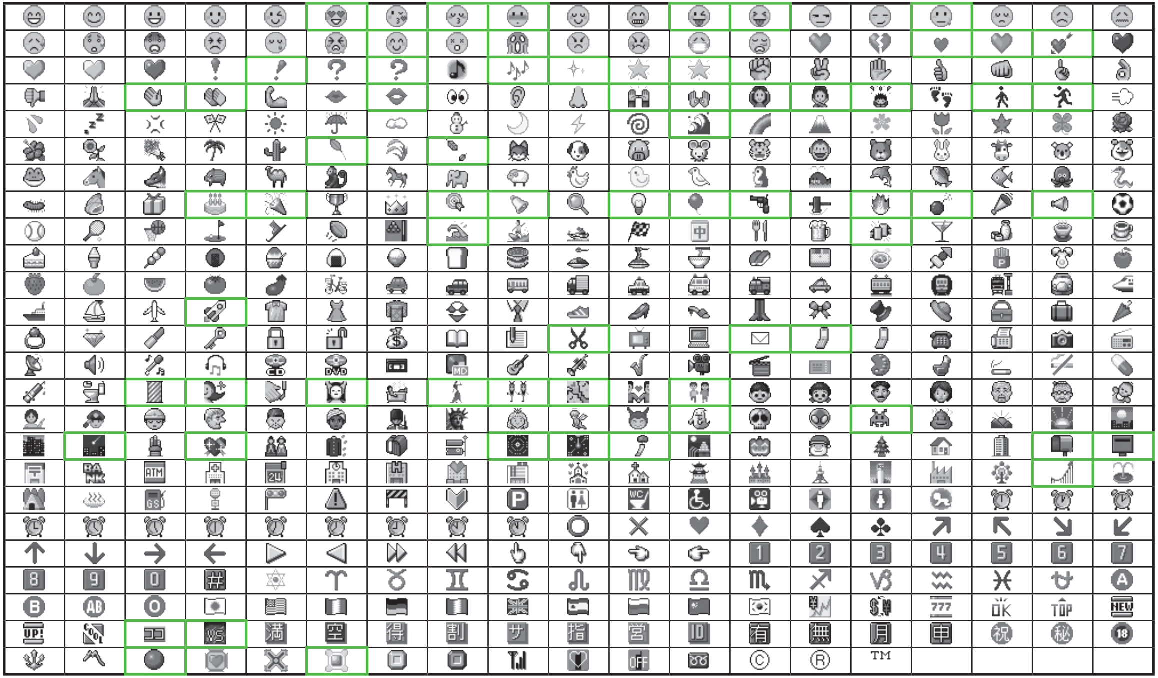
半角記号

↵､｡!?"#$%&'()*+,-./:;
<=>@[¥]^_`{|}~｢｣･ｰﾞﾟ

変換記号

記号名（入力文字）	記　号	記号名（入力文字）	記　号
あっと	＠ @	こめ	※
いこーる	＝ =	ころん	：；
えん	￥¥	さんかく	△▲▽▼
おんぷ	♪	しかく	◇◆□■
かける	×	どう	ヽ〃仝々
かっこ	()「」『』【】〈〉 []‘’“”（） 〔〕［］｛｝ 〈〉《》	ぱーせんと	%％
		ほし	☆★
		まる	○●◎
から	～	やじるし	→←↑↓

絵文字一覧



- ［　　］部分の絵文字は動く文字です。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のソフトバンク携帯電話の機種により表示されない場合があります。

メモリ容量一覧

本機に保存されるS!メールおよびSMSの合計数またはデータ容量	受信ボックス	最大1000件、または最大10Mバイト
	下書き	最大20件、または最大3Mバイト
	送信済みボックス	最大500件、または最大5Mバイト
	未送信ボックス	最大20件、または最大3Mバイト
SMS	USIMカード内	最大10件
データフォルダ	ピクチャー	各フォルダにつき最大999件(ファイルおよびサブフォルダの合計数)、または最大200Mバイト
	マイ絵文字	
	デコレメピクチャ	
	着うた・メロディ	
	S!アプリ	
	ミュージック	
	ムービー	
	ブック	
	デコレメールテンプレート	
	Flash®	
	着信音Flash®	
	その他ファイル	
カレンダー/予定リスト	最大500件	
メモ帳	最大100件	
電話帳	本機内	最大1000件
	USIMカード内	最大50件

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

SoftBank　840SC

項　目	仕　様
質量	約120.8g
連続通話時間	3G音声電話:約240分 3G TVコール:約130分
連続待受時間(ディスプレイ消灯時)	3Gネットワーク:約400時間
サイズ(W×H×D)	約50.0×109.95×15.4 ㎜
最大出力	0.25 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用(Yahoo!ケータイの操作など)が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 待受画面などに動きのある画像を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。
- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、本機を閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待受の組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。連続通話時間ならびに連続待受時間は、使用環境(充電状態、気温など)によって変動することがあります。

使用材料、表面処理

使用箇所	使用材料、表面処理
外装ケース（上部）	PC ／ SPRAY
外装ケース（下部）	PC ＋ GF20%（STS INSERT）／ SPRAY
外装ケース（表面）	PC ＋ GF20%／ SPRAY
外装ケース（裏面）	PC ＋ GF20%／ SPRAY
上部の飾り部分	PC ／ SPRAY
ボタン操作面	PC ／ SPRAY
サイドキー部分	PC+ ポリウレタン／ SPRAY
電池カバー	PC+GF20%／ SPRAY

電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	880mAh
サイズ（W × H × D）	約 36.0 × 43.6 × 5.5 ㎜（突起部を含まず）

電話帳

項目／内容	登　録
名前：姓	
全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）	840SC 本体：○（50 バイトまで）
	USIM カード：○※1
名前：名	
全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）	840SC 本体：○（50 バイトまで）
	USIM カード：○※1
ヨミガナ：姓	
半角文字（USIM カードには「ヨミガナ」として登録）	840SC 本体：○（50 バイトまで）
	USIM カード：○※1
ヨミガナ：名	
半角文字（USIM カードには「ヨミガナ」として登録）	840SC 本体：○（50 バイトまで）
	USIM カード：○※1
電話番号	
市外局番も含めて登録	840SC 本体：○（32 バイトまでで 5 件）
	USIM カード：○※1 ※2
電話番号アイコン	
7 種類から選択	840SC 本体：○
	USIM カード：×
E メールアドレス	
半角英数字	840SC 本体：○（128 バイトまでで 5 件）
	USIM カード：○※1（1 件）
E メールアドレスアイコン	
4 種類から選択	840SC 本体：○
	USIM カード：×

項目／内容	登　録
フォト	
音声電話、TV コールの着信時に表示させる画像。データフォルダからの選択、キャラクターアイコンやカメラでの撮影が可能	840SC 本体：○ USIM カード：×
グループ	
「グループなし」を含めた 5 種類と追加されたグループの中から選択。最大 16 種類からの選択が可能	840SC 本体：○ USIM カード：○※2
誕生日	
生年月日	840SC 本体：○ USIM カード：×
血液型	
4 種類と「設定なし」から選択	840SC 本体：○ USIM カード：×
住所	
郵便番号は 40 バイトまで、国名は 64 バイトまで、都道府県名、市町村名、番地、追加情報は 128 バイトまで	840SC 本体：○（2 件） USIM カード：×
住所アイコン	
3 種類から選択	840SC 本体：○ USIM カード：×
ホームページ	
1024 バイトまで	840SC 本体：○（2 件） USIM カード：×

項目／内容	登　録
ホームページアイコン	
3 種類から選択	840SC 本体：○ USIM カード：×
会社	
64 バイトまで	840SC 本体：○ USIM カード：×
役職	
64 バイトまで	840SC 本体：○ USIM カード：×
メモ	
512 バイトまで	840SC 本体：○ USIM カード：×
シークレットモード	
On ／ Off	840SC 本体：○ USIM カード：×
着信音設定	
音声電話／ TV コール／メールの着信音。データフォルダからの選択が可能	840SC 本体：○ USIM カード：×
バイブ設定	
音声電話／ TV コール／メールのバイブレータを設定	840SC 本体：○ USIM カード：×

※ 1 登録できる文字数は、USIM カードの種類によって異なります。
※ 2 登録できる件数は、USIM カードの種類によって異なります。

撮影サイズ

撮影方法	使用できる撮影サイズ
通常撮影 シーン撮影	3.1M(1536x2048) Wide2.4M(1232x2048) 2M(1200x1600) Wide1.5M(960x1600) Wide1.0M(768x1280) 0.3M(480x640) 壁紙(240x400) メール(240x320)
連写 フォトコンビ	壁紙(240x400) メール(240x320)
パノラマ	壁紙(400 x 240) メール(320 x 240)
ビデオ	QVGA(320x240) QCIF(176x144) SQCIF(128x96) S! Mail (176x144) S! Mail (128x96)

メディアプレイヤー

プレイヤー	ファイル（拡張子）
ミュージック	MPEG4 Audio(mp4、m4a※、3gp(音声のみ)) Softbank Music Contents(smc)、
ムービー	MPEG4(mp4、3gp)、H.263、H.264、

※ m4a ファイルにアルバムアート(曲のジャケット画像)が保存されている場合、再生画面で表示されます。

- 上記以外の、メディアプレイヤーに対応していない音楽ファイルを再生したい場合は、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダからファイルを選択します。この場合、対応しているファイルでも、「着うた・メロディ」フォルダ以外の場所に保存したときは再生できません。

注意

動画ファイルの場合は、次の解像度を超えるファイルは再生できません。
mp4、3gp：320 × 240

データフォルダのファイル形式

フォルダ／概要	ファイル形式※1
ピクチャー	
本機で撮影した静止画などの画像ファイルを保存	JPEG、BMP、GIF、WBMP、PNG、Animation GIF
デジタルカメラ	
本機で撮影した静止画を保存(メモリカードを取り付けているときのみ保存可能)	JPEG
マイ絵文字	
ダウンロードした絵文字を保存	GIF、GPK
デコレメピクチャー	
メールと関連するイメージを保存	JPEG、GIF
着うた・メロディ	
ダウンロードしたメロディや、ボイスレコーダーで録音した音声などのファイルを保存	SMAF、MIDI、SP-MIDI、SMF、Mobile XMF MPEG4 Audio　AMR

資料／付録
15

フォルダ／概要	ファイル形式※1
S! アプリ	
ダウンロードした S! アプリを保存	JAD、JAR
ミュージック	
ダウンロードした着うたフル®を保存	MPEG4、Audio(mp4、m4a、3gp)、smc
ムービー	
本機で撮影した動画などのファイルを保存	MPEG4(mp4、3gp)※2
ブック	
ダウンロードしたブックを保存	CCF
デコレメールテンプレート	
S! メールで作成したテンプレートを保存	HMT
Flash®	
ダウンロードした Flash® ファイルを保存	SWF
着信音 Flash®	
ダウンロードした着信音に設定できる Flash® ファイルを保存	SWF
その他ファイル	
表示の際にドキュメントビューアが必要なファイル、グラフィックスのほか、vcf、vcs ファイル※3 などを保存	vcf ファイル　vcs ファイル URL　EML　PDF XLS　DOC　PPT TXT　HTML　VNT OPML　非サポートファイル

※1 ファイル形式に応じてデータが振り分けられます。対応していないファイルは、フォルダ間の移動や保存ができません。

※2 320x240 の解像度を超えるファイルは再生できません。

※3 vcf、vcs ファイルとは、電話帳などの情報をインターネット経由で交換するためのファイル形式の規格です。本機では、電話帳の情報を交換するための vcf ファイル、スケジュール／予定リストの情報を交換するための vcs ファイル形式を利用できます。

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」(➲P.15-2)をお読みのうえ、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいた各地域の故障受付(➲P.15-32)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ(電話帳やデータフォルダの内容など)や設定した内容が消失・変化したときの損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

索引

英数字

あ

い

と

に

は

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め

も

ゆ

よ

り

る

ろ

わ

目的別索引

便利な機能索引

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。
番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンクモバイルお客さまセンター	
総合案内	ソフトバンク携帯電話から 157(無料)
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から 113(無料)

ソフトバンクモバイル国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491(有料)

一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-240-113(無料)
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-241-113(無料)
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-242-113(無料)
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-250-113(無料)

SoftBank 840SC 取扱説明書

2010 年 8 月 第 2 版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず上記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通話履歴・メール等）は事前に消去願います。

＊ ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名　SoftBank 840SC
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.

SoftBank 840SC User Guide 取扱説明書

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通話履歴、メール等）は、事前に消去願います。